HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.20

HP Project Management ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2013年2月(英語版) ソフトウェアリリース日: 2013年2月(英語版)



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許 諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテ ムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使 用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。

Intel®、Intel® Itanium®、Intel® Xeon®、およびPentium® は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商 標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、およびWindows Vista®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHPソフトウェアサポートのWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/

HP ソフトウェアサポートオンラインでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。HP ソフトウェア サポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html (英語サイト)

目次

| 第1章 | はじめに | 15 |
|-----|-------------------------------|----|
| | HP Project Managementの概要 | 15 |
| | 関連ドキュメント | |
| 第2章 | セットアップに関する一般的な考慮事項 | 19 |
| | セットアップに関する一般的な考慮事項の概要 | |
| | リソースのセットアップ | |
| | 地域のセットアップ | |
| | HP Project Managementの検証設定 | |
| | [プロジェクトの詳細]タブの設定 | |
| | プロジェクトプロセスの設定 | |
| | プロジェクトコントロールプロセス | |
| | プロジェクトタイプのセットアップ | |
| | アクティビティのセットアップ | |
| | HP Time Management との統合セットアップ | |
| | Microsoft Project との統合セットアップ | |
| | タスクユーザデータのセットアップ | 32 |
| 第3章 | プロジェクトタイプの設定 | |
| | プロジェクトタイプの設定の概要 | |
| | プロジェクトタイプ | |
| | プロジェクトポリシー | 34 |
| | プロジェクトポリシーの適用 | 34 |
| | プロジェクトタイプの使い方 | |
| | プロジェクトポリシーの設定 | 36 |
| | プロジェクトフィールド | |
| | 作業計画 | |
| | 作業計画のアクセス | |

| | 作業計画テンプレート |
|-------|----------------------|
| | リクエストタイプ43 |
| | スケジューリング |
| | デフォルトの開始日 |
| | リソースの依存関係45 |
| | クリティカルパスのしきい値45 |
| | スケジュール警告ルール |
| | スケジュールのヘルス |
| | スケジュールのヘルスインジケータ47 |
| | スケジュールの[例外ルール]48 |
| | コストと工数 |
| | リソース負荷の設定51 |
| | Time Management |
| | Financial Management |
| | コストとアーンドバリューヘルス56 |
| | Microsoft Project統合 |
| | スタッフィングプロファイルアサイン59 |
| | プロジェクトヘルス |
| | 問題ヘルス |
| | タスクの監査 |
| | プロジェクトの概要のレイアウト65 |
| | プロジェクトセキュリティ |
| | HP Service Manager |
| 第4章 | プロジェクトの作成 |
| | プロジェクトの作成の概要 |
| | プロジェクトの作成 |
| | [プロジェクトの概要]ページの使い方74 |
| | プロジェクト設定の調整 |
| | プロジェクト参加者の定義 |
| | プロジェクトの詳細の入力 |
| | スタッフィングプロファイルの作成 |
| | 財務サマリの使い方 78 |
| | 作業計画の作成 79 |
| | |
| 弗 5 早 | 作表計画の作成 |
| | 作業計画の作成の概要 |
| | 空の作業計画の作成 |
| | 別プロジェクトからの作業計画の作成 |

| 作業計画へのタスクの追加 85 作業計画防御の作成 87 作業計画防傷の作成 88 先行タスクのセットアップ 90 スゲジュールビューで便利なキーボードショートカット 95 マイルストーンの作成 95 マイルストーンの作成 97 スゲジュールの生成 97 マイルストーンの作成 97 スゲジュールの生成 97 スゲジューリング 97 スゲジューリング 99 スゲジューリング 99 スゲジューリングを告 100 作業計画情報の表示 103 レベルの展開/折りたたみ 103 レベルの展開/折りたたみ 103 なデジュールビュー 104 スケジュールビュー 104 スケジュールビュー 104 支援ビュー 105 コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー 106 ガントビュー 109 印刷ビュー 100 カスタムビュー 110 ガスタムジャポー 112 パーシーンの使用状況 113 リンースの使用状況 113 リンースの使用状況 113 リンースの使用状況 117 ダスクの設定 118 | | タスクの追加と作業計画構造の作成8 |
|---|-----|---------------------------|
| 作業計画のインボート | | 作業計画へのタスクの追加 |
| 作業計画階層の作成 | | 作業計画のインポート |
| 先行タスクのセットアップ 90 スケジュールビューで便利なキーボードショートカット. 95 マイルストーンの作成. 97 パケジュールの生成. 97 スケジュールの生成. 97 ウオリングエラー. 98 スケジューリングまラー. 99 スケジューリング電告. 100 作業計画情報の表示. 103 レベルの展開/折りたたみ. 103 レベルの展開/折りたたみ. 103 作業計画ビュー. 104 スケジューレビュー. 106 アーンドバリュービュー. 106 アーンドバリュービュー. 106 アーンドバリュービュー. 100 カスタムビュー. 110 カスタムビュー. 110 フィルダ・ジャイズブリファレンスの調整. 113 リンーベージサイズブリファレンスの調整. 113 リンースの使用状況. 113 リンースの使用状況. 117 タスクの設定. 118 第6 章 タスクの設定. 119 タスクの要素. 119 <td></td> <td>作業計画階層の作成</td> | | 作業計画階層の作成 |
| スケジュールビューで便利なキーボードショートカット | | 先行タスクのセットアップ |
| マイルストーンの作成 | | スケジュールビューで便利なキーボードショートカット |
| 作業計画のスケジューリング 97 スケジュールの生成 97 サマリタスクのスケジューリング 98 スケジューリングエラー 99 スケジューリング増告 100 作業計画情報の表示 103 レベルの展開/折りたたみ 103 アンドバリュービュー 104 実績ビュー 105 コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー 106 アーンドバリュービュー 109 印刷ビュー 100 カスタムビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 フィルタ 110 フィルタ 112 パーソナルページサイズブリファレンスの調整 113 リンースの使用状況 113 リンースの使用状況 113 リンシスの酸定 118 第6章 タスクの設定 119 通知 120 ※昭信和 120 | | マイルストーンの作成 |
| スケジュールの生成 | | 作業計画のスケジューリング |
| サマリタスクのスケジューリング. .98 スケジューリングエラー. .99 スケジューリング警告. .00 作業計画情報の表示. .03 レベルの展開/折りたたみ. .03 作業計画ビュー. .04 スケジュールビュー. .04 実績ビュー. .05 コスト設定ビュー. .06 アーンドバリュービュー. .06 ガントビュー. .06 アーンドバリュービュー. .06 ガントビュー. .09 印刷ビュー. .01 カスタムビュー. .01 ウスクの詳細の編集. .11 パーソナルページサイズブリファレンスの調整 .113 リンースの使用状況. .113 列の追加/削除. .14 作業計画のクリライカルパスの表示. .17 タスクの設定. .18 第6章 タス クの設定. .19 海知. .120 参照信曲 .120 参照信曲 .120 | | スケジュールの生成 |
| スケジューリングエラー | | サマリタスクのスケジューリング |
| スケジューリング警告 | | スケジューリングエラー |
| 作業計画情報の表示. 103 レベルの展開/折りたたみ. 103 作業計画ビュー. 104 スケジュールビュー 104 実績ビュー. 105 コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー 108 ガントビュー 109 印刷ビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ. 110 フィルタ. 110 フィルタ. 110 アーンドバリュービュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ. 110 アイルタ. 110 アイルタ. 110 アイルタ. 110 アイルタ. 111 リントビュー 113 リントビュー 113 リースの使用状況 113 リースの使用状況 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6 章 タスクの設定 119 通知 119 通知 110 本四修善型 110 本四修善型 110 | | スケジューリング警告 |
| レベルの展開/折りたたみ. 103 作業計画ビュー. 104 スケジュールビュー 104 実績ビュー. 105 コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー. 108 ガントビュー. 109 印刷ビュー 109 印刷ビュー | | 作業計画情報の表示 |
| 作業計画ビュー | | レベルの展開/折りたたみ10 |
| スケジュールビュー 104 実績ビュー 105 コスト設定ビュー 106 アーンドパリュービュー 108 ガントビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 タスクの詳細の編集 112 大きな作業計画の表示 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの設定 119 通知 120 本昭棲組 120 | | 作業計画ビュー |
| 実績ビュー 105 コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー 108 ガントビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 フィルタ 110 フィルタ 110 フィルタ 110 フィルタ 110 フィルタ 111 ウスクの詳細の編集 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの設定 119 通知 119 通知 120 参照体報 120 | | スケジュールビュー |
| コスト設定ビュー 106 アーンドバリュービュー 108 ガントビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 マイルタ 110 タスクの詳細の編集 112 大きな作業計画の表示 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの設 定 119 通知 120 参照情報 120 | | 実績ビュー |
| アーンドバリュービュー 108 ガントビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 マイルタ 110 マイルタ 110 マイルタ 110 アーンドバリュービュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 マイルタ 110 アンクの詳細の編集 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの 設定 119 通知 120 参照信報 120 | | コスト設定ビュー |
| ガントビュー 109 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 タスクの詳細の編集 112 大きな作業計画の表示 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの設定 119 通知 120 参照標報 120 | | アーンドバリュービュー |
| 印刷ビュー 110 カスタムビュー 110 フィルタ 110 タスクの詳細の編集 112 大きな作業計画の表示 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況 113 列の追加/削除 114 作業計画のクリティカルパスの表示 117 タスクの設定 118 第6章 タスクの設定 119 ダスクの要素 119 通知 120 | | ガントビュー |
| カスタムビュー 110 フィルタ. 110 タスクの詳細の編集. 112 大きな作業計画の表示. 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況. 113 列の追加/削除. 114 作業計画のクリティカルパスの表示. 117 タスクの設定. 118 第6章 タスクの設定. 119 近知. 120 参照傳知 120 | | 印刷ビュー |
| フィルタ | | カスタムビュー110 |
| タスクの詳細の編集. 112 大きな作業計画の表示. 112 パーソナルページサイズプリファレンスの調整 113 リソースの使用状況. 113 列の追加/削除. 114 作業計画のクリティカルパスの表示. 117 タスクの設定. 118 第6章 タスクの設定. 119 通知. 120 参照傳報 120 | | フィルタ110 |
| 大きな作業計画の表示 | | タスクの詳細の編集112 |
| パーソナルページサイズプリファレンスの調整 | | 大きな作業計画の表示112 |
| リソースの使用状況 | | パーソナルページサイズプリファレンスの調整11 |
| 列の追加/削除 | | リソースの使用状況11 |
| 作業計画のクリティカルパスの表示 | | 列の追加/削除114 |
| タスクの設定 | | 作業計画のクリティカルパスの表示11 |
| 第6章 タスクの設定 | | タスクの設定118 |
| タスクの要素 | 第6章 | タスクの設定119 |
| 通知 | | タスクの要素 |
| 会照信却 120 | | 通知 |
| ◎ 忠 旧 我 | | 参照情報 |
| アクティビティ | | アクティビティ |
| タスクステータス | | タスクステータス |
| 作業計画へのタスクの追加122 | | 作業計画へのタスクの追加 |

| マイルストーンの作成 | |
|---------------------------|--|
| タスクの詳細の編集 | |
| リソースのアサイン | |
| [タスクの追加] ページからのリソースのアサイン | |
| [作業計画の表示] ページからのリソースのアサイン | |
| [タスクの詳細]ページからのリソースのアサイン | |
| スケジュールされた工数の管理 | |
| スキルまたはロールのアサイン | |
| タスクの先行タスクの設定 | |
| スケジュールの制限の設定 | |
| メモの追加 | |
| 通知のセットアップ | |
| コストデータの入力 | |
| タスクへの参照情報の追加 | |
| 既存リクエストの追加 | |
| 新規リクエストの追加 | |
| 既存パッケージの追加 | |
| 新規パッケージの追加 | |
| タスクの追加 | |
| リリースの追加 | |
| ドキュメントの追加 | |
| URLの追加 | |
| タスクステータスの変更 | |
| プロジェクトの管理 | |
| プロジェクトの管理の概要 | |
| プロジェクトのセットアップ | |
| プロジェクトのステータス | |
| 作業計画へのタスクの追加 | |
| ベースラインの取得 | |
| 作業計画の更新 | |
| 作業計画階層の表示と修正 | |
| 作業計画ステータス | |
| ステータスの変更 | |
| [作業計画の表示]ページからのタスク詳細の編集 | |
| 複数タスクの同時設定と編集 | |
| 複数タスクに対する実績の同時編集 | |
| 複数タスクに対するリソースアサインの同時編集 | |

第7章

| 複数タスクに対するアサイン済みロールの同時編集 | |
|-------------------------------|--|
| 複数タスクにスケジュールされた日付の同時移動 | |
| 先行タスクとしての複数タスクの迅速なリンク付け | |
| 複数タスクに対するステータスの同時設定 | |
| スケジュールと依存関係の更新 | |
| スケジュールされた期間、開始日、終了日、および工数の変更 | |
| 先行タスクの変更 | |
| スケジュールの改訂 | |
| 作業計画の同時編集 | |
| 競合の回避 | |
| 実績の計算 | |
| プロジェクトのクリティカルパスの表示 | |
| プロジェクトの概要の使用 | |
| プロジェクトの検索 | |
| サーチボックス | |
| [プロジェクトの検索] ページ | |
| 作業計画の表示 | |
| プロジェクトヘルスの表示 | |
| プロジェクトヘルスのオーバライド | |
| マイルストーンの表示 | |
| プロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析の表示 | |
| プロジェクトコントロールアイテムの表示 | |
| プロジェクトスタッフィングの表示 | |
| プログラム関連の表示 | |
| プロジェクトコストデータの表示 | |
| プロジェクト時間の承認 | |
| 例外と警告の表示 | |
| [プロジェクトの概要] ページからの例外の表示 | |
| スケジュールビューでの例外の表示 | |
| スケジュールビューでのスケジュール警告インジケータのクリア | |
| [タスクの詳細] ページからの例外/警告の表示 | |
| [プロジェクトの概要]ページのPDFへのエクスポート | |
| PPM Dashboard を使った進捗状況の表示 | |
| プロジェクトコントロールエンティティの登録 | |
| 問題のロギング | |
| リスクのロギング | |
| スコープ変更のロギング | |
| プロジェクト設定と参加者の表示 | |

| | プロジェクトの日付制御188 |
|-----|---|
| | ベースラインの操作 |
| | ベースラインの取得189 |
| | ベースラインの管理191 |
| | ベースラインの比較192 |
| | 作業計画でのベースラインデータの表示192 |
| | プロジェクトコストのトラッキングと分析192 |
| | プロジェクト品質データの表示と監視193 |
| | アジャイル統合ソリューションによるアジャイル開発プロジェクトの表示と管理194 |
| | 作業計画のエクスポートと印刷194 |
| | PDFファイルへのエクスポート195 |
| | Microsoft Excelファイルへのエクスポート196 |
| | Microsoft Internet Explorerのインターネットオプションの設定 |
| | 作業計画の監査履歴のトラッキング198 |
| | プロジェクトの完了、キャンセル、および削除 |
| | 作業計画の完了 |
| | 作業計画のキャンセル |
| | プロジェクトの削除 |
| 第8章 | タスクの更新: リソースアクティビティ |
| | タスクの検索 |
| | [マイタスク]ポートレットを使ったタスクの検索 |
| | タスクとプロジェクトの検索204 |
| | タスクの検索 |
| | プロジェクトの検索 |
| | 通知を使ったタスクの検索207 |
| | プロジェクト情報の表示 |
| | プロジェクトの概要の表示 |
| | プロジェクトのガントチャートの表示 |
| | プロジェクトのマイルストーンの表示 |
| | プロジェクトの詳細の表示 |
| | 例外の表示 |
| | プロジェクトの参照情報の表示213 |
| | リソース情報の表示 |
| | タスクスケジュールのエクスポート |
| | タスクの更新 |
| | [マイタスク]ポートレットの使用216 |
| | マイタスクポートレットの検索217 |

| | HP Time Management との統合 | 217 |
|--------|---|-----|
| | [タスク]ページの使用 | 218 |
| | 参照情報の表示と修正 | 219 |
| | タスクへの参照情報の追加 | 219 |
| | ファイルの追加 | 219 |
| | URLの追加 | 220 |
| | 参照情報の表示と編集 | 221 |
| | 参照情報の削除 | 222 |
| 第9章 | 作業計画テンプレートの使用 | 223 |
| | 作業計画テンプレートのセットアップ | 223 |
| | 作業計画テンプレートの作成と管理 | 224 |
| | 作業計画テンプレートへのタスクの追加 | 224 |
| | 作業計画テンプレートでのタスクの設定 | 225 |
| | 作業計画テンプレートへのアクセスの設定 | 225 |
| | 既存作業計画からの作業計画テンプレートの作成 | 225 |
| | 作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細 | 227 |
| | 作業計画テンプレートからの作業計画の作成 | 228 |
| 第 10 章 | HP Project Managementと Microsoft Projectとの統合 | 229 |
| | HP Project Managementと Microsoft Projectとの統合の概要 | 229 |
| | スタートアップガイド | 230 |
| | Plug-in for PPMのインストールとアップグレード | 232 |
| | Plug-in for PPMの要件 | 232 |
| | サーバ側の要件 | 232 |
| | クライアント側の要件 | 233 |
| | インストール手順 | 233 |
| | サイレントインストール | 235 |
| | サイレントインストールのパラメータ | 236 |
| | Plug-in for PPMのアップグレード | 237 |
| | Plug-in for PPMの削除 | 239 |
| | 同期モード | 239 |
| | HP Project Management-制御 | 240 |
| | Microsoft Project 制御 | 240 |
| | 共有制御 | 241 |
| | HP Project Management と Microsoft Projectの同期 | 241 |
| | アプリケーション間のフィールドのマッピング | 243 |
| | フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響 | 246 |
| | 情報の同期の仕組み | 248 |

| 条件付き編集サマリテーブル | 265 |
|---|-----|
| 適切な同期モードの選択 | 266 |
| 既存のMicrosoft Project計画を基にした新規HP Project Managementプロジェクトの作成 | 266 |
| HP Project Management での既存 Microsoft Project 計画の表示 | 267 |
| 既存 Microsoft Project 計画の HP Project Management プロジェクトへの変換 | 267 |
| HP Project Management と統合された Microsoft Project 作業計画階層の更新 | 267 |
| HP Project Management 公開による Microsoft Projectの補強 | 268 |
| HP Project Managementで実績を収集することによる Microsoft Projectの補強 | 269 |
| Microsoft Projectの検索結果の改善 | 270 |
| 同期モードの変更 | 270 |
| SQL Serverデータベースに格納されたMicrosoft Project情報の同期 | 271 |
| HP Project Management の方針 | 271 |
| Microsoft Projectを介した HP Project Management 作業計画の公開 | 271 |
| HP Project Managementを介した Microsoft Project ファイルの公開 | 272 |
| 両方のアプリケーションを使用したさまざまなプロジェクトデータのトラック | 273 |
| 統合のためのプロジェクトレベルの設定 | 274 |
| 統合モード | 276 |
| HP Project Management と Microsoft Projectの同期モードの設定 | 276 |
| 同期モードとプロジェクトカレンダーの変更 | 278 |
| Microsoft への PPM Center 情報の転送 | 279 |
| PPM Center システム情報のためのMicrosoft ストレージの場所 | 281 |
| Microsoftフィールドマッピング | 281 |
| XMLマッピングファイルの作成 | 282 |
| XMLマッピングファイルのアップロード | 283 |
| 同期モード | 284 |
| Microsoft フィールドマッピングの無効化 | 284 |
| タスクの作成モード | 284 |
| メモの同期 | 285 |
| HP Project Management メモについて | 285 |
| HP Project Management制御で同期されるメモについて | 285 |
| Microsoft Project 統合オプションの構成: メモの同期 | 285 |
| Microsoft Project 統合オプションの有効化: メモの同期 | 286 |
| HP Project Management と Microsoft Project メモの同期モードド | 287 |
| Microsoft ProjectからHP Project Managementに作業計画情報を送信するときのメモの | |
| 同期について | 288 |
| 同期モードを変更するときのメモの同期について | 289 |
| HP Project Management アクティビティの同期 | 289 |
| Microsoft Project 統合オプションの有効化: アクティビティの同期とマッピング | 290 |

| HP Project Managementと Microsoft Project アクティビティの同期モード | . 290 |
|--|-------|
| Microsoft Project でのアクティビティ同期の動作 | . 291 |
| アクティビティの継承の動作 | . 292 |
| サービスポートフォリオ管理のサポート | 293 |
| HP Project Management制御 | . 293 |
| Microsoft Project制御または共有制御 | 294 |
| コストと工数ポリシーおよびHP Time Management | . 295 |
| Plug-in for PPMのユーザプリファレンス | 296 |
| Microsoft Project オプション | . 296 |
| Plug-in for PPMの言語の設定 | . 296 |
| | . 297 |
| HP Project Managementにより制御される作業計画の強調表示の有効化 | . 298 |
| オンデマンドでのPlug-in for PPMの読み込み | 299 |
| Microsoft Projectファイルのバックアップ | 299 |
| 同期ログの有効化 | . 300 |
| PPM Centerオプション | . 301 |
| PPM Server接続の変更 | . 301 |
| カスタムHTTPヘッダの設定 | . 302 |
| Plug-in for PPMのプロキシサーバの構成 | . 303 |
| Microsoft Project Server オプション | . 304 |
| Plug-in for PPM用 Microsoft Project Serverの設定 | . 304 |
| 作業計画の作成と管理 | . 305 |
| HP Project Managementを使用して Microsoft Project で作業計画を開く | . 306 |
| Microsoft ProjectからHP Project Management 作業計画を開く | . 307 |
| HP Project Management へのMicrosoft Project ファイル作業計画の送信 | . 309 |
| HP Project Managementからの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management制御モード). | . 312 |
| HP Project Managementからの実績の取得 (共有制御モード) | . 312 |
| Microsoft ProjectからHP Project Managementへの作業計画(計画)情報の送信(共有制御モード) | . 314 |
| HP Project Management への関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project 制御モード) | . 315 |
| アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよびMicrosoft Project | |
| 制御モード) | . 317 |
| 手動でリソースをマップする方法 | . 318 |
| アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング | . 319 |
| エンタープライズリソースをマップするときの [リソースのマップ] ダイアログでの相違点 | . 321 |
| エンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可 | . 321 |
| HP Project Management で許可される条件付き編集 | . 322 |
| HP Project Management制御プロジェクトの編集 | 322 |

| | Microsoft Project制御プロジェクトの編集 | |
|--------|---|-----|
| | 共有制御モードでの編集 | |
| | Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの削除 | |
| | Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの復元 | |
| | Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けのリフレッシュ | |
| | Microsoft Project Serverを使用するプロジェクトの操作 | |
| | Microsoft Enterprise Project Managementを使用するプロジェクトの操作 | |
| | 複数 Microsoft Project Server インスタンスの使用 | |
| | Project Web Accessを使用するプロジェクトの操作 | |
| | トラブルシューティング | |
| | エラーと警告 | |
| | Windows Vista やWindows 7へのVisual Studio Tools for Office (VSTO) のインストール | |
| | HP PPM Centerメニューが表示されないときのPlug-in for PPMの再有効化方法 | |
| | 無効なSSL証明書でのPPM Serverへの接続 | |
| | システムへのシングルサインオンとMicrosoft Internet Explorer | |
| | HP PPM Center メニュー. | |
| | PPM Center から Microsoft Project で作業計画を開く | |
| | Microsoft Project での手動スケジュールモード | |
| | ロールアップ値がMicrosoft Projectで再計算されません | |
| | 同期の失敗 | |
| | 必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除 | |
| | Microsoft Projectの関連付けを使用する削除済みタスクの復元 | |
| | リンクが解除されたファイルからのリソースマッピングの削除方法 | |
| 第 11 章 | HP Time Managementとの統合 | |
| | HP Time Management統合の概要 | |
| | プロジェクトのTime Managementの有効化 | 339 |
| | マイタスクポートレットの使用 | 340 |
| | | |
| 索引 | | |

索引.

第1章 はじめに

HP Project Managementの概要

HP Project Managementでは、テンプレートベースの共同アプローチを使って、 プロジェクトアクティビティ管理の合理化と標準化が行えます。

HP Project Management では、特定タスクの遂行および成果物の完成に必要な プロセスが段階的に定義されており、標準化チェックリストの実行や添付ド キュメントを使用した成果物の収集といったユーザのアクティビティを、ダ イナミックな自己文書化プロセスを使ってサポートしています。プロジェク トプロセスと関連項目のセットアップの詳細については、第2章「セットアッ プに関する一般的な考慮事項」(19ページ)を参照してください。

プロジェクトタイプを使用すると、1つまたは複数のプロジェクトを管理する ビジネスルールを正式に作成できます。スケジュールのヘルス、タスク監査、 およびプロジェクトセキュリティなど、プロジェクトの各種要素を管理する ポリシーが設定可能です。プロジェクトの作成および管理は、事前にプロジェ クトタイプを最低1つ作成しておかないと実行できません。プロジェクトタイ プのセットアップの詳細については、第3章「プロジェクトタイプの設定」(33 ページ)を参照してください。

プロジェクトの作成時には、作業計画やスタッフィングプロファイルを含め るかどうかを決められるほか、プロジェクトタイプで決められたポリシーを 調整できます。また、プロジェクトセキュリティも定義可能です。プロジェ クトの作成の詳細については、第4章「プロジェクトの作成」(71ページ)を参 照してください。 作業計画は、タスクやアクティビティを論理的にグループ化して組織化する サマリタスクの階層構造として定義できます。作業計画の作成の詳細について は、第5章「作業計画の作成」(81ページ)を参照してください。作業計画構造 の完成後は、タスク詳細を設定できます。変更の内容によって、まとめて設 定することも、個別に設定することも可能です。タスクからタスクへの移動 の詳細については、第6章「タスクの設定」(119ページ)を参照してください。

すぐに使えるプリセット作業計画構造の作成には、作業計画テンプレートも 使用できます。既存作業計画をテンプレートに変換する方法など、作業計画 テンプレートの使い方の詳細については、第9章「作業計画テンプレートの 使用」(223ページ)を参照してください。

プロジェクトの実施中、管理者は、[プロジェクトの概要]ページを使用して、 ヘルスインジケータ、マイルストーン、および問題点など、プロジェクトの 重要なメトリクスをいつでも確認できます。ベースラインの取得および作業 計画の修正といったプロジェクト管理アクティビティのほか、[プロジェクト の概要]ページの使い方の詳細については、第7章「プロジェクトの管理」(143 ページ)を参照してください。

作業計画アクティビティは、チームの内外を問わず、メンバ全員が直感的な インタフェースを用いてお互いに共同、協力して作業に当たれるため、技術 連鎖にとらわれずにプロジェクトチームが簡単に管理できます。プロジェク トのリソースの検索、更新、変更、およびリソースがアサインされたタスク に関するレポートについては、第8章「タスクの更新:リソースアクティビ ティ」(203ページ)で説明します。

たとえば、ビジネスシステムの新規バージョンや更新バージョンを作成する 場合、作成にかかる工数は、個々の主要機能エリアのサマリタスクに分類分 けできます。

- 機能サマリタスクは、それぞれについて、Web コンテンツ、アプリケー ション、およびデータベースタスクなどのエリアにさらに分類可能です。
- タスクは、HP Demand ManagementやHP Deployment Managementからのリ クエストやパッケージにリンクできるため、作業計画全体をサポートする アクティビティの詳細を瞬時に表示できます。また、タスクには制限や通 知を個別に設定可能です。詳細については、第6章「タスクの設定」(119 ページ)を参照してください。

 HP Resource Management を併用すると、ロールやスキルのアサインを利用 可能なリソースに照らし合わせてトラックできます。リソースの使用状況の、測定、視覚化、最適化も行えます。



すべての機能を利用するには、HP Project Managementを使用する前に、リソースとリソー ス関連設定をHP Resource Managementでセットアップしておきます。詳細については、 第 2 章「セットアップに関する一般的な考慮事項」(19ページ)または『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

- HP Time Managementを併用すると、プロジェクト関連作業の実績レポート にタイムシートを使用できます。詳細については、第 11 章「HP Time Managementとの統合」(337ページ)を参照してください。
- プロジェクトの実施中、リスク、問題、および提案範囲の変更は、事前設 定済みのプロジェクトコントロールプロセスに従って送信し、プロジェク トの概要レベルでトラッキングできます。
- プロジェクトの実施中は、別のユーザセットを要求し、事前に定義済みの ライフサイクルに沿ってプロジェクトの評価と移動が行えます。
- 作業計画のベースラインは、いつでも取得が可能なため、作業計画のパフォーマンスを比較する基盤として利用できます。
- 作業計画コストデータは、タスクレベルでトラッキングされ、出来高分析 を使った傾向とパターンの分析に使用できます。コストは、自動算出も手 動指定も可能で、実際のコストは自動的にプロジェクトの財務サマリに ロールアップされます。
- HP Project Management では、Microsoft Project との統合も標準でサポート されているため、タスクのスケジューリングやリソース管理などの機能 は、作業計画の実施中いつでも使用できます。詳細については、第 10章 「HP Project Management と Microsoft Project との統合」(229ページ)を参照し てください。

関連ドキュメント

本書に関連するドキュメントを次に示します。

- 『HP Demand Management ユーザーガイド』
- 『HP Deployment Management ユーザーガイド』
- [HP Project Management Configuration Guide]
- 『HP Resource Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management ユーザーガイド』
- [HP Time Management Configuration Guide]
- 『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』

第2章 セットアップに関する一般的な考慮事項

セットアップに関する一般的な考慮事項の概要

HP Project Managementの使用を始める前に、やっておくべき設定手順がいく つかあります。その中には、HP Project Management 機能をフル活用するため に必要な手順もあれば、HP Project Management をビジネスプロセスに組み込 む程度によって必要の有無が決まるオプション手順もあります。

通常の設定およびセットアップ作業を次に示します。

1. リソースおよびリソースプールのセットアップ

HP Resource Management では、個々のHP Project and Portfolio Management Centerユーザについて、次のような詳細リソース情報を作成できます。

- ロール
- スキルプロファイル
- 組織ユニット
- 個別リソースカレンダー

プロジェクトのスタッフィングプロファイルや作業計画には、自分が管理 しているリソースプールに属するリソースしか割り当てられません。ほか のリソースプールに属するリソースは、標準スタッフィングプロファイル 機能を使ってリクエストできます。

この手順の詳細については、「リソースのセットアップ」(22ページ)を参照してください。

2. 地域のセットアップ

地域は、各プロジェクトとリソースに関連づけられており、次のような属 性を定義します。

- カレンダー
- 休日
- 通常の営業日と営業時間
- デフォルト通貨

この手順の詳細については、「地域のセットアップ」(24ページ)を参照してください。

3. HP Project Managementの検証設定(オプション)

特定のフィールドに使用する値のリストは、検証を行ってビジネスニーズ に合うように調整でき、PPM Workbenchで編集可能です。

この手順の詳細については、「HP Project Managementの検証設定」(24ページ)を参照してください。

4. [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブに表示される フィールドの設定(オプション)

[プロジェクトの詳細] タブのフィールドの内容は事前に設定されています が、ビジネスニーズに合わせて変更できます。これらのフィールドのセ キュリティ設定だけは、確認するようにしてください。

この手順の詳細については、「[プロジェクトの詳細] タブの設定」(27ページ)を参照してください。

5. PPM Workbench でのプロジェクトプロセスの設定(オプション)

プロジェクトプロセスは事前設定済みのワークフローでモデル化されて おり、このワークフローは、ビジネスニーズに合わせてPPM Workbenchで 設定できます。ワークフローと手順のセキュリティ設定だけは、少なくと も確認してください。

この手順の詳細については、「プロジェクトプロセスの設定」(28ページ) を参照してください。 6. プロジェクトコントロールプロセスの設定(オプション)

プロジェクトの問題は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意問題 として提起できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されま す。プロジェクト問題のフィールドや動作は、基本のワークフロー同様、 ビジネスニーズに合わせてPPM Workbenchで設定できます。プロジェクト のリスクや範囲の変更についても、同様の管理ツールが用意されています。

この手順の詳細については、「プロジェクトコントロールプロセス」(28 ページ)を参照してください。

7. プロジェクトタイプのセットアップ

各プロジェクトは、プロジェクトタイプから作成します。プロジェクトに はプロジェクトポリシーが含まれており、プロジェクトポリシーは、使い 勝手が良くなるように事前設定できるほか、必要に応じてロックもできま す。プロジェクトは、プロジェクトタイプを少なくとも1つ先に設定しな いと作成できません。エンタープライズプロジェクトタイプは事前に設定 されていますが、ビジネスニーズに合っていることを確認してください。

この手順の詳細については、「プロジェクトタイプのセットアップ」(30 ページ)を参照してください。

8. アクティビティのセットアップ(オプション)

プロジェクト作業計画内のタスクは、アクティビティとの関連付けが可能 で、タスクの実行時に資本金または事業費として分類する SOP (Statement of Position) 98-1トラッキングに使用できます。SOP 98-1トラッキングをア クティブにしない場合でも、アクティビティは、分類ツールとしてタスク に関連付けることができます。

この手順の詳細については、「アクティビティのセットアップ」(31ページ) を参照してください。

9. HP Time Management との統合セットアップ (オプション)

HP Time Management との統合セットアップの大半は、プロジェクトタイプ レベルで行います。ただし、プロジェクト関連の作業アクティビティのレ ポートに HP Time Management を使用する前に、各リソースに適切な権限 と委任権が HP Time Management で設定されていることを確認してくださ い。詳細については、『HP Time Management ユーザーガイド』および『HP Time Management Configuration Guide』を参照してください。 10. Microsoft Project との統合セットアップ (オプション)

HP Project Managementは、Microsoft Projectと統合できます。この統合を活用するには、適切なサーバの設定が必要です。

この手順の詳細については、「Microsoft Project との統合セットアップ」(32 ページ)を参照してください。

11. タスクユーザデータのセットアップ(オプション)

タスクユーザデータは、個々のタスクとの関連付けをHP Project Management で行えるカスタムフィールドです。

この手順の詳細については、「HP Time Management との統合セットアップ」 (31ページ)を参照してください。

リソースのセットアップ

HP Project Management のリソースは、HP Resource Management を使ってトラッキングして、時間と機能を最適化できます。HP Resource Management を使用すると、プロジェクトマネージャは次のことが行えます。

- 休日指定のほか、全体の可用性を決める各リソースのカレンダー設定
- リソースへのプライマリスキルとロールのアサイン(オプション)
- リソース負荷の期間別、作業計画別、個人別表示
- リソースの可用性の分析と検索

リソースプールは、リソース供給のトラッキングに使用でき、作業計画のア サインにも必要です。プロジェクトのスタッフィングプロファイル、または 直接作業計画にアサインされている個々のリソースは、プロジェクトマネー ジャが管理するリソースプールに属している必要があります。プロジェクト のリソース管理戦略は、次のいずれかの場合に使用できます。

リソース管理が活発に行われていない場合は、利用可能なすべてのプロジェクトリソースを1つのリソースプールにまとめ、プロジェクトマネージャ全員をリソースプールの管理者として指定できます。これにより、プロジェクトのスタッフィングプロファイルや作業計画に、すべてのリソースが選択できるようになります。



 リソース管理が活発に行われており、リソースの管理者が使用時間をリク エストしなければならないような場合は、スタッフィングプロファイルを 使用します。これにより、HP Resource Management機能を使って、自分が 管理していないリソースプールからリソースをリクエストできるように なります。リクエストに対する認否は、リソースの管理者が行います。

リソース (カレンダー情報など) とリソースプールは、HP Project Management でプロジェクトを作成する前に、HP Resource Management でセットアップして おきます。また、リソースと関連付けたくない場合でも、ロールとスキルは セットアップしておきます。

これらのタスクを実行する方法についての詳細は、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

個々のリソースのコストレートは、コストレートルールを使って設定し、HP Financial Managementで制御します。コストレートルールとそのセットアップ 方法の詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照し てください。

HP Resource Managementを使って行えるタスクを次に示します。

- 組織モデルへのリソースのマッピング、およびセキュリティグループへの 組織ユニットの関連付け
- スタッフィングプロファイルを使ったリソース割り当ての長期計画

詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

地域のセットアップ

地域は、HP Resource Management でセットアップされ、それぞれに固有のカレンダーを備えています。地域カレンダーの指定内容を次に示します。

- 1営業日当たりの営業時間
- 1週間当たりの営業日数
- 休日

1つのプロジェクトは1つの地域に関連付けられ、プロジェクトとリソースの 正確なスケジューリングが行われます。

地域および地域カレンダーのセットアップの詳細については、『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

HP Project Managementの検証設定

PPM Center の特定フィールドの値は、設定や拡張が可能な検証によって決ま ります。フィールドで使用可能な値のリストを変更するには、PPM Workbench で対応する検証を開き、そこから編集します。



設定や拡張が可能な検証は、[プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトの詳細]タブとプ ロジェクトコントロールプロセスで関連付けられたフィールドにのみ設定できます。作業計画 フィールドの値は変更できません。

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブの [ビジネスユニット] フィールドは、固定リスト検証の一例で、これによってユーザが固定リストのオプションを使えるようになっています。固定リスト検証には、ドロッ プダウン形式またはオートコンプリート形式のリストコンポーネントを使用 できます。

PPM Center のインスタンスで複数の言語がサポートされている場合、作成する検証は、ログ イン時に選択した言語 (セッション言語)ですべて定義されます。作成した検証の修正は、定義 した言語でのみ行えます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してく ださい。 検証に値を追加するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンして PPM Workbench を開きます。
- 2. ショートカットバーから [構成]>[検証] をクリックします。
- [検証Workbench] ウィンドウの [クェリ] タブで、[リスト] をクリックします。
 [結果] タブが開き、検索結果が表示されます。
- 4. [PFM ビジネス単位 (有効のみ)] を選択し、[開く] をクリックします。

[ビジネスユニット]フィールドに検証が読み込まれた[検証]ウィンドウ が開きます。

5. [新規] をクリックします。

[検証値の追加] ウィンドウが開きます。

6. 次の表に従って検証値の情報を指定します。

| フィー ルド | 定義 |
|-----------|--|
| コード | 検証値の基本コード。データベースに保存されている値、または内部機 能に渡される値ですが、まれにしか表示されません。 |
| 意図 | ドロップダウンリストまたはオートコンプリートの検証値に対して表示 させる意味 |
| 説明 | 検証値の説明 |
| 有効 | 検証値が有効かどうかを決定します。フィールドに値を表示させる場合 はチェックが必要です。 |
| デフォ ルト | 値がリストのデフォルト値かどうかを決定します。ドロップダウンリストには、この値が最初に表示されます(オートコンプリートリストには使用されません)。デフォルト値は、1つのリスト当たり1つしか使用できません。 |

7. [**デフォルト**] フィールドを選択して検証値をデフォルトとして設定します (オプション)。

デフォルトオプションは、ドロップダウンリストにのみ使用できます。

8. [OK] をクリックしてウィンドウを閉じ、検証に値を追加します。[追加] を クリックして値を追加し、[検証値の追加] ウィンドウを開いたままにし ます。

検証値の順番は、上下矢印のアイコンを使って変更できます。検証値の順 番によって、リストに表示される値の順番が決まります。

9. 検証に値を追加したら、[検証] ウィンドウの [保存] または [OK] をクリックして新しい値を保存します。

ほかの検証で定義されている既存の値は、[コピー元]ボタンでコピーできます。[コピー元] をクリックしてリスト検証済みの既存検証のクエリを行い、検証値を選択します。[コピー元] ウィンドウの [追加] または [OK] をクリックし、選択した1つまたは複数の値をリストに追加 します。

リストで検証済みの検証(ドロップダウンリストおよびオートコンプリートリスト)は、注意して作成してください。値を変更するたびに検証の更新が必要になります。この方法の代わりに、 データベーステーブルから値を取得するSQLクエリやPL/SQL機能を使った検証方法を検討し てみてください。

各種検証の編集と作成の詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証 のガイドとリファレンス』を参照してください。

[プロジェクトの詳細] タブの設定

[プロジェクトの概要]ページの[**プロジェクトの詳細**]タブには、プロジェクト に対して事前に設定された内容のフィールドがあります。

図 2-1. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトの詳細] タブ

| — 全体のステータス — 全体のヘルス プロ: | ジェクト マネージャ iin User | プロジェクト ステ ー アクティブ | タス フェーズ | プロジェクトの計画期間 January 2013 ~ December 20 | プロジェクト地域 113 Enterprise | 進捗 | 0% |
|----------------------------|------------------------|-----------------------------|------------------------|---|----------------------------|----|--------------|
| プロジェクト サマリ | プロジェクトの | | 参照 | | | | |
| ?クティブ 完了 保留 | 習 キャンセル | | | | | | ■ ■ 保存 単純 |
| *べて展開する すべて折 | 刊たたむ | | | | | | |
| - サマリ | | | | | | | |
| ブロジェクト番号: 30130 | | | | | | | |
| プロジェクト名: | | | プロジェクトマ | ネージャ: | | | |
| test | | | Admin User | | | | |
| 計画開始期間: January 2013 | | | 計画終了期間 December 201 | 13 | | | |
| プロジェクト ステータ | ג: | | <u>ታ</u> ዋንድያት ላ | ルス: | 0 | | |
| アクティブ | | | 緑 | | | | |
| ≣说8月: | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| = PFM プロジェクト | | | | | | | |
| ビジネス ユニット: | | | | ビジネス目標: | | | |
| | | | | v | | | |
| プロジェクトの依存関 | 係 | | | | | | |
| スタッフィング ブロフィ | e-ful: | | | | | | |
| (スタッフィング プロフォ | ァイルなし) | | | | | | |
| 正味現在価値: | | | | | | | |
| 0 | | | | | | | |
| 財務サマリ: | | | | | | | |
| test | | | | | | | |
| 関連付けられたプログ | ブラム: | | | | | | |
| (関連付けられたプログ | ジラムなし) | | | | | | |
| + メモ (メモが存在しま | :せん) | | | | | | |
| + <u>ス</u> テータス | | | | | | | |
| | | | | | | | |

このようなフィールドには、HP Project Managementの使用を開始する前にセットアップや変更を行う必要はありませんが、変更したい場合は、ビジネスニーズに合わせて次のようにカスタマイズできます。

• 個々のフィールド名と値は変更可能です。

フィールド自体は、「プロジェクトプロセスの設定」で説明するワークフローによって決まるプロジェクトプロセスの段階に応じて非表示、表示、または読み取り専用に設定可能です。

フィールドおよびフィールドとワークフローとの相互関係は、PPM Workbench で変更可能なリクエストタイプによって収容、定義されています。

リクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

プロジェクトプロセスの設定

プロジェクトプロセスは、PPM Centerのワークフローによって決まります。こ のワークフローは、HP Project Management ですぐに使えるベストプラクティ スコンテンツとして提供されますが、変更したい場合は、組織のプロジェク ト実行プロセスに合うようにカスタマイズできます。ワークフローの各ス テップも、[プロジェクトの概要]ページの [プロジェクトの詳細] タブのフィー ルドと連動するように、表示または編集可に設定可能です。

リクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

プロジェクトコントロールプロセス

HP Project Managementは、HP Demand Managementからのリクエストに応じて、 プロジェクトの実施中に送信、管理できる特別のプロジェクトコントロール アイテムを備えています。

- 問題は、特定のプロジェクトに対して要注意問題として提起できます。
- リスクは、プロジェクトの実行の妨げとなり得るリスクが目立つように提 起できます。
- 範囲の変更は、プロジェクトの範囲を調整する場合にリクエストできます。

| べて展開する」すべて折りたたむ | | | |
|---|------------|---------------------|----------------|
| - サマリ | | | |
| スコープ変更ステータス: | | | |
| 未送信 | | | |
| 作成者: | アサイン先: | | |
| Admin User | | <u> 2</u> 🖂 | |
| ・プロジェクト: | | | |
| 历4 | CD L and a | | |
| · [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] | | | ノネス インハットの重要点: |
| *設明: | | | |
| | | | |
| ■ フコーブ恋雨の詳細 | | | |
| アサイン生ましーフ | | 実生日通日・ | |
| | | | R ^O |
| | | | |
| | | | ^ |
| | | | ~ |
| 提案された変更のペネフィット: | | | |
| | | | |
| | | | 0 |
| 1F** * | | | |
| | | | |
| | | | \bigcirc |
| へいえり チェントス チョット・ | | | |
| イノハクトを受ける成果物のリスト: | | | |
| | | | 0 |
| | | | * |
| 12/12/14/97/02 | | | |
| | | | Ô |
| | | | * |
| 財務上のインパクト: | | スケジュール上のインパクト (日数): | |
| | | | |
| - XE | | | |
| + メモの追加 | | | |
| | | | |
| + 参照 | | | |

新規ブロジェクトのスコープ変更リクエストの作成

これらのリクエストは、送信後、独自のワークフローに従って解決されます。 個々のリクエストタイプは、すぐに使えるベストプラクティスコンテンツと して提供されますが、変更したい場合は、プロジェクトコントロールプロセ スに合うようにカスタマイズできます。ビジネスニーズに合わせて変更可能 なプロジェクトコントロールリクエストの要素を次に示します。

- 個々のフィールドと使用可能な値は変更可能です。
- フィールド自体は、ワークフローの段階に応じて非表示、表示、または読み取り専用に設定可能です。
- ワークフローは変更可能です。

プロジェクトコントロールリクエストタイプおよびワークフロー設定の詳細 については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

プロジェクトタイプのセットアップ

すべてのプロジェクトは、プロジェクトタイプから作成します。プロジェク トタイプは、新規プロジェクトの管理に使用するビジネスルールを適用する かどうかの指定に使用します。プロジェクトタイプには、プロジェクト管理 用の異なる要素に対する、次のようなポリシーが含まれます。

- 収集する実績のタイプ
- プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用するかどうか
- プロジェクト内の作業計画の有無

プロジェクトタイプとポリシーは、プロジェクトの作成を始める前にセット アップしておいてください。プロジェクトタイプの設定の詳細については、 第3章「プロジェクトタイプの設定」(33ページ)を参照してください。

アクティビティのセットアップ

アクティビティは、プロジェクト作業計画のタスクに関連付けることができ るシンプルな設定エンティティです。資本計上と表示されたアクティビティ が、このSOP (Statement of Position) 98-1トラッキング用のキャパシティでは使 用され、プロジェクトが資本計上をサポートする場合は関連タスクのコスト が資本金として分類されます。SOP 98-1トラッキングをアクティブにしない 場合でも、アクティビティは、分類ツールとしてタスクに関連付けることが でき、関連コストは事業費とみなされます。

SOP 98-1 トラッキングに興味がない場合や、タスクカテゴリをこれほどきめ 細かくトラッキングしたくない場合は、アクティビティの設定やタスクとの 関連付けは不要です。HP Project Managementは、一般的な SOP 98-1 カテゴリ に対応するアクティビティが事前に定義されており、このカテゴリをタスク に使用するように設定できます。

アクティビティおよびアクティビティ動作の設定の詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

HP Time Management との統合セットアップ

HP Time Management では、HP Project Management との併用により、タイムシートを使って時間と工数の実績を詳細に入力できます。タイムシートは、独自の認証者と認証プロセスを備えており、さらにきめ細かいコストレポートに使用できます。

HP Time Management との統合セットアップの大半はプロジェクトタイプレベルで行われますが、プロジェクト関連の作業アクティビティのレポートにHP Time Management を使用する前に、各リソースに適切な権限と委任権が HP Time Management で設定されていることを確認してください。詳細については、『HP Time Management ユーザーガイド』および『HP Time Management Configuration Guide』を参照してください。

設定タスクの一部は、HP Project Management でHP Time Managementを使用する前に完了しておく必要があります。該当する設定タスクを次に示します。

- HP Time Managementを使ってプロジェクトの実績を更新するユーザに適切なライセンスとアクセス権があることを確認する
- ユーザが送信するタイムシートを承認する適切なアクセス権がプロジェクトマネージャにあることを確認する
- 各プロジェクトについて、HP Time Management との統合が正しく設定され ていることを確認する

HP Time Management との統合の詳細については、第 11 章「HP Time Management との統合」(337ページ)を参照してください。

Microsoft Projectとの統合セットアップ

HP Project Managementは、Microsoft Project との統合が可能なため、いずれの アプリケーションでも作業計画を作成し、スケジューリング情報と実績情報 を互いに同期させることができます。たとえば、Microsoft Project での作業計 画の作成の方が慣れている一方で、HP Project Managementのプロジェクト参 加者機能(マイタスクポートレットなど)を利用したい場合、Microsoft Project で作業計画を作成してからHP Project Managementに送ることができます。

 一部のタスクは、Microsoft Project でHP Project Managementを併用する前に完 了しておく必要があります。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

Microsoft Project との統合の詳細については、第3章「プロジェクトタイプの 設定」(33ページ)を参照してください。

タスクユーザデータのセットアップ

タスクユーザデータは、個々のタスクとの関連付けを作業計画上で行えるカ スタムフィールドです。作業計画にタスクのカスタムフィールドが必要ない 場合、タスクユーザデータの設定は不要です。

タスクユーザデータのセットアップの詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

第3章 プロジェクトタイプの設定

プロジェクトタイプの設定の概要

この章では、プロジェクトタイプとプロジェクトポリシーについて、またその作成方法や修正方法について説明します。

プロジェクトタイプ

各プロジェクトは、作成時にプロジェクトタイプと関連付けられます。プロ ジェクトタイプは、新規プロジェクトの管理に使用するビジネスルール、つ まり**プロジェクトポリシー**を適用するかどうかの指定に使用します。HP Project Managementにはインストール時にエンタープライズプロジェクトタイ プが設定されますが、HP Project Management でプロジェクトを作成するには、 プロジェクトタイプを少なくとも1つ作成しておく必要があります。

各プロジェクトタイプに所有者を定義できるため、そのプロジェクトタイプ を変更できるユーザを決めることができます。これは、1つのビジネスで複数 の組織が独自のプロジェクトタイプを保持する場合に有用です。また、特定 のプロジェクトタイプを使ってプロジェクトを作成できるユーザを限定する こともできます。プロジェクトタイプはコピーできます。また、プロジェク トタイプは無効にもできますが、そのプロジェクトタイプを現在使用してい るプロジェクトに影響を与えることはありません。

プロジェクトポリシー

プロジェクトタイプには、プロジェクトの次の点についてのポリシーが設定 されています。

- 各ヘルス色のしきい値のほか、プロジェクトについてトラッキングするヘルスメトリクスの種類
- プロジェクトのセキュリティと監査の制御
- [プロジェクトの詳細] タブのフィールドを定義し、プロジェクトプロセスを 推進させるリクエストタイプ
- コストとアーンドバリュー違反を示すインジケータの計算に使用するコ ストの例外ルール
- プロジェクト内の作業計画の有無
- 収集する実績のタイプ
- 作業計画のスケジューリングを管理するルール
- スケジューリングの問題を示すインジケータの計算に使用するスケ ジュールの[例外ルール]
- プロジェクトに対してビルトインプロジェクトコストまたはHP Time Managementを使用するかどうか
- Microsoft Project との統合用設定
- プロジェクトに使用するリソースの作業負荷としてカウントされるアイ テムを決める設定
- Service Managerの変更リクエスト (RFC) を作成する機能

プロジェクトタイプとポリシーによりプロジェクトの設定が決まります。

プロジェクトポリシーの適用

個々のポリシーについて、プロジェクトタイプを使用しているプロジェクト の関連設定を変更できるかどうかは、プロジェクトタイプによって決まりま す。オーバライド可能なプロジェクトタイプを使ったプロジェクトの作成時 には、そのプロジェクトに関する設定を必要に応じて変更できます。 たとえば、「Alpha Project」というプロジェクトタイプが「Company A」に作 成されているとします。「Alpha Project」には、オーバライド可能な**コストとエ** 数ポリシーが設定されています。管理者は、「Alpha Project」タイプを使った プロジェクトを作成し、プロジェクトの当面のニーズに合わせて**コストと工数** 設定を変更できます。他の設定は、オーバライド可能ではないため変更でき ません。

すでに進行中のプロジェクトのプロジェクトタイプポリシーやオーバライド ステータスを変更すると、次のような結果になります。

- オーバライド可能なポリシーをオーバライド不可に変更すると、設定変更 が事前に行われていた場合は、進行中のプロジェクトのポリシーの設定が 新しいポリシーと一致するように変更されます。
- オーバライド不可のポリシーをオーバライド可能なポリシーに変更して
 も、進行中のプロジェクトには何の影響も与えません。
- オーバライド不可のポリシーの内容を変更すると、進行中のプロジェクトの設定が新しいポリシーと一致するように変更されます。
- オーバライド可能なポリシーの内容を変更しても、進行中のプロジェクト には何の影響も与えません。

プロジェクトタイプの変更によってデータの再計算が必要となる場合(例外 しきい値の変更など)は、計算が延期されます。

プロパゲートしないポリシーの変更

ポリシーの中には、オーバライド不可に設定されていても既存プロジェクト に変更内容をプロパゲートしないものがあります。次のポリシーがそれに当 たります。

- プロジェクトフィールド
- コストと工数
- Microsoft Project 統合
- 作業計画テンプレート(変更内容がプロパゲートされず、既存の作業計画 も変更されません)

プロパゲートしないプロジェクトタイプポリシーを変更する場合は、次に大まかに示す一般的な手順に従って変更します。

- 1. システムのアクティビティが少ない時間を特定します。
- 2. プロジェクトタイプ上でプロジェクトポリシーのロックを解除します。
- 3. 既存のプロジェクトを開き、変更可能な設定をそれぞれ修正します。
- 4. プロジェクトタイプ上でプロジェクトポリシーをロックします。

プロジェクトタイプの使い方

プロジェクトタイプを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[作成]>[管理]>[プロジェクトタイプ]を選択します。
 [プロジェクトタイプの作成]ページが開きます。
- 3. [**プロジェクトタイプ名**]と、オプションで[説明]に入力します。
- 4. 「プロジェクトポリシーの設定」の説明に従って、任意のプロジェクトポ リシーを設定します。
- 5. [**作成**] をクリックします。

プロジェクトポリシーの設定

プロジェクトポリシーは、関連エリアごとにグループ化されています。これ らのポリシーは、それぞれが属するプロジェクトタイプから作成されたプロ ジェクトの設定内容になります。

プロジェクトポリシーを設定するには、編集するポリシーに対応するボタン をクリックし、必要な変更を加えてから[保存]をクリックします。
プロジェクトフィールド

プロジェクトフィールドポリシーでは、作業計画でトラッキングするフィール ドが決まります。フィールドの横のチェックボックスまたはオプションを選 択すると、フィールドが有効になります。プロジェクトフィールドポリシーの 一部のフィールドは、HP Project Management の機能を利用するためには必須 で、有効にしておきます。

図 3-1. プロジェクトフィールドポリシー

| プロジェクト フィールド |
|---|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 💿 👔 🗤 🔿 🗤 🕫 |
| 一部のフィールドは、Project Management が使用する必要があるため常に有効です。 |
| スケジュール フィールド |
| ここで有効にしたフィールドは、作業計画で入力および表示が可能しなります。スケジュールされた工数フィールドは、コストと工数ポリシ ーによって有効または無効に設定されます。 |
| → スケジュールされた開始日 |
| ✓ スケジュールされた終了日 |
| ↓ スケジュールされた期間 |
| ■ スケジュールされた工数(コストと工数ポリシーによる制御) |
| 実体コィールド |
| 実施フィールドは、作業計画の実行の進捗状況をトラッキングします。ここで有効にしたフィールドは、作業計画で入力および表示が可能 しております。工験フィールドは、コストと工数ポリシーによって有効または悪効に設定されます。 |
| ✓ 達成率 (%) |
| ✓ 実際の開始日 |
| ↓ 実際の終了日 |
| ▶ 実際の期間(常にシステムによる計算) |
| ▶ 実績工数(コストと工数ポリシーによる制御) |
| ■ 見積もり残存工数 (コストと工数ボリシーによる制御) |
| □ 予想終了日 |
| 追加のフィールド |
| ■ サービス (サービスのカテゴリ化に使用) ■ が必要です |
| ▼ アクティビティ (タスクのカテゴリ)化に使用され、資本化に推奨) |
| ▶ ロール (リソースのカテゴリ化に使用され、作業負荷とプロジェクトスタッフィングに推奨) |
| マイルストーン表示 |
| プロジェクトの概要ページのマイルストーン タイルに表示するマイルストーンを制御できます。マイルストーンは、タスク編集ページで主要 なマイルストーンとして特定されます。 |
| □ 主要なマイルストーンのみ表示 |

プロジェクトフィールドポリシーで決まるフィールドを表 3-1に示します。

| 表 3-1. | プロジェク | トフィール | レドポリ | シー | (1/2ペー | -ジ) |
|--------|-------|-------|------|----|--------|-----|

| フィールド名 | 説明 | |
|---------------------|------------------|--|
| [スケジュールフィールド] セクション | | |
| スケジュールされた 開始日 | スケジュールされたタスクの開始日 | |
| スケジュールされた 終了日 | スケジュールされたタスクの終了日 | |
| スケジュールされた期間 | スケジュールされたタスクの期間 | |

表 3-1. プロジェクトフィールドポリシー (2/2ページ)

| フィールド名 | 説明 | |
|--------------------|--|--|
| スケジュールされた工数 | スケジュールされた工数をタスク単位に指定できます。こ のフィールドは、コストと工数ポリシーによって決まり ます。 | |
| [実績フィールド] セク | ション | |
| 達成率 (%) | すでに完了したタスクの割合 | |
| 実際の開始日 | タスクの作業が実際に開始した日付 | |
| 実際の終了日 | タスクの作業が実際に終了した日付 | |
| 実際の期間 | 実際の開始日と終了日から算出された実際のタスク期間 | |
| 実績工数 | 各タスクの実績工数値を指定できます。このフィールド は、 コストと工数 ポリシーによって決まります。 | |
| 見積もり残存工数 | 各タスクの見積もり残存工数値を指定できます。この フィールドは、コストと工数ポリシーによって決まり ます。 | |
| 予想終了日 | 各タスクの予想終了日を指定できます。 | |
| [追加のフィールド] セ | | |
| サービス | タスクのビジネスサービスのトラッキング、カテゴリ化、 および分析が行えます。このフィールドは、[サービス] と [PFM プロジェクト] フィールドグループを有効化しない と使用できません。 | |
| が必要です | [サービス] フィールドを必須フィールドにできます。 | |
| アクティビティ | タスクにアクティビティを割り当てます。主に SOP 98-7 トラッキングに使用します。 | |
| ロール | 各タスクのロールを指定できます。 | |
| [マイルストーン表示]・ | セクション | |
| 主要なマイルストーン のみ表示 | [プロジェクトの概要] ページに表示される「主要なマイル ストーン」としてタスクを識別させることができます。 | |

作業計画

作業計画ポリシーでは、プロジェクトでの作業計画の有無、作業計画にアクセ スできるユーザ、および実績を確認できるユーザを指定できるほか、プロジェ クトタイプに使用する特定の作業計画テンプレートの提案や適用が行えます。

図 3-2. 作業計画ポリシー

| 作業計画 | | |
|---|--|--|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 💿 しはい 〇 しいえ | | |
| ☑ このブロジェクトロは作業計画は含まれない | | |
| 作業計画にアクセス可能なユーザ: | | |
| ◎ すべてのユーザ | | |
| ○ ブロジェクト マネージャ、サマリ タスクのオーナー、および利害関係者 | | |
| ○ ブロジェクト マネージャのみ | | |
| 🥅 作業計画で制限されたリソースは、 はスクの詳細」 ページの実績のみ表示できます。 | | |
| 作業計画テンプルート | | |
| 10本語ロシノング 新規作業計画を作成する際に使用するデフォルトの作業計画テンプレートを選択してください。ここで選択した作業計画テンプレートは、ユ ー切に対し、プロジェクトの作業計画を作成する際のガイダンスを提供します。このポリシーを適用すると、新規プロジェクト作業計画はこ のテンプレートからしからしたできなくなります。この設定への変更は、ポリシーを適用した場合も、既存のプロジェクト作業計画は非常優し ません。 | | |
| 作業計画テンプレート: | | |

作業計画のアクセス

作業計画と実績を確認できるユーザは、表 3-2に示す作業計画ポリシー設定を 使って[タスクの詳細]ページで制限できます。



プロジェクトマネージャは、常に作業計画にアクセスして実績を確認できます。プロジェクト マネージャによる作業計画と実績のアクセスや確認を制限することはできません。

ユーザは常に自分の実績を確認できます。ただし、確認できる実績が自分の実績のみに制限さ れている場合があります。

| フィールド名 | 説明 |
|--|--|
| 作業計画にアクセス可能なユーザ | 作業計画にアクセスできるユーザを制限します。 ・ すべてのユーザ : デフォルト。すべてのPPM Center ユーザが作業計画を確認できます。 ・ プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナ、お よび利害関係者。 : プロジェクトマネージャ、サマリ タスクのオーナ、または利害関係者のみが作業計画 を確認できます。 ・ プロジェクトマネージャのみ : プロジェクトマネー ジャのみが作業計画を確認できます。 |
| 作業計画で制限されたリソース は、[タスクの詳細] ページで自身 の実績のみ閲覧可能 | [タスクの詳細] ページで自分の実績しか確認できない ようにユーザを制限する設定を有効にします。有効時 は、ユーザの実績が「 制限付き 」と表示されます。無 効時は、他のユーザの実績を確認できます。 |

表 3-2. 作業計画ポリシー: 作業計画と実績のアクセス設定

表 3-3に、アクセスや確認が行える PPM Center ユーザ (エンドユーザ、サマリ タスクのオーナ/利害関係者、またはプロジェクトマネージャ)を選択された 設定ごとに示します。

| 表 3-3. 作業計画と実績のユーザアクセス(1 | 1/2ページ |) |
|--------------------------|--------|---|
|--------------------------|--------|---|

| 選択された設定 | | ユーザが行えること | | |
|--------------------------|---|---------------|---------------------------------|--|
| 作業計画にアクセ ス可能なユーザ | 作業計画で制 限されたリ ソースは、[タ スクの詳細] ページで自身 の実績のみ閲 覧可能 | 作業計画の アクセス | [タスクの詳細] ページ における他の実績の 確認 | |
| ユーザ: エンドユーザ ^a | | | | |
| すべてのユーザ | 該当なし | 可 | 可 | |
| プロジェクトマネー | | 不可 | 可 | |
| ンャ、サマリタスクの オーナ、利害関係者 | × | 不可 | 不可 | |

х

不可

不可

可

不可

プロジェクトマネー

ジャのみ

| 選択された設定 | | ユーザが行えるこ | <u>- と</u> |
|---------------------|---|---------------|---------------------------------|
| 作業計画にアクセ ス可能なユーザ | 作業計画で制 限されたリ ソースは、[タ スクの詳細] ページで自身 の実績のみ閲 覧可能 | 作業計画の アクセス | [タスクの詳細] ページ における他の実績の 確認 |

ユーザ: サマリタスクのオーナまたは利害関係者

| すべてのユーザ | 該当なし | 可 | 可 |
|-------------------------|------|----|-----------------|
| プロジェクトマネー | | 可 | 可 |
| ジャ、サマリタスクの オーナ、利害関係者 | × | 可 | 可 |
| プロジェクトマネー | | 不可 | 可 |
| ジャのみ | × | 不可 | 不可 ^b |

ユーザ: プロジェクトマネージャ

| すべてのユーザ | 該当なし | 可 | 可 |
|-------------------------|------|---|---|
| プロジェクトマネー | | 可 | 可 |
| ジャ、サマリタスクの オーナ、利害関係者 | × | 可 | 可 |
| プロジェクトマネー ジャのみ | | 可 | 可 |
| | × | 可 | 可 |

a. エンドユーザは、サマリタスクのオーナ、利害関係者、プロジェクトマネージャ以外のすべてのPPM Centerユーザ です。

b. サマリタスクのオーナまたは利害関係者は、所有権が自分にない限り、下位タスクの実績を見ることはできません。

たとえば、プロジェクトの作業計画ポリシーの[作業計画にアクセス可能なユー ザ]フィールドに[プロジェクトマネージャのみ]が設定されていて、[作業計画で 制限されたリソースは、[タスクの詳細]ページで自身の実績のみ閲覧可能]フィール ドが有効になっている場合、PPM Center にログオン済みでプロジェクトにア クセスできるサマリタスクのオーナは、作業計画にはアクセスできません。サ マリタスクのオーナは[プロジェクトの詳細]ページで自分の実績は確認でき ますが、他人の実績を見ることはできません。 作業計画テンプレート

作業計画テンプレートとオーバライド動作を次に示します。

- [作業計画テンプレート]フィールドで作業計画テンプレートを指定し、ポリシーをオーバライド不可に設定すると、このプロジェクトタイプから作成されたプロジェクトでは、この作業計画テンプレートに基づいた作業計画しか作成できません。また、デフォルトの作業計画テンプレートは変更できません。
- [作業計画テンプレート]フィールドで作業計画テンプレートを指定し、ポリシーをオーバライド可能に設定すると、このプロジェクトタイプから作成されたプロジェクトの管理者は、デフォルトテンプレートや別のテンプレートを使って、あるいは手動で設定して作業計画を作成できます。
- 作業計画テンプレートを指定しないと、ポリシーはデフォルトでオーバラ イド可能に設定されます。特定の作業計画テンプレートを必要としないプ ロジェクトタイプには、作業計画テンプレートを指定しません。

作業計画テンプレートの詳細については、第9章「作業計画テンプレートの 使用」(223ページ)を参照してください。

リクエストタイプ

リクエストタイプポリシーでは、次のアイテムを指定します。

 [プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトの詳細]タブに表示するフィー ルドを決めるリクエストタイプ。このリクエストタイプは、プロジェクト プロセス全体を推進させるワークフローとも関連付けられています。この アイテムは必須です。

HP Portfolio Management がインストールされている場合は、このリクエス トタイプは、ポートフォリオ内のプロジェクトも表します。詳細について は、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。

- プロジェクトの問題のレポートや解決に使用するリクエストタイプ(暗示的に関連ワークフローも同様)。
- プロジェクトのリスクのレポートや解決に使用するリクエストタイプ(暗示的に関連ワークフローも同様)。
- プロジェクト範囲の変更のレポートや解決に使用するリクエストタイプ(暗示的に関連ワークフローも同様)

図 3-3. リクエストタイプポリシー

| リクエスト タイプ | |
|--|---|
| このポリシーは、このプロジェクトに関連付け クエスト タイブは、ブロジェクトのブロセス全f リクエスト タイブ (およびワークフロー) を特定 用するリクエストも作成されます。Portfolio Ma 特定するために Portfolio Management によう ロセス リクエスト タイブは、ブロジェクトを作知 *プロジェクト プロセス リクエスト タイプ: | られたリクエスト タイブを特定します。ブロジェクト ブロセス リ なおよびブロジェクトレベルのデータ フィールドをモデル化する 足します。プロジェクトを作成すると、このリクエスト タイブを使 inagement を使用している場合、このリクエストはプロジェクトを で使用されます。プロジェクトに関連付けられたプロジェクト ブ 成した後には変更することはできません。 |
| │ │ ブロジェクト コントロール プロセスに使用する │ ブは、プロジェクトの概要ページから問題、リ | 5リクエスト タイプを特定します。ここで指定したリクエスト タイ スク、スコープ変更を作成する際に使用されます。 |
| 問題リクエスト タイブ: | |
| リスク リクエスト タイプ: | |
| スコープ変更リクエスト タイプ: | |

スケジューリング

スケジューリングポリシーでは、作業計画のスケジューリングを管理する、次のようなオプションを指定します。

- 作業計画を開始するデフォルトの開始日
- リソースの依存関係
- クリティカルパスのしきい値
- スケジューリング警告ルール

図 3-4. スケジューリングポリシー

| スケジューリング |
|---|
| スケジューリング設定は、作業計画をスケジュールするためにスケジューラが既存のデータを解釈する方法を制御します。 |
| 作業計画スケジューラを実行すると、作業計画スケジューラは、作業計画で定義されている制限と依存関係を考慮して、開始日から開始さ れるようにプロジェクトをスケジュールします。スケジュールの開始日となるデフォルトの日付を指定できます。 |
| 必要に応じて、プロジェクトをスケジュールするときに任意の実際の開始日と終了日を考慮し、これらの日付に基づいてプロジェクト作業を 再調整するようにスケジューラを設定することができます。 |
| デフォルトの開始日: |
| ▶ 可能であれば実際の開始日と実際の終了日を使用する |
| 次の場合に、スケジュールに日を含める: |
| ◎ すべてのリソースが使用できる |
| ○ 1つ以上のリソースが使用できる |
| ○ カレンダー内のすべての就業日を含めるルソースの可用性は無視する)。 |
| クリティカル バスのしきい値: 0 日 |
| スケジュール警告ルール |
| スアジュール響きは、作業計画内の構造的は問題または不整合を特定します。これらの警告は、作業計画がスケジュールされた後にその 作業計画のスケジュールは静心に対する変更が保存された場合に、作業計画内で表示されます。作業計画内での表示の構成オブション経 曲の警告の表示を有効にします。 |
| |
| - この警告は、作業計画の日付がプロジェクトの計画開始期間または計画終了期間を超えると表示されます。また、この警告は、タスク に対して定義されている制限がプロジェクトの計画開始期間または計画終了期間の範囲以外であると表示されます。 |
| ▼ 依存関係の競合 |
| これらの警告は、タスクに対して定義された先行タスクの依存関係が他の制限やタスク情報によって効乎られたために受け入れられな かった場合に表示されます。 |
| ☑ 制限の継承の競合 |
| これらの警告は、タスクに定義されている制限とその上位タスクに定義されている制限との間に直接的な競合があり、どちらか一方のタ スクに定義されている制限を満たすことしかできない場合に表示されます。両方に関連するタスクがマークされます。 |
| ☑ リソースをスケジュールできませんでした |
| スケジューラは、アサインされたリソースがタスクをスケジュールするのに十分な就業日数を特定できませんでした。この警告は、スケ ジューラを実行したときのみ評価されます。 |
| タスク制限を満たすことができませんでした この警告は、タスクに定義されている制限がその他の競合情報が優先されるために受け入れられなかった場合に表示されます。 |
| □ タスクに対する工数がしきい値を超えています |
| 許容範囲: 66 |
| |
| ています。合計工数に対して、スケジュールされた工数より大幅な増加(成少)が必要であることが判明したために、タスクがアサインさ れた担当者によって見積もり残存工数が更新されたか、あるいは実得工数が合計工数と調整されることなく増減が実施されたかです。 |

タスク開始がスケジュールされているデフォルトの開始日は、スケジューリン グポリシーのこの部分で決まります。この設定は、ポリシー設定がオーバラ イド不可かどうかに関係なく、各プロジェクトに対して行います。計画プロ セス中に何が起こっても必ず作業計画を開始する日付の設定に使用します。

既存のタスクを実際に開始した日と終了した日をスケジュールの再設定時に スケジューラに考慮させるかどうかも、ポリシーで決定します。デフォルト では、実際の日付を考慮させることになっています。

たとえば、作業計画が「アクティブ」になると、タスクには「進行中」と表示されます。タスクに「進行中」と表示された場合は、そのタスクには実際の開始日が指定されています。スケジューリングでプロジェクトが実際の開始日と終了日を使用するように設定されている場合は、実際の開始日に開始 するように「**進行中**」のタスクが移動されます。

リソースの依存関係

すべてのビジネスイニシアチブには、いくつかのリソースが最低でも必要で、通常は利用可能な人材という形式のリソースが必要です。HP Project Management では、営業日にリソースが必ずアサインされるよう、チェックが行われます。 作業計画スケジュールの作成時には、リソース要件を考慮するように [次の場合に、スケジュールに日を含める] オプションを設定できます。たとえば、プロ ジェクトがリソースの可用性を無視してスケジュールするように、スケジュー リングポリシーで設定することも可能です。

デフォルト設定では、どの日にもリソースがすべて必要になるよう設定されています。作業計画のスケジュール作成時、HP Project Managementは、すべてのリソースがそろっている日のみ考慮の対象とします。

クリティカルパスのしきい値

作業計画のクリティカルパスとは、プロジェクトの期間を決める一連のタス クのことです。クリティカルパスのしきい値は、タスクをクリティカルパスの一 部として特定するためのしきい値として指定された余裕期間(プロジェクト を遅らせることなくタスクの開始を遅延できる時間)の長さです。余裕期間が この値以下のタスクが、クリティカルパス上にあることになります。しきい 値を使用すると、プロジェクトマネージャは、作業計画の管理で認められる リスクの程度を決めることできます。

スケジュール警告ルール

作業計画のスケジュール時には、プロジェクトマネージャに対する潜在的な 構造問題の警告に使用するスケジュール警告ルールを選択できます。スケ ジュール警告はタスクデータの保存時に必ず計算されるため、スケジューラ なしでも使用できます。



HP Project Managementは、ユーザが選択したスケジュール警告に基づいた警告のみ発します。

許容範囲

許容範囲は、リソースが(タスクの実績を更新することで)見積もり残存工数 に影響を与え、全工数とスケジュールされた工数が大幅に異なる結果となる かどうかを決めるのに使用します。この警告を受けて、プロジェクトマネー ジャはスケジュールまたはリソース割り当てを調整する必要に迫られる場合 があります。

許容範囲とは、スケジュールされた工数と全工数(実績工数と見積もり残存工数の和)の差をスケジュールされた工数の割合で表したもので、次の計算式で 算出されます。((SE - (AE + ERE))/(SE))×100。スケジュールされた工数と 全工数の差が、このしきい値より大きいと、警告インジケータが作業計画の スケジュール警告列に追加されます。

値が指定されている場合、計画した工数と全工数の差が指定した許容範囲以 上にならなければ、警告はクリアされます。値が指定されていない場合は、警 告の計算は行われず、既存の警告がクリアされます。

この値は、整数値で指定します。

スケジュールのヘルス

スケジュールのヘルスポリシーでは、プロジェクトで有効な例外ルールのほか、 プロジェクトのスケジュールのヘルスインジケータが決まります。

図 3-5. スケジュールのヘルスポリシー



スケジュールのヘルスインジケータ

プロジェクトのスケジュールのヘルスインジケータは、作業計画のヘルスを 単に色で示すインジケータです。スケジュールのヘルスインジケータは、作 業計画が「**アクティブ**」のときのみプロジェクトに付与され、作業計画が完了 するか、「**保留中**」になると消滅します。プロジェクトのスケジュールのヘル スインジケータの色は最初は緑色で、作業計画のヘルスに関与していると特 定されたタスクが例外をトリガした割合によって、黄色や赤色に変化します (完了済みのタスクは無視されます)。この割合は、このポリシーで設定しま す。プロジェクトのスケジュールのヘルスインジケータは、プロジェクトが 保存されるまで計算されません。 スケジュールのヘルスインジケータは、例外タスクの数/タスクの合計数として計算されます。たとえば、黄色のしきい値を30%に設定するスケジュールの [例外ルール]ポリシーを持つプロジェクトタイプでプロジェクトが作成されているとします。

- 合計10個のタスクから構成される作業計画の中の4つのタスクで例外が発生すると、そのプロジェクトに対して計算されるスケジュールのヘルス値は4/10(40%)になります。その結果、スケジュールのヘルスインジケータは黄色に変わり、最低2個のタスクが改訂されて例外をトリガしなくなる(開始日の変更、リソースの修正、またはタスクの開始で実現できます)まで、黄色のままになります。例外がなくなると、スケジュールのヘルスインジケータが緑色に変わります。
- 合計10個のタスクから構成される作業計画の中の1つのタスクで4つの例 外が発生すると、そのプロジェクトに対して計算されるスケジュールのへ ルス値は1/10(10%)になります。その結果、スケジュールのヘルスインジ ケータは緑色のままです。

スケジュールの [例外ルール]

プロジェクトは、事前定義された例外ルールを一式備えています。スケジュー ルのヘルスポリシーでは、例外ルールのトリガに必要な基準のほか、有効にす る例外ルールを指定します。前述のとおり、このポリシーでは、プロジェク トのスケジュールのヘルスを単に色で示すインジケータである、スケジュー ルのヘルスインジケータも設定できます。スケジュールのヘルスインジケー タは、トリガされたスケジュール例外を監視し、ポリシーに従って表示色を 変更します。

これは、ハイリスクのプロジェクトを管理するのに良い方法です。たとえば、 エラーに対する余裕が少ないプロジェクトタイプでは、スケジュールのヘル スインジケータを赤色に変更する例外のタスク割合が20になるようにポリ シーを設定すると、早い段階で明確に問題を警告できます。

スケジュールのヘルスポリシーでは、プロジェクトのスケジューリングと実行 に関する例外ルールが決まります。

大半の例外ルールに設定できるパラメータを次に示します。

 有効:特定の例外ルールを有効にするかどうかをプロジェクトマネージャ が決定します。

- ルール(日数):特定の例外ルールが待機または監視する日数を指定します。
- ヘルスに含める:特定の例外ルール違反をスケジュールのヘルスインジケータ(「スケジュールのヘルスインジケータ」参照)に含めるかどうかを決定します。

ポリシー内の各例外ルールは、個別に設定可能です。

コストと工数

コストと工数ポリシーでは、作業計画、スタッフィングプロファイル、財務サ マリ、およびタイムシートなどがあった場合にプロジェクトのエンティティ 間でどのように情報を受け渡すかなど、プロジェクトに関するコスト、工数、 および作業負荷の管理方法が決まります。プロジェクトについて財務情報を トラッキングするかどうかのほか、実績の取得方法やコストの計算方法が、こ のポリシーで決まります。実績の取得用にHP Time Management がインストー ルされている場合、プロジェクトタイプに関する HP Time Management 設定は、 このポリシーで決まります。HP Time Management がインストールされていな い場合や使用しない場合は、HP Financial Management オプションを選択して設 定できます。

図 3-6. コストと工数ポリシー

| コストとエヨ | and the second se |
|---|---|
| プロジェクト | - マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 〇 jatu 〇 juluiえ |
| リソース | 負荷の設定 |
| 作業負荷力 | 17=10: |
| スタッフ スタッフ ージャー このオ: 常に入っ | なノダブロファイルは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す いイヴ ブロファイルは、プロジェクトに打する計画が業員内起して使用することをお勧めします。これにより、プロジェクトマ・ よ、リソースが利用されていないた少しの1週目を以て、プロジェクトを答うエーズで計画およびスグジュールできます。 ジェンマお、スタッフィング ブロファイルは計画リンース見前で周期のリソース見前の所方を表します。計画された負有は、 ジェブンでお、スタッフィング ブロファイルは計画リンース見前で周辺のリンース見前の所方を表します。計画された負有は、 |
| 接入刀 C ス: © ス: | できます。 タッフィング ブロファイルに直接実績を入力する タッフィング ブロファイル内で実績を表示する場合は、作業計画および Time Management からの実績情報を使用してくださ |
| Ð | のオブションを使用するいには、実績工数を作業計画上でトラッキングする必要があります。 |
| C 作業計 このオ: 作業計 | 画のタスク アサイノは、フロジェクトで課せられる作業負荷巻表す グッコルは、作業計画を完全に定義法なバスアジュールにしたどの分類明プロジェクトでのみ使用することをお勧めします。 画を作業負荷として使用するコは、スケジュールされた工動と実践工動を作業計画上でトラッキングする必要があります。 |
| 作業計画で | このスケジュールされた工数 |
| 計画中 計画ユ キング | はスクジュールされた工具を使用 ことを自動計算する場合、または作業計画がリソース作業負荷を表す場合は、作業計画でスケジュールされた工数のトラ: 予必要です。 |
| © ス O タ | ケジュールされた工数の自動計算 スクのアサインごとにスケジュールされた工数を手動で入力する |
| I € 1°E | 葉計画での工数計算モードのオーバーライドを許可する |
| 作業計画で | 5の実績工数 2 フロ・インドレー申注T Mましニットングオス |
| リソーフ 実績コン ソース(| くアンコイムロース%進止数ダビアフザインタう 入を自動計算すが最ら、The Management を使用して作業計画に対して実施をトラッキングする場合、または作業計画が 作業負荷を表す場合は、作業計画で実施工芸のトラッキングが必要です。 |
| このオ: に、連邦 要はあり | 蔵工設とともに基め年(も) 各入力するためのソレースが必要です かっ」必須取した後、リンースは、アサインされたタク、ダイムシート上またはその他の場所)の実施工能を入力するが 文年(6) にち。ロメ内の値を指定すると現形が引ます。このオジンコンを選択しない場合、リソースは進め年(も) を指定する はません。ゴロシェクト マネージンがは変化語でできます。 |
| ロ い Time Ma 存工数 | ノースアサイン ごとに見積むり焼存工試を トラッキングする Anagement 登使用えて、サマリ タスクまたはゴロジェクト レベルで作業計画にすれて実績をトラッキングする場合、見積もり のトラッキングはできません。実施を入りすると、このゴジュンの説所は解除できなくなります。 |
| Time Ma | anagement |
| Time Mar | 。 nagement を使用して、このブロジェクトに対して実績をトラッキングする |
| プロジェ あれば、 | クトに作業計画がある場合、組織でタイム シートを使用しており、リソースが 1つの場所で自分の実績データを入力可能で Time Management と統合できます。 |
| トラッ | キング対象となる時間: |
| 0 | 3メクレイル 留層レベルのサマリ タスク: 2 |
| • | プロジェクト レベル 見積も見残存工数をトラッキングしている場合は、利用できない |
| 以下 | こ対して、プロジェクト上の時間のレポートを可能にする: |
| 0 : | オロジェクト リソース なスクにアサインされたリソース、スタッフィング ブロファイル上のリソース、およびサマリ タスクのオーナーです。 マントローナーマーマーマー |
| 19 | リッインタイロシリンチ、 リースは、リッースがアサインされたタスクにされて、または、けマリ タスクまたはプロジェクト レベルで時間をトラッキング する場合は」プロジェクト 隠層でリソースの上位にあるサマリ タスクにされて、時間をログできます。 |
| | すべてのリソース ブロジェクトを参照できるすべてのリソースは、ブロジェクトに対して時間をログできます。 |
| 975 | 7が完了した後、時間をログできるようにする: |
| • [| 日以上 期間以上(タスクが完了している期間の場合、「OJを入力する) |
| 61 | 運時 海市にない、IPリーフはTIPリーフのタイムシートに完了にたタフクを追加することはできません。 |
| | |
| M | コクコウンジプドレイしてはつびれてい時間は、スロウンループロクロシェンドで表着による本部が必要: ● 参加グループ 「フロジェクトマネージャー】 ● セキュリティグループ |
| Financia | al Management |
| ☞ このプロ | ジェクト上で資産計上されたコスト想行します。 |
| □ 作業計画 | 画の Financial Management を有効にする |
| 作業 | 計画上の計画人件費は以下のようになります: |
| 0 | スケジュールされた工数とレートを基に自動計算される |
| 0 : | タスクに手動で入力され、 サマリ タスクにロール アップされる |
| 作業 | 計画上の実際の人件費は以下のようになります: |
| © 3 © 3 | 寒硬工鉄とレートを基に自動計算される りスクに手動で入力され、サマリ タスクにロール アップされる |
| 財務 | サマリのコスト |
| | スタッフィング プロファイルから予測人件費を計算します。 |
| E f | 『###T國と>1 ム >-トから、実際の人性質を計算します(作業計画用)こ Financial Management を有効にする必要があり |

リソース負荷の設定

HP Resource Management ではリソースの負荷と可用性が自動的に監視されて おり、プロジェクトタイプの作用負荷のトラッキング方法は、リソース負荷 の設定で決まります。

HP Resource Managementでは、プロジェクトにスタッフィングプロファイルを 添付し、リソースのデマンドと使用状況をトラッキングできます。選択でき るオプションを次に示します。

- スタッフィングプロファイルは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す:ス タッフィングプロファイルに手作業で実績を入力するか、作業計画または HP Time Managementからロールアップするかを選択できます。ロールアッ プを行うためには、「作業計画での実績工数」の説明に従って、実績工数 のトラッキングをこのポリシーで有効にしておく必要があります。スタッ フィングプロファイルの詳細については、『HP Resource Management ユー ザーガイド』を参照してください。
- 作業計画のタスクアサインは、プロジェクトで課せられる作業負荷を表す:この オプションを選択するためには、次の説明に従って、スケジュールされた 工数と実際の工数のトラッキングを作用計画で有効にしておく必要があ ります。

作業計画でのスケジュールされた工数

作業計画内の各タスクの遂行に必要なスケジュールされた工数のトラッキン グを行うかどうかを指定できます。この指定は、プロジェクトがタスクの計 画コストを自動的に計算するように設定([Financial Management]の下のコスト と工数ポリシーで設定)している場合や、作業計画のタスクアサインがリソー スの負荷を表すように設定([リソース負荷の設定]の下のコストと工数ポリ シーで設定)している場合には必須です。

[**計画中はスケジュールされた工数を使用**]を選択すると、工数計算をシステムで 自動的に行うか、手作業で行うかを選択できます。また、作業計画のタスク 単位で計算方法を変えることもできます。 プロジェクトの実施中にリソースアサインごとに実績工数のトラッキングを 行うかどうかを指定できます。この指定は、実績コストを自動で計算する場 合、HP Time Managementを使って作業計画の実績をトラッキングする場合、 または作業計画のタスクアサインでリソースの作業負荷を表す場合には必須 です。

[リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする]を選択すると、実績工数 が指定された (HP Time Management 使用時のタイムシートなど) 場合に [実績 工数とともに達成率 (%) を入力するためのリソースが必要] とするかどうかも選択 できます。リソースによる [達成率 (%)] への入力が必要ない場合は、プロジェ クトマネージャが達成率を後で指定できます。

[リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする]を選択すると、[リソース アサインごとに見積もり残存工数をトラッキングする]も選択できます。タスクレ ベル以外で時間のトラッキングを行っている場合、この設定はHP Time Managementとは共用できません。また、実績取得後の変更も行えません。

Time Management

このポリシーに対してHP Time Managementを有効にした場合は、表 3-4に示 すオプションの設定が必要です。

| フィールド名 | 説明 |
|--|--|
| Time Managementを使 用して、このプロジェ クトに対して実績をト ラッキングする | HP Time Managementのタイムシートを使った実績のトラッキン グが行えます。 |
| | タスク、サマリタスク、またはプロジェクトレベルで時間のトラッ キングを行うかどうかを指定します。 |
| トラッキング対象とな | トラッキングするサマリタスクの階層レベルを指定できます。 |
| る時間 | 実績のトラッキングにHP Time Managementを使用していて、見 積もり工数も取得している場合は、時間のトラッキングはタスク レベルでしか行えません。 |

表 3-4. コストと工数ポリシー: Time Managementの設定(1/2ページ)

表 3-4. コストとエ数ポリシー: Time Managementの設定(2/2ページ)

| フィールド名 | 説明 |
|---|--|
| 以下に対して、プロ ジェクト上の時間のレ ポートを可能にする | 時間のトラッキングを[プロジェクトリソース]で行うのか、[す べてのリソース]で行うのか、または[アサインされたリソー ス]のみで行うのかを指定します。 ・ プロジェクトリソース:作業計画のタスクにアサインされた リソース、またはスタッフィングプロファイルで表示されてい るリソースが、タスクの時間をログできます。 ・ アサインされたリソース:タスクにアサインされたリソース のみタスクの時間をログできます。 ・ すべてのリソース:プロジェクトを閲覧可能なすべてのリソー ス(利害関係者も含む)が、すべてのタスクの時間をログでき ます。 |
| タスクが完了した後、 時間をログできるよう にする | タスクの完了後に時間のログを可能にするかどうかを指定しま す。可能にする場合は、その期間も指定します。 |
| このプロジェクトに対 してログされた時間 は、次のグループのプ ロジェクト代表者によ る承認が必要 | プロジェクトに対してログされた時間を認証するユーザを、参加 グループまたは特定のセキュリティグループで指定します。 |

Financial Management

HP Financial Managementでは、選択した基準(有効にしたフィールドなど)に 従って、特定のコストを自動で計算させることができます。

- 作業計画の計画コストを自動で計算させるには、「作業計画でのスケジュールされた工数」(51ページ)で説明した[スケジュールされた工数] フィールドを最初に有効にしておく必要があります。
- 作業計画の実績コストを自動で計算させるには、「作業計画での実績工数」 (52ページ)で説明した[実績工数]フィールドを最初に有効にしておく必要があります。
- 計画人件費をスタッフィングプロファイルから自動で計算させるには、ス タッフィングプロファイルが必要です。

このポリシーに対してHP Financial Managementを有効にした場合は、表 3-5に 示すオプションの設定が必要です。

| フィールド名 | 説明 |
|--|--|
| | コストの資産計上トラッキングをプロジェクトで行い、各タスクに アサインされたアクティビティに従って、すべてのコストを資本金 または事業費として特定するかどうかを指定します。 この設定を変更すると、プロジェクトの関連する財務サマリに対す |
| | る資産計上トラッキングに影響を与えます。 資産計上情報のトラッキングは、PPM Serverで資産計上トラッキン |
| このプロジェクト上 で資産計上されたコ ストを許可する | グが有効な場合にのみ行えます。 提案で、(業務コストのほかに)資産計上されたコストを追跡するか どうかは、提案の[財務サマリの設定]ページのオプション[提案は、 資本コストを記録するプロジェクト用です]の設定によって決 まります。提案がプロジェクトになる場合、その設定が、プロジェ クトのコストと工数ポリシーの[このプロジェクト上で資産計上 されたコストを許可する]オプションと矛盾することがあります。 |
| | プロジェクトタイプのコストと工数ポリシーがロックされていると きにときに(つまり、そのタイプの個々のプロジェクトを、そのポリ シーの設定より優先させることができないときに)、資産計上コスト のトラッキングのポリシー設定が、提案の財務サマリの設定と矛盾 する場合は、コストと工数ポリシーの設定が優先されます。そうで ない場合、プロジェクトの資産計上コストを追跡するための設定は、 提案の設定と矛盾しません。 |
| | 照してください。 |
| 作業計画の Financial Management を有効 にする | HP Financial Managementを使って作業計画コストのトラッキング が行えます。 |

表 3-5. コストと工数ポリシー: Financial Managementの設定(1/2ページ)

表 3-5. コストと工数ポリシー: Financial Managementの設定(2/2ページ)

| フィールド名 | 説明 |
|---------------------------------|---|
| 作業計画上の計画人 件費は以下のように なります | スケジュールされた工数とレートを基に計画コストを自動で計算さ せるか、手作業で入力するかを指定します。 |
| 作業計画上の実際の 人件費は以下のよう になります | 実績工数とレートを基に実際の人件費を自動で計算させるか、手作 業で入力するかを指定します。 |
| 財務サマリのコスト | プロジェクトに関連する財務サマリにコストの値をロールアップす るかどうかを指定します。ロールアップの対象として、予測人件費、 人件費と非人件費、実際の人件費のみ(非人件費は手入力)、および コストデータなし(実績コストは手入力)のいずれかを選択できま す。非人件費をロールアップする場合は、人件費もロールアップす る必要があります。 |

これらのフィールドの詳細については、『HP Financial Managementユーザーガ イド』を参照してください。

コストとアーンドバリューヘルス

コストとアーンドバリューヘルスポリシーでは、プロジェクトに対してコストヘルスのトラッキングを行うかどうか、およびトラッキングを行う場合はヘルスの判定に使用するメトリクスが決まります。このポリシーは、コスト面から見たプロジェクトのヘルスを示すのに使用されます。プロジェクトのコストヘルスは、次のエリアについて計算されます。

- CPIが次の値より小さい場合: CPI (コストパフォーマンス指数) とは、実績コストに対するプロジェクトのアーンドバリュー (ベースラインコスト×達成率(%))のコスト効率のことで、アーンドバリュー / 実績コストという計算式で求められます。プロジェクトが良好な場合、CPI は1に近い数字で表されます。
- SPIが次の値より小さい場合: SPI (スケジュール業績指数)は、タスクまたは プロジェクトの完了予定と実際の完了の違いを数値で表したもので、アー ンドバリュー / 計画コストという計算式で求められます。プロジェクトが 良好な場合、SPIは1に近い数字で表されます。
- 過去数か月で、実績コストのレコードの計画に対する超過が次の値を超えた場合: これは、プロジェクトコストをレコードの計画と比較したもので、((実績 コストーレコードの計画)/レコードの計画)×100という計算式で求めら れる割合で表されます。実績コストとレコードの計画は、ともに計画開始 期間から前月の最終日までの期間から算出されます。たとえば、計画開始 期間が2009年4月で今日の日付が2009年6月15日の場合、2009年の4月か ら5月までの実績コストとレコードの計画を基に計算が行われます。

レコードの計画がない場合、この計算はプロジェクトのコストヘルスに まったく使用されません。

これらの要素は、作業計画のコストヘルスの計算時にいずれも有効/無効にで きますが、2つ以上の要素を有効にした場合、インジケータには最悪の状況の 要素が表示されます。3つの要素のうち1つが赤色になると、コストヘルスが 赤色で表示されます。

図 3-7. コストとアーンドバリューヘルスポリシー

| コストとアーンド バリュー ヘルス | |
|--|-----------|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 💿 | ຟາດີ ເປເຊ |
| プロジェクトまたはタスク上にコスト ヘルス インジケータを表示します: ・インジケータの表示形式: | • • |
| ☑ 条件は CPI < | 0.8 0.95 |
| ☑ 条件は SPI≺ | 0.8 0.95 |
| ☑ 過去数ヶ月で、実績コストのレコードの計画に対する超過が次の値を超えた場合 | 20 % 5 % |

表 3-6に、関連する個々のコストヘルス要素の表示色が変化するデフォルトの しきい値を示します。

| 変更後の 表示色 | CPIが次の 値より小さい 場合 | SPIが次の 値より小さ い場合 | レコードの計画から の超過が次の値を超 えた場合 |
|-------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 黄色 | .95 | .95 | 5 |
| 赤色 | .8 | .8 | 20 |

表 3-6. コストヘルスインジケータの表示色が変化するデフォルトのしきい値

Microsoft Project統合

HP Project Management と Microsoft Project の統合により、次のようなタスクの 実行が可能になります。

- HP Project Management で Microsoft Project ファイルを開く
- HP Project Management の作業計画を Microsoft Project に送る
- HP Project Management で実績を収集しながら、Microsoft Projectを使って作業計画のメンテナンスを行う
- HP Project Management のユーザデータと Microsoft Project のカスタムデー タをマッピングする

Microsoft Project統合ポリシーでは、2つのアプリケーションを統合するレベル が決まります。これらの設定の詳細については、「統合のためのプロジェクト レベルの設定」(274ページ)を参照してください。

図 3-8. Microsoft Project統合ポリシー

| Microsoft Project 統合 |
|---|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 📧 しまい 〇 しゅうえ |
| Microsoft Projectとの統合の設定は以下のとおりです。このプロジェクト タイプを使用しているプロジェクトは、これらのデフォルト設定を維 承します。 |
| 統合モード |
| プロジェクト作業用の成合モード |
| · Setal リアリア Intelect への DDII 核和の転送 |
| MICrosoft Project への、PPM 1前報の実达 PPM がすべての共有作業計画情報をコントロールしている、または実徒をトラッキングしている統合では、リソースは自動的に Microsoft Project で作成されます。 |
| リソース マッピングの基準: |
| ◎ PPM ユーザ名 |
| ○ PPII 氏名: 裕、人ペー人, 姓 ○ PPII 氏名: 姓、スペース, 名 |
| |
| PPM を使用して実績をトラッキングしていな場合は、トラッキングした情報を Microsoft Project に転送できます。 |
| ● 法成本 (%) |
| ○ 達成率(%)と実際の日付 |
| ○ 実績工数 |
| PPM システム情報のための Microsoft Project の格納場所 |
| 総合中は、PMUはシステム結婚をドラルシグするためにNeroneのProjeeのカスラムレイールドウク結婚をは存すると更が多ります。 NeronenのProjeeのの現在のプラムとエクランジックが知い組合は、デフォルトの培情場所を使用することをお勧めします。また、作業計画 を統合した伯はこの数定を変更しないようにさることを強くお勧めします。 |
| PPM タスク情報には、1 つの Microsoft Project タスク カスタム フィールドが必要です: |
| Number20 💌 |
| PPM リソース情報には、1 つの Microsoft Project リソース カスタム フィールドが必要です: Number20 マ |
| PPM アサイン情報には、1つの Microsoft Project アサイン カスタム フィールドが必要です: |
| Number20 💌 |
| ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー |
| 2つの日付フィールFIに、開始日と終了日のスナップショットが保持されます: Start10Frish10 ▼ |
| フラグ フィールド 11は、変更された実績を持つタスクを示します: 「Ban201 マ |
| ァーーー コー 変更された実績を持つタスクの色を強調表示します: |
| 赤 🔽 |
| フラグ フィールド 2は、変更された実績によって影響を付ける日付を持つタスクを示します: |
| Flag19 ▼ |
| 変更で化に失領にようて影響を回じる目的を持つな人の色を強調数示します: |
| |
| Microsoft Project フィールト マッピング 水画に内にて 以下の Microsoft Project テキフト カフタム コィー ルドロマッピングする Falls PPM フーザ データ フィールドを設定でます |
| aperado (19,10) microsoft rigido) την πληρά γη πρητεγρέγγγγαριε rimite (17,10) την εικρέτεα ξι |
| 現在マッピングしている XML ファイル: |
| 新規ファイルをアップロードします: 参照 |
| フィールド タイプ PPM ユーザ データ フィールド PPM フィールド ラベル Microsoft Project カスタム データ フィールド |
| Microsoft Project メモの同期 |
| 🗌 メモの同期を有効にする |
| 共有制御モードで、同期方向を指定できます。 |
| メモの同期方向 |
| C PPM thuS Microsoft Project |
| ⑥ Microsoft Project から PPM |
| Microsoft Project フィールド マッピング |
| □ アクティビティの同期を有効にする |
| 次の Microsoft Project カスタム フィールドにマップされる PPM アクティビティ情報: |
| Text1 💌 |

スタッフィングプロファイルアサイン

HP Resource Managementでは、プロジェクトにスタッフィングプロファイルを 添付し、リソースのデマンドと使用状況をトラッキングできます。スタッフィ ングプロファイルアサインポリシーでは、スタッフィングプロファイルに関す るすべてのリソースリクエストを送るデフォルトのリソースプールを指定で きます。スタッフィングプロファイルの詳細については、『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

図 3-9. スタッフィングプロファイルアサインポリシー



プロジェクトヘルス

[プロジェクトの概要]ページのプロジェクト名の横に表示されるプロジェクトサマリのヘルスインジケータは、プロジェクト全体に対するヘルスインジケータです。スケジュール、コストヘルス、アーンドバリューヘルス、問題 ヘルスに対するヘルスインジケータなどの重み付けを平均化したものです。

図 3-10. プロジェクトヘルスインジケータ

| 🔵 スケジュール |
|----------|
| |
| 🔵 그スト |

プロジェクトヘルスポリシーでは、これらのインジケータの相対的な重みが決まります。デフォルトでは、それぞれの重みが等しくカウントされます。サマリ状況の計算時の重みを変更するには、目的のインジケータの横にあるフィールドに重みの値を入力します。

また、**プロジェクトヘルス**ポリシーでは、プロジェクトの計算されたヘルスの オーバライドをプロジェクトマネージャに許可するかどうかも決まります。

図 3-11. プロジェクトヘルスポリシー

| プロジェクト ヘルス |
|--|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 💿 はい 〇 しいえ |
| 。 J. つ の 美 つ |
| ヘルスの里め |
| プロジェクトのヘルス全般は、スケジュール、コスト、および問題のヘルスの重み付けられた平均です。以下のように、重み付けられ た平均の計算で使用される重みを指定できます。 |
| スケジュールの重み: 1 |
| コストの重み: 1 |
| 問題の重み: 1 |
| ヘルスのオーバーライド |
| プロジェクト参加者は、一定の期間ヘルスをオーバーライドできます。ヘルスをオーバーライドすると、上記の計算されたヘルスが抑 止され、手動で指定した条件色が優先されます。 |
| 🔽 ブロジェクト参加者は、ブロジェクトの計算されたヘルスをオーバーライドできる |

サマリ条件の値は、(重み×インジケータ値)の合計/重みの合計として計算されます。デフォルトのインジケータ値は次のとおりです。

- 緑色:1/6
- 黄色:3/6
- 赤色: 5/6

プロジェクトのサマリ条件インジケータは、サマリ条件の値に応じて変化します。

- サマリ条件値 < 1/3の場合、プロジェクトのサマリ条件インジケータは緑 色です。
- 1/3 <= サマリ条件値 < 2/3の場合、プロジェクトのサマリ条件インジケー タは黄色です。
- サマリ条件値 >= 2/3の場合、プロジェクトのサマリ条件インジケータは 赤色です。

たとえば、あるプロジェクトのスケジュールのヘルスインジケータが赤色、コ ストヘルスインジケータが赤色、問題ヘルスインジケータが緑色だとします。 重みの値は次のように設定されています。

- スケジュールの重み:4
- コストの重み:5
- 問題の重み:6

このプロジェクトのサマリ条件値は(4×5/6+5×5/6+6×1/6)/(4+5+6)= 56.7%になります。1/3 <= 56.7% < 2/3 なので、このプロジェクトのサマリ条件 インジケータは黄色になります。

スケジュール、問題、およびコストヘルスの詳細については、「スケジュール のヘルス」(47ページ)、「問題ヘルス」(62ページ)、および「コストとアーン ドバリューヘルス」(56ページ)を参照してください。

問題ヘルス

プロジェクトの進行中は、プロジェクト問題リクエストを使った送信と解決 が必要な問題が発生する恐れがあります。プロジェクトに対して問題を送信 する観点から見たプロジェクトのリアルタイムステータスは、スケジュール およびコストとアーンドバリューヘルスのインジケータと似たような色付き アイコンの問題ヘルスインジケータで表されます。

図 3-12. プロジェクトヘルスインジケータ



問題ヘルスポリシーでは、プロジェクトに対して問題ヘルスのトラッキングを 行うかどうか、また、問題ヘルスインジケータの計算で使用する次の要素が 決まります。

個々の問題優先度の重み

このポリシーに表示される問題優先度は、拡張可能な[優先度]フィール ドによって決まります。

問題ヘルスインジケータ色の変更に必要な全体の重み

重みやインジケータ色の変更値は、相対的な割合ではなく全くの数値合計の ため、多数の問題生成が予想されるプロジェクトタイプには、そのプロジェ クトタイプに応じた適切な計画を行ってください。

図 3-13. 問題ヘルスポリシー

| 問題ヘルス |
|--|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 🕜 🛛 はい 〇 しいしえ |
| 🗹 このブロジェクトの問題ヘルスをトラッキングします |
| ブロジェクトの問題ヘルスは、ブロジェクトの問題すべての重みを加算することで決定されます。以下のように、問題の重みを優先度 を基に指定できます。 |
| 優先度 重み |
| Low 0 |
| Normal 1 |
| High 3 |
| Critical 5 |
| ли х |
| ブロジェクトの問題ヘルスが 💶 となるのは、オーブンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合: 20 |
| ブロジェクトの問題ヘルスが 📕 となるのは、オーブンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合: 🌆 |

異なる優先度がアサインされた問題には、異なる重みをアサインできます。また、黄色や赤色のインジケータが表すヘルスステータスレベルのしきい値も アサイン可能です。

たとえば、プロジェクトの問題優先度に対して、次のように重みをアサイン したとします。

- 重大:8
- 高:5
- 通常:3
- 低:1

プロジェクトには、次の問題があるとします。

- 優先度が「高」の問題が3個
- 優先度が「通常」の問題が2個

これらのプロジェクト問題に対して算出される全体のヘルス値は、(3×5+2×3)つまり21になります。

黄色のヘルスインジケータのしきい値が20で、赤色のヘルスインジケータの しきい値が40の場合、プロジェクトの問題ヘルスインジケータは黄色になり ます。

インジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色:40
- 黄色:20
- 緑色:20未満のすべての値

プロジェクトの問題優先度にアサインされているデフォルトの重みは次のとおりです。

- 重大:5
- 高:3
- 通常:1
- 低:0

タスクの監査

HP Project Management では、常に記録されているタスクステータスの履歴に 加え、タスクフィールドに加えられた変更の監査履歴を保持できます。**タスク 監査**ポリシーでは、どのフィールドを記録するかが決まります。トランザク ション履歴を保持するには、プロジェクトフィールドポリシーで履歴を保持 するフィールドを有効にしておいてください。

| 义 | 3-14. | タス | フ監査ポリ | シー |
|---|-------|----|-------|----|
|---|-------|----|-------|----|

| 査可能なタスク属性は以下のとおりです。タス・ | フステータスの変更は、常に監査履歴に含まれます。 |
|------------------------|--------------------------|
| フィールド トラン | ザクション履歴のトラッキング |
| 達成平 (%): | |
| アクティビティ: | |
| サービス: | |
| 実際の期間: | |
| 実績工数: | |
| 実際の終了日: | |
| 実際の開始日: | |
| 説明: | |
| 予想終了日: | |
| 見積もり残存工数: | |
| 主要なマイルストーン: | |
| 先行タスク: | |
| 優先度: | |
| プロジェクト マネージャルソース: | |
| ロール: | V |
| スケジュールされた期間: | |
| スケジュールされた工数: | V |
| スケジュールされた終了日: | |
| スケジュールされた開始日: | |

プロジェクトの概要のレイアウト

プロジェクトの概要のレイアウトポリシーでは、プロジェクトのポートレットの印刷および表示使用する設定が決まります。

| 表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定(1/3ページ | ;) |
|-------------------------------------|----|
|-------------------------------------|----|

| フィールド | 説明 |
|---------------------------------------|--|
| | 有効の場合、プロジェクトマネージャは、表示お よび印刷設定とプロジェクトのレイアウトを変更 できます。 |
| プロジェクトマネージャがこれらの設 定をオーバライドできるようにする | 無効の場合、表示および印刷設定とプロジェクト のレイアウトは変更できません。ポリシーがプロ ジェクトタイプから継承されており、フィールド の変更はプロジェクトマネージャに許可されてい ません。 |
| | [プロジェクトの概要]ページに表示されるデフォ ルトのタブエリア。 |
| 表示するデフォルトタブ | [プロジェクトの例外] が選択されていて、プロ ジェクトに例外がない場合は、[プロジェクトサマ リ] タブエリアが代わりに表示されます。 |
| 印刷設定 | |
| 作業計画 | デフォルト値は「15」。作業計画ポートレット内の 印刷するタスクの数を指定します。 |
| マイルストーン | デフォルト値は「15」。マイルストーンサマリポー トレット内の印刷するタスクの数を指定します。 |
| 問題 | デフォルト値は「15」。問題ポートレット内の印刷 するタスクの数を指定します。 |
| クローズされた問題の表示 | 問題ポートレットの印刷時にクローズされた問題 を含める場合に選択します。 |
| リスク | デフォルト値は「15」。リスクポートレット内の印 刷するリスクの数を指定します。 |
| クローズされたリスクの表示 | リスクポートレットの印刷時にクローズされたリ スクを含める場合に選択します。 |

表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定(2/3ページ)

| フィールド | 説明 |
|------------------|---|
| スコープ変更 | デフォルト値は「15」。スコープ変更ポートレット 内の印刷するスコープ変更の数を指定します。 |
| クローズされたスコープ変更の表示 | スコープ変更ポートレットの印刷時にクローズさ れたスコープ変更を含める場合に選択します。 |
| プロジェクトスタッフィング | デフォルト値は「15」。スタッフィングポートレッ ト内の印刷する行数を指定します。 |
| プロジェクトの関連 | デフォルトは [日付サマリ]。プロジェクトの関連 ポートレットの印刷時に含める情報のタイプを選 択します。 |
| 参加者 | デフォルトは [プロジェクトマネージャ]、[利害関 係者]、[サマリタスクのオーナ]。プロジェクト参 加者ポートレットの印刷時に含める参加者情報を 選択します。 |
| 表示設定 | |
| 作業計画 | デフォルト値は「5」。作業計画ポートレット内の 表示するタスクの数を指定します。 |
| マイルストーン | デフォルト値は「5」。マイルストーンサマリポー トレット内の表示するタスクの数を指定します。 |
| プロジェクトスタッフィング | デフォルト値は「5」。スタッフィングポートレッ ト内の表示する行数を指定します。 |
| 時間の承認 | デフォルト値は「5」。時間の承認ポートレット内 の表示するタイムシートの行数を指定します。 |
| 問題 | デフォルト値は「5」。問題ポートレット内の表示 するタスクの数を指定します。 |
| リスク | デフォルト値は「5」。リスクポートレット内の表 示するリスクの数を指定します。 |
| スコープ変更 | デフォルト値は「5」。スコープ変更ポートレット 内の表示するスコープ変更の数を指定します。 |

表 3-7. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー設定(3/3ページ)

| フィールド | 説明 | | |
|-----------|--|--|--|
| レイアウト | | | |
| ポートレットの追加 | 表示するポートレットを選択します。プロジェク トの概要ポートレットのみ選択可能です。 | | |
| 表示エリア | 表示、印刷するポートレットの再編集、リサイズ、 および/または削除を行います。 グレー表示のポートレットのみ印刷可能です。白 表示のポートレットは、表示と印刷が行えます。 印刷時に表示されるポートレットは、[プロジェク トの概要]ページのPDFへのエクスポート]ダイア ログで印刷するデフォルトとして選択されている ポートレットです。このダイアログからは、印刷 するポートレットの編集も行えます。 | | |

図 3-15. プロジェクトの概要のレイアウトポリシー

| 設定 | | | | | |
|---|---------------|---|--|--|---|
| i: トーン: | 15 | 7 | ロジェクトの関連 ✔日付サマリ | | |
| ロップされた問題の未示 | 15 | | □ スタッフィング プロファイル | のペースライン | |
| a sterreight overs | 15 | ÷ | | | |
| 1ローズされたリスクの表示 変更: | 15 | | ✓ プロジェクト マネージャ ✓ 利害関係者 | | |
| ローズされたスコープ変更の表示 | | | ロリソース | | |
| JF 2997429: | 15 | | ▶ サマリタスクのオーナー | | |
| SCE | 5 | N | 195 | 5 | |
| トーン: | 5 | ÿ | 29: | 5 | |
| フト スタッフィンク: 〈罰: | 5 | 7 | (コーフ変更) | 5 | |
| 21 L | , | | | | |
| イント 示のボートレットは、印刷時にのみ表 | 示されます。 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 「トレットの追加 | | | | | |
| プロジェクト サフリトゥルウ | | | | | 82 |
| 5H5451 515CARA | | | | | |
| プロジェクトの例外 | | | | \rightarrow \leftarrow | × |
| | | | | | |
| 作業計画 | € | × | マイルストーン サマリ | د> | × |
| | | | | | |
| 問題 | | | | →⊥← | × |
| | | | | | |
| リスク | | | | <u>→_+</u> | × |
| | | | | | |
| | | | | | |
| スコープ変更 | | | | | × |
| スコープ変更 | | | | שבל | × |
| スコープ変更 スタッフィング | <u>e</u> | | プログラムの関連 |))))) | X |
| スコープ変更 スタッフィング | <u>e</u> | X | プログラムの閉遠 | →_€ <u>€</u> > | × |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト | <u>e</u> - | | プログラムの関連 | 9 | × |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト | <u>e</u> 1 | X | プログラムの関連 | 9 | × |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ | e | | プログラムの関連 | | × |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト EV サマリ | <u>*</u> 19 | | プログラムの限議 | 2.25 2.25 2.25 2.25 | X |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 | | | プログラムの別58 | 2.25 5.25 2.25 2.25 2.25 | X |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 | | | プログラムの朗加 | 3.5 5.3 7.6 7.6 7.6 7.6 | X |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 プロジェクトの詳細 | <u>8 - 19</u> | | プログラムの明論 | 3.25 5.25 3.25 7.25 7.25 7.25 | XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ 時間の 米语 プロジェクト の詳問 | <u></u> | | プログラムの朗読 | 5.25 5.25 5.25 5.25 5.25 5.25 | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 プロジェクト の詳問 プロジェクト の詳問 | 5 | | 70 <i>9</i> ラムの明論 | 2.25 2.25 2.25 2.25 2.25 2.25 | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 プロジェクトの詳細 プロジェクトの詳細 | <u>8</u> | | プログラムの第5番 | 2.5 5.5 2.5 2.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 | |
| ストープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト FEV サマリ 時間の承認 ブロジェクト の詳細 ブロジェクト の間語 ブロジェクト の問題者 | <u></u> | | プログラムの9859 | | |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェント コスト EV サマリ 時間の承認 ブロジェントの詳細 ブロジェントの問題 ブロジェントの問題 | | | プログラムの時5歳 | | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト W 切マリ 時間の永辺 ブロジェクト の詳細 ブロジェクト の読細者 ブロジェクトの商品者 ブロジェクトの商品者 | <u>6</u> | | プログラムの朗読 | | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト W サマリ 時間の永遠 プロジェクトの詳問 プロジェクトの問題 プロジェクトの参加者 プロジェクトの参加者 プロジェクトの参加者 | <u>6</u> | | プログラムの問題 | | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コスト EV サマリ 時間の永辺 プロジェクト の詳細 プロジェクト の詳細 プロジェクト の書加者 プロジェクト 参照 オープン不見合トレバ | | | 7ログラムの朗読 | | |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェクト コスト EV サマリ 中間の永辺 ブロジェクト の詳細 ブロジェクト の詳細 ブロジェクト の新通 オープン不見合トレンド の生ままま 見会トレンド | | | ブログラムの第5後 | | |
| スコープ変更 スタッフィング ブロジェント コスト EV サマリ EV サマリ プロジェントの詳細 ブロジェントの詳細 ブロジェントの問題 ブロジェントの問題 オープン不具合トレンド 感先慮不見合トレンド | | | ブログラムの時時 | | |
| スコープ変更 スタッフィング フロジェクト コスト EV サマリ W間の永辺 フロジェクトの詳細 フロジェクトの開始 フロジェクトの開始 フロジェクトの開始 オープン不具合トレンド 優先成不具合トレンド 優先した | | | ブログラムの時時 | | |
| スコープ変更 スタッフィング プロジェクト コみ EV サマリ 時間の米沼 プロジェクトの詳細 プロジェクトの詳細 プロジェクトの詳細 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 アロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 プロジェクトの書類者 | | | ブログラムの明知 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | | |

プロジェクトセキュリティ

プロジェクトセキュリティポリシーでは、サマリタスクの編集をサマリタスクのオーナに許可するかどうか、およびプロジェクトとコストデータを閲覧できるユーザが決まります。

デフォルトでは、サマリタスクのオーナは作業計画を編集できず、作業計画 のツールバーの特定のボタンが利用不可になっています。[サマリタスクの オーナは自分が所有するタスクを管理できますか?]で[はい]を選択すると、 サマリタスク内のサブタスクの編集、追加、削除をサマリタスクのオーナが 行えるようになります。サマリタスクのオーナは、作業計画のツールボタン も使用できます。

プロジェクト自体を表示するには、次のいずれかを選択します。

- すべてのユーザ
- 参加者のみ(プロジェクトマネージャ、サマリタスクのオーナ、タスクにアサインされたリソース、スタッフィングプロファイルに割り当てられたリソース、利害関係者、およびプロセス参加者)

プロジェクトのコストデータ(財務サマリ、コスト情報)を表示するには、次のいずれかを選択します。

- プロジェクトおよびプロジェクトのタスクを表示可能なすべてのユーザ
- ・ プロジェクトマネージャと利害関係者
- プロジェクトマネージャ、利害関係者、サマリタスクのオーナ、およびプロセス 参加者

図 3-16. プロジェクトセキュリティポリシー



プロセス参加者とは、プロジェクトプロセスを管理するワークフローのス テップに関連付けられているセキュリティグループに含まれるユーザのこと です。ワークフロー自体と同様、これらのセキュリティグループはビジネス ニーズに合わせて設定できます。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

HP Service Manager

このポリシーでは、PPM Centerのプロジェクトマネージャが、Service Manager で、プロジェクト内の対応するタスクからの変更リクエスト (RFC) を作成で きるように設定できます。詳細については、『HP Solution Integrations Guide』 を参照してください。

図 3-17. HP Service Managerポリシー

| HP Service Manager |
|---|
| HP Service Manager 統合には、HP PPMC サーバ上でのセットアップが必要です。Microsoft Project 統合ポリシーの [Microsoft Project はすべ ての共有作業計画情報を制御する] オブションを使用している場合、運用の変更リクエスト (RFC) を作成する機能は利用できません。 |
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 🛛 💿 เป็น i 🔿 เป็นเว |
| ☑ RFC作成機能の有効化 |

第4章 プロジェクトの作成

プロジェクトの作成の概要

この章では、プロジェクトの作成プロセスについて説明します。プロジェク トでは、次のようなツールを使ってビジネスイニシアチブを定義できます。

- 設定可能なプロジェクト参加者リスト
- プロジェクトで使用するリソースの定義とトラッキングを行うスタッ フィングプロファイル
- プロジェクトにつぎ込む金額を比較する基準を定義、提供する財務サマリ
- アクティビティや成果物の論理的なグループ化と組織化を行う階層構造 を提供する作業計画

ユーザは、プロジェクトを使って、複雑なビジネスイニシアチブの主な要素 の定義、閲覧、編集、管理が行えます。

プロジェクトマネージャがプロジェクトを作成する際の一般的なプロセスを 次に示します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. プロジェクトを作成します。

プロジェクトの作成時には、プロジェクトタイプを必ず選択します。詳細 については、「プロジェクトの作成」(73ページ)を参照してください。

HP Portfolio Management を使用している場合は、既存の提案に基づいてプロジェクトの自動作成が行われる場合があります。

3. プロジェクトを作成したら、[プロジェクトの概要]ページから数々のアク ティビティを行えます。

詳細については、「[プロジェクトの概要]ページの使い方」(74ページ)を 参照してください。

4. プロジェクト設定を調整します。

プロジェクト設定によっては、プロジェクトタイプで決められているプロ ジェクトポリシーによってロックされているものがあります。詳細につい ては、「プロジェクト設定の調整」(76ページ)を参照してください。

5. プロジェクトの参加者を設定します。

プロジェクトのマネージャと利害関係者のリストに追加できます。プロジェ クトのリソースとサマリタスクのオーナは、プロジェクトに添付されてい る作業計画とスタッフィングプロファイルによって決まります。詳細につ いては、「プロジェクト参加者の定義」(76ページ)を参照してください。

6. プロジェクトにスタッフィングプロファイルを作成します。

スタッフィングプロファイルは、プロジェクトと併用してリソース需要の トラッキングと管理に使用できる HP Resource Management のツールです。 詳細については、「スタッフィングプロファイルの作成」(78ページ)を参 照してください。

7. プロジェクトに作業計画を作成します。

作業計画とは、次のようなタスク詳細を指定するプロジェクトのタスク階 層構造のことです。

- タスクの開始日と終了日
- 先行タスク(存在する場合)
- アサインされたリソース

詳細については、「作業計画の作成」(79ページ)を参照してください。

8. 初期計画設定が完了したら、プロジェクトと作業計画のステータスをアク ティブに設定してプロジェクトを開始します。
プロジェクトの作成

プロジェクトを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクト]を選択します。
- 3. [新規プロジェクト作成]ページが開きます。
- 4. [プロジェクトタイプ] など、必須フィールドとオプションフィールドを指定します。

プロジェクトタイプには、プロジェクト設定を決めるプロジェクトポリ シーが含まれています。これらのポリシーの中にはオーバライド不可に設 定されているものもあり、その場合は対応する設定がロックされています (プロジェクトポリシーの詳細については、第3章「プロジェクトタイプ の設定」(33ページ)を参照)。プロジェクトを作成する前に、目的のプロ ジェクトタイプを使用していることを確認してください。アクセスが許可 されているプロジェクトタイプのみから選択可能です。

5. [**作成**] をクリックします。

プロジェクトが作成され、[プロジェクトの概要]ページが開きます。

[プロジェクトの概要]ページの使い方

[プロジェクトの概要]ページには、特定のプロジェクトに関する以下のよう な幅広い情報が表示されます。

- ステータス
- プロジェクトマネージャ
- プロジェクトがトリガした可能性のある例外
- プロジェクトが原因となった可能性のある問題
- マイルストーン

[プロジェクトの概要]ページには、これらのデータやその他の関連データが、 セクション別に表示されます。

初めてプロジェクトを作成する場合、[プロジェクトの概要]ページは、次の ようなプロジェクトアイテムの作成と設定を一元的に行える便利な場所とし て利用できます。

- プロジェクトの設定
- プロジェクトの参加者
- プロジェクトの詳細
- スタッフィングプロファイル
- 財務サマリ
- 作業計画

図 4-1. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトサマリ] タブ

| プロジェクト: | Billing Systems Int | egration (#30633) |) | | | | | | オーバラー | 化酸定酮 |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------------------|--------------|-------------|---------------------------|---|------------|
| 一 全体のステータ 全体のヘルス <u>▲</u> | マー プロジェクト マネージャ Joseph Banks | プロジェクト ステータ 詳細なプロジェクト定義 | ス フェーズ 痛 Project | プロジェクトの January 2013 | 計画期間 2 ~ September 2012 | プロジェ 2 US | 小地 域 | 進持 | | 7% |
| プロジェクト サマ | マリープロジェクトの | DI詳細 プロジェ | クトの例外 | 参照 | R アジャ | イル プロジェ | クトのタイム | 542 | | |
| 作業計画 | | | | | マイルストーン サマ! | J. | | | | |
| 名前 | 2012 | 2013 | | | マイルストーン | | | | | |
| | Ju Aug Sep | Oct Nov Dec Jan | Feb Mar Apr | r May 、 | マイルストーン | | スケジュー | ルされた終了日 | 実際の終了日 | オーナ |
| Billing Systems In | ntegration | | | | Requirements S | Sign-Off | | Sen 5 2012 | Sep 5 2012 | Barbara Ge |
| I. Requirements A | Analysis | • | | | Design Approva | al | | Sep 28, 2012 | 000 0, 2012 | barbara o |
| III. Solution Design | | | | | Burchases - Ca | nitolized | | Aug 16, 2012 | Aug 16, 2012 | |
| IV. Purchases | U | • | | | Purchases - Exit | nensed | | Aug 16, 2012 | Aug 16, 2012 | |
| 作業計画の編集 | ベースラインの表示 | | | | Detailed Design | Approval | | Oct 29, 2012 | 7 kig 10, 2012 | |
| | | , | | | | | | | | |
| ● 問題 リクエスト番号 | の時期 | | 原生度 | | 77 | -47 | | | <u> </u> | |
| 30277: Severa | al additional languages i | n user community | liah | | 964 | | | | , | |
| found during | Asia-Pac expansion | | nigii | | 171/9 Ar 41 | * | | | | |
| 30283:Unable | e to find data | | Normai | | 169 | | | | | |
| 30275:Deliver | ry of new nardware is la | te | Low | | 和想 | 2 | | | | |
| 問題のログ | 完全なリストの表示 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| リスク | | | | | | | | | | |
| リクエスト番号の説 | 10月 | | ステー | -97 | 確率 | | インパ | ント レベル | アサイン先 | |
| 30167:Hiring freez | ze - need additional resou | rces to finish on schedu | ule 新規 | | Almost Cert | ain (81-100% |] Low | | Allen Hugh | es |
| 30164:Final versio | on of IBM-MQS required t | o complete project | 新規 | | Unlikely [0-4 | 40%] | High | | Allen Hugh | es |
| 30163:Glitches in | building move during test | ing | 新規 | | Unlikely [0-4 | 40%] | Low | | | |
| 30159:Hardware d | delivery is late | | 新規 | | Unlikely [0-4 | 0%] | Mediur | n | | |
| 完全なリストの表 | र्फ | | | | | | | | | |
| スコープ変更 | | | | | | | | | | |
| リクエスト番号の説 | 10月 | | ステー | -97 | CRレベル | | 重要度 | | アサイン先 | |
| 30397:PeopleSoft | upgrade requires additio | nal interfaces | 新規 | | Level 2 | | Critical | | | |
| 30392:Memory up | grade for Sales Consulta | nt laptops | 決定行 | 寺ち | Level 1 | | Low | | Allen Hugh | es |
| 30393:Oracle upg | rade requires additional to | esting | 新規 | | Level 1 | | Low | | | |
| 完全なリストの表 | 73 | | | | | | | | | |
| スタッフィング | | | | | プログラムの関連 | | | | | |
| スタッフィング プロ | ファイル | | ステータス | | プログラム名 | | プログラ | ラムマネージャ | | |
| Billing Systems Inf | tegration Project | | アクティブ | | One World | | Carolyr | 1 Sayer | | |
| ペースライン | | | | | | | | | | |
| | zł | | | | | | | | | |
| 財務サマリ (表示金 | 金額は、プロジェクトの計画 | 期間 January 2012 ~ S | September 2012 | 2の金額) | | | | | | |
| 合計予測: | S | 555,409.94 | | | | | | | | |
| 今月末までの予測 | N: s | 555,409.94 | 実績値合計 | t: | \$32,200 | 0.00 | | | | |
| 11:兼計画 全計ペーフライン | | 185 575 20 | 計画っても | の合計・ | \$205.57 | 5 20 | | | | |
| ベースライン終了 | 8: | 185,575.20 | 計画終了日 | 3: | \$201,26 | 5.20 | 滨 | 黄値合計: | \$32,200. | 00 |
| コストの詳細 | 財務サマリの表示 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| EV リマリ Literation | | 6100 015 20 | | 762 | ・川の芝園。 | | | (6460.000 | 00) | |
| ・1回回回に アーンド バリュー: | | \$100,815.20 | | スリショ コストの | 1 ルの左共:)差異: | | | (\$108,000) (\$19,984) | 80) | |
| 実績コスト: | | \$32,200.00 | | SPI: | 0.07 | 7 | (| CPI: | 0.38 | |
| (| | | | | | | | | | |

プロジェクト設定の調整

個々のプロジェクトには、プロジェクトの目的に合わせてプロジェクトマ ネージャが設定できる数々の設定項目があります。これらの設定は、選択さ れたプロジェクトタイプで決まるプロジェクトポリシーから継承されます。

個々のプロジェクトポリシーの詳細については、「プロジェクトポリシーの設 定」(36ページ)を参照してください。

プロジェクト設定を表示または編集するには、[プロジェクトの概要]ページ の右上隅にある[設定]をクリックします。



プロジェクトポリシーは、対応する設定を効率的にロックし、ユーザによる編集を防止するオー バライド不可に設定できます。

プロジェクト参加者の定義

一般的にHP Project Management では、次のグループに従って、プロジェクトの参加者が定義されています。

- プロジェクトマネージャ:プロジェクトマネージャは、プロジェクトの計画と管理のほか、プロジェクト実施、問題解決、予算に関する懸案事項などに関わります。
- 利害関係者:利害関係者とは、プロジェクトで作業は行いませんが、プロジェクトのステータスに関心を持ち、プロジェクトの進捗状況を確認する必要のあるユーザのことです。
- リソース: リソースとは、プロジェクトチームの一員としてタスクを行いますが、プロジェクトマネージャの管理責任を持たないユーザのことです。リソースは、HP Project Managementでタスクの確認と更新を行います。
- サマリタスクのオーナ: サマリタスクのオーナは、作業計画の該当セクションを監視するようにサマリタスクで指定されているユーザです。

プロジェクトのリソースリストは、次のソースによって自動的に定義されます。

- 作業計画でタスクにアサインされているリソース
- プロジェクトのスタッフィングプロファイルで指定されているリソース

プロジェクトマネージャは、プロジェクトに対してプロジェクトマネージャ や利害関係者を追加できます。

図 4-2. [プロジェクトの参加者の設定] ページ

| ブロジェクトの参加者の | 設定 - APO - Pilot | 保存 完了 キャンセル |
|--------------------|------------------------|--|
| このプロジェクトへのリレーションシッ | プを持つすべてのグループは以下のとおりです。 | リソースは、作業計画でタスクにアサインすることでプロジェクトに追加されます。 |
| ブロジェクト マネージャ | | リソース |
| 名前 | タイプ | Jack Mars |
| × Joseph Banks | ユーザ | Mandy Rice |
| | | Sandra Miles |
| プロジェクトマネージャの追加 | | Robert Stern |
| 和定期保老 | | Ron Wilson |
| TERMU | h / at | Sam Sing |
| 名前 | 947 | Barbara Getty |
| 利害関係者の注加 ▼ | | サマリタスクのオーナー |
| | | Joseph Banks |
| | | プログラム マネージャ |
| | | Carolyn Sayer |
| | | 保存 完了 キャンセル |

利害関係者は、個別またはセキュリティグループごとに追加できます。

プロジェクトにプロジェクトマネージャや利害関係者をさらに追加するに は、次の手順を実行します。

- 1. プロジェクトを作成するか、既存プロジェクトを開きます。
- 2. [プロジェクトの概要]ページの右上隅にある [参加者の設定] をクリックします。

[プロジェクトの参加者の設定]ページが開きます。

- 3. 別のプロジェクトマネージャまたは利害関係者を追加します。
 - [プロジェクトマネージャの追加] をクリックし、1人または複数のプロジェクトマネージャを追加します。
 - [利害関係者の追加]をクリックし、「ユーザの追加」または「セキュリティ グループの追加」を選択して新規利害関係者を追加します。

4. [完了] をクリックします。

新規プロジェクトマネージャまたは利害関係者が追加されます。

プロジェクトの詳細の入力

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブには、プロジェクト 担当のビジネスユニットやプロジェクトが達成すべきビジネス目標といった 重要なプロジェクト情報を持つフィールドがあります。これらのフィールド は、プロジェクトプロセス全体を推進するもので、プログラム管理オフィス など、適切なアクセスレベルを持つユーザが設定できます。プロジェクトプ ロセス自体のほか、[プロジェクトの詳細] タブのフィールド設定の詳細につい ては、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

スタッフィングプロファイルの作成

スタッフィングプロファイルを使うと、プロジェクトマネージャは、プロジェ クトに対するリソースの需要をロールまたはスキル別にトラッキングできま す。スタッフィングプロファイルを作成すると、プロジェクトとビジネス機 能を結び付けることができる上、比較結果を視覚的に捉えることができます。

プロジェクトにスタッフィングプロファイルを作成するには、[プロジェクトの概要]ページの[**スタッフィングプロファイルの作成**]をクリックします。

スタッフィングプロファイルの作成方法やスタッフィングプロファイル機能の利用方法の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

財務サマリの使い方

財務サマリは、さまざまなレベルのデータ依存関係を持ったプロジェクトの 財務情報のトラッキングに使用できます。プロジェクトの実施中は、実際の プロジェクトコストを財務サマリにロールアップして比較できます。レコー ドの計画と対照的に、プロジェクトのコストパフォーマンスは、プロジェク トのコストヘルスの計算に取り入れることができます。詳細については、「コ ストとアーンドバリューヘルス」(56ページ)を参照してください。

財務サマリの詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を 参照してください。

作業計画の作成

作業計画は、プロジェクトの作業範囲全体を定義して組織化するプロジェク ト要素を、実際の成果物に沿ってグループ化したものです。作業計画には、タ スクとマイルストーンのほか、両アイテムの完了予定日が記載されています。

プロジェクトの作業計画は、次のいずれかの方法で作成できます。

- 作業計画をゼロから作成する。作業計画の作成の詳細については、第5章 「作業計画の作成」(81ページ)を参照してください。
- 作業計画を作業計画テンプレートから作成する。この方法の詳細については、第9章「作業計画テンプレートの使用」(223ページ)を参照してください。

プロジェクトポリシーから継承可能なプロジェクト設定の**作業計画**ポリシー では、これらのオプションの中で利用可能になるオプションが決まります。詳 細については、「作業計画」(39ページ)を参照してください。

第5章 作業計画の作成

作業計画の作成の概要

プロジェクトを作成したら、作業計画を作成できます。プロジェクトの作業 計画では、アクティビティと成果物に対する論理的なグループ化、組織化、ス ケジューリングを行うタスクとサマリタスクの階層構造として、ビジネスイ ニシアチブを定義できます。

作業計画は、さまざまな方法で作成できます。このセクションでは2つの方法 について説明します。作業計画は、作業計画テンプレートからも作成できま す。この方法の詳細については、「作業計画テンプレートからの作業計画の作 成」(228ページ)を参照してください。

空の作業計画の作成

HP Project Management で新規作業計画を作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [プロジェクトの概要] ページで [**空の作業計画の作成**] リンクをクリックします。
- 2. 次のタスク要素を最初に指定して、空の作業計画にタスクを追加します。
 - 名前
 - 期間
 - 開始日または終了日

初めて作業計画にタスクを追加する場合は、先行タスクを追加して作業計 画階層を構築することもできます。詳細については、「タスクの追加と作 業計画構造の作成」(85ページ)を参照してください。 3. 詳細マイルストーンを作成します。

プロジェクト設定が正しく設定されている場合は、主要マイルストーンも 追加できます。詳細については、「マイルストーンの作成」(95ページ)を 参照してください。

4. プロジェクトをスケジュールします。

詳細については、「作業計画のスケジューリング」(97ページ)を参照して ください。

5. 関連情報を評価できるように、さまざまな方法で作業計画をフィルタし ます。

作業計画は、さまざまな表示方法やフィルタを使って評価し、それに沿っ てタスクを変更できます。詳細については、「作業計画情報の表示」(103 ページ)を参照してください。

6. 必要に応じて個々のタスクを設定します。

詳細については、「タスクの設定」(118ページ)を参照してください。

7. 作業計画のクリティカルパスを確認します。

詳細については、「作業計画のクリティカルパスの表示」(117ページ)を参照してください。

別プロジェクトからの作業計画の作成

HP Project Managementの別プロジェクトの既存作業計画から作業計画を作成 するには、次の手順を実行します。

1. [プロジェクトの概要] ページで [**別のプロジェクトからの作業計画の作成**] リ ンクをクリックします。 [別のプロジェクトから作業計画を作成]ダイアログが開きます。

| | × | | | | |
|-------------------|------------|--|--|--|--|
| 別のブロジェクトから作業計画を作成 | | | | | |
| | | | | | |
| *プロジェクト: | II | | | | |
| 含める項目: 🗌 | スケジュール | | | | |
| | 制限 | | | | |
| | XE | | | | |
| | ユーザ データ | | | | |
| | 参照 | | | | |
| | <u>通</u> 知 | | | | |
| | 外部先行タスク | | | | |
| | リソースのアサイン | | | | |
| | 作成 キャンセル | | | | |

2. [別のプロジェクトから作業計画を作成] ダイアログで、作業計画をコピー するプロジェクト名(必須)を入力し、コピーする情報を選択します(デ フォルトでは[通知]が選択されています)。

[スケジュール]をコピーしない場合は、新しい作業計画のスケジュールされた開始日が、 新規プロジェクトの開始日にデフォルトで設定されます。



[メモ]をコピーすると、元々の日付とタイムスタンプが保持されます。

[リソースのアサイン]をコピーすると、新規プロジェクトのリソースプールの一部となっている既存プロジェクトからのリソースのみがコピーされます。

次の情報については、既存プロジェクトから自動的に処理が行われます。 情報の処理方法は変更できません。

| 情報 | 処理方法 |
|-----------------------|------------------|
| 実績 | コピーされません。 |
| 内部先行タスク | 常にコピーされます。 |
| Microsoft Project リンク | タスクレベルで常に削除されます。 |

| 情報 | 処理方法 |
|--------------------------|---|
| 必須タスクフラグ | 常にコピーされます。 |
| ロールとアクティビティ | プロジェクト設定で有効になっている場合はコピー されます。 |
| スケジュール期間、工数、 および工数モード | 常にコピーされます。 |
| スキルの熟達度 | 常にコピーされます。 |
| サマリタスクのオーナ | 既存プロジェクトからのサマリタスクのオーナが新 規プロジェクトのサマリタスクのオーナの場合はコ ピーされます。 |
| タスク (ルート以外) | 常に「 準備完了」 または「 保留中 」に設定されます (既存作業計画でキャンセルされたタスクを含みま す)。 |
| 作業計画ステータス | 新規プロジェクトに対しては、常に「 計画中 」に設 定されます。 |

3. [作成] をクリックします。

作業計画は、別のプロジェクトから既存の作業計画にインポートできます。この方法の詳細については、「作業計画のインポート」(87ページ)を参照してください。

タスクの追加と作業計画構造の作成

作業計画は、[作業計画の表示]ページで作成します。

- 新規プロジェクトの場合、[作業計画の表示]ページは、[空の作業計画の作成]、[テンプレートからの作業計画の作成]または[別のプロジェクトからの作業計画の作成]リンクをクリックすると表示されます。
- 既存プロジェクトの場合は、[作業計画の編集]をクリックすると表示されます。



[作業計画の表示]ページは、前回作業計画を表示させていたビューが開きます。新規作業計画の場合や、このプロジェクトに対して[作業計画の表示]ページを今まで開いたことがない場合は、デフォルトで**スケジュール**ビューが開きます。

図 5-1. [作業計画の表示] ページ: スケジュールビュー

| ₽作 | 業計画 | の監 | 直履歴 | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|-----|-----|---------------------------|-------|-----------------------|----------|----------|------|-------|---------|---------------|-----------|------------|-------------|
| test_ | proj | ect | の作 | 業計画 (計画中:ヘルス 🥯 緑) | | | | | | | | | 保ィ | ž 完7 | キャンセル |
| Ea- | : 2 | ケジュ | ルI | ビュー ン フィルタ: すべてのタ. | 7.9 | <u>v</u> 3 | べてのタスク | | | | | | | ź | 合計タスク: 1 |
| 拡張先 | : L | ~ル- | • | 1 • 1 🖬 + × × 🖻 | e 🖬 🖽 | D: A | 編集▼ | アクション・ | スケジュ | ールされた | 期間とスケジュ | ールされた開始日の入力 🕻 | 変更) 前へ 次へ | シーケンス番号: 🗌 | 0 実行 |
| <u>ي</u> | | | | 名前 | ステータス | スケ | スケジュ | スケジュ | スケ | アサ | 先行タスク | リソース | ロール | アクティビティ | |
| 0 | | | | test_project | 計画中 | 0.00 | 13/05/01 | 13/05/01 | 0.00 | | | Admin User | | | ~ |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

トップレベルのタスクは、プロジェクト名を使って自動的に作成されます。

作業計画へのタスクの追加

新規タスクは、タスクを選択して [**タスクの追加**] アイコンをクリックすること により、作業計画内のすべての既存タスクよりも優先的に作成できます。こ のアイコンをクリックすると [タスクの追加] ページが開きます。作業計画に タスクを追加するには、次の手順を実行します。

1. スケジュールビューで、作業計画の下位にある空の行を選択して [タスクの 追加] アイコンをクリックします。

現在選択中のタスクの上に新規タスクが追加された [タスクの追加] ページが開きます。

- 2. [**タスクを下に追加**] アイコンをクリックし、現在選択中のタスクの下に新 規タスクを追加します。
 - 新規タスクは、[タスクの追加]ページの最後のアイテムを選択して、 キーボードの[Insert]キーを押すことで、現在選択中のタスクの上に も追加できます。
 - 新規タスクは、[タスクの追加]ページの最後のアイテムを選択して、 キーボードの[Enter]キーを押すことで、現在選択中のタスクの下に も追加できます。
- 3. 新規タスクの情報を編集します。

タスクの[名前]は必ず指定してください。また、HP Project Managementで プロジェクトをスケジュールするには、スケジューリング情報の入力も必 要です。この情報は、[タスクの追加]ページに引き渡すこともできます。 ページ上部の[変更]をクリックして、使用したいスケジューリング情報 を組み合わせて選択します。

タスクの編集は、[作業計画の表示]ページ、またはタスクの詳細情報が表示される[タスクの詳細]ページからも行えます。[タスクの詳細]ページ には、[作業計画の表示]ページからアクセスします。

- a. 新規タスクを選択して [**タスクの詳細**] アイコンをクリックします。[タ スクの詳細] ページが開きます。
- b. [タスクの詳細] ページの各タブの情報を必要に応じて修正します(詳細については、第6章「タスクの設定」(119ページ)を参照)。
- 4. 必要に応じてタスク階層を設定します。

新規で追加したタスクは、[タスクの追加] ページ上の [インデント] と [ア ウトデント] アイコンを使って、サマリタスクと下位タスクの階層に組み入 れることができます。素早い操作を可能にするキーボードショートカット の詳細は、「スケジュールビューで便利なキーボードショートカット」(95 ページ) を参照してください。

5. 新規タスクを作業計画に追加します。

新規タスクを作業計画に追加するには、[**完了**] をクリックします。



デフォルト値が設定されたユーザデータフィールドがタスクに含まれていても、タスクが保存 されるまで、デフォルト値が[作業計画の表示]ページには表示されない場合があります。表示 されなくても、デフォルト値は設定されています。

作業計画のインポート

HP Project Management では、[作業計画の表示]ページから、作業計画を別の プロジェクトから既存作業計画にインポートできます。作業計画をインポー トするには、次の手順を実行します。

1. スケジュールビューで、作業計画のルート以外のタスクを選択します。

選択中のタスクの上に作業計画がインポートされます。

2. [**アクション**]をクリックして「別の作業計画のインポート」を選択します。

| [別のプロジェクトから作業 | +画をコピー]ダ | イアログが開きます。 |
|---------------|----------|------------|
|---------------|----------|------------|

| | × |
|-------------|------------|
| 別のプロジェクト | から作業計画をコピー |
| • -1021- bb | |
| | <u></u> |
| 含める項目: 🗌 | スケジュール |
| | 制限 |
| | XE |
| | ユーザ データ |
| | 参照 |
| | <u>通</u> 知 |
| | 外部先行タスク |
| | リソースのアサイン |
| | コピー キャンセル |
| | |

 [別のプロジェクトから作業計画をコピー]ダイアログで、作業計画をコピー するプロジェクト名(必須)を入力し、コピーする情報を選択します(デ フォルトでは[通知]が選択されています)。コピーする情報の詳細につい ては、「別プロジェクトからの作業計画の作成」(82ページ)を参照してく ださい。 4. [**コピー**]をクリックします。

インポートした作業計画の規模が大きい場合、選択したタスク(手順1)は スケジュールビューに表示されません(下にスクロールすると表示でき ます)。

作業計画階層の作成

HP Project Management では、[タスクの追加] ページまたは [作業計画の表示] ページから、タスクを追加し、順序を指定して構造化できます。タスクの追 加後、再編集が必要になることがあります。[作業計画の表示] ページで、階 層内のタスクの再編集とグループ化も行えます。



[作業計画の表示]ページで作業計画に加えた変更は、直ちに保存されます。

図 5-2. [作業計画の表示] ページ

| 创作 | 能計画 | の詰 | 査風 歴 | ž | | | | | | | | | | | |
|----------|------|-----|-------------|-------------------------|-------|------------|----------|----------|------------|----------------|----------|--------------|-----------|------------|-------------|
| test_ | proj | ect | の作 | 業計画(計画中:ヘルス 🎯: | 禄) | | | | | | | | 保有 | 完了 | キャンセル |
| Ea- | : 🛛 | ケジョ | . −.ル | ビュー ン フィルタ: すべての | カタスク | v 4 | -べてのタスク | | | | | | | | 合計タスク: 1 |
| 拡張先 | ι | ~lv | • | 🗉 🗃 🖾 + × × 🛛 | | 6 2 | 編集▼ | アクション・ | スケジョ | ールされた | -期間とスケジュ | ールされた開始日の入力(| 変更) 前へ 次へ | シーケンス番号: 🗌 | 0 実行 |
| <u>э</u> | | | | 名前 | ステータス | スケ | スケジュ | スケジュ | ス ケ | 7 1 | 先行タスク | リソース | ロール | アクティビティ | |
| 0 | | | | test_project | 計画中 | 0.00 | 13/05/01 | 13/05/01 | 0.00 | | | Admin User | | | ~ |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

階層内でアイテムを上下に移動するには、次の手順を実行します。

- 1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
- 2. [切り取り] アイコンをクリックします。

タスクのコピーは、[**コピー**]アイコンを使っても簡単に行えます。コピー したタスクは、何度も貼り付けできます。

3. 作業計画構造でターゲットエリアの下のタスクを選択します。

4. [貼り付け] アイコンをクリックします。

切り取ったアイテムが、選択中のタスクの上の作業計画に挿入されます。

大規模な作業計画では、作業計画情報が複数のページに分割される場合が あります。作業計画の1つのページからタスクを切り取って、別のページ に貼り付けることができます。詳細については、「大きな作業計画の表示」 (112ページ)を参照してください。

アイテムをインデントするには、次の手順を実行します。

- 1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
- 2. [インデント] アイコンをクリックします。

選択したタスクまたはサマリタスクが、1レベル深い階層に移動します。

- 選択したアイテムのすぐ上のアイテムがタスクの場合は、そのタスク はサマリタスクに変換されます。
- サマリタスクに対して行った操作は、下位タスクにも影響がおよびます。サマリタスクをインデントすると、下位タスクも1レベル下の階層に移動します。

選択したアイテムがサマリタスクの第1下位タスクの場合は、インデントは行えません。

タスクがサマリタスクに変換されると、警告メッセージが表示されます。[**はい**] を選択して続 行するか、[**いいえ**] を選択して操作をキャンセルしてください。

アイテムをアウトデントするには、次の手順を実行します。

- 1. タスク、または折りたたまれたサマリタスクを選択します。
- 2. [**アウトデント**] アイコンをクリックします。

選択したタスクまたはサマリタスクが、1レベル外側の階層に移動します。

- サマリタスクに対して行った操作は、下位タスクにも影響がおよびます。サマリタスクをアウトデントすると、下位タスクも1レベル上の 階層に移動します。
- 選択したアイテムがサマリタスクの下位タスクの場合は、前の上位タ スクと同じレベルのタスクまたはサマリタスクになります。
- 選択したアイテムがサマリタスクの唯一の下位タスクの場合は、その サマリタスクがタスクに変換されます。

 選択したアイテムが、その直下に同じレベルのほかのタスクを持つタ スクの場合、それらのタスクは選択したアイテムの下位タスクに変換 され、選択したタスクがサマリタスクになります。

実績データを持つタスクは、サマリタスクにはなりません。HP Time Managementからの実績 を持つタスクや、タイムシートが参照するタスクも同様です。

タスクがサマリタスクまたはリーフタスクに変換されると、警告メッセージが表示されます。 [**はい**]を選択して続行するか、[**いいえ**]を選択して操作をキャンセルしてください。

タスク操作は、複数同時に行えます。

- [Shift] キーを押しながらクリックして連続する行を強調表示させ、操作 を行います。
- [Ctr1] キーを押しながらクリックして連続しない行を強調表示させ、操作 を行います。

先行タスクのセットアップ

HP Project Management では、1つのタスクを現在の作業計画内のほかのタスク やほかの作業計画内のタスクと関係付けられるほか、HP Demand Management でリクエストすることができます。これらの先行タスクとの関係は、スケ ジューラがタスクのスケジューリングに使用します。

たとえば、Bobという管理者に、彼のグループのコンピュータにインストール する新しいソフトウェアモジュールに対する「Training」作業計画があるとし ます。このトレーニングのアクティビティは、スティーブというマネージャ が推進する「Software Upgrade」プロジェクトが先に終了しないと開始できま せん。Bobは、「Software Upgrade」プロジェクトと自分の「Training」タスク で関連が最も強いタスクに完了-開始の先行タスク関係を構築できます。 これらの先行タスク関係は、[タスクの詳細]ページの[スケジュール]タブから管理します。

図 5-3. [タスクの詳細] ページ: [スケジュール] タブ

| スクの詳細: 2 - Aufna | hme Anforderunger | ı. | | | | 日 保存 売了 |
|--|----------------------------------|----------------------|------------------|--------------------|-----------|------------|
| 和語 名前: ス Aufnahme Anforder 完 | テータス: シーケンス番 了 マ 2 | 号: 達成率 (%): 100 | アクティビテ ィ: | 優先度: ■ 0 | 〕光8月: | |
| マイルストーンとしてタスクをマ | ークする 目主要マイル: | ペトーン ロマイルストー | -ンは自動的に完了する | | | |
| ドジェクト パス: J2EE Migrati | on > I. Aufnahme der Anford | erungen > Aufnahme A | nforderungen | | | |
| スケジュール | リソース | = | スト | 通知 | 大 | |
| 参照 | アジャイル プロジェク | 71- | | | | |
| 期間 (日 | 数) 工数 (時間) | 開始日 | 終了日 | | | |
| スケジュール済み: 5.00 | 日 40.00時間 | 5/10/12 📸 | 5/16/12 📸 | | | |
| 見破もり: | 0.00 時間(残り) | | | | | |
| E装: 4 .00 | 日 0.00時間 | 5/10/12 | 5/16/12 | | | |
| 眼 | | | | | | |
| アジュールの制限 : できる限り! | ₽< ✓ | 制限日: | r ^y | | | |
| た行タスク | | | | | | |
| \$17 | 名前 | | | | リレーションシップ | 遅延(日数) |
| 先行りス りの追加 ▼ | | | | | | |
| フリティカル パス メトリクス | | | | | | |
| も早い開始日: May 10, 2012 も通い開始日: May 10, 2012 | 最も早い終了日: May 最も遅い終了日: May | 16, 2012 16, 2012 | | | | |

構築可能な先行タスク関係のタイプについては、表 5-1を参照してください。

サマリタスクまたはタスクの先行タスク関係は、[作業計画の表示]ページから設定できます。[作業計画の表示]ページから先行タスクとして外部タスクやリクエストの追加は行えません。

| 先行タスクの タイプ | 説明 | 構築可能な関係 |
|------------------|--|--|
| サマリタスク またはタスク | 現在の作業計 画内のタスク | 終了一開始:後続タスクは、先行タスクの終了後に開始できます。 開始一終了:後続タスクは、先行タスクが開始するまで終了できません。サマリタスクには設定できません。 終了一終了:タスクはいつでも開始できますが、先行タスクが終了するまで、後続タスクの表示が完了済みになりません。サマリタスクには設定できません。 開始一開始:後続タスクは、先行タスクが開始するまで開始できません。 開始一開始:後続タスクは、先行タスクが開始するまで開始できません。 た行タスクには、必要に応じて[遅延(日数)]フィールドに正または負の数値を入力してラグやリードタイムも定義できます。 サマリタスクを先行タスクとして追加する場合は、「終了ー開始」または「終了一終了」タイプの関係しか設定できません。 |
| 外部タスク | 別プロジェク トからの タスク | 内部タスクと同様です。 |
| リクエスト | HP Demand Management でのリクエ スト | これらのリクエスト関係は、[タスクの詳細]ページの [参照] タブから管理します。 関係あり:情報関係のみで、先行タスク関係は実際には存在しません。この関係は、サマリタスクにのみ設定できます。 後続タスク(被ブロック側):タスクが完了するまで、リクエストのアクションを行えません。 先行タスク(ブロック側):リクエストが完了するまで、タスクのアクションを行えません。 FF 先行タスク(終了一終了先行タスク):タスクはいつでも開始できますが、リクエストが完了するまで完了済みの表示になりません。 |

表 5-1. プロジェクトまたはタスクに構築可能な先行タスク関係

[タスクの詳細]ページからの内部先行タスクの設定

[タスクの詳細]ページからタスクの内部先行タスクを設定するには、次の手順を実行します。

- 1. タスクの [タスクの詳細] ページを開きます。
- 2. [**スケジュール**] タブをクリックします。
- [先行タスクの追加] をクリックして「名前によるタスクの追加」を選択します。
 すべてのタスクをアルファベット順にリスト表示した [オートコンプリート] ウィンドウが開きます。リストは、[タスク名(前方一致)] フィルタフィールドを使ってフィルタできます。

先行タスクの作業計画内のシーケンス番号が分かっている場合は、シーケンス番号を直接指定して先行タスクを追加することもできます。

4. タスクを選択します。

先行タスクが、[タスクの詳細] ページの [**スケジュール**] タブに一覧表示されます。

- 5. [リレーションシップ] フィールドから関係を選択します。
- 6. 必要に応じて [**遅延 (日数)**] フィールドに値を入力します。

このフィールドには、先行タスクの終了後、タスクの開始を遅延させる日 数を指定します。負の数値を使ってリードタイムを指定できます。

7. [保存] をクリックします。

[作業計画の表示]ページからの内部先行タスクの設定

[作業計画の表示]ページからタスクの内部先行タスクを設定するには、次の 手順を実行します。

- 1. タスクの[作業計画の表示]ページを開きます。
- 2. タスクを選択します。
- 3. [先行タスク] フィールドに、現在の作業計画内のいずれかのタスクのシー ケンス番号を入力します。
- 4. [保存]をクリックします。

デフォルトでは、先行タスク関係は「終了-開始」、ラグは「0」(ゼロ)で す。これらの設定は、[タスクの詳細]ページから変更できます。 タスクの外部先行タスクを設定するには、次の手順を実行します。

- 1. タスクの [タスクの詳細] ページを開きます。
- 2. [**スケジュール**] タブをクリックします。
- 3. [先行タスクの追加]をクリックして「外部タスクの追加」を選択します。

[オートコンプリート] ウィンドウが開き、追加する外部タスクを検索でき ます。リストは、[Task starts with (次の文字列で始まるタスク)] フィルタ フィールドを使ってフィルタできます。

4. タスクを選択します。

先行タスクが、[タスクの詳細] ページの [**スケジュール**] タブに一覧表示されます。

- 5. [リレーションシップ] フィールドから関係を選択します。
- 6. 必要に応じて [**遅延 (日数)**] フィールドに値を入力します。

このフィールドには、先行タスクの終了後、タスクの開始を遅延させる日 数を指定します。

7. [保存] をクリックします。

選択タスクとしてのリクエストの設定

既存のリクエストは、[タスクの詳細]ページの [**参照**] タブで、タスクの先行 タスクとして追加できます。詳細については、「既存リクエストの追加」(136 ページ)を参照してください。新規リクエストも、タスクの先行タスクとして 追加できます。詳細については、「新規リクエストの追加」(137ページ)を参照 してください。

スケジュールビューで便利なキーボードショートカット

スケジュールビューのタスクとサマリタスクは、**スケジュール**ビューのアイコンのほか、キーボードでも操作できます。表 5-2に、利用可能なキーボードショートカットを示します。

表 5-2. 作業計画の定義に使えるキーボードショートカット

| キーストローク | アクション |
|-------------------|---------------------|
| Shift + Alt + 左矢印 | 階層内でタスクをアウトデントします。 |
| Shift + Alt + 右矢印 | 階層内でタスクをインデントします。 |
| Enter | [タスクの詳細] ページを開きます。 |
| Shift + Ctrl + C | 選択されているタスクをコピーします。 |
| Shift + Ctrl + V | 1つまたは複数のタスクを貼り付けます。 |

マイルストーンの作成

マイルストーンは、成果物の完成や期日の到来など、プロジェクトの実施時の重要なイベントのマーキングに使用します。

他の進捗マーカと同様、マイルストーンには期間や工数が通常ありません。た だし、その両方を持つようにも設定できます。プロジェクトマネージャは、先 行タスクが終了したら自動的に終了するようにマイルストーンを指定できる ため、何もしなくてもプロジェクトの進捗状況を報告できるようになります。 ただし、マイルストーンにつながる作業でマイルストーンが終了するように 指定されていても、マイルストーンが完了したかどうかをプロジェクトマ ネージが管理したい場合もあります。 1つの作業には、プロジェクトマネージャが実況状況の判断に使用できる多数 のマイルストーンを設定できます。ただし、フェーズ完了マイルストーンな ど、組織の全プロジェクトで使用、報告される標準マイルストーンも多少あ ります。プロジェクトで標準マイルストーンを使えるように設定されている 場合、プロジェクトマネージャは、このようなマイルストーンを、[プロジェ クトの概要]ページに表示される主要なマイルストーンとして特定できます。 これにより、統一性のある高度な視覚マークとしてのマイルストーンの役割 を保持する一方で、プロジェクトマネージャが、詳細計画の管理に必要な数 だけマイルストーンを定義できます。主要なマイルストーンの有効化の詳細 については、「プロジェクトフィールド」(37ページ)を参照してください。

マイルストーンを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. タスクを選択します。
- 2. [タスクの詳細] アイコンをクリックします。

[タスクの詳細]ページが開きます。

3. [マイルストーンとしてタスクをマークする] チェックボックスを選択します。

すべての先行タスクの完了時にマイルストーンが自動的に自身を「完了」 とマークするようにしたい場合は、[マイルストーンは自動的に完了する] チェックボックスを選択します。すべての先行タスクが完了すると、マイ ルストーンの実際の開始日と終了日は、最後の先行タスクが実際に終了し た日付に自動的に設定されます。つまり、先行タスクが別の日に完了した 場合、最後に完了した先行タスクの実際の完了日が使用されます。

[マイルストーンは自動的に完了する] チェックボックスは、期間が「0」のマイルストーンのみに指定できます。

4. [タスクの詳細]ページの各タブの情報を必要に応じて修正します(詳細に ついては、「タスクの詳細の編集」(124ページ)を参照)。

5. [保存] をクリックします。

タスクは、期間が「0」の場合、自動的にマイルストーンに変換されます。

マイルストーンを作成すると、その期間は自動的に「0」に設定されますが、必要に応じて変 更可能です。

作業計画のスケジューリング

HP Project Management では、[スケジュール作業計画] ダイアログボックスで 指定されているプロジェクトの**スケジューリング**ポリシーとオプションを基 に、作業計画のスケジュールが生成されます。

スケジュールの生成

作業計画がスケジュールされると、作業計画全体が検討され、直ちに変更点 が保存されます。作業計画の個別セクションを再スケジュールしたい場合は、 関連サマリタスクに制限を付与することで移動できます。制限の詳細につい ては、「スケジュールの制限の設定」(129ページ)を参照してください。

作業計画のスケジュールを生成するには、次の手順を実行します。

1. [スケジュール作業計画] アイコン ^Hをクリックします。

[スケジュール作業計画]ダイアログボックスが開きます。

2. [スケジュール開始日]に作業計画を開始する日を指定します。

この日付は各プロジェクトのスケジューリングポリシーで個別に設定され ているため、プロジェクト全体の日付をずらす必要がない限り、通常は変 更しません。作業計画の実績を収集している場合は、[スケジュール開始日] フィールドを変更して作業計画を再スケジュールすると、残りの作業を延 期できます。 3. 必要に応じて [クリティカルパスのしきい値] に入力します。

クリティカルパスのしきい値の目的の詳細については、「クリティカルパ スのしきい値」(45ページ)を参照してください。

4. [スケジュール] をクリックします。

スケジューリングエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されず、エラーリストが表示 されます。エラーと原因をそれぞれ書き留め、必要な調整を作業計画で行ってください。詳細 については、「スケジューリングエラー」(99ページ)を参照してください。

スケジューリング警告が発生した場合は、スケジュールが生成されて、警告リストが表示され ます。イニシアチブを成功させるために重要になる場合があるため、警告は逐一書き留めてく ださい。詳細については、「スケジューリング警告」(100ページ)を参照してください。

サマリタスクのスケジューリング

サマリタスクがスケジュールされると、サマリタスクとそのサブタスクが検 討され、直ちに変更点が保存されます。

サマリタスクのスケジュールを生成するには、次の手順を実行します。

1. [スケジュールサマリタスク] アイコンをクリックします。

[スケジュールサマリタスク]ダイアログボックスが開きます。

| × |
|--|
| スケジュール サマリタスク |
| |
| スケジュール開始日: Dec 10, 2010 🔛 |
| 選択したサマリ タスクは、ここで指定したスケジュール日から前方向にス ケジュールされます。まだ開始していないサブタスクは、他の制限によっ て妨げられないかぎり、この日付またはこの日より後の日付にスケジュー ルされます。 |
| 選択したサマリ タスクのみをスケジュールする |
| クリティカル パスのしきい値: 5 余裕期間の日数 |
| スケジュール キャンセル |
| |
| |

2. [スケジュール開始日] にサマリタスクを開始する日を指定します。

3. 必要に応じて [クリティカルパスのしきい値] に入力します。

クリティカルパスのしきい値の目的の詳細については、「クリティカルパ スのしきい値」(45ページ)を参照してください。

4. [スケジュール] をクリックします。

スケジューリングエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されず、エラーリストが表示 されます。エラーと原因をそれぞれ書き留め、必要な調整を作業計画で行ってください。詳細 については、「スケジューリングエラー」を参照してください。

スケジューリング警告が発生した場合は、スケジュールが生成されて、警告リストが表示され ます。イニシアチブを成功させるために重要になる場合があるため、警告は逐一書き留めてく ださい。詳細については、「スケジューリング警告」を参照してください。

スケジューリングエラー

入力情報の組み合わせによっては、スケジュールが実行不可能になることが あります。このようなエラーが発生した場合は、スケジュールは生成されま せん。表 5-3に、スケジューリングエラー、その原因、および考えられる解決 方法を示します。

表 5-3. スケジューリングエラー、原因、および考えられる解決方法

| スケジューリ ングエラー | 原因 | 考えられる解決方法 | | |
|--------------------|--|--------------------------------------|--|--|
| 循環依存 | ー連のプロジェクトまたはタスクの先行タ スクに循環が含まれます。この場合、スケ ジュールは設定できません。 HP Project Managementでは、作業計画の 作成中または編集中に循環依存が検出され ます。 | 先行タスクを削除または 変更して循環を断ち切り ます。 | | |
| スケジュールす るタスクがない | 作業計画が完了済みかキャンセルされたた め、スケジュールするタスクがありません。 | 見つからない場合は、タ スクを追加してスケ ジュールします。 | | |

スケジューリング警告

作業計画の特定の情報が原因で、スケジューラが一貫性のあるスケジュール を作成できない場合があります。スケジュールは作成されますが、作業計画 の構造に一貫性がないことを示すスケジュール警告が生成されます。これら の問題は、プロジェクト設定のスケジュールポリシーで有効になっているスケ ジュール警告ルールで特定されています。警告はスケジュールの実行時に表 示され、作業計画の保存時に評価が行われます。警告は、各関連タスクの[タ スクの詳細]ページの[**警告**]タブでも保存され、後からでも利用できるよう になっています。表 5-4に、スケジュール警告、その原因、および考えられる 解決方法を示します。 表 5-4. スケジュール警告、原因、および考えられる解決方法(1/2ページ)

| スケジュー リング警告 | 原因 | 考えられる解決方法 |
|----------------|---|---|
| プロジェクト 日の競合 | この警告は、作業計画の日付がプ ロジェクトの[計画開始期間]ま たは[計画終了期間]より後の場 合に発生します。また、タスクに 定義されている制限がプロジェク トの[計画開始期間]または[計画 終了期間]に該当しない場合にも 発生します。 | 依存関係、期間、リソース、またはそ の組み合わせを調整することで計画 をプロジェクトの期間内に移動し、再 度スケジュールします。 場合によっては、プロジェクトレベル の日付を延長すると解決できること もあり、その場合はプロジェクトの財 務サマリとスタッフィングプロファ イルの調整が必要になります。 |
| 依存関係の 競合 | この警告は、ほかの制限やタスク 情報で禁止されているため、タス クに定義されている先行タスクへ の依存関係を保てない場合に発生 します。 たとえば、先行タスクとの関係で 10月10日に開始が予定されてい るタスクに、[次の日以降に開始し ない]制限が10月1日に設定され ている場合、このタスクは両方の 要件を満たすことができません。 | 計画を改訂して競合を取り除きます。 |

表 5-4. スケジュール警告、原因、および考えられる解決方法(2/2ページ)

| スケジュー リング警告 | 原因 | 考えられる解決方法 |
|----------------------------------|---|---|
| 制限の継承の 競合 | この警告は、1つの制限しか満た せないなど、タスクとその上位タ スクに定義されている制限が直接 競合する場合に発生します。両方 の関連タスクがマークされます。 | 計画を改訂して競合を取り除きます。 両制限が有効な場合は、プロジェクト の問題の提出が必要な場合がありま す。詳細については、「問題のロギン グ」(182ページ)を参照してください。 |
| リソースを スケジュール できませんで した | アサインされたリソースに十分な 就業日数を特定できないため、ス ケジューラがタスクをスケジュー ルできませんでした。この警告は、 スケジューラの実行時にのみ評価 が行われます。 | この警告は、スケジューラが、リソー スの終了日より後、またはリソースの 開始日より前にリソースをスケ ジュールしようとした場合に通常発 生します。リソース情報をチェック し、必要に応じて、正しい期間にリ ソースがスケジュールされるように、 タスクのリソースやタスクの依存関 係を変更します。 |
| タスク制限を 満たすことが できませんで した | この警告は、ほかの競合情報が優 先されるため、タスクに定義され た制限を守れない場合に発生し ます。 | この警告は、スケジューリングに実績 が使用されており、タスクの実際の開 始日がタスクに定義された制限と競 合する場合に通常発生します。これに は、明確な解決策が必要ないこともあ ります。 |

作業計画情報の表示

HP Project Management では、数種類の方法で作業計画データを確認できるため、目前の特定タスクに着目できます。

- 「レベルの展開/折りたたみ」では、作業計画ビューを特定の階層レベルまで直ちに展開または折りたためるため、計画の詳細に煩わされることなく、迅速に計画にアクセスできます。
- 「作業計画ビュー」では、さまざまな方法を使って、実行する必要のある タスクや計画から必要な情報に基づいて作業計画を検査できます。
- 「フィルタ」では、特定の作業計画ビュー内で、情報のサブセットに対して データのフィルタリグが行えるため、注意が必要なタスクに効率良く着目 できます。
- 「ガントビュー」では、タスクとその依存関係を、カラーコードや設定可能なラベルで見やすくなったグラフ形式で視覚的に表現できます。

一般的に、HP Project Management では各作業計画の列の幅と位置が保持され るため、いったんログアウトしてからプロジェクトに戻っても、レイアウト と位置はログアウト前と変わりません。

レベルの展開/折りたたみ

[拡張先:レベル]をクリックして作業計画とサマリタスクのビューを展開また は折りたたみ、特定の階層レベルを2から7にします。

- レベル2には、作業計画のルートレベル直下のタスクとサマリタスクだけ が表示され、それ以下の階層は折りたたんで表示されます。
- レベル7には、タスクとサマリタスクが作業計画の第7階層レベルまで表示 され、それ以下の階層は折りたたんで表示されます。



HP Project Managementは、異なるカテゴリの作業計画情報を確認できる作業 計画ビューをいくつか備えています。これらのビューは、[作業計画の表示] ページ上部の[ビュー変更]ボタンメニューからアクセスできます。

スケジュールビュー

スケジュールビューは、[作業計画の表示]ページのデフォルトビューです。このビューは、作業計画ビューのスケジュール関連情報のタスク階層の調整に使用します。



期間のトラッキング用フィールドの値はすべて日数で、工数のトラッキング用フィールドの値 はすべて時間数です。

スケジュールビューには、次のタスクフィールドが列として表示されます。

- タスクステータス
- スケジュールされた期間
- スケジュールされた開始日
- スケジュールされた終了日
- スケジュールされた工数
- 先行タスク
- リソース
- ・ロール
- アクティビティ
- アサインされていない工数

実績ビュー

実績ビューは、作業計画の進捗状況に関する情報に特化しており、次のタスクフィールドが列として表示されます(プロジェクトフィールドポリシーまたはコストと工数ポリシーで選択されている場合のみ表示される列もあります)。

- タスクステータス
- 実績工数
- 達成率
- 見積もり残存工数
- 実際の開始日
- 実際の終了日
- 実際の期間
- 予想終了日
- リソース
- 先行タスク
- 次の日での実績(実績が最後に更新された日付)

図 5-4. [作業計画の表示] ページ:実績ビュー

| ビュー | :実練ビュ | - ビュー変更 ▼ | | | | | | |
|------|---------|-----------------------------|-----------|--------------------|----------|------------|----------------------|-------|
| フィルタ | : すべて | このタスクマ すべてのタスク | | | | | | 合計タスク |
| 拡張先 | : L×11- | | 12 🛛 福集 🔹 | アクション・ スケジュ | ールされた期間と | スケジュールされた財 | 聯始日の入力 (<u>変更</u>) | 前へ |
| » I | | □ 名前 | ステータス | 実績工数 (時間) | 達成率 (%) | 実際の開始日 | 実際の終了日 | 実際の期間 |
| 1 | | E Project 1001 | 計画中 | 0.00 | 6 | 12/13/10 | | 0.00 |
| 2 | | Requirements Validated | 完了 | 0.00 | 100 | 12/13/10 | 12/13/10 | 1.00 |
| 3 | | Development Activities | 計画中 | 0.00 | 0 | | | 0.00 |
| 4 | | Replace source control tool | 準備完了 | 0.00 | 0 | | | 0.00 |
| 5 | | Define build standards | 準備完了 | 0.00 | 0 | | | 0.00 |
| 6 | | Development Complete | 準備完了 | 0.00 | 0 | | | 0.00 |
| 7 | | Developer Traning | 準備完了 | 0.00 | 0 | | | 0.00 |
| | | | | | | | | |

コスト設定ビューには、プロジェクトのコスト設定データが表示されます(コ スト設定ビューは、HP Financial Managementがコストと工数ポリシーで有効に なっている場合にのみ表示できます)。表 5-5に、コスト設定ビューに列として 表示されるタスクフィールドを示します。このビューは、プロジェクトのコ ストデータの閲覧権を持つユーザのみアクセスできます。

| 列名 | 説明 | | | | |
|--------------------------------------|--|--|--|--|--|
| コストのヘルス | タスクのコストのヘルス | | | | |
| 計画人件費 | タスクに計画された人件費。 算出方法: スケジュールされた工数×適用可能なコストレート 適用可能なコストレートには、次のものがあります。 ・ リソース(コストレートがリソースにない場合は、リソース地 域、ロール、およびスキルが次に検討されます) ・ タスクのロール | | | | |
| 計画非人件費 | タスクに計画された人件費以外のコスト。手作業で入力します。 | | | | |
| 計画コスト | 計画された人件費と人件費以外のコストの合計 | | | | |
| 実績人件費 | 実際にタスクにかかった人件費。 人件費 計算方法は、スケジュールされた工数を実績工数に置き換えれ 計画人件費と同じです。 | | | | |
| 実績非人件費 実際にタスクにかかった人件費以外のコスト。手作業で入ます。 | | | | | |
| 実績コスト | 実際にかかった人件費と人件費以外のコストの合計 | | | | |
| 計画資本経費 | 資産計上されたコストと表示されるアクティビティ関連のタスク に計画されたコスト | | | | |
| | | | | | |

表 5-5. コスト設定作業計画ビューに表示可能な列(1/2ページ)

表 5-5. コスト設定作業計画ビューに表示可能な列(2/2ページ)

| 列名 | 説明 | | | |
|---------|--|--|--|--|
| 実際の資本経費 | 資産計上されたコストと表示されるアクティビティ関連のタスク に実際にかかったコスト | | | |
| 実際の運用費 | 運用と表示されるアクティビティ関連のタスクに実際にかかった コスト | | | |
| アクティビティ | タスク関連のアクティビティ | | | |

図 5-5. [作業計画の表示] ページ: コスト設定ビュー

| ビュー: コスト設定ビュー ビュー変更 ▼ | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---------|------------|----------|----------|-----------|---------|------|-----|
| フィルタ: <u>すべてのタスク▼</u> すべてのタスク | | | | | | | 승計 / | スク: |
| 拡張先: レベル▼ 誓 誓 📝 💠 🗙 🖄 🛱 | 5 5 2 2 | 編集▼ アクション▼ | スケジュールされ | た期間とスケジョ | ールされた開始日の | 入力 (変更) | 前へ | 次 |
| ン 🕎 🔁 🔲 名前 | | 計画人件費 | 計画非人件費 | 計画コスト | 実績人件費 | 実績非人 | 供費 | 実行 |
| 0 E Project 1001 | | JPY0 | JPY0 | JPY0 | JPY0 | JPY0 | | JP |
| 1 Requirements Validated | | JPY0 | JPY0 | JPY0 | JPY0 | JPY0 | | JPY |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

列の表示形態は、プロジェクトのコストと工数ポリシーで適切な設定を調整して変更できます。詳細については、「プロジェクト設定の調整」(76ページ)を参照してください。

アーンドバリュービュー

アーンドバリュービューには、プロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析デー タが表示されます (**アーンドバリュー**ビューは、HP Financial Management がコス トと工数ポリシーで有効になっている場合にのみ表示できます)。次のタスク フィールドが列として表示されます。

- 計画価値
- アーンドバリュー
- コストの差異
- スケジュールの差異
- CPI
- SPI
- 実績コスト

このビューは、プロジェクトのコストデータの閲覧権を持つユーザ閲覧権を 持つユーザのみアクセスでき、プロジェクトのベースラインを少なくとも1つ 取得している場合に有用です。プロジェクトのベースラインの詳細について は、「ベースラインの操作」(189ページ)を参照してください。
ガントビュー

ガントビューには、タスクの長さやタイミングなどのスケジュール関連情報の 便利なグラフ表示であるガントチャートが表示されます。サマリタスクは、ヘ ルスを表すカラーコードで表示できます。色とパターンによって完了ステー タスが分かります。オプションのタスクラベルで詳細情報の追加も可能です (「ガントビュー表示の変更」参照)。

また、プロジェクト全体をガントビューに表示できるほか、チャートを表示 する時間単位も変更できます。図 5-6に、通常のプロジェクトのガントチャー トを示します。



図 5-6. [作業計画の表示] ページ: ガントビュー

ガントビュー表示の変更

ガントチャートの表示は、[作業計画の表示]ページで [**アクション**]>[ガント の設定]をクリックして調整できます。[ガントの設定]ダイアログボックスで は、ガントチャートのインジケータとテキストラベルを設定できます。 印刷ビュー

印刷ビューには、すべてのビューのフィールドが組み合わせて表示されます。 列は、次の順番でビュー別に編集されています。

- スケジュール
- 実績
- コスト
- アーンドバリュー

このビューは、異なるビューにまたがった列を含むPDFプリントアウトの生成用に、列の順番やサイズを設定する場合に使用します。PDFファイルへの作業計画のエクスポートの詳細については、「PDFファイルへのエクスポート」(195ページ)を参照してください。システムのパフォーマンスを最適化するには、対象タスクのほかの作業計画ビューを使用してください。

カスタムビュー

カスタムビューには、ユーザが表示するように選択したフィールドのビューが 表示されます。ユーザは、作業計画ごとにカスタムビューを1つ設定し表示で きます。カスタムビューは、他のユーザと共有されません。カスタムビューの 設定方法については、「列の追加/削除」(114ページ)を参照してください。

フィルタ

HP Project Managementは、特定のタスクの作業計画をフィルタリングが可能 なフィルタを各作業計画ビューに備えているため、アクティビティに最も関 連するデータに迅速に着目できます。フィルタで選択されたタスクを持つサ マリタスクが常に表示されているため、その中身が分かります。表 5-6に、各 作業計画ビューで使えるファイルを示します。

表 5-6. 作業計画ビューのフィルタ(1/2ページ)

| フィルタ名 | 説明 | | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|--|--|
| スケジュールビューとトラ | スケジュールビューとトラッキングビュー | | | | | |
| 進行中のタスク | 進行中の作業計画のタスクのみを表示します。 | | | | | |
| 完了したタスク | 完了済みの作業計画のタスクのみを表示します。 | | | | | |
| 期限切れのタスク | スケジュールされた終了日を超えても完了していな い作業計画のタスクのみを表示します。 | | | | | |
| アサインされていない タスク | リソースがアサインされていない作業計画のタスク のみを表示します。 | | | | | |
| マイルストーンである タスク | マイルストーンになっている作業計画のタスクのみ を表示します。 | | | | | |
| クリティカルパス上の タスク | クリティカルパス上にある作業計画のタスクのみを 表示します。 | | | | | |
| 外部先行タスクを持つ タスク | 外部先行タスクを持つ作業計画のタスクのみを表示 します。 | | | | | |
| 貢献度を持つタスク | アサインされていないリソースが読み込んだ時間が HP Time Managementに記録されている作業計画の タスクのみを表示します。プロジェクトに対して記 録されている想定外の時間を特定しやすくなります。 | | | | | |
| 制限を持つタスク | 制限を持つ作業計画のタスクのみを表示します。 | | | | | |
| リソース別のタスク | 特定のリソースにアサインされている作業計画のタ スクのみを表示します。 | | | | | |
| ロール別のタスク | 特定のロールにアサインされている作業計画のタス クのみを表示します。 | | | | | |
| 開始時期別のタスク | 特定の期間内に開始するようにスケジュールされた 作業計画のタスクのみを表示します。 | | | | | |

 フィルタ名
 説明

 完了時期別のタスク
 特定の期間内に完了するようにスケジュールされた 作業計画のタスクのみを表示します。

 発生時期別のタスク
 特定の期間内に発生するようにスケジュールされた 作業計画のタスクのみを表示します。

 次以降の実績を持つタスク
 指定した日付より後に実績が更新されたタスクのみ を表します。 たとえば、今週更新されたタスクを探す場合に有用 です。

表 5-6. 作業計画ビューのフィルタ(2/2ページ)

タスクの詳細の編集

特定のフィールドは、[作業計画の表示]ページから編集して保存できます(「[作 業計画の表示]ページからのタスク詳細の編集」(152ページ)参照)。その他の フィールドは、[タスクの詳細]ページから編集(「タスクの詳細の編集」(124 ページ)参照)または同時更新(「複数タスクの同時設定と編集」(154ページ) 参照)が可能です。

大きな作業計画の表示

HP Project Management では、一度に表示できる作業計画のタスク数を決めら れるため、高速のローカルLAN または分散ネットワークを問わず、作業計画 を効率的に管理できます。一度に表示するタスクのまとまりを「ページ」と 呼びます。大きな作業計画のページ間の移動は、次の方法で行えます。

- 隣接するページ間を移動する場合は、[前へ]や[次へ]をクリックします。
- 特定のタスクのシーケンス番号を[シーケンス番号]に入力して[実行]をク リックし、そのタスクに移動します。タスクがページ上部に表示されま す。これによってページの位置が変わるので、目的のデータを表示できます。
- HP Project Management では、タスクが何ページにもわたって表示されます。 折りたたまれたサマリタスクの下位タスクはカウントされません。

パーソナルページサイズプリファレンスの調整

1つの作業計画ページに表示する行数は、メニューバーから [**開く**] > [管理] > [マイプロファイルの編集] を選択して [マイプロファイルの編集] ページを開き、[プロジェクト作業計画プリファレンス] セクションで調整できます。

1ページに表示させたいタスクの数のオプションを選択するか、その値を入力 して [**完了**] をクリックします。この設定は、接続速度に合わせていつでも変 更できます。

ページのプリセットおよび最大サイズは、PPM Centerの管理者によって決められています。作 業計画のサイズ制御や調整の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』 を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

リソースの使用状況

[リソースの使用状況]ページには、アサインレベルの負荷データがリソース ごとにグループ化されて表示されます。[リソースの使用状況]ページは、[作 業計画の表示]ページで[**アクション**]>[**リソースの使用状況**]をクリックして開 きます。タスクはこのページまたは[作業計画の表示]ページから開いて編集 できますが、このページのフィールドは直接編集できません。[リソースの使 用状況]ページは、作業計画キャパシティを決めるプロジェクトのスタッフィ ングプロファイルとの併用に最適化されています。

| 列名 | 説明 |
|---------------|---|
| (インジケータ 列) | 表示されている日付のいずれかでリソースの割り当てが多すぎるかどう かを示します。 |
| 名前 | リソースの名前。 |
| ロール | 使用が予定されているロールを示します。 プロジェクトのスタッフィングプロファイルがある場合、リソース名の横に表示されているロールがプロファイルに指定されています。 タスク名の横に表示されているロールは、作業計画で指定されています。 |

表 5-7. リソースの使用状況作業計画ビューに表示可能な列(1/2ページ)

表 5-7. リソースの使用状況作業計画ビューに表示可能な列(2/2ページ)

| 列名 | 説明 |
|---------|--|
| 工数 (負荷) | リースにアサインされている工数の合計。この列は、スケジュールされ た工数、実績工数、およびリソースに対する割り当てをトラッキングす るサブ列に分割されます。 |
| 開始日 | アサインされたタスクの開始日 |
| 終了日 | アサインされたタスクの終了日 |
| ステータス | アサインされたタスクのステータス |

[リソースの使用状況]ページには、このほかにも以下の機能があります。

- 割り当て過多が発生すると、リソース名の左にインジケータが表示されます。
- [リソースの使用状況]ページには、外部ソースからのリソース負荷の量が 表示されます。リソース名の下の[外部負荷]をクリックすると、リソース 負荷の内訳が表示されます。
- [リソースの使用状況]ページには、プロジェクトのリソース負荷の詳細を 表示する表があり、割り当て過多は赤色で表示されます。この表は、特定 の期間について表示するよう設定できるほか、異なる期間タイプごとに分 割できます。表に表示する期間や時間の内訳を変更するには、[表示データ は次の日から]フィールドと[グループ]フィールドに任意の値を入力し、[適 用]をクリックします。

列の追加/削除

列の追加/削除アクションでは、表示する列と[作業計画の表示]ページでの順 番をカスタマイズできます。このアクションは、スケジュールビュー、実績 ビュー、印刷ビュー、およびカスタムビューで使用できます。

表 5-8. [列の追加/削除] ダイアログのフィールドの説明

| フィールド | 説明 |
|--------|---|
| カテゴリ | [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドに表示されている 列名をフィルタします。[すべて]、[スケジュールビュー]、[コスト設定 ビュー]、[アーンドバリュービュー]、[実績ビュー]、または [ユーザデー タ] から選択して列を表示できます。 |
| 含む | [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドに表示されている 列名をフィルタします。個々の列名に含まれる文字列を指定します。 |
| 利用できる列 | [作業計画の表示]ページに表示可能で、現在は表示されていない列の名前 |
| 選択した列 | [作業計画の表示]ページに表示される列の名前と表示される順番 |

[作業計画の表示]ページから列を追加または削除するには、次の手順を実行します。

1. [作業計画の表示] ページで、[**アクション**]>[**列の追加/削除**] をクリックします。

[列の追加/削除]ダイアログが開きます。

| Choose a cate | gory below or enter a k | eyword to filt | er for the relevant available columns. | |
|---------------------------------|-------------------------|----------------|--|---|
| Category : | All 🔻 | | | |
| Contains : | | Filter | | |
| Available Colu | umns | | Selected Columns | |
| Actual Effort (Actual Start | hrs) | | Status Scheduled Duration (days) | |
| Actual Finish | | | Scheduled Start | |
| Actual Duratio | n (days) | E | Scheduled Finish | A |
| Actuals As Of | 1 1=4= | | Scheduled Effort (hrs) | W |
| Baseline Sche | iele iduled Start | | Dradecessors | |
| Baseline Sche | duled Finish | | Resources | |
| Basalina Caba | duled Effort (bre) | - | Dele | - |

2. [作業計画の表示]ページに列を追加するには、[選択した列]フィールドに 列名を移動します。[選択した列]フィールドで、表示させたい順番に列名 を編集します。

[作業計画の表示]ページから列を削除するには、[利用できる列]フィールドに列名を移動します。

3. [OK] をクリックします。

選択した列が、[選択した列]フィールドの順番で[作業計画の表示]ページに表示されます。

作業計画の列は、任意の位置にドラッグしてソートできます。連続した列を移動する場合 は、[列の追加/削除]ダイアログを開き、[選択した列]フィールドから連続した列を選択 した後、上下の矢印キーで位置を決めます。

作業計画のクリティカルパスの表示

作業計画のクリティカルパスは、作業計画内の期間を決定するすべてのタスク で構成されます。HP Project Managementでは、作業計画のクリティカルパス を**スケジュール**ビューのガントチャートで強調表示できます。クリティカルパ スの一部となっているタスクは、オレンジ色でアウトライン表示されます。作 業計画のクリティカルパスは、フィルタを1つ使って表示することもできます。

図 5-7. [作業計画の表示] ページ: クリティカルパスが表示されている ガントビュー

| 包作 | 業計画 | の監 | 査履歴 | | |
|-----|------|-------|------|---------------------------------------|---|
| Com | mer | ce C | ente | r 6.0 - QA Testing Projectの作業計画 | ■ (録計中: ヘルス ●録) 保存 完了 キャンセル |
| Ea- | -: 🛛 | ΰント t | ía- | ▼ 7イルタ: すべてのタスク | |
| 拡張先 | : 1 | ~lv | • | | ◎ 副 乳 乳 影 振 編集▼ 7万ション▼ |
| ž | | | | 名前 | Apr 18, 2012 Apr 22, 2012 Apr 29, 2012 May 6, 2012 May 13, 2012 May 20, 2012 May 27, 2012 W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M T W T F S M |
| 0 | | | | Commerce Center 6.0 - QA Testing Proj | V |
| 1 | | | | Define Test Regirements | |
| 2 | | | | Risk Assessment | |
| 3 | | | | Risk Based Quality Management Contr | |
| 4 | | | | Design Test Plan | |
| 5 | | | | Test Plan Defined | |
| 6 | | | | Setup Test Environment | |
| 7 | | | | Provision/Allocate Hardware | |
| 8 | | | | Setup Application Under Test | |

作業計画のクリティカルパスを確認するには、次の手順を実行します。

[作業計画の表示]ページで、[アクション]>[ガントの設定]をクリックします。

[ガントビューの設定]ダイアログボックスが開きます。

- 2.「**クリティカルパスの強調表示**」チェックボックスを選択します。
- 3. [**OK**] をクリックします。

作業計画のクリティカルパスが、ガントチャートにオレンジ色で表示され ます。

タスクの設定

初期作業計画を作成したら、必要に応じて個々のタスクを設定して計画を改 善できます。計画を改善するために行うアクティビティには、次のようなも のがあります。

- リソースの検索とタスクへのアサイン
- 利用可能な追加情報に応じて行うタスクの工数見積もりと期間の調整
- 注意が必要なタスクを適切な人々に知らせるための電子メール通知の設定
- タスクの詳細の明確化に伴って行うタスクの依存関係の調整
- 計画の再スケジュール
- スタッフィングプロファイルのアサインの範囲内でリソースが使用されていることを確認するためのリソース負荷の見直し
- オフラインでの検討、印刷、または発行用に行う作業計画ビューのエクス ポート

これらのタスク設定アイテムの詳細については、第6章「タスクの設定」(119 ページ)および第7章「プロジェクトの管理」(143ページ)を参照してください。

第6章 タスクの設定

タスクの要素

作業計画は、タスク、サマリタスク、メモ、および参照情報で構成される情報の保管場所です。組織内で特定のビジネスイニシアチブの達成に必要な作業は、これらの要素でモデル化されています。作業計画は静的エンティティではありません。追加情報の収集が行われるほか、タスクが終了に近づくにつれて修正も行われます。

タスクは、作業計画が正常に終了するために不可欠な作業計画のコンポーネ ントです。プロジェクトマネージャは、タスクから情報を収集し、プロジェ クトのプロセス中に適切な変更をプロジェクトに加えます。つまり、タスク は、プロジェクトマネージャに必要な特定情報を提供するように設定する必 要があります。たとえば、タスクの終了またはタスクステータスの変化の通 知がプロジェクトマネージャに必要な場合などがその例です。

期日に間に合わせるために行うタスクスケジュールの延長やタスクへの追加 リソースのアサインなど、タスクの修正はプロジェクトの実施中も必要です。 アサインされたタスクの終了時には、個別ステータスを更新することがチー ムメンバに求められます。



プロジェクトマネージャは、作業計画のタスクに通知をセットアップできま す。これらの通知は、[タスクの詳細]ページからプロジェクトマネージャと サマリタスクのオーナが編集できます。電子メールメッセージは、タスク上 で特定イベントが発生するたびに適切なチームメンバに送信されるように設 定できます。イベントには次のものがあります。

- マイルストーンの終了
- タスクによる例外ルールのトリガ
- タスクの開始日の接近

参照情報

タスクにはほかのエンティティや情報元への追加参照情報を含めることがで きるため、現在のタスクに関連するデータに簡単にアクセスして確認できま す。参照情報に関するサマリ情報は、タスクの一部として表示されます。

タスクには、リクエスト、パッケージ、プロジェクト、リリース、添付、お よびURLという、数種類の参照タイプを定義できます。

参照情報は、[タスクの詳細]ページからプロジェクトマネージャとサマリタ スクのオーナが編集できます。

アクティビティ

タスクは、タスクの実施に関連するアクティビティのタイプによって特徴付けることができます。たとえば、設計アクティビティとして分類できるタスクもあれば、テストアクティビティとして分類できるタスクもあります。アクティビティは、単純なカテゴリ分けに使用できますが、通常は、SOP 98-1 コンプライアンスに関する資本計上可能なコストの特定に使用されます。アクティビティとその使用法の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

タスクステータス

[作業計画の表示]ページでは、タスクステータスがスケジュールビューの [ス テータス]列に表示されます。タスクに定義可能なステータスを表 6-1に示し ます。表 6-2には、サマリタスクステータスを示します。

表 6-1. タスクステータスの定義

| タスクステータス | 定義 |
|----------------|---|
| 保留中の先行タスク | 1つまたは複数の先行タスクが完了するまで保留されている タスク |
| 準備完了 | リソースによって作業準備が整えられたタスク |
| 進行中 | 実行しないと完了できないアクションが次々と行われてい るタスク |
| 完了 | 完了済みのタスク |
| キャンセル済み | プロジェクトの遂行に必要なくなったため、完了も再実行も 行われないタスク |
| 完了 (保留中の先行タスク) | 完了済みではあるが、先行タスクが完了しない限り本当の完 了とはならないタスク |
| 保留中のリクエスト | 1つまたは複数のリクエスト先行タスクが完了するまで保留 されているタスク |
| 完了 (保留中のリクエスト) | 完了はしているが、1つまたは複数のリクエスト先行タスク の完了が必要なタスク |

表 6-2. サマリタスクステータスの定義

| タスクステータス | 定義 |
|----------|--|
| 計画中 | 作業計画のこのセクションは、まだ開発中で実行する準備が 整っていません。 |
| アクティブ | 計画のこのセクションは実行可能です。作業計画が「 アク ティブ」となるまで、リソースは作業計画に対する実績レ ポートを発行できません。 |
| 保留中 | 計画のこのセクションは保留されています。再計画が必要、 将来のフェースがまだ計画段階、一時的に作業が中断といっ た理由で保留中になります。 |
| 完了 | 計画のこのセクションは実行完了済みです。このセクション のすべてのタスクが完了したか、キャンセルされています。 |
| キャンセル済み | 計画のこのセクションはキャンセルされており、完了するこ とはありません。このセクションのすべてのタスクがキャン セルされています。 |

プロジェクトに対して定義されている責任レベルによっては、変更できるタスクのステータス が制限されているユーザもいます。



たとえば、プロジェクトマネージャは、タスクステースを「準備完了」から「進行中」、「キャ ンセル済み」に変更したり、「キャンセル済み」から「準備完了」に戻したりできます。プ ロジェクト参加者は、タスクのサマリタスクオーナでない限り、直接タスクステータスを変更 できません。タスクステータスは、リソースが報告する実績を基に導き出されます。 使用できるタスクステータスも、作業計画のステータスによって異なります。

作業計画へのタスクの追加

タスクは、個別、または作業計画テンプレートで定義された事前シーケンス グループ単位で追加できるほか、既存の作業計画からインポートすることも できます(詳細については、「作業計画のインポート」(87ページ)を参照)。

また、編集も階層形式で素早く簡単に行えます。詳細については、「タスクの 追加と作業計画構造の作成」(85ページ)を参照してください。

マイルストーンの作成

タスクは、マイルストーンに変換できます。

タスクからマイルストーンを作成するには、次の手順を実行します。

1. 編集するタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

2. [マイルストーンとしてタスクをマークする] チェックボックスを選択します。

タスクの期間が自動的に「0」に変わります。期間を延長したい場合は手 作業で編集できます。

すべての先行タスクの完了時にマイルストーンが自動的に自身を「完了」 とマークするようにしたい場合は、[マイルストーンは自動的に完了する] チェックボックスを選択します。すべての先行タスクが完了すると、マイ ルストーンの実際の開始日と終了日は、最後の先行タスクが実際に終了し た日付に自動的に設定されます。つまり、先行タスクが別の日に完了した 場合、最後に完了した先行タスクの実際の完了日が使用されます。

[マイルストーンは自動的に完了する] チェックボックスオプションは、期間 が「0」以外のマイルストーンに指定できます。

- 3. [タスクの詳細]ページの各タブの情報を必要に応じて修正します(詳細に ついては、「タスクの詳細の編集」を参照)。
- 4. [保存] をクリックします。
- タスクは、期間が「0」の場合、自動的にマイルストーンに変換されます。
- マイルストーンを作成すると、その期間は自動的に「0」に設定されますが、必要に応じて変 更可能です。

タスクの詳細の編集

タスク情報は、[作業計画の表示]ページ(「[作業計画の表示]ページからのタ スク詳細の編集」(152ページ)参照)または[タスクの詳細]ページから編集で きます。[タスクの詳細]ページは、[作業計画の表示]ページまたは[リソー スの使用状況]ページからアクセスできます。HP Project Managementでは、[作 業計画の表示]ページに戻らなくても、タスクからタスクへ移動可能です。

図 6-1. [タスクの詳細] ページ

| タスクの詳細: 2 - Aufnal | nme Anforderungen | | | | | | □ ② ■ (新 売) 第 |
|---|--|--|--------------------|---------------------|-------|-----------|---------------------------|
| 統計 名前: ステ Aufnahme Anforder 完 | タス: シーケンス番号: 7 ✓ 2 | 達成率 (%): アク 100 | テ᠇᠋ᡸ᠋᠋ᡔᡘ | 優先度 : Ⅲ 0 | 1997: | | |
| コマイルストーンとしてタスクをマ コドシークト・パマ・ J2FE Migratic | ークする 目主要マイルストーン | ロマイルストーンはE Aufnahme Anforde | 目動的に完了する rungen | | | | |
| スケジュール | リソース | 고자 | | 通知 | | 、た | |
| 参照 | アジャイル プロジェクト | | | | | | |
| 期間 (日表 | (時間) | 開始日 | 終了日 | | | | |
| スケジュール済み: 5.00 | 3 40.00 時間 | 5/10/12 💣 | 5/16/12 📸 | | | | |
| 見積もり: | 0.00 時間(残り) | | | | | | |
| 実績: 4.00 | 0.00時間 | 5/10/12 | 5/16/12 | | | | |
| 制限 | | | | | | | |
| ミケジュールの制限 : できる限り早 | 2 🖌 🖌 制限 | 8: 🗾 👻 | | | | | |
| 先行タスク | | | | | | | |
| タイプ | 名前 | | | | | リレーションシップ | 遅延 (日数) |
| 先行タス クの追加 ▼ | | | | | | | |
| クリティカル パス メトリクス | | | | | | | |
| 最も早い開始日 : May 10, 2012 最も遅い開始日 : May 10, 2012 全裕期間: 0 | 最も早い終了日: May 16, 2 最も遅い終了日: May 16, 2 | 012 012 | | | | | |

[タスクの詳細] ページで ≤ や ▶ をクリックすると、[作業計画の表示] ページに表示されている順番でタスクからタスクに移動します。

タスクからタスクへの移動には、[作業計画の表示]ページの展開/たたみ込み状態が考慮されます。[作業計画の表示]ページでサマリタスクがたたみ込まれている場合は、
 をクリックしても、サマリタスクの下位タスクには移動しません。

< すべてのタスク >

また、[作業計画の表示]ページに適用されているフィルタも考慮されます。[作業計画の表示]ページにフィルタが適用されている場合、→ をクリックすると、フィルタされたセット内の次のタスクに移動します。

フィルタされたセットの内容がわかるように、サマリタスクが[作業計画 の表示]ページでグレーのイタリックで表示されることもあります。

[タスクの詳細]ページでタスク情報を編集するには、次の手順を実行します。

- 1. 編集中のプロジェクトに対する [作業計画の表示]ページを開きます。
- 2. 編集するタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

- 3. [タスクの詳細]ページで必要な変更を加えます。
- 4. [保存] をクリックします。

リソースのアサイン

プロジェクトマネージャは、[タスクの追加]ページで追加中の新規タスクに リソースをアサインできます。リソースは、[作業計画の表示]ページから、 または [タスクの詳細]ページを使って、既存タスクにもアサインできます。 タスクにリソースをアサインするには、次のいずれかの条件を満たす必要が あります。

- リソースが、プロジェクトに添付されたスタッフィングプロファイルで指 定されていること
- リソースが、プロジェクトマネージャが管理するリソースプールに属して いること
- リソースがリソースプールに属し、RM_OVERRIDE_ASSIGNMENT_ CONTROLSパラメータがTRUEに設定されていること。詳細については、『HP Resource Managementユーザーガイド』を参照してください。

ほかのリソースは、標準スタッフィングプロファイル機能を使って、ほかの リソースプールからリクエストします。スタッフィングプロファイルおよび リソースプールとのやり取りの詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

[タスクの追加]ページからのリソースのアサイン

新規タスクには、[タスクの追加] ページから [**リソース**] アイコンを直接クリックしてリソースをアサインできます。

新規タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

- 1. [タスクの追加]ページで新規タスクを作成します。
- 2. [リソース] アイコンをクリックしてリソースをアサインします。
- 3. [**完了**] をクリックします。

[作業計画の表示]ページからのリソースのアサイン

既存タスクには、[作業計画の表示]ページからリソースをアサインできます。 既存タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

- 1. アサインするタスクをクリックします。
- [リソース] アイコンをクリックしてリソースをアサインするか、[リソース ファインダ] アイコンをクリックし、適切なリソースを検索してアサインします。

リソースファインダの使い方の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

3. [保存] をクリックします。

[タスクの詳細]ページからのリソースのアサイン

既存タスクには、[タスクの詳細]ページからリソースをアサインできます。 既存タスクにリソースをアサインするには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- **2**. [**リソース**] タブをクリックします。

 [リソースの追加]をクリックしてリソースをアサインするか、[リソースファ インダ]アイコンをクリックし、適切なリソースを検索してアサインします。

リソースファインダの使い方の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

4. [保存]をクリックします。

タスクには、複数のリソースをアサインできます。複数リソースのアサイン後は、個々の工数時間やブック済みスキルをいつでも調整できます。

スケジュールされた工数の管理

タスクにスケジュールされた工数は、HP Project Management で自動的に計算 することも、手作業で入力することもできます。デフォルトでは、スケジュー ルされた工数の計算方法がコストと工数ポリシーによってプロジェクトレベ ルで設定されていますが、設定によっては、個々のタスクを [タスクの詳細] ページの [リソース] タブからも変更できます。

- [スケジュールされた工数の自動計算]を選択した場合は、各リソースがタス クに対してフルタイムで作業するとシステムがみなします。スケジュール された工数は、リソースの1日の作業時間にタスクの期間を掛けて算出さ れます。タスクの期間を変更すると、リソースのスケジュールされた工数 も自動的に変更されます。
- [タスクのアサインごとにスケジュールされた工数を手動で入力する]を選択した場合は、タスクにアサインされた各リソースについて、スケジュールされた工数の値を手作業で入力できます。これは、リソースがタスクに対してフルタイムで作業しないケース、特に、詳細な工数見積もりが計画ステージで必要なプロジェクトに有用です。タスクの期間を変更しても、工数情報は変更されません。新規タスクの工数は「0」に設定されています。

各タスクにアサインされていない工数の残りは、[**アサインされていない工** 数]フィールドで収集します。これにより、タスクに残っている工数を特 定されたリソースに漸増的にアサインできます。

スキルまたはロールのアサイン

作業計画の作成時には、どのタスクにも、リソースを指定せずにスキルセッ トやロールをアサインできます。これにより、最終的に作業を行う特定のリ ソースをピンポイントで指定しなくても、タスクの完了に必要なロールやス キルが特定された作業計画を作成できます。また、タスクの完了に必要なロー ルやスキルを捉えることで、さらに詳細なプロジェクトコストの見積もりが 行えるため、正しい予想コストや適切なリソースの割り当てが実現します。

既存タスクにロールをアサインするには、次の手順を実行します。

1. アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

- 2. [**リソース**] タブをクリックします。
- 3. タスクに [**アサイン済みロール**] を選択します。
- 4. [**保存**] をクリックします。

リソースにプライマリロールが定義されている場合は、タスクにリソースをアサインすると、 [アサイン済みロール] フィールドに、リソースのプライマリロールが自動的に表示されます。

既存タスクにスキルをアサインするには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [**リソース**] タブをクリックします。
- 3. [**スキルの追加**]をクリックしてスキルを選択します。
- 4. スキルが追加されたら、[理想]列から技能を選択します。
- 5. [保存]をクリックします。

タスクの先行タスクの設定

タスクの先行タスクは、[作業計画の表示]ページまたは[タスクの詳細]ページから設定できます。先行タスクとは、開始日または終了日と、それに依存するタスクの開始日または終了日との間で、関係が定義されているタスクのことです。

- タスクの先行タスクの設定の詳細については、「先行タスクのセットアップ」(90ページ)を参照してください。
- タスクは、ほかのタスクとは先行タスク関係しか持てませんが、ほかのエンティティとの関係を特定する定義済み参照情報(タスク完了の一部として開発されたコードの展開に使用するパッケージへの情報参照など)を持つことができます。タスクと参照情報の関係をアサインする方法の詳細については、「タスクへの参照情報の追加」(135ページ)を参照してください。

スケジュールの制限の設定

作業計画内のほかのタスクとの関係に加え、タスクには、日付関連の制限を 設定できます。たとえば、プロジェクトマネージャが、タスクが特定の日付 に開始する、または特定の日付までに終了するように指定したい場合などが その例です。これらの制限からはタスクについての貴重な情報を得ることが でき、HP Project Management も作業計画のスケジュール生成に使用します。

スケジュールの制限は、[タスクの詳細]ページの[**スケジュール**]タブで設定 します。制限は、サマリタスクまたはその下位タスクに対して定義できます。 サマリタスクに制限が定義すると、その制限は、サマリタスクのすべての下 位タスクにも適用されます。表 6-3に、タスクとサマリタスクに設定できる制 限を示します。

| 制限 | 説明 | サマリタス クへの設定 |
|------------------|---|----------------|
| できる限り早く | タスクが、作業計画や依存関係で許される最 も早い時期にスケジュールされます。 制限が定義されていない場合は推測でスケ ジュールされます。 | 可 |
| できる限り遅く | タスクが、作業計画や依存関係で許される最 も遅い時期にスケジュールされます。 | 不可 |
| 次の日以前に開始しない | タスクは、指定された日付より前に開始でき ません。 | 可 |
| 次の日以降に開始しない | タスクは、指定された日付、またはそれ以降 に開始しません。 | 不可 |
| 次の日以降には終了 しない | タスクは、指定された日付までに必ず終了し ます。 | 可 |
| 次の日に必ず開始 | タスクは、指定された日付に必ず開始します。 | 不可 |
| 次の日以前には終了 しない | タスクは、指定された日付より前に終了しま せん。 | 不可 |
| 次の日に必ず終了 | タスクは、指定された日付に必ず終了します。 | 不可 |

表 6-3. タスクとサマリタスクに設定可能なスケジュールの制限

図 6-2. [タスクの詳細] ページ: [スケジュール] タブ

| 統計 | | | | | | 1717 | 101 |
|---------------------------------|---------------------------------|----------------------|------------------|----------------------|---------|-------------|-----------|
| 名前: ステー Aufnahme Anforder 完了 | - タス: シーケンス番号 マ ² | 告: 達成率 (%): 100 | <i>アク</i> ティビティ: | 優先度: □ □ □ | 説明: | | |
| マイルストーンとしてタスクをマー | クする 🗌 主要マイルス | トーン ロマイルストー | ーンは自動的に完了する | | | | |
| ジェクト パス: J2EE Migration | > I. Aufnahme der Anford | erungen > Aufnahme A | nforderungen | | | | |
| スケジュール | リソース | | 자 | 通知 | | Æ | |
| 参照 | アジャイル プロジェク | * | | | | | |
| 期間 (日数) | 工数 (時間) | 開始日 | 終了日 | | | | |
| ケジュール済み: 5.00 日 | 40.00 時間 | 5/10/12 💕 | 5/16/12 | 2 | | | |
| 積もり: | 0.00 時間(列引) | | | | | | |
| 錶: 4.00 日 | 0.00 時間 | 5/10/12 | 5/16/12 | | | | |
| 限 | | | | | | | |
| ジュールの制限: できる限り早く | Y | 制限日: | 70 | | | | |
| 行タスク | | | | | | | |
| タイプ | 名前 | | | | ՍԵ | - ションシップ 遅延 | i (日数) |
| 行9スクの追加 ▼ | | | | | | | |
| | | | | | | | |

タスクのスケジューリング制限を設定するには、次の手順を実行します。

- 1. アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [タスクの詳細]ページの [**スケジュール**] タブをクリックします。
- 3. [制限]の下にある [スケジュールの制限] フィールドから、使用したい制限 のタイプを選択します。
- 4. [制限日] フィールドに日付を入力します。
- 5. [保存]をクリックします。

メモの追加

ユーザは、[タスクの詳細]ページの[**メモ**]タブに任意の形式のテキストを入力できます。保存したエントリには、タイムスタンプが付与されます。

| 义 | 6-3. | [タン | スク | の詳細] | ページ | :[| メモ] | タ | ブ |
|---|------|-----|----|------|-----|----|-----|---|---|
|---|------|-----|----|------|-----|----|-----|---|---|

| クの詳細: 2 - Aufna | hme Anforderungen | | | | ■ ② ■ 保存完了 単 |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|------------------------|---|-----------------|
| Aufnahme Anforderi 完 | テータス: シーケンス番号: :7 マ 2 | 達成車 (%): アクティビティ: 100 | 優先度: 説明: Ⅲ □ | | |
| イルストーンとしてタスクをマ | ァークする 目主要マイルストー | シ 🔲 マイルストーンは自動的に完了 | する | | |
| ケックトバス: J2EE Migrati | ion > I. Aufnahme der Anforderun | igen > Aufnahme Anforderungen | | | |
| フェクト バス: J2EE Migrati スケジュール | ion > I. Aufnahme der Anforderun リソース | ngen > Aufnahme Anforderungen ⊐スト | 通知 | 光 | |
| フェクト バス: J2EE Migrati スケジュール 参照 | ion > I. Aufnahme der Anforderun リソース アジャイル プロジェクト | igen > Aufnahme Anforderungen | 通知 | ح | |
| スケジュール 多照 | ion > I. Aufnahme der Anforderun リソース アジャイル プロジェクト | igen > Aufnahme Anforderungen コスト | 通知 | Æ | |
| スケジュール スケジュール 参照 | ion > I. Aufnahme der Anforderun リソース アジャイル プロジェクト | igen > Aufnahme Anforderungen | <u>)</u> 通知 | 天 | |

タスクにメモを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [メモ] タブをクリックします。
- 3. [メモ] フィールドにメモを入力します。
- 4. [保存]をクリックします。

[作業計画の表示]ページの[メモ]列のチェックマークは、タスクにメモ が追加されたことを示します。



[メモ]タブには、作業計画当たり最大32Kの情報を入力できます。

< すべてのタスク >

通知のセットアップ

プロジェクトの実施中に特定のイベントが発生した際にユーザに送信する電 子メール通知は、[タスクの詳細]ページでセットアップできます。サマリタ スクに定義された通知は、サマリタスクのすべての下位タスクに自動的に適 用されます。ただし、下位タスクに直接定義された通知は、上位タスクで設 定された通知より優先されます。表 6-4に、セットアップできる通知を示します。

図 6-4. [タスクの詳細] ページ: [通知] タブ

| タスクの詳細: 2 - Aufnahr | ne Anforderungen | | | □ ② □ ○< |
|--|--------------------------------|----------------------------|--------------------------|--|
| 統計 名前: ステー Aufnahme Anforderi 完了 | タス: シーケンス番号: マ ² | 達成率 (%): アクティビティ: 100 | 優先度: 説 昭 (言) 0 | <u>R:</u> |
| □ マイルストーンとしてタスクをマー | クする 🗌 主要マイルストーン | □ マイルストーンは自動的に完 | :7する | |
| プロジェクト パス: J2EE Migration | > I. Aufnahme der Anforderunge | n > Aufnahme Anforderungen | | |
| スケジュール | リソース | | 通知 | Æ |
| 参照 | アジャイル プロジェクト | | | |
| 通知の送信 | | | | |
| □リソースのタスクが開始される前に | リソースに通知する | | *日前: | 0 |
| □リソースのタスクの実行に遅延が | 生じている場合リソースに適切する | 5 | * 850. | 1度 💟 |
| □タスクの実行に遅延が生じている | 場合、通知する | | * 遅延した場合に通知: | D E |
| | | | * 888. | 1度 🔽 |
| | | | プロジェクトの参加者: | |
| | | | リソース: | 6 |
| | | | セキュリティグループ: | |
| □マイルストーンに達したときに通知 | する | | プロジェクトの参加者: | 13 |
| | | | リソース: | <u>a</u> |
| | | | セキュリティグループ: | |
| □ 例外が発生したときに通知する | | | プロジェクトの参加者: | |
| | | | リソース: | 6 |
| | | | セキュリティグループ: | 1 |

< すべてのタスク >

| 表 6-4.タスクにセットアップ可能な電子メ |
|------------------------|
|------------------------|

| 通知 | 説明 |
|---|---|
| リソースのタスクが開始 される前にリソースに通 知する | タスクが開始する前にリソースに通知します。開始日 の何日前に通知を送信するかを日数で設定します。 |
| リソースのタスクの実行 に遅延が生じている場合 リソースに通知する | タスクが遅れていることをリソースに通知します。通 知を送信する頻度を指定できます。 |
| タスクの実行に遅延が生 じている場合、通知する | 作業計画のタスクが遅れていることを複数のユーザに 幅広く通知します。この通知には、次のことを指定で きます。 • 何日遅れると通知するか • 通知の送信頻度 • 通知の送信先ユーザ |
| マイルストーンに達した ときに通知する | タスクがマイルストーンの場合は、タスクがマイルス トーンに達したときに複数のユーザに通知します。通 知の送信先ユーザを指定できます。 |
| 例外が発生したときに通 知する | タスクが例外をトリガしたときに複数のユーザに通知 します。通知の送信先ユーザを指定できます。 |

タスクに通知をセットアップするには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [通知] タブをクリックします。
- 3. 適切な通知の横のチェックボックスを選択します。
- 4. [保存] をクリックします。

コストデータの入力

このプロジェクトでHP Project ManagementのFinancial Management機能が有効 になっている場合は、[タスクの詳細] ページの [**コスト**] タブで実際のコスト データのトラッキングと入力が行えます。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

タスクへの参照情報の追加

HP Project Managementは、プロジェクトに関する追加情報、つまり参照情報 を取得する数々の方法を備えています。参照情報は、[タスクの詳細]ページ の[**参照**]タブから追加します。

図 6-5. [タスクの詳細]ページ: [参照] タブ

| | | | | | < すべてのタスク > |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|-----|------|-----------------|
| タスクの詳細: 2 - Aufna | hme Anforderungen | | | | □ ② □ (保存 完了 詳細 |
| 40年 名前: ステ Aufnahme Anforderi 完 | テータス: シーケンス番号: -7 		 2 | 達成率 (%): アクティビティ: 100 | | i说时: | |
| □ マイルストーンとしてタスクをマ | マークする 目主要マイルストーン | □ マイルストーンは自動的に完了 | アする | | |
| プロジェクト パス: J2EE Migrati | on > I. Aufnahme der Anforderunger | > Aufnahme Anforderungen | | | |
| スケジュール | リソース | - الالت | 通知 | 天 | |
| 参照 | アジャイル プロジェクト | | | | |
| 参照の追加 | | | | | |
| 新規参照: 添付ファイル 🔽 | 這加 | | | | |
| 保存時に追加される参照: | | | | | |
| | | | | | |
| | 191< 191 | * | | | |

タスクに参照情報を追加するには、次の手順を実行します。

1. タスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. 参照情報を追加します。
- 4. [保存]をクリックします。

既存リクエストの追加

タスクに既存リクエストを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「リクエスト(既存)」を選択します。
- 4. [追加]をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] ウィンドウが開きます。

- 5. タスクに追加したいリクエストを検索します。
- 6. 目的のリクエスト、リクエストに対する目的の関係の横にあるチェック ボックスを選択して[**追加**]をクリックします。

リクエストとタスク間の先行タスク関係の詳細については、「先行タスク のセットアップ」(90ページ)を参照してください。

[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻ります。新たに追加したリクエストが参照情報として表示されます。

7. [保存] をクリックします。

新規リクエストの追加

新規リクエストは、[参照] タブから作成して直ちにタスクに追加できます。これにより、HP Demand Managementで新規リクエストの作成から検索、タスクへの追加を行わずにすむため、時間を節約できます。

タスクに新規リクエストを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「リクエスト (新規)」を選択します。
- 4. [**追加**] をクリックします。

[新規リクエストの作成]ページが開きます。

5. 新規リクエストに対する目的の関係を選択します。

リクエストとタスク間の先行タスク関係の詳細については、「先行タスク のセットアップ」(90ページ)を参照してください。

- 6. [**リクエストタイプ**] フィールドからリクエストタイプを選択します。
- 7. [作成] をクリックします。

リクエストタイプが読み込まれた標準インタフェースが開きます。

- 8. リクエストのフィールドに必要な情報を指定します。
- 9. [送信] をクリックします。
 - リクエストが送信されます。[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻り ます。新たに追加したリクエストが参照情報として表示されます。
- 10. [保存] をクリックします。

既存パッケージの追加

タスクにパッケージを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「パッケージ(既存)」を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[参照の追加:パッケージ]ウィンドウが開きます。

- 5. タスクに追加したいパッケージを検索します。
- 6. 目的のパッケージの横にあるチェックボックスを選択して [**追加**] をク リックします。

[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻ります。新たに追加したパッケージが参照情報として表示されます。

7. [保存] をクリックします。

新規パッケージの追加

新規パッケージは、[**参照**] タブから作成して直ちにタスクに追加できます。これにより、HP Deployment Management で新規パッケージの作成から検索、タスクへの追加を行わずにすむため、時間を節約できます。

タスクに新規パッケージを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. [タスクの詳細]ページを開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「パッケージ(新規)」を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[新規パッケージの作成]ページが開きます。

5. [作成] をクリックします。

[パッケージ] ウィンドウが開きます。

- 6. パッケージのフィールドに必要な情報を指定します。
- 7. [保存] をクリックします。

パッケージが送信されます。[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻り ます。新たに追加したパッケージが参照情報として表示されます。

8. [保存] をクリックします。

タスクの追加

タスクにタスクを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「タスク」を選択します。
- 4. [**追加**] をクリックします。

[タスクの検索] ウィンドウが開きます。

- 5. タスクに追加したいタスクを検索します。
- 6. 目的のタスクの横にあるチェックボックスを選択して [**追加**] をクリック します。

[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻ります。新たに追加したタスク が参照情報として表示されます。

7. [保存]をクリックします。

リリースの追加

タスクにリリースを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「リリース」を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[参照の追加: リリース] ウィンドウが開きます。

- 5. 追加するリリースを選択します。
- 6. [追加] をクリックします。

[タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻ります。新たに追加したリリースが参照情報として表示されます。

7. [保存] をクリックします。

ドキュメントの追加

タスクにドキュメントを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「添付ファイル」を選択します。
- 4. [**追加**] をクリックします。

[ドキュメントの追加] ウィンドウが表示されます。

- 5. 添付するドキュメントを選択するには、[参照] アイコンをクリックします。
 追加したいファイルのあるドライブとディレクトリを開き、そのファイル を選択します。ドキュメントの名前が [添付] フィールドに表示されます。
- 6. [説明] フィールドに説明を入力します。
- 7. [追加] をクリックします。
 - [タスクの詳細]ページの[**参照**]タブに戻ります。新たに追加したドキュ メントが参照情報として表示されます。
- 8. [保存]をクリックします。

URLの追加

タスクにURLを追加するには、次の手順を実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. [参照] タブをクリックします。
- 3. [新規参照] フィールドから「URL」を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[新規参照URLの作成]ページが開きます。

- 5. URLの名前を [URL] フィールドに入力します。
- 6. [説明] フィールドに説明を入力します。
- 7. [追加] をクリックします。

[タスクの詳細]ページの [**参照**] タブに戻ります。新たに追加したURL が 参照情報として表示されます。

8. [保存] をクリックします。

タスクステータスの変更

タスクのステータスは、[タスクの詳細]ページから変更できます。タスクス テータスの詳細については、「タスクステータス」(121ページ)を参照してくだ さい。

[タスクの詳細]ページからタスクのステータスを変更するには、次の手順を 実行します。

- アサインするタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 2. ページの [統計] セクションの [ステータス] フィールドから新しいタスクス テータスを選択します。
- 3. [保存]をクリックします。

第7章 プロジェクトの管理

プロジェクトの管理の概要

この章では、プロジェクトの開始から終了までを、HP Project Management を 使って監督する方法について説明します。

ビジネスイニシアチブは、測定可能なタスクをアサインされたリソースが完 了するまでに達成すべき、いくつかの目標に分類できます。タスクは、監視 して、スケジュールどおりに行われているかどうかを確認する必要がありま す。これらのタスクの組織化や構造化を行うためにはプロジェクトと作業計 画の管理が必要で、この業務をプロジェクトマネージャが担当します。

プロジェクトマネージャが担当する主な業務を次に示します。

- 調整やスコープ変更の随時実行、および詳細なフェーズ計画による作業計 画の作成と管理
- 成果物とコストの面におけるプロジェクトの好調性を維持するための進 捗状況のトラッキング
- プロジェクト関連問題の提起や適切な報告など、参加者や利害関係者への プロジェクトステータスの報告

プロジェクトマネージャが担当するこれらの業務は、HP Project Management の機能を使って統合し、合理的に進めることができます。以降のセクション では、プロジェクトのセットアップやステータスのトラッキングなど、HP Project Managementの一般的なタスクの実行方法について説明します。



HP Project Managementでは、HP Project Managementに関する特定のアクセス権を持つユー ザがプロジェクトマネージャです。詳細については、『セキュリティモデルのガイドとリファレ ンス』を参照してください。 この章では、次の内容について説明します。

• 「プロジェクトのセットアップ」

すべてのプロジェクトは、トラッキングして表示する情報、インジケータ や例外の表示ルール、スケジューリング、作業計画を閲覧できるユーザな ど、プロジェクト固有に設定できるオプションを一式備えており、プロ ジェクトタイプによってデフォルトで設定されています。

「作業計画へのタスクの追加」

全体的なオプションをプロジェクトに設定したら、タスクとサマリタスク を整理して、意味のある階層に構造化できます。

「ベースラインの取得」

プロジェクトマネージャは、作業計画のベースラインを取得し、それを 使って作業計画の開始から終了までの状況を監視できます。

「作業計画の更新」

プロジェクトマネージャは、作業計画の更新も行えます。更新後は、作業 計画の再スケジュールが必要になる場合があり、開始日と終了日の再計算 などが、その例に当たります。

「プロジェクトの概要の使用」

プロジェクトマネージャは、プロジェクトヘルスで特定のプロジェクトの 進捗状況をトラッキングできるほか、プロジェクトの検索が行えます。ま た、発生した例外もすべて表示できます。

「プロジェクトコストのトラッキングと分析」

プロジェクトコストデータは、プロジェクトマネージャが収集、分析して、予想と実績のトラッキングやプロジェクトサイズの比較、プロジェクトに発生し得る障害の特定が行えます。

• 「作業計画の監査履歴のトラッキング」

作業計画のフィールドなど、プロジェクト自体についてはステータス変更 の記録のほか、プロジェクトやタスクの閲覧が可能です。
• 「作業計画のエクスポートと印刷」

プロジェクトマネージャは、幅広いフィルタリングオプションを使って、 作業計画やガントチャートを印刷できます。また、ガントチャートをイ メージファイルにエクスポートして、プレゼンテーションに使用すること もできます。

作業計画やサマリタスクの作成や編集を1人のユーザが行う場合、変更内容を保存できるのは、 そのユーザだけです。



1つのプロジェクトに属する異なる2つのサマリタスクを2人のユーザが編集する場合は、それ ぞれのユーザが保存できるのは自分で開いて編集したサマリタスクだけなので、相互に競合す ることがありません。

詳細については、「作業計画の同時編集」(162ページ)を参照してください。

大規模な Microsoft Project (または大量のプロジェクト)をHP Project Management にインポー トすると、新しい設定に対応するため、PPM Center データベース内のテーブルが更新されま す。データベースにスコープ変更が発生するため、PPM Center データベースでデータベース 統計情報を再度取得してください。この手順について質問等がある場合は、アプリケーション 管理者に問い合わせてください。

プロジェクトのセットアップ

HP Project Management のプロジェクトは、次のコンポーネントで構成されています。

- プロジェクト設定
- プロジェクトの詳細
- 作業計画
 - タスク
 - サマリタスク
 - アクティビティ
 - メモ
 - o 参照情報

これらのコンポーネントは、特定のビジネスイニシアチブの定義と処理に使 用します。プロジェクトには、プロジェクトの特定の目的に沿って設定され たグローバル設定も数多く含まれています。これらの設定は、プロジェクト タイプで定義されているプロジェクトポリシーによって定義されます。プロ ジェクトポリシーの設定によっては、編集できない設定もあります。プロジェ クトポリシーの詳細については、次のセクションを参照してください。

- 「プロジェクトフィールド」(37ページ)
- 「作業計画」(39ページ)
- 「リクエストタイプ」(43ページ)
- 「スケジューリング」(44ページ)
- 「スケジュールのヘルス」(47ページ)
- 「コストと工数」(49ページ)
- 「コストとアーンドバリューヘルス」(56ページ)
- 「Microsoft Project 統合」(57ページ)
- 「プロジェクトヘルス」(60ページ)
- 「問題ヘルス」(62ページ)
- 「タスクの監査」(64ページ)
- 「プロジェクトセキュリティ」(69ページ)

プロジェクトのステータス

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブには、実施中のプロ ジェクトのステータスが表示されます。これらのステータスは、処理に対す る変更の有無によって変化します(『HP Project Management Configuration Guide』参照)。デフォルトのプロジェクトステータスを次に示します。

- 計画中
- 保留中
- アクティブ
- 完了
- キャンセル済み

作業計画へのタスクの追加

プロジェクトの設定後、プロジェクトマネージャは、作業企画の追加と、リ ソースやリソースグループのアサインなど、タスク詳細の指定が行えます。タ スクの個別追加のほか、事前定義されている作業計画テンプレートを基に作 業計画の作成が行えます。また、タスクの整理も階層形式で素早く簡単に行 えます。

作業計画へのタスクの追加の詳細については、次の章やセクションを参照し てください。

- 「作業計画へのタスクの追加」(85ページ)
- 「タスクの設定」(119ページ)
- 「作業計画テンプレートの使用」(223ページ)

ベースラインの取得

ベースラインとは、プロジェクトに承認された元々の作業計画のことです。 ベースラインは、スコープ変更が発生するたびに更新され、変更内容が承認 済み計画の一部として反映されます。プロジェクトマネージャは、ベースラ インを用い、ベースラインに対して作業計画の現状をスケジュールとコスト の面で比較することで、作業計画ヘルスを常に監視しています。

作業計画ベースラインの取得と使用方法の詳細については、「ベースラインの 操作」(189ページ)を参照してください。

作業計画の更新

プロジェクトの実施期間内に作業計画が変わらないことは滅多にありません。更新は日常的で、これに伴いプロジェクトの更新や再編成、再アサインも行われます。更新は、HP Project Managementを使用すると素早く行えます。



作業計画やサマリタスクの作成や編集を1人のユーザが行う場合、変更内容を保存できるのは、 そのユーザだけです。詳細については、「作業計画の同時編集」(162ページ)を参照してください。

作業計画階層の表示と修正

タスクやサマリタスクの順序やグループ化の状態は、[作業計画の表示]ページにグラフィカルに表示されます。

図 7-1. [作業計画の表示] ページ: スケジュールビュー

| €) fist | に しょうしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんし | の監 | 查履限 | ž | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|------|-----|------------------|--------|------------|----------|----------|------------|------------|----------|--------------|---------|------|----------|-------------|
| test_p | oroje | ecto | の作 | 業計画(計画中:ヘルス) 緑 |) | | | | | | | | | 保存 | 完了 | キャンセル |
| Ea- | ス | ケジ= | N | ビューマ フィルタ: すべての: | 970 | ∨ ₹ | べてのタスク | | | | | | | | | 合計タスク: 1 |
| 拡張先: | ν | ベル・ | • | •] •] 🖆 + × × Þ | ■ ■ 10 | 6 2 | 編集▼ | アクション・ | スケジュ | ールされた | :期間とスケジュ | - ルされた開始日の入り | り(変更) 前 | M 次へ | シーケンス番号: | 0 実行 |
| э | | | | 名前 | ステータス | スケ | スケジュ | スケジュ | ス ケ | 7 サ | 先行タスク | リソース | ロール | | アクティビティ | |
| 0 | | | | test_project | 計画中 | 0.00 | 13/05/01 | 13/05/01 | 0.00 | | | Admin User | | | | ~ |
| | | | | | _ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

タスクは、[インデント] アイコンでインデントして、サマリタスクとしてグ ループ化して整理できます。サマリタスクのタスクは、[アウトデント] アイ コンでアウトデントして削除し、別のタスクとして作成できます。サマリタ スクとタスクは、[切り取り] アイコンと [貼り付け] アイコンを使って、全体の 順序も変更できます。操作の詳細については、「作業計画階層の作成」(88ペー ジ) を参照してください。 作業計画には、「計画中」、「保留中」、「アクティブ」、「完了」、「キャンセル済み」 というステータスを関連付けることができ、これらのステータスによって、作 業計画の計画から完了に至るまでの各種ステージを表示できます。プログラ ムマネージャは、作業計画を別のステータスに移動することにより、プロジェ クトの該当ステージに関連付けられた作業を実施できます。表 7-1に、作業計 画のステージ、それぞれの動作、および用途を示します。

| 作業計画 ステー タス | 動作 | 用途 |
|-------------------|--|--|
| 計画中 | 作業計画とタスクが、[マイタスク] ポー トレットやPPM Dashboard に表示され ません。 通知が送信されず、例外もトリガされま せん。 作業計画の開始時のステータスです。 | このステータスでは、プロジェクト マネージャによる作業計画の開発 と操作が可能で、参加者や利害関係 者への通知は必要ありません。 |
| アクティブ | 作業計画とタスクを [マイタスク] ポー トレットと PPM Dashboard で閲覧でき ます。 通知が送信され、例外がトリガされます。 作業計画の構造も変更可能です。 | このステータスは、実行準備が整っ て活発な管理が行わている作業計 画のステータスです。 |
| 保留中 | 通知が送信されず、例外もトリガされま せん。 階層は修正可能です。 | このステータスは、再計画が必要な 場合や再検討中のため一時的に保 留されている場合など、アクティブ な計画の一部の実行を保留する必 要がある場合に使用します。作業計 画全体をこのステータスにするこ とも可能です。 |

表 7-1. 作業計画のステータスと説明(1/2ページ)

表 7-1. 作業計画のステータスと説明(2/2ページ)

| 作業計画 ステー タス | 動作 | 用途 |
|-------------------|--|---|
| 完了 | [マイタスク] ポートレットでは作業計 画とタスクを閲覧できますが、PPM Dashboardでは閲覧できません。 通知が送信されず、例外もトリガされま せん。 | このステータスは、作業が完了した 作業計画のステータスです。完了済 みのセクションには、タスクは追加 できません。 |
| キャンセル 済み | PPM Dashboard では作業計画とタスク を閲覧できますが、[マイタスク] ポート レットでは閲覧できません。 通知が送信されず、例外もトリガされま せん。 | このステータスは、作業計画のこの セクションの成果物は完了するこ とがなく、作業計画の終了にセク ション自体がもはや不要となった ことを示す場合に使用します。 |

HP Project Management は、タスクのステータスも一式備えています。タスク ステータスのリストについては、「タスクステータス」(121ページ)を参照して ください。

ステータスの変更

プロジェクトマネージャは、作業計画全体、サマリタスク、またはタスクに ついて、いつでもステータスを変更できます。サマリタスクのオーナは、所 有するタスクの[タスクの詳細]ページから、サマリタスクやタスクのステー タスをいつでも変更できます。



ステータスが「完了」または「キャンセル済み」の作業計画は編集できません。編集が必要な 場合は、プロジェクトを再度開いてください。

プロジェクトステータスを変更するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで [作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

- 3. 階層の最上位行をクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。
- 4. ページの[統計] セクションで新しいステータスを選択します。
- **5**. [**保存**] をクリックします。
- タスクやサマリタスクのステータスを変更するには、次の手順を実行します。
- 1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. ステータスを変更するタスクまたはサマリタスクをクリックし、[編集]> [タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

- 4. ページの[統計] セクションで新しいステータスを選択します。
- 5. [保存] をクリックします。

[作業計画の表示]ページからのタスク詳細の編集

特定のフィールドは、[作業計画の表示]ページから編集し、複数のタスクに 対して同時に保存できます。

- 名前:作業計画テンプレートからインポートされた必須の名前は編集できません。
- スケジュールされた期間、スケジュールされた開始日、スケジュールされた終了日: サマリタスクやルートタスクでは変更できません。最初の2つのフィールドは変更できますが、3番目のフィールドは(編集可能な2つのフィールドから)自動的に算出されます。編集可能なフィールドは、作業計画上部の[変更]をクリックすると選択できます。[スケジュールされた期間]がゼロに設定されている場合、そのタスクは自動的にマイルストーンになります。



スケジュールされた工数: サマリタスクやルートタスクでは変更できません。このフィールドは、プロジェクトのコストと工数ポリシー(「作業計画でのスケジュールされた工数」(51ページ)参照)やタスクの[タスクの詳細]ページ(「スケジュールされた工数の管理」(127ページ)参照)で、フィールドを手入力するように設定されている場合に編集できます。

サマリタスクの [スケジュールされた工数] を更新する場合は、個々のタスクの値を更新し てください。

手入力した [スケジュールされた工数] は、タスクにアサインされているリソース全員に均 等に配分されます。

- リソース:ルートタスクでは変更できません。サマリタスクやルートタス クでは、このフィールドにタスクのオーナが表示されます。
- アクティビティ: プロジェクトで有効になっている場合に編集できます。サマリタスクレベルで設定されている場合は、アクティビティセットを持たないすべての下位タスクがこのフィールドを引き継ぎます。
- 先行タスク:外部タスクの追加や編集は、このページからでは行えません。
 ただし、[タスクの詳細]ページから追加した外部タスクは表示されます。
 また、削除も可能です。リクエストは表示されますが、追加、編集、また
 は削除は、このページからは行えません。

- ロール:サマリタスクやルートタスクでは変更できません。このフィールドは、プロジェクトで有効になっている場合に編集できます。タスクにロールやアサインされたリソースがない場合は、そのタスクにリソースをアサインすると、アサインしたリソースのプライマリロールがデフォルトのロールになります。
- ユーザデータ:ユーザデータとは、HP Project Managementの各種エンティ ティに対して定義できる一連のカスタムフィールドのことです。この フィールドは、ユーザデータの妥当性検証コンポーネントタイプがテキス トフィールド、ドロップダウンリスト、オートコンプリートリスト、また はデータフィールドの場合に編集できます。必須ユーザデータは、[タス クの詳細]ページを開くと強制的に入力されます。また、作業計画にユー ザデータが表示されていて、作業計画からタスクが更新された場合も同様 です。タスクのユーザデータに設定されているセキュリティグループと フィールドレベルのセキュリティも、強制的に入力されます。

ユーザデータフィールドにデフォルト値が設定されていても、タスクが保存するまで、その値は[作業計画の表示]ページには表示されません。表示されなくても、デフォルト値は 設定されています。

必須ユーザデータは、[作業計画の表示]ページでユーザデータフィールドを選択すると強制的に入力されます。タスクのユーザデータに設定されているフィールドレベルのセキュリティは、強制的には入力されません。

タスクフィールドによっては、[作業計画の表示]ページでは編集できないもの(ステータス、実績、アサインされていない工数、達成率など)もあります。 これらのフィールドは、[タスクの詳細]ページから編集します。タスク間の 移動など、[タスクの詳細]ページを使ったタスク編集の詳細については、「タ スクの詳細の編集」(124ページ)を参照してください。また、複数のタスクの 同時更新も可能です。詳細については、「複数タスクの同時設定と編集」を参 照してください。

[作業計画の表示]ページからタスクフィールドを編集するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. タスクを選択します。編集可能な値が、データ入力可能なテキストボック スに表示されます。フィールドには、特定データの選択に使用するアイコ

ンがある場合もあります。テキスト内のデータを修正するか、アイコンを クリックしてデータを修正します。

- 編集可能なタスクフィールドが必須の場合は、値を入力するまで別のタスクは修正できません。
 - [保存] をクリックすると、変更内容を保存して[作業計画の表示]ページに 戻ります。[完了] をクリックすると、変更内容を保存して作業計画を開始 したページに戻ります。[キャンセル]をクリックすると、[作業計画の表示] ページの変更内容を保存せずに[プロジェクトの概要]ページに戻ります。

[作業計画の表示]ページ以外で行ったタスク詳細に対する変更([**編集**]>[ステータスの 設定]を選択して行ったタスクステータスの変更や[タスクの詳細]ページから行ったアク ティビティの変更など)は、[作業計画の表示]ページとは別個に保存、キャンセルされま す。つまり、[タスクの詳細]ページから変更したアクティビティは、そのまま保存され、[作 業計画の表示]ページからはキャンセルできません。

複数タスクの同時設定と編集

[作業計画の表示]ページでは、複数のタスクを選択し、そのタスクの同時更 新を次のように行えます。

- 選択タスクに対する実績の更新
- 選択タスクに対するリソースアサインの変更
- 選択タスクにアサインされたロールの変更
- 選択タスクにスケジュールされた日付の前後移動
- 先行タスクとしての選択タスクの順次リンク付け
- 選択タスクのステータス設定

複数のタスクの同時選択は、次のいずれかの方法で行えます。

- [Shift] キーを押しながら、連続する一連の行をクリックして強調表示させます。
- [Ctr1] キーを押しながらクリックして、連続しない複数の行を選択します。



保存後、複数のタスクが更新されて、その保存時にエラーが発生した場合は、エラーを引き起 こしたタスクが作業計画で強調表示されます。

複数タスクに対する実績の同時編集

実績データは、一連のタスクについて同時に編集できます。



HP Time Managementがプロジェクトで有効になっている場合、HP Time Managementのタイムシートから実績を受け取るように設定されているリソースについては、実績工数値を入力できないことがあります。このようなタスクには、時計のようなアイコンが表示されます。

一連のタスクの実績を同時に編集するには、次の手順を実行します。

1. 修正するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。
- 4. [編集]をクリックして「実績」を選択します。

[実績の入力]ページが開きます。



作業計画がリソースでフィルタされている場合は、フィルタされたリソースのアサインの みが [実績の入力] ページに表示されます。

- 5. 一連のタスクを任意に更新します。
- 6. [保存]をクリックします。

変更内容が保存されます。

HP Project Managementに実績が入力されると、一部の計算が延期されます。詳細については、「実績の計算」(163ページ)を参照してください。

複数タスクに対するリソースアサインの同時編集

リソースアサインは、一連のタスクに対して次のような同時編集が行えます。

- 選択したすべてのタスクに、特定のリソースまたは一連のリソースをアサイン可能
- 選択したすべてのタスクから、特定のリソースまたは一連のリソースを削除可能

実績がアサインされたリソースはタスクから削除できません。

選択した全タスクに共通する特定のリソースは別のリソースと交換可能

開始済みのアサインは交換不可タスクにスケジュールされた工数を手作 業で管理している場合、新しいリソースは、古いリソースにスケジュール された工数を引き継ぎます。

 すべての選択タスクに共通するリソースアサインは、開始済みのタスクに 影響を与えずに削除可能

実績を持つタスクは変更されません。

すべての選択タスクに共通するリソースアサインは、別の1つまたは複数のリソースとすべて交換可能

実績を持つタスクは変更されません。タスクにスケジュールされた工数を 手作業で管理している場合、新しいリソースのスケジュールされた工数は ゼロに設定されます。

ー連のタスクに対するリソースアサインを同時に編集するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

 [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。 4. [編集] をクリックして「アサイン」を選択します。

[リソースのアサイン]ダイアログが開きます。

- 5. 選択したタスクのリソースのアサインに目的の変更を加えます。
- 6. [**OK**] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

複数タスクに対するアサイン済みロールの同時編集

アサイン済みロールは、一連のタスクについて同時に編集できます。セット 内のすべてタスクに以前アサインされていたロールは、すべて新しいロール に置き換わります。

ー連のタスクに対するアサイン済みロールを同時に編集するには、次の手順 を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

- 3. [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。
- 4. [編集]をクリックして「ロールの設定」を選択します。

[ロールの設定]ダイアログが開きます。

- 5. 選択したタスクに目的のロールを選択します。
- 6. [**OK**] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

複数タスクにスケジュールされた日付の同時移動

ー連のタスクにスケジュールされた日付は、任意の日数分、前後に移動でき ます。選択したタスクは、すべて同じ方向に同じ日数分移動されます。

この機能は、「作業計画のスケジューリング」(97ページ)で説明したとおり、HP Project Managementのスケジューラ ([プロジェクトのスケジュール] アイコンをクリックしてアク セス)を使っていない場合にのみ使用してください。スケジューラを使っている場合は、その まま作業計画をスケジュールすることをお進めします。

ー連のタスクにスケジュールされた日付を同時に移動するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

- 3. [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。
- 4. [編集] をクリックして「スケジュールのシフト」を選択します。

[タスクスケジュールのシフト]ダイアログが開きます。

- 5. スケジュールを移動する日数を指定し、[進む] または [戻る] を選択します。
- 6. [**OK**] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

先行タスクとしての複数タスクの迅速なリンク付け

ー連のタスクは、選択して先行タスクとして順次素早くリンク付けできます。 タスクには、作業計画で定義されている順番どおりに、先行タスクとの関係 がアサインされます。

ー連のタスクのリソースアサインを同時に変更するには、次の手順を実行し ます。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- 2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。
- 4. [編集] をクリックして「タスクのリンク」を選択します。
 [タスクのリンク] ダイアログが開きます。
- 5. [タスクのリンク] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

複数タスクに対するステータスの同時設定

タスクステータスは、一連のタスクについて同時に編集できます。

ー連のタスクのリソースアサインを同時に変更するには、次の手順を実行し ます。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. [Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックして複数のタスク を選択します。

4. [編集]をクリックして「ステータスの設定」を選択します。

[ステータスの設定]ダイアログが開きます。

- 5. 選択したタスクに目的のステータスを選択します。
- 6. [ステータスの変更] をクリックします。

変更内容が直ちに保存されます。

スケジュールと依存関係の更新

プロジェクトマネージャは、いつでもプロジェクトの要素を更新して、ビジ ネスイニシアチブのステータス変更を反映できます。このような要素の多く は、「複数タスクの同時設定と編集」(154ページ)で説明したとおり、まとめて 編集できるタスク詳細です。

スケジュールされた期間、開始日、終了日、および工数の変更

各種タスク要素の多くは、期間、開始日、制限、先行タスクとの関係など、作 業計画のスケジュールに影響を及ぼします。[スケジュールされた期間]、[スケ ジュールされた開始日]、および[スケジュールされた終了日]フィールドは、[作 業計画の表示]ページまたは[タスクの詳細]ページで変更できます。

[タスクの詳細] ページで、タスクの [スケジュールされた期間]、[スケジュール された終了日]、または [スケジュールされた工数] を変更するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- タスクをクリックして更新し、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。
 [タスクの詳細]ページが開きます。

サマリタスクの [スケジュールされた期間]、[スケジュールされた開始日]、[スケジュール された終了日]、または [スケジュールされた工数] を更新する場合は、個々のタスクの値 を更新してください。 4. [**スケジュール**] タブのフィールドを更新します。

[スケジュールされた開始日] および [スケジュールされた終了日] を更新する には、該当する日付フィールドに目的の日付を入力します。これらの日付 を明確に設定し、[プロジェクトのスケジュール] アイコンをクリックしても 変わらないようにするには、[制限タイプ] フィールドから制限タイプ(「次 の日以前に開始しない」など)を選択します。

[スケジュールされた期間]を更新するには、該当するテキストフィールドに 新たな情報を入力します。

[スケジュールされた工数]は、プロジェクト設定のコストと工数ポリシー、または [タスクの詳細]ページ([リソース]タブ)で手入力するように設定されている場合にのみ更 新できます。詳細については、「作業計画でのスケジュールされた工数」(51ページ)およ び「スケジュールされた工数の管理」(127ページ)を参照してください。

手入力した [スケジュールされた工数] は、タスクにアサインされているリソース全員に均 等に配分されます。

5. [**保存**] をクリックします。

先行タスクの変更

作業計画内のタスク間には、たとえばタスクが終了しないと別のタスクが開 始できないなどといった、先行タスクとの関係を指定できます。先行タスク は、[作業計画の表示]ページおよび[タスクの詳細]ページから変更できます。

外部タスクとリクエストも、先行タスクとしてタスクに設定できます。先行 タスクのタイプ設定の詳細については、「先行タスクのセットアップ」(90ペー ジ)を参照してください。

スケジュールの改訂

作業計画の階層、先行タスクの依存関係、リソース、日付のいずれかを変更 すると、スケジュールの改訂が必要になる場合があります。タスクが依存関 係と整合しない箇所は、スケジュール警告によって特定できます。 作業計画を再スケジュールすると、HP Project Management が、スケジュール ポリシーのプロジェクトタイプで指定されたデフォルトの日付を基に、更新 した日付から起算した作業計画全体の新しいスケジュールを生成します。プ ロジェクトタイプによっては、[プロジェクト設定]ページでデフォルトの日 付を変更できる場合もあります。

作業計画の再スケジュールは、一度に1人のユーザしか行えません。

スケジュール更新の詳細については、「スケジュールの生成」(97ページ)を参照してください。

新しいスケジュールで良い場合は、作業計画に新たなベースラインを取得しま す。詳細については、「ベースラインの取得」(147ページ)を参照してください。

作業計画の同時編集

作業計画はプロジェクトマネージャだけが編集すべきですが、作業計画の異なる部分を編集する多数のプロジェクトマネージャが、1つのプロジェクトを 担当することもあります。HP Project Management では、作業計画の別々の部 分の編集と更新を同時に行えるため、プロジェクトに変更点をより効率的に 反映できます。

競合の回避

一般的に、2人のユーザが同じタスクを同時に編集することはできません。

2人のユーザが同時にタスクを編集している場合は、最初に変更された内容しか保存されません。2人目のユーザは、いずれの変更内容も保存できません。このようなケースには、リソースがタスクの実績を記録するようなインスタンスも含まれます。

たとえば、BobがアサインされたプロジェクトのマネージャがYukioだと します。

- a. Yukioがタスクを開き、変更を加えます。
- b. Bobが、[マイタスク]ポートレットを使って同じタスクの実績を更新し、[保存]をクリックします。
- c. Yukioは、タスクに加えた変更内容を保存できません。

1人のユーザが作業計画をスケジュールしている最中に、別のユーザが作業計画をスケジュールしようとすると、エラーメッセージが出されます。

多くのリソースが実績を入力する時間帯では、プロジェクトマネージャは、作 業計画の変更を控えることをお勧めします。

実績の計算

[マイタスク]ポートレットやタイムシートを使ってリソースが実績を入力すると、関連するタスク情報は保存されますが、リソースが実績を効率的に入力して保存できるように、次の計算が遅延されます。

- 上位サマリタスクへのコストデータのロールアップ
- 例外の計算
- ヘルスの計算

プロジェクトのスケジュールのヘルスと [作業計画の表示] ページには、未処 理の計算がペンディングされていることを示すメッセージが表示されます。 これらの計算を行う間隔は、PPM Serverでスケジュールされたサービスによっ て定義されており、システム管理者がこのサービスを設定できます。プロジェ クトマネージャは、server.confファイルのパラメータを使って、保存と同 時に計算をロールアップするようにHP Project Managementを設定できます。ス ケジュールされたサービスとサーバのパラメータの詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

プロジェクトのクリティカルパスの表示

作業計画のクリティカルパスは、作業計画内の期間を決定するすべてのタス クで構成されます。クリティカルパスは、2とおりの方法で表示できます。

- [クリティカルパスの強調表示] チェックボックスを選択すると、プロジェクトのガントチャートにクリティカルパスが表示されます。クリティカルパスの一部となっているタスクは、オレンジ色でアウトライン表示されます。
- [クリティカルパス上のタスクをマーク] チェックボックスを選択すると、すべての作業計画ビューでクリティカルパスがオレンジ色のフラグ付きで表示されます。



クリティカルパスの計算は、作業計画のスケジュール後に行われます。作業計画を変更した場 合は、作業計画を再スケジュールして、正確なクリティカルパスを取得してください。

図 7-2. [作業計画の表示] ページ: クリティカルパスが表示されている ガントビュー



作業計画のクリティカルパスをガントチャートで閲覧するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

3. [アクション] をクリックして「ガントの設定」を選択します。

[ガントビューの設定]ダイアログボックスが開きます。

| | | × |
|------------------------|------------------|---|
| ガント ビューの設定 | | |
| ガント インジケータ | | |
| ☑ 進捗を示す | 🔽 クリティカル パスの強調表示 | |
| ☑ 例外を示す | 🔽 ヘルスを示す | |
| ☑ 先行タスク矢印の表示 | ☑ 今日を示す | |
| 🔲 外部先行タスク矢印の表示 | | |
| ガント テキスト ラベル | | |
| タスクの左: | ■ サンプル: | |
| タスクの右 : リソース名 | | |
| ヒント: スケジュールされた開 | 開始 | |
| | OK キャンセル | |
| | | |

- 4.「クリティカルパスの強調表示」チェックボックスを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

ガントチャートにプロジェクトのクリティカルパスが表示されます。

ガントチャートで作業計画のクリティカルパス上のタスクをマーキングする には、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで [作業計画の編集] をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. [アクション] をクリックして「インジケータ列の設定」を選択します。

[インジケータ列の設定]ダイアログボックスが開きます。

| × |
|---|
| インジケータ列の設定 |
| ▽ スケジュール例外とヘルスの表示 |
| □ コスト例外とヘルスの表示 |
| ☑ スケジュール警告の表示 |
| □ 通知の表示 |
| □ クリティカル バス上のタスクをマーク |
| □ 制限付きのタスクをマーク |
| * 今後表示しないように設定した警告メッセージを再表示するには、 ユーザ ブロファイルで設定します。 * プロジェクトの作業計画の 1 ページに表示するタスクの数は、 ユーザ ブロファイル ページで設定できます。 |
| OK キャンセル |
| |
| |
| |

4. [クリティカルパス上のタスクをマーク] チェックボックスを選択します。

5. [OK] をクリックします。

プロジェクトの概要の使用

[プロジェクトの概要]ページの各種エリアには、プロジェクトステータスが 一元的に表示されます。このページは、財務サマリやスタッフィングプロファ イルといった、プロジェクトに関連するエンティティへ移動する際の起点と しての役割も果たしており、プロジェクトマネージャとプロジェクトに関与 するほかのユーザとのコミュニケーションの統合ハブを形成しています。[プ ロジェクトの概要]ページの各セクションは自動設定型で、コスト関連セク ションなど、プロジェクトに関連する場合にのみ、また適切なアクセスレベ ルのユーザにのみ表示されます。プロジェクトマネージャは、[プロジェクト の概要]ページとそのセクションを使って、表 7-2に示すアイテムをトラッキ ングできます。

| タブ | セクションと使い方 |
|-----------|--|
| プロジェクトサマリ | 作業計画フェーズの進捗状況と主要なマイルストーン トリガされた例外 プロジェクトの問題 プロジェクトスコープの変更 プロジェクトスタッフィング 財務サマリやアーンドバリュー (EV)分析など、プロジェクトコストデータ HP Time Management との統合 プロジェクトがリンクされているプログラム |
| プロジェクトの詳細 | プロジェクトサマリ ビジネスケースの詳細 リスクと価値の評価 |
| プロジェクトの例外 | 作業計画のタスクがトリガした例外 |
| 参照情報 | プロジェクトに添付された参照情報 |

表 7-2. [プロジェクトの概要] ページのタブとセクション

名前が似たプロジェクトを区別しやすいように、[プロジェクトの概要]ページ のプロジェクトタイトルには、プロジェクト名とともにプロジェクト番号(プ ロジェクトのリクエストID)が次のフォーマットで表示されます。

プロジェクト: <プロジェクト名> (#<プロジェクト番号>)

例: プロジェクト: Whirlwind (#12345)

プロジェクトの検索

プロジェクトは、次のいずれかの方法で検索できます。

- サーチボックス: プロジェクト名が分かっている場合や、名前に特定のフレーズや文字列を含む1つ以上のプロジェクトを検索する場合は、上右隅のサーチボックスを使用します。
- [プロジェクトの検索]ページ: プロジェクトマネージャ、プロジェクトタイプ、計画開始日、計画終了日、終了済みプロジェクト、ヘルス、関連プログラム、地域などの基準を基にプロジェクトを検索する場合は、[プロジェクトの検索]ページを使用します。

サーチボックス

サーチボックスは、特定のテキストを含むプロジェクト名を基にプロジェクトを検索して開く場合に使用します。

サーチボックスを使ってプロジェクトを検索して開くには、次の手順を実行 します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーの右側にあるサーチボックスに、検索するプロジェクト名に 含まれるテキストを@に続けて入力します。テキスト入力を開始するとサ ブメニューが表示されます(検索には大文字と小文字の区別はありません)。
- 3. 検索テキストの入力が終わったら、[プロジェクトの検索: <検索_テキスト>] を選択します。

検索テキストが1つのプロジェクト名にしかマッチしない場合は、そのプロジェクトの[プロジェクトの概要]ページが開きます。

検索テキストが複数のプロジェクト名にマッチする場合は、[プロジェクトの検索]ページが開き、マッチした名前を持つプロジェクトがリスト表示されます。プロジェクト名をクリックして、そのプロジェクトの[プロジェクトの概要]ページを開きます。

[プロジェクトの概要]ページの詳細については、「プロジェクトの概要の 表示」(208ページ)を参照してください。

[プロジェクトの検索]ページ

[プロジェクトの検索]ページは、選択した検索基準を基にプロジェクト検索 して開く場合に使用します。

[プロジェクトの検索]ページを使ってプロジェクトを検索して開くには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プロジェクト]を選択します。

[プロジェクトの検索]ページが開きます。

| プロジェクトの検索 |
|---------------------------------|
| 表示するプロジェクトの検索 |
| 次のプロジェクト番号の詳細を表示:: 第6 |
| ブロジェクト名 (含む): ブロジェクト マネージャ: |
| ソート基準: 「プロジェクト名 「 |
| 後索 |

- 3. 該当するフィールドに検索基準を指定します。
- 4. [検索]をクリックします。

[プロジェクトの検索]ページが再度読み込まれ、検索結果が表示されます。

5. プロジェクト名をクリックして、そのプロジェクトの[プロジェクトの概 要]ページを開きます。

[プロジェクトの概要]ページの詳細については、「プロジェクトの概要の 表示」(208ページ)を参照してください。



[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [作業計画の 表示] セクションには、プロジェクトの作業計画のうち、トップレベルのタス クが表示されます。

図 7-3. [プロジェクトサマリ] タブ: [作業計画の表示] セクション

| 名前 | | | 3, 20 |)12 | | | Sep 9, 2012 | | | | | | | Sep 16, 2012 | | | | | |
|--------------------------|---|---|-------|-----|---|---|-------------|---|---|---|---|---|---|--------------|---|---|---|---|---|
| | M | т | w | т | F | s | s | М | т | W | т | F | s | s | М | т | W | т | F |
| dctest2 | | F | | _ | | | - | | | | | | - | | ₹ | | | | |
| I. Requirements Analysis | | F | _ | - | - | - | - | J | | | | | | | | | | | |
| II. Solution Design | | è | _ | - | - | - | - | J | | | | | | | | | | | |
| III. Prototype | | F | _ | J | | | | | | | | | | | | | | | |
| IV. Purchases | | ۳ | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[作業計画] セクションからは、次の操作が行えます。

- [作業計画の編集]をクリックしてスケジュールビューを開き、作業計画を編集します。作業計画の編集の詳細については、「作業計画の更新」(148ページ)を参照してください。
- [ベースラインの表示]をクリックして[ベースラインの表示]ページを開き、 プロジェクトのベースラインを操作します。ベースラインの操作の詳細に ついては、「ベースラインの操作」(189ページ)を参照してください。

プロジェクトヘルスの表示

プロジェクトのサマリ条件は、プロジェクトのヘルスを示すグラフィカルイ ンジケータで、[プロジェクトの概要]ページのプロジェクト名の下に表示さ れます。

図 7-4. プロジェクトのサマリ条件インジケータ

全体のヘルス ④ 緑

サマリ条件の色は、スケジュールのヘルス、問題ヘルス、コストとアーンド バリューのヘルスを示すヘルスインジケータの加重平均で表されます。この インジケータを表示するには、プロジェクトのサマリ条件インジケータをマ ウスでポイントします。

図 7-5. プロジェクトヘルスインジケータ

| 🥚 スケジュール | |
|----------|--|
| | |
| 🔵 그スト | |

プロジェクトのサマリ条件の計算方法や設定方法の詳細については、「プロ ジェクトヘルス」(60ページ)を参照してください。

プロジェクトのサマリ条件は、[プロジェクトの検索]ページのすべてのプロジェクト名の横にある列にも表示されます。

プロジェクトヘルスのオーバライド

ヘルス色は、次のような理由でオーバライドしたいこともあります。

- プロジェクトリソースによる実績情報のレポートが遅れているため、HP Project Managementが期限切れ状態を示している
- マネージャによるサマリタスクの入力エラーが原因で、プロジェクトヘル スの計算が正しくない

プロジェクトのサマリ条件インジケータのヘルス色をオーバライドするに は、次の手順を実行します。

1. [プロジェクトの概要] ページの右上隅にある [**オーバライド**] ボタンをク リックします。

[ヘルスのオーバライド]ダイアログボックスが開きます。

- 2. 目的のインジケータ色を選択するか、計算済みの色の使用を選択します。
- 3. オーバライドの最終日を入力します。



- 4. 必要に応じて、[**オーバライドの説明**] テキストボックスにオーバライドの 理由を入力します。
- **5**. [**完了**] をクリックします。

マイルストーンの表示

[プロジェクトの概要]ページの[**プロジェクトサマリ**]タブには、マイルストーンを表示する2つのセクションがあります。

 [マイルストーン] セクションには、作業計画内のマイルストーンがリスト 表示されます。

プロジェクトのプロジェクトフィールドポリシーで、主要なマイルストーン をトラッキングするように設定されている場合は、主要なマイルストーン のみが [マイルストーン] セクションにリスト表示されます。主要なマイル ストーンが指定されていない場合は、すべてのマイルストーンが表示され ます。

図 7-6. [プロジェクトサマリ] タブ: [マイルストーンサマリ] セクション

| マイルストーン サマリ | | | = |
|-------------------------|--------------|--------|------|
| マイルストーン | | | |
| マイルストーン | スケジュールされた終了日 | 実際の終了日 | オーナー |
| Requirements Sign-Off | Sep 4, 2012 | | |
| Design Approval | Sep 4, 2012 | | |
| Prototype Sign-Off | Sep 4, 2012 | | |
| Purchases - Capitalized | Sep 4, 2012 | | |
| Purchases - Expensed | Sep 4, 2012 | | |

 [作業計画] セクションには、トップレベルのタスクとマイルストーンなど が表示された作業計画のガントチャートの一部が表示されます。

[作業計画の表示]ページの**ガント**ビューでは、ガントチャート上のマイルストーンに黒色の菱形が表示されます。



図 7-7. [作業計画の表示] ページ: ガントビュー

プロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [EV分析サマ リ] セクションには、最新データに基づいたプロジェクトのアーンドバリュー (EV) 分析が表示されます。

[分析] をクリックし、プロジェクトの [累積コストメトリクスの分析] ページ を開きます。

プロジェクトの累積コストメトリクスの分析の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

プロジェクトコントロールアイテムの表示

[プロジェクトの概要] ページの [**プロジェクトサマリ**] タブには、問題、リス ク、スコープ変更といったプロジェクトコントロールアイテムのリスト表示 とロギングに特化したセクションを表示させることができます。

たとえば、[プロジェクトの概要]ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [問 題] セクションには、プロジェクトに関してロギングされた問題のサマリが表 示されます。プロジェクトに関連する問題は、次の順番で表示されます。

- 1. エスカレート済みのオープン問題(優先度順)
- 2. その他のオープン問題 (優先度順)
- 3. クローズ済みのオープン問題(優先度順)

図 7-8. [プロジェクトサマリ] タブ: [問題] セクション

| リクエスト番号の説明 | 優先度 | ステータス | 7サイン先 |
|-----------------------------------|-----|-------|------------|
| 30132:Deploy to alpha test starts | 低 | 新規 | Admin User |
| 問題のログ 完全なリストの表示 | | | |

[問題] セクションからは、次の操作が行えます。

- [問題のログ]をクリックし、ほかの問題のロギングを行います。プロジェクト問題のロギングの詳細については、「問題のロギング」(182ページ)を 参照してください。
- [完全なリストの表示]をクリックし、プロジェクトに関してロギングされた
 問題をすべてリスト表示します。

これらのセクションの詳細については、「プロジェクトコントロールエンティ ティの登録」(182ページ)を参照してください。

プロジェクトスタッフィングの表示

[プロジェクトの概要]ページの [**プロジェクトサマリ**] タブにある [プロジェクトスタッフィング] セクションには、プロジェクトに関連するスタッフィング プロファイルとそのステータスがリスト表示されます。

図 7-9. [プロジェクトサマリ] タブ: [スタッフィング] セクション

| スタッフィング | |
|-------------------------------------|-------|
| スタッフィング プロファイル | ステータス |
| Billing Systems Integration Project | アクティブ |
| ペースライン | |

新規スタッフィングプロファイルは、[スタッフィングプロファイルの作成] をク リックし、[プロジェクトスタッフィング] セクションから作成できます。

スタッフィングプロファイルとその作成方法や使用方法の詳細については、 『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

プログラム関連の表示

[プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトサマリ] タブにある [プログラムの関連] セクションには、プロジェクトが関連付けられているプログラムがリスト表示されます。



[プログラムの関連] セクションは、HP Program Managementの購入とインストールが済んで いる場合にのみ表示されます。

図 7-10. [プロジェクトサマリ] タブ: [プログラムの関連] セクション

| プログラムの関連 | |
|-----------|---------------|
| プログラム名 | プログラムマネージャ |
| One World | Carolyn Sayer |

HP Program Managementでは、マネージャが複数のプロジェクトをプログラム としてまとめてリンクさせ、それに対するリクエストの送信とトラッキング が行えます。 Program Management Office を組織で導入する目的は次のとおりです。

- ITプロジェクトとビジネス目標との確実な整合性
- 重複する工数や優先不要の工数の排除
- 運用効率の向上
- リソースの活用
- 納期と予算厳守の納入

プログラムのトラッキングと分析は、プロジェクトと同様に使い慣れたコス トメトリクスを使って行えます。

HP Program Managementの詳細については、『HP Program Managementユーザー ガイド』を参照してください。

プロジェクトコストデータの表示

[プロジェクトの概要]ページの[**プロジェクトサマリ**]タブにある[プロジェク トコスト]セクションには、プロジェクトのコストデータが表示されます。

図 7-11. [プロジェクトサマリ] タブ: [プロジェクトコスト] セクション

| プロジェクト コスト | | | |
|--------------------------|----------------------------------|--------|-------|
| 財務サマリ (表示金額は、プロジェクトの計画期間 | January 2013 ~ December 2013 の金額 |) | |
| 合計予測: | ¥0.00 | | |
| 今月末までの予測: | ¥0.00 | 実績値合計: | ¥0.00 |
| コストの詳細財務サマリの表示 | | | |

表 7-3. [プロジェクトコスト] セクションに表示されるデータ

| フィールド名 | 説明 |
|----------|---|
| 合計予測 | プロジェクト計画の期間 (プロジェクトの計画開始時期から計画終了 時期まで) 全体を通したプロジェクトの予測 |
| 今月末までの予測 | 計画開始時期から今月末まで (または、先に到来すれば計画終了時期) のプロジェクトの予測 |
| 実績値合計 | プロジェクト計画の期間全体を通したプロジェクトの実績 |

[**プロジェクトコスト**] セクションからは、次の操作が行えます。

- [コストの詳細]をクリックしてプロジェクトの[コストの詳細]ページを開きます。このページには、財務サマリ情報など、プロジェクトコストの詳細情報が表示されます。
- [財務サマリの表示]をクリックしてプロジェクトの[財務サマリ]ページを 開きます。

プロジェクト時間の承認

HP Time Managementでは、HP Project Management との併用により、タイムシートを使って時間と工数の実績を詳細に入力できます。タイムシートは、独自の認証者と認証プロセスを備えており、さらにきめ細かいコストレポートに使用できます。[プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトサマリ]タブにある[プロジェクト時間の承認] セクションには、タイムシート用のデーがプロジェクトに関する明細付きで表示され、タイムシートを直接承認または却下できます。

[プロジェクト時間の承認] セクションでタイムシートを承認または却下するに は、目的のタイムシートの横のチェックボックスを選択し、[承認] または [却 下] をクリックします。

例外と警告の表示

例外と警告は、プロジェクトに定義されているルールに対する違反が特定の タスクで発生したことを示します。たとえば、間もなく始まる予定のタスク にリソースがアサインされていない場合や、タスクが一定の日数遅れて終了 する場合などが、これに当たります。例外ルールは設定可能です。詳細につ いては、「スケジュールのヘルス」(47ページ)を参照してください。

例外をトリガしたタスクは、[プロジェクトの概要]ページの [プロジェクトの 例外] タブ、または [作業計画の表示]ページのスケジュールビューから閲覧で きます。

図 7-12. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトの例外] タブ

| 🛆 プロジェクト: Bi | lling Systems Integration (#30633) | コーパライド 設定 詳細 |
|---|--|--------------|
| 全体のステータス 全体のヘルス <u>▲</u> <u>▲</u> | 加ジェクトマネージャ プロジェクトステータス フェーズ プロジェクトの計画明間 プロジェクト地域 進捗 oseph Banks 詳細なプロジェクト定義 Project January 2012 ~ September 2012 US | 7% |
| プロジェクト サマリ | プロジェクトの詳細 プロジェクトの例外 参照 アジャイル プロジェクトのタイムライン | |
| 78 スケジュール例外 | | |
| タスク | 例外タイプ | |
| 5 | マイルストーンに遅延クリティカル バスが存在 | |
| 6 | <u>先行タスクに制券が存在</u> | |
| 34 | <u>実行の遅延</u> | |
| 30 | <u>開始の遅延</u> | |

[プロジェクトの概要]ページからの例外の表示

[**プロジェクトの例外**] タブには、例外をトリガした特定のプロジェクトに含まれるすべてのタスクがリスト表示されます。

プロジェクトの[**プロジェクトの例外**]タブに移動するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

[プロジェクトの概要]ページで、[プロジェクトの例外]タブをクリックします。

[**プロジェクトの例外**]タブが開きます。

3. 注意が必要なタスクまで移動します。

スケジュールビューでの例外の表示

トリガされた例外は、[作業計画の表示]ページのスケジュールビューのすぐ左 にある列に、赤色のエクスクラメーションマークとして表示されます。

タスクに対してトリガされた特定の例外を閲覧するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

3. スケジュールビューのタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択 します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

タスク編集に関する適切なアクセス権の有無によっては、タスクのフィールドを編集でき ないこともあります。特定のタスクを含むプロジェクトを管理していないプロジェクトマ ネージャや、そのタスクにアサインされていないプロジェクト参加者などのユーザは、タ スクの表示しか行えません。

4. [例外/警告] タブをクリックします。

| クの詳細:3 - First | Level Review | | | | | □ ② □ 保存 完了 詳 |
|--|--|--|--|--------------------|---------|------------------|
| 統計 名前: 7 First Level Review [4 | ステータス: シーケン 保留中の先行タスクマ 3 | ス番号: 達成率(%): 0 | 7⁄571ご5-1: | 優先度: 500 | 説明: | |
| | _ | _ | | | | |
| イルストーンとしてタスクを | マークする 目主要マイルストーン | / □ マイルストーンは自動 | 助いに完了する | | | |
| イルストーンとしてタスクを ジェクト バス: dctest2 > 1. スケジュール | ミマークする □ 主要マイルストーン Requirements Analysis > First Leve リソース | レ □ マイルストーンは自動 el Review 例外/警告 | かわに完了する コスト | | 通知 | |
| マイルストーンとしてタスクを Fジェクト バス: dctest2 > 1. スケジュール | マークする 山主要マイルストーン Requirements Analysis > First Leve | ✓ □ マイルストーンは自動 al Review 例外/警告 | 前に完了するコスト | | 通知 | |
| マイルストーンとしてタスクを ジェクト バス: dctest2 > 1. スケジュール メモ 制限に違反せずに、作業部 第 | マークする □ 主要マイルストーン Requirements Analysis > First Leve リソース 参照 +1面の一部をスケジュールできません" 選明 | ✓ マイルストーンは自動 al Review 例外管告 アジャイルプロジェ でした。以下の問題リストをレ | 始りに完了する コスト ・クト ビューして、必要な修正を行ってくた | iatu. | 通知 | |

[**例外/警告**] タブには、タスクが違反しているプロジェクトの例外とスケ ジュール警告ルールがリスト表示されます。

スケジュールビューでのスケジュール警告インジケータのクリア

タスクに関連する警告インジケータは、タスクを再スケジュールするとクリ アされます。また、[タスクの詳細]ページから特定の警告(依存タスクに関す る部分スケジュール警告と上位タスクおよびさらに上位のタスクに関するス ケジュール変更警告)を手動でクリアすることもできます。

タスクの警告インジケータをクリアするには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

3. スケジュールビューのタスクをクリックし、[編集]>[タスクの詳細]を選択 します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

- 4. [例外/警告] タブをクリックします。
 - [**例外/警告**] タブには、タスクが違反しているプロジェクトの例外とスケ ジュール警告ルールがリスト表示されます。
- 5. クリアする警告の横にある [インジケータをクリアする] アイコンをクリッ クします。

[タスクの詳細]ページからの例外/警告の表示

次の両方の条件が満たされる場合は、[タスクの詳細]ページの[**例外/警告**]タ ブに例外が表示され、タスク上のリソースで[**達成率 (%)**]が入力されていない ものがあることが示されます。

 プロジェクトのコストと工数ポリシーで [実績工数とともに達成率 (%) を入 力するためのリソースが必要] オプションが選択されている。
ユーザは、タスクのタイムシートなどに時間を記録し保存しているが、[達 成率(%)]を0のままにしている。

例外が [タスクの詳細] ページに表示されるのは、例外ルールサービスの実行後のみです。この タイプの例外の場合、server.confのEXCEPTION_ENGINE_WAKE_UP_TIME パラ メータの設定に従ってサービスが実行されます (デフォルトは1日に1度、午前1:00時)。詳細 については、『Installation and Administration Guide』を参照してください。

[プロジェクトの概要]ページのPDFへのエクスポート

[プロジェクトの概要]ページは、PDFファイルへのエクスポートに適したシンプルで統一の取れたバージョンを作成できます。

[プロジェクトの概要]ページのエクスポート可能ビューを作成するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

[プロジェクトの概要]ページの右上隅にある[詳細]ボタンをクリックして [PDFにエクスポート]をクリックします。

[PDF設定] ウィンドウが開きます。

- 印刷するプロジェクトの概要データ(ポートレット)を選択します。ポートレットのレイアウトは、[プロジェクト設定]の[プロジェクトの概要のレイアウト](詳細については、「プロジェクトの概要のレイアウト」(65ページ)参照)で設定可能です。
- 4. [用紙] セクションで、目的の表示オプションを選択します。
- 5. [**エクスポート**]をクリックします。

[**PDF文書をブラウザウィンドウに表示する**] チェックボックスを選択してい る場合は、**PDF**ファイルが別のブラウザウィンドウで開きます。

[PDF文書をブラウザウィンドウに表示する] チェックボックスを選択してい ない場合は、ファイルをPDFリーダで開くか保存するかを選択できます。

PPM Dashboard を使った進捗状況の表示

プロジェクトマネージャは、PPM Dashboardを使ってもプロジェクトを閲覧で きます。このインタフェースは、ポートレットという設定可能な一連のアプ リケーションウィンドウとともに提供され、HP Project Management の一般的 なクエリや操作は、このインタフェースを使って行えます。

プロジェクトコントロールエンティティの登録

HP Project Management では、特定のプロジェクトに対する問題、リスク、お よびスコープ変更をロギングできます。これらのエンティティのトラッキン グとロギングは、[プロジェクトの概要]ページの [**プロジェクトサマリ**] タブに ある該当セクションから行えます。



プロジェクトタイプの**リクエストタイプ**ポリシーにプロジェクトコントロールエンティティ のリクエストタイプが指定されていない場合は、[プロジェクトの概要]ページの対応セクショ ンに [**ログ<プロジェクトコントロールアイテム>**] ボタンが表示されません。

問題のロギング

プロジェクトの問題は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意問題と して提起できます。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。

プロジェクトのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトサマリ]タブにある[問題]セクションの[問題のログ]ボタン
- メニューバーの [開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール]
 > [プロジェクト問題の登録] オプション

プロジェクトの問題をロギングするには、次の手順を実行します。

任意のタイミングでプロジェクトを開き、[問題のログ] をクリックするか、
 [開く]>[Project Management]>[プロジェクトコントロール]>[プロジェクト
 問題の登録] を選択します。

[新規プロジェクトの問題の作成]ページが開きます。

| | | 【♪ 送信 ≠* |
|----------------|--|---|
| て展開する」すべて折りたたむ | | |
| サマリ | | |
| 「明石フテータフ」 | | |
| 未送信 | | |
| 作成者: | 7サイン先: | |
| Admin User | \$ I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | |
| ・プロジェクト: | | |
| | | |
| *優先度: | *エスカレーション レベル: | |
| | | |
| *说明: | | |
| | | |
| 問題の詳細 | | |
| *特定日: | 期日: | |
| | 12° | 1 and |
| 問題タイプ: | | |
| | V | |
| 詳細な説明: | | |
| | | ^ |
| | | ~ |
| 提案された解決: | | |
| | | ~ |
| | | ~ |
| ビジネス機能: | | |
| | | ^ |
| | | |
| | | |
| У T | | |
| 1 | | |
| | | |
| 保存時に追加されるメモン | | |
| | ~ | |
| | \sim | |
| | | |

2. すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。

3. [送信] をクリックします。

問題が送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

リスクのロギング

リスクは、特定のプロジェクトに対して要注意の重大問題として送信できま す。送信後は、独自のワークフローに従って解決されます。

プロジェクトに対するリスクのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトサマリ]タブにある[リスク] セクションの[リスクのログ]ボタン
- メニューバーの [開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロール]
 > [リスクの登録] オプション

プロジェクトに対するリスクをロギングするには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトを開き、[リスクのログ] をクリックするか、[開く]>[Project Management]>[プロジェクトコントロール]>[リスクの登録] を選択します。

[新規プロジェクトリスクの作成]ページが開きます。

新規ブロジェクトリスクの作成

| すべて展開する」すべて折りたたむ | | | |
|---------------------------------------|----------------|-------|--------------|
| - サマリ | | | |
| リスク ステータス: 未送信 | | | |
| 作成者: | アサイン先: | | |
| Admin User | | â 🖸 | |
| *プロジェクト: | | | |
| | | | |
| 像先度: | リスク インバクト レベル: | *可能性: | |
| ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ | | | <u> </u> |
| | | | |
| | | | |
| - リスクの言葉#田 | | - | |
| リスク タイブ: | •特定 | 28: | ~ |
| 詳細な説明: | | | UT. |
| | | | ^ |
| | | | \sim |
| クローズ基準: | | | |
| | | | ^ |
| | | | ~ |
| アクション計画: | | | |
| | | | ^ |
| | | | \checkmark |
| | | | |
| - XE | | | |
| - メモの追加 | | | |
| 保存時に追加されるメモ: | | | |
| | ~ | | |
| | \sim | | |
| | | | |
| 1 ##R2 | | | |
| T .8.%" | | | |

- 2. すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。
- 3. [送信] をクリックします。

リスクが送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

スコープ変更のロギング

スコープ変更は、特定のプロジェクトに対して送信し、要注意のプロジェク トスコープに変更の可能性があることを提起できます。送信後は、独自のワー クフローに従って解決されます。

プロジェクトに対するリスクのロギングは、次の場所から行えます。

- [プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトサマリ]タブにある[スコー プ変更]セクションの[スコープ変更のログ]ボタン
- メニューバーの [開く] > [Project Management] > [プロジェクトコントロー ル] > [スコープ変更の登録] オプション

プロジェクトのスコープ変更をロギングするには、次の手順を実行します。

 任意のタイミングでプロジェクトを開き、[スコープ変更のログ] をクリック するか、[開く]>[Project Management]>[プロジェクトコントロール]>[ス コープ変更の登録] を選択します。 [新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成]ページが開きます。

新規ブロジェクトのスコープ変更リクエストの作成

| | | | 【2 ● 送信 キャンセ お |
|-----------------|-------------|---------------------|------------------------|
| べて展開する」すべて折りたたむ | | | |
| ・サマリ | | | |
| スコープ変更ステータス: | | | |
| 未送信 | | | |
| 作成者: | アサイン先: | | |
| Admin User | | <u>a</u> Q | |
| ・プロジェクト: | | | |
| 值牛 <u>倍</u> : | *CR Lesule: | デジネス イバ | クトの重要度・ |
| | 1 | | V V |
| | | | |
| | | | |
| スコープ変更の詳細 | | | |
| アサイン先リリース: | | 実装目標日: | |
| | | | R |
| 詳細な説明: | | | |
| | | | ^ |
| | | | ~ |
| 提案された変更のペネフィット: | | | |
| | | | ^ |
| | | | ~ |
| 代替: | | | |
| | | | ^ |
| | | | \sim |
| | | | |
| | | | \sim |
| イバ가 サマリ: | | | |
| | | | ^ |
| | | | \sim |
| 財務上のインパクト: | | スケジュール上のインパクト (日数): | |
| | | | |
| · XE | | | |
| + メモの追加 | | | |
| | | | |
| 泰照 | | | |

2. すべての必須フィールドと任意のオプションフィールドを指定します。

3. [送信] をクリックします。

スコープ変更が送信され、ワークフローに沿って処理が開始されます。

プロジェクト設定と参加者の表示

プロジェクト設定と参加者の表示と調整は、プロジェクトの実施中いつでも 行えます。

- プロジェクト設定、およびプロジェクトポリシーとの相互作用の詳細については、「プロジェクトポリシーの設定」(36ページ)を参照してください。
- プロジェクトの参加者とそのリストの設定方法の詳細については、「プロジェクト参加者の定義」(76ページ)を参照してください。

プロジェクトの日付制御

プロジェクトに関する次のエンティティには、有効期間の開始日と終了日が 設定されています。

- プロジェクト: [プロジェクトの概要] ページの [プロジェクトの詳細] タブに、プロジェクトの[計画開始期間] と [計画終了期間] が指定されています。
- 作業計画:プロジェクトの作業計画は、プロジェクトの主要な成果物にス ケジュールされた開始日と終了日を表します。
- スタッフィングプロファイル: プロジェクトのスタッフィングプロファイ ルには、[開始期間] と [終了期間] が指定されています。
- 財務サマリ:プロジェクトの財務サマリには、[開始期間]と[終了期間]が指定されています。

日付の操作を行う場合は、次の点に注意してください。

- プロジェクトの[計画開始期間]と[計画終了期間]は、ほかの日付より優先 されます。
- プロジェクトの[計画開始期間]は削除できません。
- プロジェクトの[計画開始期間]は修正可能です。ただし、元の[計画開始期間]より早い日付は指定できません。また、元の[計画開始期間]以降の財務サマリに実績は入力できません。[計画開始期間]を修正すると、次のようになります。

- 手作業で入力した予測(計画)コストが、元の開始時期から新たな開始 時期に移動します。
- スタッフィングプロファイルの予測工数が、元の開始時期から新たな 開始時期に移動し、スタッフィングプロファイルの影響を受ける財務 サマリ内の明細が再計算されます。
- 元々の[**計画開始期間**]以前の実績は移動しません。
- 作業計画の[スケジュールされた開始日]と[スケジュールされた終了日]がプロジェクトの既存日付範囲に収まっていない場合は、作業計画のスケジュール時にスケジューリング警告がトリガされます。
- プロジェクトに関連するスタッフィングプロファイルの[開始期間]の値は、[プロジェクトの詳細]タブで指定されている値と自動的に同期します。 プロジェクトの財務ベネフィットの[開始期間]もプロジェクトと同期しますが、実際の[開始期間]から相殺されます。

ベースラインの操作

ベースラインとは、承認済み作業計画のスナップショットのことです。ベー スラインは、スコープ変更が発生するたびに更新され、変更内容が承認済み 計画の一部として反映されます。プロジェクトマネージャは、ベースライン を用い、ベースライン計画に対して作業計画の現状をスケジュールとコスト の面で比較することで、プロジェクトヘルスを常に監視しています。ベース ラインの閲覧と操作は、適切なアクセス権を持つユーザしか行えません。

ベースラインの取得

ベースラインの取得は、[プロジェクトの概要]ページまたは[作業計画の表示] ページから行えます。

[プロジェクトの概要]ページからベースラインを取得するには、次の手順を 実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。 [プロジェクトの概要]ページで [ベースラインの表示] をクリックします。
 [ベースラインの表示]ページが開きます。

| Billing Systems | Integ | ration のベースライン | | | | | |
|--------------------|----------|----------------------|----|----|--------------|-------------|-------------|
| Billing Systems In | ntegrati | on のすべてのベースラインのa | 辰示 | | | | |
| アクティブ | | 名前 | | 說明 | ベースライン作成者 | ベースライン作成日 | |
| ۲ | X | Baselined on 11/3/11 | | | Joseph Banks | Nov 3, 2011 | |
| ペースライン作成 ペースライ | ンの比較 | | | | | | 保存 完了 キャンセル |

3. [ベースライン作成] をクリックします。

[ベースライン作成]ダイアログボックスが開きます。

| × |
|----------------------------------|
| ベースライン作成 |
| |
| *名前: 10/12/21 のベースライン (2) 説明: |
| 作成 キャンセル |
| |

4. ベースラインの[名前]とオプションの[説明]に入力します。

デフォルトのベースライン名が提示されますが、変更可能です。

5. [**作成**] をクリックします。

ベースラインが取得されます。

[作業計画の表示]ページからベースラインを取得するには、次の手順を実行 します。

- 1. 作業計画を開きます。
- 2. [作業計画の表示] ページで、[**アクション**]>[ベースラインの作成] をクリックします。

[ベースライン作成]ダイアログボックスが開きます。

3. ベースラインの [名前] とオプションの [説明] に入力します。

デフォルトのベースライン名が提示されますが、変更可能です。

4. [作成]をクリックします。

ベースラインが取得されます。

ベースラインの管理

ベースラインは、1つの作業計画に対して複数取得できます。ベースラインの 名前と説明の更新や、どのプロジェクトのベースラインをアクティブにする かの指定、ベースラインの削除は、いつでも行えます。



プロジェクトのベースラインを取得するには、HP Project Managementのライセンスのほか、 プロジェクトのマネージャであること、および作業計画のベースラインの管理アクセス権が必 要です。「すべての作業計画のベースラインの管理」アクセス権を持つユーザは、すべてのプロ ジェクトのベースラインを取得できます。

プロジェクトのベースラインを管理するには、次の手順を実行します。

- 1. ベースラインを取得するプロジェクトを開きます。
- [プロジェクトの概要]ページで[ベースラインの表示]をクリックします。
 [ベースラインの表示]ページが開きます。

| Billing System | s Integ | ration のベースライン | | | |
|-----------------|----------|----------------------|----|--------------|-------------|
| Billing Systems | Integrat | ion のすべてのベースラインの表示 | ŧ | | |
| アクティブ | | 名前 | 說明 | ベースライン作成者 | ベースライン作成日 |
| ۲ | X | Baselined on 11/3/11 | | Joseph Banks | Nov 3, 2011 |
| ペースライン作成 ペース | ラインの比較 | | | | 保存 完了 キャンセル |

- プロジェクトに対してアクティブにするベースラインの横にあるオプ ションを選択します。
- 削除するベースラインの横にある [削除] アイコンをクリックします (オプション)。
 - a. ベースラインの削除を確認するダイアログボックスが開きます。
 - b. [削除]をクリックしてベースラインを削除します。
- 5. [完了] をクリックします。

ベースラインの比較

ベースラインは、相互比較のほか、現在の作業計画とも比較できます。[ベー スラインの表示]ページで [ベースラインの比較]をクリックし、別のベースラ インまたは現在の作業計画とベースラインを比較するレポートを開いて実行 します。

作業計画でのベースラインデータの表示

作業計画内のアクティブなベースラインデータは、ベースラインに固有の列 を作業計画に追加することで表示できます。スケジュールされた開始日、ス ケジュールされた終了日、スケジュールされた工数、実際の開始日、実際の 終了日、実績工数などを、アクティブなベースラインデータとして作業計画 から表示できます。作業計画への列の追加の詳細については、「列の追加/削 除」(114ページ)を参照してください。

プロジェクトコストのトラッキングと分析

HP Financial Managementでは、次のような方法でプロジェクトコストのトラッキングと分析が行えます。

- 作業計画からのロールアップなど、財務サマリ内の財務データのキャプ チャと比較
- タスクコストのトラッキングでのHP Time Managementの利用
- アーンドバリュー分析など、グラフ形式やポートレット形式でのプロジェクトコストデータの分析
- アクティビティを用いた作業計画レベルでのSOP 98-1 コンプライアンスの有効化
- プロジェクト参加者の所在地によって異なる通貨の使用

コストデータ、通貨、為替レート、および SOP 98-1 コンプライアンスの詳細 については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

プロジェクト品質データの表示と監視

PPM Center バージョン9.20 で追加された「プロジェクト品質の表示」統合ソ リューションを使用すると、プロジェクト品質の KPI データを ALM リリース から取得して、追跡し分析できます。取得した KPI データは、[プロジェクト の概要]ページに新しく追加された4つのデフォルトポートレットに表示され ます。

| 新規ポートレット | 説明 |
|---------------------|--|
| 要件トレンド | 過去10日間の要件ステータスのトレンドを表示します。要件 ステータスには、要件の範囲が含まれます。 |
| オープン不具合 トレンド | 過去10日間のオープン不具合のトレンドを表示します。オー プン不具合には、オープン不具合数と全不具合数が含まれます。 |
| 優先度不具合トレンド | 過去10日間の重要度が比較的大きな不具合のトレンドを表示 します。重要度が比較的大きな不具合とは、優先度がS1およ びS2の不具合です。 |
| プロジェクト品質の スコアカード | ALM リリースのスコアカード情報を表示します。スコアカー ドポートレットが表示されるのは、ALMのプロジェクトの計 画とトラッキング (PPT) モジュールのプロジェクトリクエス トフィールドに、ALMスコアカード情報が設定されている場 合のみです。 |

「プロジェクト品質の表示」統合ソリューションの詳細や、統合を設定する方法、統合ソリューションでプロジェクト品質KPIデータを表示し監視する方法 については、『HP Solution Integrations Guide』を参照してください。

アジャイル統合ソリューションによるアジャイル開発プロ ジェクトの表示と管理

PPM CenterとHP Agile Managerの統合により、プロジェクトマネージャ、プロ グラムマネージャ、ポートフォリオマネージャなどのプロジェクト関係者は 以下の処理を実行できます。

- PPM Center内から、アジャイル開発プロジェクトのステータスと進捗状況 をリアルタイムに確認する (HP Agile Manager にログオンして詳細を確認 する必要はありません)
- タスクとアジャイル開発イニシアチブの統合表示

この統合により、プロジェクトマネージャは、プロジェクトのタスクをHP Agile Manager で管理される特定のリリースにマップすることができます。各PPM Center タスクは、タスクのライフサイクルを通してHP Agile Managerの単一の リリースに関連付けられます。これは単方向の1対1のマッピング関係です。

マッピング関係が確立されると、プロジェクトマネージャは、HP Agile Manager から取得したリアルタイムのアジャイル開発関連チャートを表示できます。 さらに、プロジェクトマネージャは、特定の作業パッケージの全体的なリリー ス階層情報もPPM Center内から確認できます。

アジャイル統合ソリューションの詳細については、『HP Solution Integrations Guide』を参照してください。

作業計画のエクスポートと印刷

作業計画は、PDFファイルまたはMicrosoft Excelファイルにエクスポートして、 プレゼンテーションに使用できます。



作業計画をPDF ファイルと Excel ファイルの両方にエクスポートするときに、作業計画に含ま れるタスクにダブルバイトの数字が含まれていると、エクスポートされる PDF ファイルとエク スポートされる Excel ファイルは異なるものになります。エクスポートされる PDF ファイルで は、タスク名にダブルバイトの数字は含まれません。

PDFファイルへのエクスポート

作業計画をPDFファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. エクスポートするプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 3. 作業計画表示を調整します。

列の順序とサイズの変更や、サマリタスクの展開と折りたたみ、目的のタ スクを表示させるための作業計画のフィルタリングを行うことにより、表 示させる一連のタスクを調整できます。

4. [作業計画を PDF にエクスポート] アイコンをクリックします。

| | x |
|---|---|
| PDF エクスボート オブション | |
| 表示 | 含まれる列 |
| テキストサイス: 8 ▼ ▼ 表示ヘッダー ヘッダ テキスト | ⊙ PDF には、西面に表示可能な列のみが含まれる ○ PDF にはすべての列が含まれる ○ PDF には出宅した列数が含まれます。含まれる列数: |
| ▼ 表示ファター ▼ ガント チャートの表示 | □ 後続するページで列を繰り返します。繰り返す列数: |
| □ 凡例の表示 | 用紙 |
| □ グレースケールで表示 ■ ヘルスの色ラベルの表示 | 用紙サイズ: レター ▼ 印刷の向き: ○ Ң ○ 記 |
| ガント時間単位の利限: ホの日から: [lilay 7.20] ホの日まで: [Apr 26, 20] (1) ⁵³ | |
| | ☐ PDFを複数 ページ幅に設定している場合、最も左の ページのみを含める |
| - | エクスポート キャンセル |
| | |

[PDFエクスポートオプション] ダイアログボックスが開きます。

5. プロジェクトのガントチャートの表示オプション、含める列、用紙サイズ を選択します。 6. [**エクスポート**]をクリックします。

新しいウィンドウが開きます。このウィンドウは、システムによるエクス ポートが終了するまで、一定の間隔で繰り返し再表示されます。

エクスポートが完了したら、リンクを選択してファイルをブラウザで開き ます。ファイルの閲覧と保存はこのブラウザで行えます。

Microsoft Excel ファイルへのエクスポート

作業計画をMicrosoft Excelファイルにエクスポートするには、次の手順を実行 します。

- Microsoft Internet Explorerのバージョン7を使用している場合は、インターネットオプションが正しく設定されていることを確認します。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。
- 2. エクスポートするプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

3. [プロジェクトの概要] ページで [作業計画の編集] をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

4. [作業計画を Microsoft R Excel にエクスポート] アイコンをクリックします。

新しいウィンドウが開きます。このウィンドウは、システムによるエクス ポートが終了するまで、一定の間隔で繰り返し再表示されます。

エクスポートが完了したら、リンクを選択してファイルをブラウザで開き ます。ファイルの閲覧と保存はこのブラウザで行えます。

Microsoft Internet Explorerのインターネットオプションの設定

Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合、Microsoft Excel ファイルにデータをエクスポートするには、インターネットオプションを設定する必要があります。

1. ブラウザから [**ツール**]>[インターネットオプション]を選択します。

[インターネットオプション] ウィンドウが開きます。

- 2. [セキュリティ] タブを選択します。
- 3. Web コンテンツのゾーンで [信頼済みサイト] を選択します。
- 4. [**サイト**] をクリックします。

[信頼済みサイト] ウィンドウが開きます。

- 5. このゾーンのWebサイトとして、PPM Serverを入力します。
- 6. [追加] をクリックします。
- 7. [OK] をクリックします。
- [インターネットオプション] ウィンドウで、[レベルのカスタマイズ] をク リックします。

[セキュリティ設定] ウィンドウが開きます。

- 9. カスタム設定を[中低]以下に設定します。
- 10. [**リセット**] をクリックします。

セキュリティへの変更を確認するダイアログボックスが開きます。

- 11. このダイアログボックスで、[**はい**] をクリックします。
- 12. [セキュリティ設定] ウィンドウで、[**OK**] をクリックします。
- 13. [インターネットオプション] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

作業計画の監査履歴のトラッキング

HP Project Management では、プロジェクト、作業計画、およびタスクの監査 履歴が保持されます。

監査履歴イベントの説明は4,000字まで入力できます。4,000字を超える説明は切り捨てられ ます。

特定のプロジェクトの監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

 [プロジェクトの概要]ページの右上隅にある[設定]>[プロジェクトの監査 履歴]をクリックします。

[プロジェクトの監査履歴]ダイアログボックスが開きます。

3. 上右隅の [X] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

特定の作業計画の監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

3. [作業計画の表示] ページの [作業計画の監査履歴] リンクをクリックします。

[作業計画の監査履歴]ダイアログボックスが開きます。

| | | | | × |
|-------------------------------|-------------|---------------------------------|---|---|
| 作業計画の | の監査履歴 | | | |
| Se Excella | エクスポート | | | |
| 作業計画の | D監査履歴 | 1 | - 2/2を表示 前へ 次へ | |
| 日付 | ユーザ | コンテキスト | イベント | |
| Dec 22, 2010 2:04:36 PM | User, Admin | Developer Tools improvements | <i>追加されたタスク</i> Developer Tools improvements | |
| Dec 22, 2010 2:04:36 PM | User, Admin | Developer Tools improvements | <i>追加された作業計画</i> Developer Tools improvements | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 1 | -212で次示 町へ 次へ | |
| | | | | |

4. 上右隅の [X] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

タスクの監査履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

2. [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。

[作業計画の表示]ページが開きます。

3. スケジュールビューで、タスクをクリックして更新し、[編集]>[タスクの詳細]を選択します。

[タスクの詳細]ページが開きます。

4. 右上隅にある [タスクの監査履歴の表示]をクリックします。

[タスクの監査履歴]ダイアログボックスが開きます。

 または ▶ をクリックして、情報ページ間を移動します。また、[Excel にエクスポート] リンクをクリックして、ダイアログボックスの内容を Microsoft Excelファイルにエクスポートすることもできます。

リソース関連のタスクについては、個々のリソースのリストの代わりに、未変更のリソー スのリストがカウント (リソース数) として表示されます。変更 (追加または削除) された リソースは、個別にリスト表示されます。

5. 上右隅の [X] アイコンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プロジェクトの完了、キャンセル、および削除

すべてのプロジェクトは、最終的には完了します。プロジェクトは、完了さ せる以外に、それ以上作業が行われない状態に進めることもできます。作業 計画ステータスを使用すると、「完了」や「キャンセル済み」に作業計画を明 確に区別できます。作業計画ステータスの詳細については、「作業計画ステー タス」(149ページ)を参照してください。プロジェクトは、適切なレベルのア クセス権を持つユーザが削除することもできます。

作業計画の完了

プロジェクトマネージャは、作業計画のステータスを「完了」に設定できま す。詳細については、「ステータスの変更」(150ページ)を参照してください。 作業計画を手動で「完了」に設定すると、次のようになります。

- 未完了のタスクがすべて「**完了**」に設定されます。
- 未完了のサマリタスクがすべて「**完了**」に設定されます。

作業計画のキャンセル

ビジネスイニシアチブ上の作業がすべて停止することがあります。努力が収益に見合わないことが分かった場合、リソースが制限されている現状では不可能な場合、別のビジネス上の理由がある場合などです。このような状況を反映するため、タスクのステータスを「**キャンセル済み**」に変更できます。

- 作業計画を手動で「キャンセル済み」に設定すると、その下の未完了タス クがすべて「キャンセル済み」に設定されます。
- 作業計画は、「キャンセル済み」から「保留中」に戻すことができます。
- 作業計画を「アクティブ」なサマリタスクステータスに移動すると、次のようになります。
 - タスクステータスの再計算が行われます。
 - 以前「進行中」だったタスクのステータスは、「進行中」には戻りません。

プロジェクトの削除

プロジェクトを誤って作成することもあります。プロジェクトは、[プロジェ クトの概要]ページからプロジェクトマネージャが削除できます。[プロジェ クトの概要]ページの右上隅にある[設定]>[プロジェクトの削除]をクリック して、プロジェクトを削除してください。



いったん削除したプロジェクトは復元できません。プロジェクトの削除は慎重に行ってくだ さい。 表 7-4に、プロジェクトの削除に必要な条件を示します。

| 削除するアイテム | アクセス権 |
|----------|---|
| | プロジェクトのプロジェクトマネージャ |
| 単独プロジェクト | • アクセス権: プロジェクトの削除 |
| | アクセス権: プロジェクトの編集 |
| | プロジェクトのプロジェクトマネージャ |
| 実績を持つ単独 | アクセス権: プロジェクトの削除 |
| プロジェクト | アクセス権: プロジェクトを実績と合わせて削除 |
| | ● アクセス権:プロジェクトの編集 |

表 7-4. プロジェクトの削除に必要なアクセス権

プロジェクトを削除すると、スナップショット、実績、手入力データなどの 財務サマリも削除されます。タイムシートデータとスタッフィングプロファ イルは削除されません。プロジェクトがプログラムと関連付けられている場 合は、そのプログラムからプロジェクトが削除されます。

次の場合は、プロジェクトを削除できません。

- プロジェクトに複数の上位プロジェクトがある場合
- プロジェクトが提案から作成されている(プロジェクトと提案が同じ財務 サマリを共有する)場合

第8章 タスクの更新: リソースアクティビティ

タスクの検索

HP Project Management では、リソースは、プロジェクトチームの一員として タスクを行う一方で、プロジェクトマネージャの管理責任を持たないユーザ として定義されています。

リソースは、HP Project Management でのタスクステータスを自分で更新しま す。参加者は、自身のタスクをいくつかの方法で検索できます。

●「[マイタスク]ポートレットを使ったタスクの検索」

[マイタスク] ポートレットでは、ユーザが作業すべきタスクを確認できま す。また、複数のタスクに対する実績を同時に更新できるほか、個々のタ スクページへのリンクも利用できます。

「タスクとプロジェクトの検索」

リソースは、直接タスクを検索するか、プロジェクトを検索してタスクを 含む作業計画からタスクにアクセスすることにより、タスクのメモや参照 情報を更新できます。

● 「通知を使ったタスクの検索」

タスクへのアクセスは、電子メールに記載されているリンクを単にクリッ クするか、電子メールをコピーしてWebブラウザに貼り付けることによ り、通知から行えます。

[マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索

[マイタスク] ポートレットは、HP Project Management またはHP Time Management のライセンスと「プロジェクトの表示」、「タスクの更新」、または「プロジェ クトの編集」のアクセス権を持つすべてのユーザが利用できます。このポー トレットはPPM Dashboard にデフォルトで含まれており、ユーザに現在アサイ ンされているタスクの設定可能リストが表示されます。

参加者は、タスク実績を更新し、プロジェクトマネージャがタスク表示に必要な情報を入力できます。更新できるタスク情報は、プロジェクトタイプや HP Time Management とのプロジェクトの統合状況により、プロジェクトごと に異なります。このように、[マイタスク] ポートレットを使うと、複数のタ スクを同時に更新できるため、貴重な時間の節約が可能です。[マイタスク] ポートレットを使ってタスク情報を更新する方法の詳細については、「[マイ タスク] ポートレットの使用」(216ページ)を参照してください。

参加者は、タスクリストのタスク名をクリックして [タスク] ページの閲覧も 行えます。詳細については、「[タスク] ページの使用」(218ページ) を参照し てください。

タスクとプロジェクトの検索

参加者は、サーチボックスまたは [タスクの検索] ページと [プロジェクト検 索] ページを使って、特定の基準とマッチするタスクやプロジェクトを検索で きます。

タスクの検索

HP Project Management のライセンスと「プロジェクトの表示」または「プロ ジェクトの編集」のアクセス権を持つプロジェクト参加者は、サーチボック スまたは [タスクの検索] ページを使ってタスクを検索できます。タスクのメ モと参照情報も同様の方法で更新可能です。

サーチボックスの使用

サーチボックスは、特定のテキストで始まるタスク名を基にタスクを検索し て開く場合に使用します。タスク名が分かっている場合や、特定のフレーズ や文字列で始まる名前のタスクをすべて検索する場合は、サーチボックスを 使用します。サーチボックスは上右隅にあります。 サーチボックスを使ってタスクを検索して開くには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーの右側にあるサーチボックスに、検索するタスク名の先頭テ キストを@に続けて入力します。テキスト入力を開始するとサブメニュー が表示されます(検索には大文字と小文字の区別はありません)。
- 3. 検索テキストの入力が終わったら、[**タスクの検索: <検索_テキスト>**]を選 択します。

検索テキストが1つのタスク名にしかマッチしない場合は、そのタスクの [タスク]ページが開きます。

検索テキストが複数のタスク名にマッチする場合は、[タスクの検索]ページが開き、マッチした名前を持つタスクがリスト表示されます。タスク名をクリックして、そのタスクの[タスク]ページを開きます。

[タスク]ページの詳細については、「[タスク]ページの使用」(218ページ) を参照してください。 [タスクの検索]ページは、選択した検索基準を基にタスク検索して開く場合 に使用します。[タスクの検索]ページは、リソース、終了済みタスク、タス クステータス、スケジュールされた開始日、スケジュールされた終了日、実 績を持つタスク、マイルストーン、プロジェクト名、プロジェクトマネージャ などの基準を基にしてタスクを検索する場合に使用してください。

[タスクの検索] ページを使って HP Project Management でタスクを検索するに は、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[タスク]を選択します。

[タスクの検索]ページが開きます。

| タスクの検索 |
|--------|
|--------|

| 表示するタスクの検索 | | |
|--------------------------|--------------|-------------------|
| * 少なくとも 1 つのフィールドに入力する必要 | 要があることを示します。 | |
| * タスク名 (前方一致): | | |
| リソース: | | â タスクステータス: III |
| 終了したタスクを含める | ೦¦‡\) €ುಗಿಸ | |
| 例外のあるタスクのみ表示 | Olth ®thhえ | |
| マイルストーンのみ表示 | ೦はい ●いいえ | |
| スケジュールされた開始日が次の日から: | 100 m | 次の日まで: 🛛 📸 |
| スケジュールされた終了日が次の日から: | | 次の日まで: 🔤 📸 |
| 次の基準を満たすプロジェクト内の検索 | | |
| プロジェクト名: | | |
| ・ ブロドフェクト フネー・ジャ・ | admin | |
| 545151 (4+ 5) (| | |
| リート基準: タスク名 | ☑ ●昇順 ○降順 | 1ページ当たりの表示結果数: 50 |

3. 目的のタスクを検索する基準を指定します。

[タスクの検索]ページのフィールドを基に、既存のタスクを検索できま す。[1ページ当たりの表示結果数]フィールドで検索結果の最大数を制限す ると、より素早く検索できます。 4. [検索]をクリックします。

[タスクの検索]ページが再度読み込まれ、検索基準とマッチした結果が表示されます。

タスクの検索

| Excelica | Excellにエクスポート 検索の変更 | | | | | | | | | | |
|--------------|---------------------|-----------|--------------|--------------|-------------------------------------|------|----------|--------------|--|--|--|
| 表示するタ | | | | | | | | | | | |
| 97.0名▲ | プロジェクト | プロジェクト パス | スケジュールされた開始日 | スケジュールされた終了日 | ያ አታ አ ታ – ያአ | リソース | 例外インジケータ | 達成率 (%) | | | |
| test_project | test_project | | 2013/05/01 | 2013/05/01 | 計画中 | | | 0% | | | |
| | | | | | | | | く 1-1/1を表示 > | | | |

5. リストに表示されたタスク名をクリックして [タスク] ページを表示させ ます。

詳細については、「[タスク]ページの使用」(218ページ)を参照してください。

プロジェクトの検索

プロジェクトの検索と閲覧はリソースも行えますが、作業計画の編集を行え るのは「プロジェクトの編集」アクセス権を持つ参加者だけです。参加者は、 サーチボックスや[プロジェクト検索]ページを使ってプロジェクトを検索で きます。詳細については、「プロジェクトの検索」(168ページ)を参照してくだ さい。

通知を使ったタスクの検索

HP Project Management では、タスクへのハイパーリンクを含めるように、プロジェクトマネージャが電子メール通知を設定できます。受信した電子メールにタスクへのリンクが含まれている場合は、リンクをクリックすると、そのタスクの[詳細]ページがWebブラウザで開きます。電子メールのクライアントソフトウェアから直接HTMLリンクを開けない場合は、リンクをコピーしてWebブラウザに貼り付けてください。

プロジェクト情報の表示

タスク内容の設定や依存タスクの確認、期限の把握が行える標準インタ フェースを使って、自分の参加するプロジェクトをリソースが閲覧したい場 合もあります。

プロジェクトの概要の表示

[プロジェクトの概要]ページでは、プロジェクトの名前、ステータス、達成 率、マネージャ、および計画時期など、特定のプロジェクトに関する幅広い 情報が表示されます。これらを含むすべてのデータは、[プロジェクトの概要] ページの次のセクションやタブに、整理して表示されます。

- [作業計画の表示]セクション:[プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトサマリ] タブにあるこのセクションには、プロジェクト作業計画ガントチャートのトップレベルのタスクが表示されます。詳細については、「プロジェクトのガントチャートの表示」(210ページ)を参照してください。
- [マイルストーン]セクション: [プロジェクトの概要]ページの [プロジェクトサマリ] タブにあるこのセクションには、作業計画のマイルストーンが一覧表示されます。詳細については、「プロジェクトのマイルストーンの表示」(211ページ)を参照してください。
- プロジェクトコントロールアイテムの各セクション:[プロジェクトの概要] ページの[プロジェクトサマリ]タブにあるこれらのセクションには、プロ ジェクトに関して送信された問題やリスク、スコープ変更のサマリ情報が 表示されます。詳細については、「プロジェクトコントロールアイテムの 表示」(174ページ)を参照してください。
- [プロジェクトスタッフィング]セクション:[プロジェクトの概要]ページの [プロジェクトサマリ]タブにあるこのセクションには、プロジェクトのス タッフィングプロファイルへのリンクが表示されます。詳細については、 「プロジェクトスタッフィングの表示」(175ページ)を参照してください。
- [プロジェクトの詳細]タブ: プロジェクトに定義された一連のフィールドが表示されます。詳細については、「プロジェクトの詳細の表示」(211ページ)を参照してください。
- [プロジェクトの例外]タブ:トリガされた例外の数と種類、および[例外の 詳細]ポートレットへのリンクが表示されます。詳細については、「例外の 表示」(212ページ)を参照してください。

[参照] タブ: プロジェクトにリンクされているすべての参照情報(リクエスト、パッケージ、タスク、ほかのプロジェクト、リリース、添付ファイル、URL)とプロジェクト内のリンク元がリスト表示されます。詳細については、「プロジェクトの参照情報の表示」(213ページ)を参照してください。

図 8-1. [プロジェクトの概要] ページ: [プロジェクトサマリ] タブ

| - 全体のステータ | ג | | | | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------|--|-----------------------|--------------|--------------|-------------|
| 全体のヘルス | プロジェクト マネージャ Joseph Banks | プロジェクト ステータン 詳細なプロジェクト定義 | マテーズ Project | プロジェクトの計画明間 January 2012 ~ September 2012 | プロジェクト地域 US | 進捗 | | 7% |
| プロジェクト サマ | リー ブロジェクト・ | の詳細 プロジェク | 2トの例外 | 参照 アジャイ | ル プロジェクトのタイム | อาว | | |
| 作業計画 | | | | 📄 マイルストーン サマリ | | | | |
| 浙 | 2012 | 2013 | | マイルストーン | | | | |
| | Jt Aug Sep | Oct Nov Dec Jan | Feb Mar Apr | May 、 マイルストーン | スケジュー | ルされた終了日 | 実際の終了日 | オーナ |
| Illing Systems Inf | tegration | | | Requirements Sig | n-Off | Sep 5 2012 | Sep 5 2012 | Barbara Gel |
| Requirements A | nalysis 🔫 | - | | Decian Approval | | San 29, 2012 | 000 0, 2012 | Danbara Go |
| . Solution Design | •••• | _ | | Design Approval | alized | Aug 16, 2012 | Aug 16, 2012 | |
| /. Purchases | | • | | Purchases - Capit | anzeu | Aug 10, 2012 | Aug 10, 2012 | |
| | | | | Pulcitases - Expe | nseu | Aug 10, 2012 | Aug 10, 2012 | |
| 作業計画の編集 | ペースラインの表示 | | | Detailed Design A | pprovai | Oct 29, 2012 | | |
| 間題 | | | | | | | | |
| リクエスト番号(| DERNI | é | 是先度 | ステー | -97 | | アサイン先 | |
| 30277: Several found during | additional languages | in user community | ligh | 新規 | | | | |
| 30283:Unable | to find data | | lormal | 新規 | | | | |
| 30275:Deliver | y of new hardware is la | ate L | ow | 新規 | | | | |
| | 命金なリストの表示 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| スク | | | | | | | | |
| クエスト番号の説明 | 36 | | ステー | - タス - 確率 | イバイ | たいし | 7サイン告 | |
| 167 Hiring freez | - need additional reso | urces to finish on schedu | о <u>26</u> ±я | Almost Certain | 181-100%1 Low | | Allen Hugh | 00 |
| 164 Final vorcio | of IPM MOS required | to complete preject | *6±0 | Lalikoly ID 40 | Ki High | | Allon Hugh | 00 |
| 0163: Clitabas in I | wilding meve during to: | tion | #/1/96 #C+M | Unlikely (0-40 | kaj riigin Kl Leuv | | Allen Hugh | 65 |
| 0103. Glitches Int | uluing move during tes | ang | */1792 | Unlikely (0-40 | k) LOW | _ | | |
| 0159.Hardware d | elivery is late | | япы | Unlikely (0-40) | oj mediur | 1 | | |
| 元主なリストの表 | 不 | | | | | | | |
| コープ交更 | 10 | | 7= | 47 CD ett | 金玉田 郎 | | 74.0.4 | |
| クエスド番号の別 | 19 | | 72- | SX CRUNN | 重発展 | | アサイノカム | |
| U397:PeopleSon | upgrade requires additio | onal interfaces | 新規 | Level 2 | Critical | | | |
| 0392:Memory upg | grade for Sales Consult | ant laptops | 決定得 | 肟 Level 1 | Low | | Allen Hugh | es |
| 0393:Oracle upgr | ade requires additional | testing | 新規 | Level 1 | Low | | | |
| 完全なリストの表 | 示 | | | | | | | |
| ヴァフイング | | | | 📄 プログラムの関連 | | | | |
| タッフィング プロン | ファイル | | ステータス | プログラム名 | プログラ | ラムマネージャ | | |
| illing Systems Inte | egration Project | | アクティブ | One World | Carolyr | n Sayer | | |
| ペースライン | | | | | | | | |
| プロジェクトコス | u- | | | | | | | |
| (務サマリ (表示金 | 「翻は、プロジェクトの計画 | 調期間 January 2012 ~ S | eptember 2012 | 2の金額) | | | | |
| 合計予測: ヘ日キキズのマ ³⁰⁰ | | \$555,409.94 \$555,400.04 | 中体は^= | L. 600.000.0 | 0 | | | |
| っ ハ木よ じの中割 「業計画 | | a000,409.94 | 天宙世合音 | . \$32,200.0 | 0 | | | |
| ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー | | \$185,575.20 | 計画コスト | の合計: \$205,575. | 20 | | | |
| ペースライン終了日 | 3: | \$185,575.20 | 計画終了E | \$201,265. | 20 実績 | 黄疸合計: | \$32,200. | 00 |
| コストの詳細 | 財務サマリの表示 | | | | | | | |
| U7U | | | | | | | | |
| Laura in | | \$180,815.20 | | スケジュールの差異: | | (\$168,600 | .00) | |
| | | | | 11 A 20 10 | | (\$10.094) | 20) | |
| 「画画」。 アーンド バリュー: | | \$12,215.20 | | コストの差異: | | (010,004.0 | 50) | |

[プロジェクトの概要] ページには、リソースのPPM Dashboardに表示できる [プロジェクトリスト] ポートレットのほか、[プロジェクト検索] ページから アクセスできます。 名前が似たプロジェクトを区別しやすいように、[プロジェクトの概要]ページのプロジェクトタイトルには、プロジェクト名とともにプロジェクト番号(プロジェクトのリクエストID)が次のフォーマットで表示されます。

プロジェクト: <プロジェクト名> (#<プロジェクト番号>)

例: プロジェクト: Whirlwind (#12345)

プロジェクトのガントチャートの表示

[プロジェクトの概要]ページの [作業計画] セクションには、プロジェクト作 業計画ガントチャートのトップレベルのタスクが表示されます。作業計画は、 [作業計画の編集] をクリックして表示させます。

作業計画の編集に必要なアクセス権がない場合、このボタンの名称が [**作業計画の表示**] にな ります。

図 8-2. [プロジェクトサマリ] タブ: [作業計画の表示] セクション

| 作業計画 | | | | | | | | | | | | | | ľ | |
|--------------------------|-------------|---|-----|----|-----|----|---|---|---|----|------|------|-----|---|---|
| 名前 | Sep 3, 2012 | | Sep | 9, | 201 | 12 | | | | Se | p 16 | 6, 2 | 012 | | |
| | MTWTF | s | S | м | т | W | т | F | s | s | М | т | W | т | F |
| dctest2 | - | _ | - | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ | J | | | | |
| I. Requirements Analysis | - | - | - | J | | | | | | | | | | | |
| II. Solution Design | | - | - | Ð | | | | | | | | | | | |
| III. Prototype | | | | | | | | | | | | | | | |
| IV. Purchases | U | | | | | | | | | | | | | | |
| 作業計画の編集 | スラインの表示 | | | | | | | | | | | | | | |

クリティカルパスの表示

作業計画のクリティカルパスは、作業計画の期間を定義するタスクで構成され ており、プロジェクトのスケジュールビューで閲覧できます。詳細については、 「プロジェクトのクリティカルパスの表示」(164ページ)を参照してください。

プロジェクトのマイルストーンの表示

マイルストーンは、成果物の完成や期日の到来など、作業計画内の重要なイ ベントのマーキングに使用します。作業計画のガントチャートのマイルス トーンには黒色の菱形が表示されます。

マイルストーンは、[プロジェクトの概要] ページの [マイルストーン] セクションにも一覧表示されます。

 マイルストーンサマリ
 ■

 マイルストーン
 スゲジュールされた終了日
 実際の終了日
 オーナー

 マイルストーン
 スゲジュールされた終了日
 実際の終了日
 オーナー

 Requirements Sign-Off
 Sep 4, 2012

 Prototype Sign-Off
 Sep 4, 2012

 Purchases - Capitalized
 Sep 4, 2012

 Purchases - Expensed
 Sep 4, 2012

図 8-3. [プロジェクトサマリ] タブ: [マイルストーンサマリ] セクション

プロジェクトの詳細の表示

[プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトの詳細] タブには、プロジェクト に事前設定された情報が表示されます。表示内容は、HP Portfolio Management のインストールの有無やカスタムリクエストタイプの設定の有無によって異 なります。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を 参照してください。

例外の表示

[プロジェクトの概要]ページの[プロジェクトの例外]タブには、表示中のプロ ジェクトに対してトリガされた例外とコスト違反が表示されます。例外をト リガした個々のタスクは、次の情報に従って振り分けられます。

- 例外タイプと違反日数
- タスクのステータス、リソース、スケジュールされた開始日と終了日
- 作業計画のパス

図 8-4. [プロジェクトの概要]ページ: [プロジェクトの例外] タブ

| 🛆 ブロジェクト: 🛚 | オーバライド 設定 詳細 | |
|--|---|----|
| 一 全体のステータス 全体のヘルス <u>▲ 薫</u> | プロジェクトマネージャ プロジェクトステータス フェーズ プロジェクトの計画期間 プロジェクト地域 道持 Joseph Banks 詳細なゴロジェクト定義 Project January 2012 ~ September 2012 US | 7% |
| プロジェクト サマ! | ノ プロジェクトの詳細 プロジェクトの例外 参照 アジャイル プロジェクトのタイムライン | |
| 78 スケジュール例外 | * | |
| タスク | 制外タイプ | |
| 5 | マイルストーンに遅延クリティカル パスが存在 | |
| 6 | 先行タスクに例外が存在 | |
| 34 | 実行の遅延 | |
| 30 | 開始の遅延 | |
| 1 | <u>リソースがアサインされていません</u> | |
| 2 | <u>アサインされていない工数</u> | |

このタブは、プロジェクトで発生した個々の例外に固有の内容、問題が発生 したタスク(有効となっている例外ルールによっては、問題が発生する恐れの あるタスク)、問題が発生した日付、および問題が発生したタスクの場所がわ かるため、リソースにとって有用です。また、「リソースがアサインされてい ません」という例外が発生したタスクについては、[プロジェクトの例外]タブ の[アサイン]をクリックして作業計画を直接開くことができます。

コスト違反の詳細については、「コストとアーンドバリューヘルス」(56ページ)を参照してください。

プロジェクトの参照情報の表示

[プロジェクトの概要] ページの [参照] タブには、プロジェクトに参照情報と してリンクされているエンティティが表示されます。参照情報 (リクエスト、 パッケージ、タスク、ほかのプロジェクト、リリース、添付ファイル、URL) は、次の詳細情報付きでリスト表示されます。

- 参照タイプ
- 説明
- 参照者

| 全体のヘルス プロジ | ェクト マネージャ Ih Banks | プロジェクト ステータス 詳細なプロジェクト定義 | フェーズ Project | プロジェクトの計画期間 January 2012 〜 Septembe | プロジェクト地 域 er 2012 US | 進持 | |
|-------------------|--|------------------------------------|-----------------|--|--------------------------------|----|--|
| プロジェクト サマリ | Joseph Banks 詳細なプロジェクトの課題 プロジェクトの課題 プロジェクトの課題 プロジェクトの課題 プロジェクトの多イムライン キュメント Lt | | | | | | |
| ▶ 添付ドキュメント | | | | | | | |
| ト リクエスト | | | | | | | |
| 厩の追加 | | | | | | | |
| 新規参照: 添付ファイル 🔽 | 追加 | 強調表示されたア しています | イテムは、この | り ブロジェクト をアクティブに制 | iðp | | |
| 保存時に追加される参 | 照: | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | IIK | 削除 | | | | |

[参照] タブは、プロジェクトが参照しているすべてのエンティティへの便利 なアクセス起点として利用できます。

図 8-5. [プロジェクトの概要]ページ: [参照] タブ

リソース情報の表示

リソースは、現在のアサイン状況に関する情報を[リソースの表示]ページで 閲覧できます。[リソースの表示]ページには[**キャパシティ/負荷**]タブがあり、 このタブにはリソースのキャパシティと、直近2週間またはリソースが選択し た期間のアサイン状況を示すカスタムガントチャートが表示されます。

[リソースの表示]ページには、メニューバーから[**開く**]>[管理]>[マイリソース情報の表示]を選択してアクセスします。

適切なレベルのアクセス権を持つプロジェクトマネージャは、ワークロード キャパシティなどのリソース情報も閲覧できます。

図 8-6に、[リソースの表示]ページの[キャパシティ/負荷]タブを示します。

図 8-6. [リソースの表示]ページ: [キャパシティ/負荷] タブ



[リソースの表示]ページは、メニューバーから[検索]>[管理]>[リソース]を 選択して開きます。[リソースの検索]ページで検索基準を指定して[検索]を クリックします。

タスクスケジュールのエクスポート

HP Project Management では、プロジェクトの作業計画を閲覧してフィルタリ ングを行い、自分にアサインされたタスクだけを表示させることができる上、 個人的に利用できるように、その結果を PDF ファイルにエクスポートできま す。作業計画の閲覧とフィルタリングを行うには、HP Project Management ラ イセンスのほか、プロジェクトセキュリティポリシーで定義されているプロ ジェクトの参加者制限を満たしていること、および最低でも「プロジェクト の表示」アクセス権が必要です。適切なレベルのアクセス権を持たないリソー スには、この操作が必要になる場合もあります。

自分にアサインされたプロジェクトのタスクのPDFファイルを取得するには、 次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. 編集するプロジェクトを開きます。

プロジェクトの検索と開き方の詳細については、「プロジェクトの検索」 (168ページ)を参照してください。

- [プロジェクトの概要]ページで[作業計画の編集]をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが開きます。
- 4. [フィルタの対象] ドロップダウンリストから [リソース別のタスク] を選択します。

[フィルタオプション]ダイアログボックスが開きます。

- リソースのフィールドから自分の名前を選択して [OK] をクリックします。
 [作業計画の表示]ページが再度読み込まれ、自分にアサインされたタスクだけが表示されます。
- 6. [作業計画を PDF にエクスポート] アイコンをクリックします。

[PDFエクスポートオプション]ダイアログボックスが開きます。

- プロジェクトのガントチャートの表示オプション、含める列、および用紙 サイズを選択します。
- 8. [**エクスポート**] をクリックします。

フィルタ済みプロジェクトのPDFファイルを表示する新しいウィンドウ が開き、ここで閲覧や保存が行えます。

タスクの更新

HP Project Management では、タスクの異なる要素について、複数の詳細レベルでリソースが簡単に報告できるようになっています。

• 「[マイタスク] ポートレットの使用」

複数のタスクの実績は、プロジェクトマネージャが直ちに更新が必要と判断した情報を添えて、同時に更新することができます。

• 「[タスク]ページの使用」

リソースは、タスクの更新や保存時のメモや参照情報など、詳しいタスク の内容を閲覧できます。

タスク実績を更新すると、プロジェクトを完了に向けて進めるイベントがプロジェクト内でトリガされます。

HP Time Managementがプロジェクトで有効になっている場合、HP Time Managementのタイムシートから実績を受け取るように設定されているタスクについては、実績工数値を入力できないことがあります。このようなタスクには、時計のようなアイコンが表示されます。

[マイタスク] ポートレットの使用

[達成率 (%)] などの特定のタスク詳細のみの更新が、リソースに必要な場合も時にはあります。[マイタスク] ポートレットは、このニーズにも適応し、また複数のタスクを一度に表示する機能も備えています。

ポートレットが収集するフィールドは、プロジェクトがトラッキングしてい るフィールドで決まり、プロジェクト設定の各種ポリシーで制御されていま す。詳細については、第3章「プロジェクトタイプの設定」(33ページ)を参照 してください。

マイタスクポートレットには、複数のタスクに関する情報が表示されます。表示するタスクの最大数は、ポートレットのタイトルと同様、ユーザが指定できます。マイタスクポートレットの大半のフィールドは、リソースが更新できます。
[マイタスク] ポートレットをHP Time Management と統合すると、タスクの実績をタイムシートを使って更新できます。HP Time Management との統合の詳細については、第 11 章「HP Time Management との統合」(337ページ)を参照してください。

マイタスクポートレットのフィールドを更新するには、次の手順を実行します。

- 1. 目的のフィールドを更新します。
- 2. [保存] をクリックします。

更新を有効にするには、必ず [**保存**] をクリックしてください。保存することにより、更 新内容がHP Project Managementに反映されます。

変更した内容をクリアし、すべてのフィールドを以前の値にリセットする には、[**リセット**]をクリックしてください。

マイタスクポートレットの検索

[マイタスク] ポートレットには、リソースのホームページがデフォルトで表示されます。ホームページには、メニューバーから [**ダッシュボード**]>[**フロン** トページ] を選択して、いつでも移動できます。

HP Time Management との統合

HP Time Management では、タイムシートと相互に作用し合うマイタスクポートレットを使って、さらにきめ細かいレベルで実際の工数値を入力できます。 HP Time Management との併用時には、次のことに注意してください。

- マイタスクポートレットは、必要に応じてタイムシートまたはタイムシートの明細を作成します。
- 時間を入力する前に、[タイムシートの使用] フィールドに入力する時間に正しい期間が選択されていることを確認してください。
- [実績工数]の値をクリックすると[工数の内訳]ダイアログボックスが開き、関連するタイムシートの明細エントリを編集できます。

- タイムシートエントリがタスクに作成されると、タスクの実際の開始日と 終了日はタイムシートによって決められます。
- 時間はサマリタスクについてトラッキングが可能で、プロジェクトがこのレベルで時間のトラッキングを行うと、[マイタスク]ポートレットに表示されます。また、実績工数以外は個々のタスクも確認可能なため、特定の成果物についての進捗状況を工数と切り離して示すことができます。

統合の詳細については、第 11 章 「HP Time Management との統合」(337ページ) を参照してください。

[タスク] ページの使用

[タスク]ページには、1つのタスクの複数の要素についての詳細情報が指定されています。タスクに関するメモと参照情報は、次のユーザが[タスク]ページで更新できます。

- 「プロジェクトの編集」アクセス権を持つユーザ
- 「タスクの更新」アクセス権を持ち、タスクにアサインされているユーザ

[タスク]ページでメモや参照情報を更新するには、次の手順を実行します。

- 1. 次に示すいずれかの方法でタスクを開きます。
 - 「タスクとプロジェクトの検索」(204ページ)
 - 「[マイタスク] ポートレットを使ったタスクの検索」(204ページ)
 - 「通知を使ったタスクの検索」(207ページ)

[タスク]ページが開きます。

2. タスクの [メモ] または [参照] の情報を更新します。

タスクに参照情報を追加する詳細については、「参照情報の表示と修正」 を参照しください。

3. [完了] をクリックします。

参照情報の表示と修正

HP Project Managementは、プロジェクトに関する追加情報、つまり参照情報 を取得する数々の方法を備えています。タスクにはほかのエンティティや情 報元への参照情報を含めることができるため、現在のプロジェクトに関連す るデータに簡単にアクセスして確認できます。タスクには、次の参照情報を 追加できます。

- URL
- ・ 添付ファイル (PDFファイル、JPEGイメージ、Java[™].classファイルな ど、サーバに保管できるもの)
- リクエスト
- パッケージ
- タスク
- ほかのプロジェクト
- リリース

タスクの参照情報は [タスク] ページから追加します。プロジェクトマネージャは、[プロジェクトの概要] ページの [**参照**] タブを使って、プロジェクトレベルで参照情報を追加できます。

タスクへの参照情報の追加

Webにアクセスできるファイルを参照できるほか、ファイルをローカルマシンから現在のタスクに添付できます。

ファイルの追加

ファイルを参照情報として追加するには、次の手順を実行します。

1. [タスク]ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。

2. 「新規参照] フィールドから「添付ファイル」を選択します。

3. [追加] をクリックします。

[ドキュメントの追加]ページが表示されます。

| ドキュメントの追加 | | |
|----------------|----|----------|
| ・ ファイル: | 参照 | |
| 作者: Admin User | | |
| 說明: | | |
| | × | |
| | | 清加 赤かいわゆ |

- 4. 目的のファイルをマシンから選択し、必要に応じて説明を入力します。
- 5. [追加] をクリックして、選択した添付ファイルを参照情報として追加し ます。

[タスク]ページの[保存時に追加される参照]リストに、参照用添付ファイルが表示されます。参照情報はまだ追加されていません。

6. [保存]をクリックして添付ファイルをタスクに追加します。

URLの追加

URLを参照情報として追加するには、次の手順を実行します。

- 1. [タスク]ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。
- 2. [新規参照] フィールドから「URL」を選択します。
- 3. [追加] をクリックします。

[参照URL]ページが開きます。

| <i>(p</i>) | | ウィンドウを閉じる |
|--------------------|---------|-----------|
| 参照 URL | | |
| 'URL: [[Ĵ킩明:] | URL の表示 | |
| | | OK キャンセル |
| | | |

4. [URL] フィールドにURLを入力し、必要に応じて説明を入力します。

- 5. [追加] をクリックして、指定したURLを参照情報として追加します。
 - [タスク]ページの[保存時に追加される参照]リストに、参照用URLが表示 されます。参照情報はまだ追加されていません。
- 6. [保存] をクリックして参照情報をタスクに追加します。

参照情報の表示と編集

タスクにリンクされている参照情報は閲覧可能です。参照情報は、[タスク] ページの[**参照**]セクションにリスト表示されます。

現在タスクにリンクされている参照情報を閲覧するには、次の手順を実行し ます。

- 1. [タスク]ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。
- 2. 閲覧する参照情報の名前をクリックします。
 - 参照情報がURLの場合、URLがWebブラウザで開きます。
 - 参照情報がファイルなどの場合、Web ブラウザが通常の処理を行い、 直接ファイルを開くか、ローカルマシンに保存するかどうかを確認し ます。
 - 参照情報がプロジェクトの場合、[プロジェクトの概要]ページが開き、 そのプロジェクトに関連するサマリ情報が表示されます。
 - 参照情報が別のPPM Center エンティティ (リクエスト、パッケージ、タスク)の場合、そのエンティティの [詳細] ページが開きます。

HP Demand ManagementとHP Deployment Managementのライセンスがある場合は、リクエ ストまたはパッケージをクリックして詳細ページにアクセスできます。その後、通常のPPM Center操作でエンティティの更新が可能です。

タスク編集が許可されている場合は、タスクの参照情報を修正できます。参照情報の新規追加のほか、既存追加情報との関係の削除と変更が行えます。

また、タスクとプロジェクトに関連する参照情報は、[プロジェクトの概要]ページの[**参照**]タブで閲覧することもできます。

図 8-7. [プロジェクトの概要]ページ: [参照] タブ

| ▲ プロジェクト: Billing Systems Integration (#30633) | オーバライド 設定 詳細 |
|---|--------------|
| ±100/3 プロジェクトマネージャ プロジェクトステーダス フェーズ プロジェクトの計画明問 プロジェクト地域 進持 ▲ _ Joseph Banks 詳細なプロジェクト定義 Project January 2012 ~ September 2012 US | 7% |
| プロジェクトサマリ プロジェクトの詳細 プロジェクトの例外 参照 アジャイル プロジェクトのタイムライン | |
| + 添付ドキュメノト | |
| + リクエスト | |
| 参照の追加 | |
| 新祝多程: 添付ファイル ▼ 追加 送調表示されたアイテムは、この プロジェクト をアクティブに制御 しています | |
| 保存明に迫加される参照: | |
| | |
| 間K 育麼金 | |

参照情報の削除

タスク編集が許可されている場合は、タスクの参照情報を削除できます。 タスクの参照情報を削除するには、次の手順を実行します。

1. [タスク]ページに移動し、[参照] セクションまで下にスクロールします。

2. 参照情報の左にある [削除] アイコンをクリックします。

削除を確認するメッセージが表示されます。

3. [はい] をクリックします。

参照情報がタスクから削除されます。

第9章 作業計画テンプレートの使用

作業計画テンプレートのセットアップ

HP Project Management では、数々のプロジェクトのモデルおよびベースとして繰り返し使用するプロセスの作成に、作業計画テンプレートを使用します。

作業計画テンプレートを使うと、作業計画をより素早くセットアップできま す。繰り返し使用する一連のタスクはテンプレートにまとめ、通知やリソー スのアサイン、先行タスクを変えずに作業計画の作成に使用できます。

たとえば、数種類の異なるソフトウェア製品を持つ企業では、すべての開発 工数に同じプロセスが使われていることがあります。このような場合、プロ ジェクトを計画するたびに作業計画を個別に作成するのではなく、作業計画 テンプレートを使って個々のプロジェクトの作業計画を作成できます。作成 後は、プロジェクトマネージャが、必要に応じて各プロジェクトの情報を変 更できます。

作業計画テンプレートは、階層化されたタスクで構成されています。一連の タスクも、**スケジュール**ビューで作業計画を操作するのとほぼ同じ方法で編集 できます。

| 作業計画テンプレート: ERP App Dev Templete 保存 完了 キャンセル | | | | | | | | |
|--|--|---|-----------|---------|----------|------|----------|---------|
| | | | 集▼ アクション▼ | | 合計タスク:16 | 前へ次へ | シーケンス番号: | 0 実行 |
| シ | | 名前 | スケジュールさ | スケジュールさ | 先行タスク | リソース | ロール | アクティビティ |
| 0 | | ERP App Dev Template | 42.00 | 336.00 | | | | ~ |
| 1 | | Phase I: Project Startup | 28.00 | 224.00 | | | | |
| 2 | | Complete detailed plan | 10.00 | 80.00 | | | | |
| 3 | | Finalize team logistics | 2.00 | 16.00 | 2 | | | |
| 4 | | Finalize infrastructure plan | 1.00 | 8.00 | 2 | | | |
| 5 | | Project statup deliverables | 15.00 | 120.00 | | | | |
| 6 | | Phase I: Project Statup | 0.00 | 0.00 | 3; 4; 5 | | | |
| 7 | | Phase II: Business Operations Analysis | 14.00 | 112.00 | | | | |
| 8 | | Functional Area 1 | 14.00 | 112.00 | | | | |
| 9 | | As-Is analysis | 3.00 | 24.00 | | | | |
| 10 | | As-Is documentation | 2.00 | 16.00 | 9 | | | |
| 11 | | Requirements interviews | 5.00 | 40.00 | 10 | | | |
| 12 | | Requirements documentation | 2.00 | 16.00 | 11 | | | |
| 13 | | Prioritization and scope agreement | 2.00 | 16.00 | 12 | | | |
| 14 | | Functional area 1 requierments complete | 0.00 | 0.00 | 13 | | | |
| 15 | | Phase II: Busness ops analysys complete | 0.00 | 0.00 | 8 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

図 9-1. 作業計画テンプレートの定義

作業計画テンプレートの作成と管理

作業計画テンプレートの作成と管理は、メニューバーから行います。

- 作業計画テンプレートを作成するには、[作成]>[管理]>[作業計画テンプ レート]をクリックします。[作業計画テンプレートの作成]ページが開き、 作業計画テンプレートを作成できます。
- 作業計画テンプレートを管理するには、[検索]>[管理]>[作業計画テンプ レート]をクリックします。[作業計画テンプレートの管理]ページが開き、 システムの作業計画テンプレートがすべて表示されます。作業計画テンプ レート名をクリックして[テンプレートの詳細]ページを開きます。

作業計画テンプレートへのタスクの追加

作業計画テンプレートを作成すると、[作業計画テンプレート]ページが開き ます。作業計画テンプレートにタスクを追加する方法は、スケジュールビュー でタスクを追加する方法と同じです。詳細については、「作業計画へのタスク の追加」(85ページ)を参照してください。



作業計画テンプレートでのタスクの設定

作業計画テンプレート内のタスクと通知は、スケジュールビューと同じ方法で 設定できます。詳細については、「タスクの詳細の編集」(124ページ)を参照し てください。

作業計画テンプレートのフィールドによっては、タスクがない場合やタスクの更新が行えない 場合があります。

タスクは、必要に応じて作業計画テンプレート内でマーキングすることがで きます。必須タスクは、名前を変更できない上、テンプレートを使って作成 した作業計画から削除することもできません。タスクを必須とマーキングす るには、[タスクの詳細]ページの[このテンプレートから作成された作業計画に はこのタスクが必要]チェックボックスを選択します。

作業計画テンプレートへのアクセスの設定

作業計画を使用または編集できるユーザは、[アクセスの設定]ページで決めることができます。作業計画へのアクセスを設定するには、[テンプレートの詳細]ページの[**アクセスの設定**]をクリックします。

既存作業計画からの作業計画テンプレートの作成

プロジェクトマネージャは、既存作業計画から新規作業計画テンプレートを 作成できます。Microsoft Projects を HP Project Management の作業計画テンプ レートに変換する場合は、まず Microsoft Project を HP Project Management にイ ンポートし、それをテンプレートに変換します。Microsoft Project ファイルを PPM Center のプロジェクトに変換する方法の詳細については、「HP Project Management と Microsoft Project との統合」(229ページ)を参照してください。



既存の作業計画は、「作業計画テンプレートの編集」アクセス権を持つユーザのみが作業計画テ ンプレートに変換できます。 既存の作業計画から作業計画テンプレートを作成するには、次の手順を実行 します。

- 1. プロジェクトを開きます。
- 2. スケジュールビューで、[アクション] をクリックして「作業計画をテンプレートに変換」を選択します。

[作業計画をテンプレートに変換]ダイアログボックスが開きます。

| | | × |
|---------------|------------|------------|
| 作業計画をテンプレー | トに変換 | |
| | | |
| *テンプレート名: | | 1 |
| *テンプレート オーナー: | Admin User | |
| 説明: | |] |
| 含む: | | |
| 🗖 通知 | | |
| | 10-46 | 1.5.1.1716 |
| | <u>美架</u> | +7/21 |
| | | |



自分のほかに作業計画を編集しているユーザがいると、作業計画をテンプレートに正常に変換 できません。ほかのユーザが作業計画を編集している場合は、「別のユーザによって編集されて います」というメッセージが表示され、変換が停止します。

- 3. 新規作業計画テンプレートに新しい [テンプレート名]、[テンプレートオー ナ]、および [説明] を指定します。
- 4. 関連するチェックボックスを選択して [通知] を含めるかどうかを選択し ます。

作業計画からテンプレートにコピーするアイテムのリストについては、「作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細」を参照してください。

5. [変換] をクリックします。

変換が完了するとダイアログボックスが開きます。

6. [テンプレートの編集] をクリックして新規作業計画テンプレートを編集します。

作業計画からテンプレートへの変換時、新しいテンプレートに作業計画の詳細がすべてコピー されるわけではありません。作業計画やタスクの実際の期間、工数、開始日、および終了日な ど、作業計画の実績情報は変換中に切り捨てられます。

作業計画から作業計画テンプレートへの変換の詳細

作業計画から作業計画テンプレートを作成する際には、次のアイテムがコ ピーまたは切り捨てられます。

- 作業計画テンプレートが引き継がない次のようなデータは切り捨てられます。
 - 外部先行タスク
 - スケジュールされた日付
 - **o** 制限
 - o 工数とコスト実績
 - タスクステータス
 - リソースアサインとサマリタスクのオーナ
 - 参照情報
 - メモ
 - ユーザデータ
- スケジュールされた工数は、次のようにコピーされます。
 - 自動算出されたタスクについては、スケジュールされた工数の再計算 が行われます。
 - ・ 手作業で入力したタスクについては、合計タスク実績が [アサインされていない工数] フィールドに保持されます。
- 上記以外は、すべて作業計画テンプレートにコピーされます。

作業計画テンプレートからの作業計画の作成

繰り返し使用するビジネスプロセスが企業にある場合は、事前設定された独 自のテンプレートから作成、管理した方が簡単です。

作業計画テンプレートから新規作業計画を作成するには、次の手順を実行します。

- 1. 新規プロジェクトを作成します。
- 2. [プロジェクトの概要] ページで [テンプレートからの作業計画の作成] リンク をクリックします。

[テンプレートからの作業計画の作成]ダイアログボックスが開きます。

- 3. [作業計画テンプレート] フィールドから目的のテンプレートを選択します。
- 4. [作成] をクリックします。

新規作業計画が、作業計画テンプレートの定義どおりに作成されます。

プロジェクトタイプによっては、特定の作業計画テンプレートがプロジェクトに決められる場合があります。詳細については、「作業計画」(39ページ)を参照してください。

作業計画は、別のプロジェクトの既存作業計画から作成することも、別のプロジェクトから既存作業計画にインポートすることもできます。詳細については、「別プロジェクトからの作業計画の作成」(82ページ)または「作業計画のインポート」(87ページ)を参照してください。

第10章 HP Project Managementと Microsoft Projectとの統合

HP Project ManagementとMicrosoft Projectとの統合の概要

HP Project Managementは、Plug-in for PPMを使用してMicrosoft Projectと統合し ます。この統合により、組織がMicrosoft Project内でスケジュールを計画した 場合でも、プロジェクトを緻密に把握できます。統合により、プロジェクト マネージャはMicrosoft Projectから新規 HP Project Managementプロジェクトに プロジェクト情報をインポートできます。プロジェクト情報は、HP Project ManagementからMicrosoft Projectにエクスポートすることもでき、Microsoft Project内に新規プロジェクトが作成されます。インポート、またはエクスポー トされたプロジェクトは同期できます。両アプリケーション内のプロジェク ト間で共有される情報は、同期中に更新されます。

各 HP Project Management プロジェクトは、プロジェクトのライフサイクルを 通して、単一のMicrosoft Projectファイルに関連付けられます。これは1対1の 関係であり、HP Project Management プロジェクトは、特定の場所にある特定 のMicrosoft Projectファイルに関連付けられます。この関連付けが開始するの は、1つのプロジェクトを使用してほかのプロジェクトを作成するとき、つま り、Microsoft Projectから新規 HP Project Management プロジェクトにプロジェ クト情報をインポートするとき、または HP Project Management から Microsoft Project 内の新規プロジェクトにプロジェクト情報をエクスポートするときで す。プロジェクトマネージャはプロジェクトを同期することにより、この関 連付けを最新状態に維持します。

スタートアップガイド

プロジェクトマネージャの方針に応じて、各アプリケーションを使用して、さ まざまな重要なタスクを実行できます。統合を使用する最も一般的な方法の 概要を以下に挙げます。

ステップ1: Microsoft Project統合オプションを構成します。

この統合を実行する前に、システム管理者は一部の重要な設定が組織のビジネスニーズに合致するかどうかを確認して、調整する必要があります。この 作業が完了するまで、Microsoft Project 統合は使用できません。

詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

ステップ2: Plug-in for PPMをインストールします。

この統合を使用するには、Plug-in for PPMをダウンロードしてインストールす る必要があります。これには、メニューバーから [**開く**] > [**管理**] > [Microsoft Project プラグインのダウンロード]を選択することで、いつでもアクセスでき ます。

システムに Plug-in for PPM がインストールされていない場合、またはメニューバーにダウン ロードオプションが表示されない場合、PPM Center 管理者にアクセス方法を確認してくだ さい。

Plug-in for PPM をインストールすると、以下のいずれかの方法でMicrosoft Projectを使用してHP Project Management 作業計画を操作できます。Plug-in for PPM のインストールの詳細については、「Plug-in for PPM のインストールと アップグレード」(232ページ)を参照してください。

ステップ3:同期モードを選択して、計画の管理方法を決定します。

この統合で使用できるさまざまな同期モードの詳細については、「同期モード」(239ページ)を参照してください。

ステップ4:作業計画の作成方法を決定します。

作業計画を作成して維持する方法の詳細については、「HP Project Management の方針」(271ページ)を参照してください。

ステップ5: Microsoft Project統合ポリシーを構成します。

Microsoft Project統合ポリシーのプロジェクトレベル設定の構成方法の詳細については、「統合のためのプロジェクトレベルの設定」(274ページ)を参照してください。

ステップ6: ユーザプリファレンスの設定(オプション)

オプションで、Microsoft Project と Plug-in for PPM 間、および PPM Center と Plug-in for PPM 間のインタラクションを変更するプリファレンスを設定できます。詳細については、「Plug-in for PPM のユーザプリファレンス」(296ページ)を参照してください。

ステップ7:作業計画を作成して管理します。

作業計画がHP Project Management で制御されている場合には、HP Project Management で作業計画を作成し、状況に応じて Microsoft Project で開きます。 詳細については、「Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開 く」(307ページ)を参照してください。

作業計画がMicrosoft Projectで制御されている場合には、Microsoft Projectで作 業計画を作成し、HP Project Managementで開きます。アプリケーション間で のリソース情報のマッピングは、HP Project ManagementにMicrosoft Projectファ イルを送信するときには自動的に行われますが、処理中に手動で調整を行う 必要があります。詳細については、「HP Project ManagementへのMicrosoft Project ファイル作業計画の送信」(309ページ)を参照してください。

制御が共有されていない場合、Microsoft Project内で作業計画を管理して、HP Project Managementを使用して実績を収集します。詳細については、「Microsoft Project から HP Project Management への作業計画(計画)情報の送信(共有制御 モード)」(314ページ)、および「HP Project Management からの実績の取得(共 有制御モード)」(312ページ)を参照してください。

Plug-in for PPMのインストールとアップグレード

Microsoft Project と HP Project Management とを統合するには、メニューバーから Plug-in for PPM をダウンロードしてインストールする必要があります。これは、1回のみの操作であり、Microsoft Project や HP Project Management を使用するたびに繰り返す必要はありません。システム管理者ではない Plug-in for PPM ユーザが(同じユーザではない限り)、システムに Plug-in for PPM をインストールする必要があります。



複数のユーザがシステム上のPlug-in for PPMを使用する場合、各ユーザはPlug-in for PPMの自 分用インスタンスをインストールする必要があります (各インスタンスは、別のインストール 先フォルダにインストールする必要があります)。

Plug-in for PPM のインストール後に、Microsoft Project を (2007 から 2003 に) ダ ウングレードする場合、またはMicrosoft Project を (2003 から 2007 に) アップグ レードする場合、Plug-in for PPM を削除してから再インストールする必要があ ります。

PPM Centerをアップグレードする場合、Plug-in for PPMのアップグレードが必要となる場合があります。Plug-in for PPMのアップグレードの詳細については、「Plug-in for PPMのアップグレード」(237ページ)を参照してください。



システムに Plug-in for PPM がインストールされていない場合、またはメニューバーにダウン ロードオプションが表示されない場合、PPM Center 管理者にアクセス方法を確認してくだ さい。

Plug-in for PPMの要件

以下の項目は、Plug-in for PPMのインストール前に満たしておくべき HP Project Management と Microsoft Project の要件です。

サーバ側の要件

Plug-in for PPMをインストールして使用するためには、ユーザは以下の項目が 必要です。

- HP Project Management ライセンス
- 作業計画の同期へのアクセス許可(このアクセス許可は、HP Project Managementに含まれている PPM Project Manager セキュリティグループの 一部です)
- Microsoft Project 統合オプションを有効にすること (HP Project Management 作業計画から Microsoft Project を起動するなど、特定の Plug-in for PPM 機能

を有効にする場合にのみ必要)。詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

クライアント側の要件

クライアント上に以下のソフトウェアが必要です。

- Microsoft Project
- Microsoft .NET Framework (バージョン3.5以降)
- Visual Studio Tools for Office (VSTO) (システム管理者がインストールする 必要があります)
 - o バージョン2005 SE (Microsoft Project 2003の場合)
 - o バージョン3.0 (Microsoft Project 2007 および 2010 の場合)
- Microsoft Project用のMicrosoft Office Primary Interop Assemblies (PIA) (シス テム管理者がインストールする必要があります)
 - o バージョン2003 (Microsoft Project 2003の場合)
 - o バージョン2007 (Microsoft Project 2007の場合)
 - o バージョン2010 (Microsoft Project 2010の場合)
- サポートされる Microsoft Project のバージョンについては、『System Requirements and Compatibility Matrix』を参照してください。

インストール手順

PPM Center を Microsoft Project と統合するには、Plug-in for PPM をインストー ルする必要があります。管理者ではない Plug-in for PPM ユーザが Plug-in for PPM をインストールする必要があります。本項では、Plug-in for PPM をインス トールするのに実行する手順を説明します。

Plug-in for PPMをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project が開いている場合は、Microsoft Project を終了します。
- 2. PPM Center をインストールして構成したら、PPM Center にログオンします。

 メニューバーから、[開く]>[管理]>[Microsoft Project プラグインのダウン ロード]を選択します。

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが開くので、setup.exe ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

- 4. [**実行**] をクリックします。
- 5. セットアップ言語を選択して、[OK] をクリックします。

Plug-in for PPM InstallShield ウィザードが起動します。

選択した言語によっては、一部のウィンドウの内容が正しく表示されない場合があります。 英語を選択しない場合、Windowsシステムに非Unicodeコンテンツを表示できる言語を選 択してください。

Microsoft ProjectまたはMicrosoft .NET Frameworkがインストールされていない場合、ユー ザまたはシステム管理者は Plug-in for PPM をインストールする前に、Microsoft Projectま たはMicrosoft .NET Frameworkをインストールする必要があります。このソフトウェアを インストールできるようにするため、インストーラは終了します。

Visual Studio Tools for Office (VSTO) がインストールされていない状態で、ユーザにシス テムにソフトウェアをインストールする権限がない場合、インストーラは終了します。こ のソフトウェアをインストールできるユーザとしてシステムにログインし、インストーラ を再実行するか、管理者に問い合わせてこのソフトウェアをインストールしてください。

Visual Studio Tools for Office (VSTO) がインストールされていない状態で、ユーザにシス テムにソフトウェアをインストールする権限がある場合、インストーラはユーザにVSTO をインストールするように促します。指示に従って、ソフトウェアをインストールします。 VSTOをインストールするには、使用許諾契約書に同意する必要があります。

Windows Vista または Windows 7 を実行していて、VSTO のインストールに問題がある場合、VSTO のインストール方法の詳細について「Windows Vista や Windows 7 への Visual Studio Tools for Office (VSTO) のインストール」(331ページ)を参照してください。

[ようこそ] ページ、その次に [インストール先フォルダ] ページが開きま す。[インストール先フォルダ] ページには、Plug-in for PPM インストール のデフォルトディレクトリが表示されます。

6. [インストール先フォルダ]ページで、デフォルトディレクトリにPlug-in for PPMをインストールするか、インストール用ディレクトリを選択します。



複数のユーザがシステム上のPlug-in for PPMを使用する場合、各ユーザはPlug-in for PPM の自分用インスタンスをインストールする必要があり、Plug-in for PPMの各インスタンス は、別のインストールフォルダにインストールする必要があります。

デフォルトディレクトリをそのまま使用するには、[**インストール**] をク リックします。 別のディレクトリにインストールするには、以下のように してインストールディレクトリを変更します。 a. [変更] をクリックします。

[現在のインストール先フォルダの変更]ページが開きます。

b. インストール先フォルダを参照して、選択します。

インストールフォルダへの書き込みアクセス許可が必要です。

インストールフォルダへのパスには、英数字文字のみが含まれる必要があります。

c. [OK] をクリックします。

Plug-in for PPM のインストールが開始します。

7. インストールの完了後、[InstallShieldウィザードの完了]ページで、[完了] をクリックします。

サイレントインストール

InstallShield ウィザードを開かずに Plug-in for PPM のインストールを実行できます。



サイレントインストールを実行する前に、クライアント側の要件をすべて満たす必要がありま す(「クライアント側の要件」(233ページ)を参照してください)。サイレントインストールは、 これらの要件を確認しません。

複数のユーザがシステム上のPlug-in for PPMを使用する場合、各ユーザはPlug-in for PPMの自 分用インスタンスをインストールする必要があり、Plug-in for PPMの各インスタンスは、別の インストールフォルダにインストールする必要があります。別のインストール先フォルダにイ ンスタンスをインストールするためには、サイレントインストールは実行できず、InstallShield を使用してインストールを実行する必要があります(「インストール手順」(233ページ)を参照 してください)。

Plug-in for PPMをサイレントインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Projectが開いている場合は、Microsoft Projectを終了します。
- 2. PPM Centerをインストールして構成したら、PPM Centerにログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[管理]>[Microsoft Project プラグインのダウン ロード]を選択します。

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが開くので、setup.exe ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

- 4. [完了] をクリックします。
- 5. システムで、以下のコマンドを入力して setup.exe インストーラを実行 します。

setup.exe /s /v"/qn"

サイレントインストールのパラメータ

Windows ベースのコンピュータで、すべてのユーザに対してプラグインをイ ンストールするのか、現在のユーザに対してインストールするのかをパラ メータで指定できます。表 10-1に、このパラメータの詳細を示します。

| パラメータ | 説明 | 有効な値とデフォルト値 |
|------------|--|---|
| INSTALLDIR | プラグインのインストールディ レクトリを指定します。 | 「ALLUSERS」がnullの場合、インス トールディレクトリは次のように設定され ます。 %USERPROFILE%\Application Data\Hewlett-Packard\HP PPM Center Add In for MS Project\ 「ALLUSERS」が1の場合、インストール ディレクトリは共通プログラムファイル フォルダ(C:\Program Files\ Hewlett-Packard\HP PPM Center Add In for MS Project\など)に設定されます。 |
| ALLUSERS | プラグインをすべてのユーザに 対してインストールするか、現 在のユーザに対してインストー ルするかを指定します。 1に設定すると、すべてのユーザ がプラグインを使用できます。 | 有効な値:1またはnull デフォルト: null(現在のユーザのみがプラグインを 使用できます)。 |

表 10-1. サイレントインストールのパラメータ

プラグインのサイレントインストールを開始するには、コマンドラインプロ ンプトで、パラメータを指定して次のコマンドを実行します。

setup.exe /s /v"/qn <パラメータ1> <パラメータ2>"



「ALLUSERS」パラメータを1に設定したときに、デフォルトのインストールディレクトリの 変更が必要な場合は、INSTALLDIRパラメータをすべてのユーザがアクセスできるディレク トリ (C:\Program Filesなど)に設定する必要があります。 次のコマンドの場合、すべてのユーザがプラグインを使用できます。
 setup.exe /s /v"/qn ALLUSERS=1"

このコマンドではインストールディレクトリが指定されていません。この 場合、たとえば次のような共通プログラムファイルフォルダにプラグイン がインストールされます。 C:\Program Files\Hewlett-Packard\HP PPM Center Add In for MS Project\

- 次のコマンドの場合、すべてのユーザがプラグインを使用できます。また、このコマンドでは、インストールディレクトリがC:\PPMCenterに指定されています(すべてのユーザがC:\PPMCenterディレクトリにアクセスできることを確認してください)。setup.exe /s /v"/qn INSTALLDIR=\"C:\PPMCenter\" ALLUSERS=1"
- 次のコマンドでは、C:\APPSYS\PPMProject\フォルダにプラグインがインストールされます。プラグインは、現在のユーザのみが使用できます。 setup.exe /s /v"/qn INSTALLDIR=\"C:\APPSYS\PPMProject\""
- 次のコマンドでは、デフォルトのインストールディレクトリにプラグインが インストールされます。プラグインは、現在のユーザのみが使用できます。 setup.exe /s /v"/qn"

Plug-in for PPMのアップグレード

例

Plug-in for PPM のインストール後に、Microsoft Project を (2007 から 2003 に) ダ ウングレードする場合、または Microsoft Project を (2003 から 2007 に) アップグ レードする場合、Plug-in for PPM を削除してから再インストールする必要があ ります。Plug-in for PPM の削除の詳細については、「Plug-in for PPM の削除」を 参照してください。

PPM Centerをアップグレードする場合、Plug-in for PPMをアップグレードする 必要があります。Plug-in for PPMのアップグレードに問題がある場合、Plug-in for PPMを削除してから再インストールします。Plug-in for PPMの旧バージョ ンを削除するには、管理者権限が必要となる場合があります。

PPM Center バージョン9.20以降から Plug-in for PPM をインストールした場合、 Plug-in for PPM から PPM Center にログインすると、Plug-in for PPM がアップグ レードが必要かどうかを判断します。Plug-in for PPM のアップグレードが推奨 される場合や必要な場合、ダイアログにメッセージが表示されます。アップ グレードが推奨される場合、Plug-in for PPMの既存バージョンを使用し続ける ことも、アップグレードすることもできます。アップグレードが必要な場合、 アップグレードが完了するまでPlug-in for PPMは使用できません。

Plug-in for PPMをアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project が開いている場合は、Microsoft Project を終了します。
- 2. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[管理]>[Microsoft Project プラグインのダウン ロード]を選択します。

[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが開くので、setup.exe ファイルを実行するか、保存するかを決定します。

4. [実行]をクリックします。

アップグレード (Plug-in for PPMを削除) するのに管理者権限が必要で、その権限が無い場合、インストーラは終了します。管理者にPlug-in for PPMの旧バージョンを削除してもらうと、Plug-in for PPMがインストールできるようになります。

PPM Center バージョン9.20 以降からインストールされた Plug-in for PPM をアップグレードする場合、Plug-in for PPMにアップグレードするのに管理者権限は必要ではありません。

5. セットアップ言語を選択して、[OK] をクリックします。

InstallShieldウィザードが起動します。

- 6. [ようこそ] ページで [次へ] をクリックします。
- 7. 次のダイアログで、[はい]を選択して、新しいバージョンに更新します。

Plug-in for PPM の旧バージョンにダウングレードする場合、まず現在の バージョンを削除する必要があります。[OK]、[完了] の順にクリックして、 インストーラを終了します。

Plug-in for PPMの同じバージョンをインストールする場合、Plug-in for PPM を修復するか削除するかを選択します。

インストールされている Plug-in for PPM のバージョンが判別できない場合、[次へ]をクリックして既存の Plug-in for PPMを削除してから、Plug-in for PPM の表示されているバージョンをインストールします。または、[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

8. [次へ] をクリックします。

[プログラムをインストールする準備ができました]ページが開きます。

- 9. [**インストール**] をクリックします。
- 10. インストールの完了後、[InstallShieldウィザードの完了] ページで、[完了] をクリックします。

Plug-in for PPMの削除

コンピュータの標準的なプログラムの追加と削除ユーティリティを使用して、Plug-in for PPMを削除できます。この作業中、Microsoft Projectは閉じる必要があります。

PPM Center バージョン 8.00 以前からインストールされたバージョンを削除する場合、削除するのに管理者権限が必要になります。

同期モード

HP Project Management と Microsoft Project 間で情報を同期することで、両者の 長所を最大限に活用できます。プロジェクトマネージャの方針に応じて、1つ のアプリケーションを使用してあらゆる計画アクティビティとトラックアク ティビティを実行し、もう一方のアプリケーションを使用してマネージャ、参 加者、および利害関係者にプロジェクトの情報を公開したり、両方のアプリ ケーションを使用して、プロジェクトのさまざまな面の制御を共有できます。 さまざまなプロジェクト管理の方針の詳細については、「HP Project Management の方針」(271ページ)を参照してください。

プロジェクト管理者は、HP Project Management と Microsoft Project 間で情報を 更新する3つの同期モードから選択できます。

- HP Project Management 制御
- Microsoft Project制御
- 共有制御

各モードは、2アプリケーション間の通信に異なる方針を提供し、それぞれに 独自の長所があります。

プロジェクトの同期モードは、ユーザのプリファレンスを基に構成する必要 があります。詳細については、「統合のためのプロジェクトレベルの設定」(274 ページ)および「HP Project Management と Microsoft Project の同期モードの設 定」(276ページ)を参照してください。

HP Project Management-制御

プロジェクトマネージャは、計画アクティビティとトラックアクティビティ を実行するために、まずHP Project Management で作業計画を作成します。こ れらのアクティビティには、プロジェクトの定義、タスクのスケジュール、お よび実績のトラックが含まれます。はじめてプロジェクトを同期するとき、 HP Project Management はプロジェクトマネージャのデスクトップコンピュー タ上に新規プロジェクトファイルを作成します。その後に行われる各同期で、 Microsoft Project ファイル内のすべての情報はHP Project Management 内の現在 の情報によって置換されます。

HP Project Management で管理する場合でも、作業計画はMicrosoft Project で作成することができます。

同期後、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project ファイルを配布したり、 Microsoft Project ファイルを使用してマネージャ用や組織内のその他の人員用 のレポートを実行できます。

Microsoft Project 制御

プロジェクトマネージャは、計画アクティビティとトラックアクティビティ を実行するためにMicrosoft Project でプロジェクトを作成し、その後HP Project Management にプロジェクトを公開します。同期されたプロジェクトは PPM Dashboardに表示されます。PPM Centerに固有の情報はHP Project Management 内で追加できます。該当する情報としては、通知、タスクのメモ、PPM Center 内の関連エンティティへの参照などがあります。これらの参照は、プロジェ クトマネージャに情報を提供できます。

その後に行われる同期すべてで、HP Project Management 内の情報は Microsoft Project からの現在の情報によって更新されます。通知の設定、アクティビティ、 関連のロールなど、HP Project Management で追加された情報は保持されます。

プロジェクトマネージャは、HP Project Management を使用して実績をトラックしながら、Microsoft Project でプロジェクトを計画してスケジュールします。 プロジェクト内の参加者は、マイタスクポートレットまたはタイムシートを 使用して実績データを直接レポートします。その後に行われる各同期で、HP Project Managementからの実績データでMicrosoft Projectファイルが更新されま す。HP Project Management 作業計画は、Microsoft Project からの構造やスケ ジュールの変更により更新されます。

HP Project Management と Microsoft Projectの同期

HP Project Management と Microsoft Project 間でどのように情報が同期されるか は、情報のタイプと同期モードによって異なります。統合に関する情報には、 次の2つのタイプがあります。

 アプリケーション固有の情報: これは、HP Project ManagementまたはMicrosoft Project に固有の情報です。情報は1方のアプリケーションで認識されます が、もう一方のアプリケーションでは同等の情報はありません。

たとえば、HP Project Managementは、リクエストとパッケージを参照でき ますが、Microsoft Projectには同等のタイプの情報はありません。このため、 リクエストとパッケージは同期されません。同様に、Microsoft Projectはリ ソースのコスト単価を参照しますが、この情報の定義方法と使用方法は HP Project Managementのコストレートとは異なります。このため、Microsoft Projectのリソースのコスト単価とHP Project Managementのコストレートは 同期されません。

アプリケーション固有の情報は、更新されませんが、同期中に削除される こともありません。

同期中にタスクを削除すると、そのタスクにのみ関連付けられている情報すべてが削除されます。

共有情報:これは、計画と実績情報などの両方のアプリケーションでトラック可能な情報のことです。

計画情報とは、タスクで作業が開始する前に決定された情報のことです。 このタイプの情報には、タスク名、タスクシーケンス、作業分割構成、ア サインされたリソース、スケジュールされた開始日と終了日、スケジュー ルの制限、スケジュールされた期間、およびスケジュールされた工数など があります。

実績情報とは、タスクを完了するのに実際に必要になる時間と工数を示す メトリクスの集まりのことです。このタイプの情報には、実際の開始日と 実際の終了日、タスクの実際の期間、実際の工数、実際の合計、見積もり 残存、達成率、予測終了日、見積もり残存工数が含まれます。

表 10-2および図 10-1には、このタイプの情報と、同期モードに応じてどのように同期されるかが示してあります。

| | HP Project Management 制御 | 共有制御 | Microsoft Project 制御 |
|-----------------------------|--|--|---|
| PPM Centerに 固有の情報 | HP Project Management内 の作業計画情報は変更され ません | HP Project Management内 の作業計画情報は変更され ず、外部タスクのPPM Centerの依存関係は同期で 保存されません | HP Project Management内 の作業計画情報は変更され ず、外部タスクのPPM Centerの依存関係は同期で 保存されません |
| Microsoft Project に固有の情報 | Microsoft Project内のプロ ジェクト情報は変更されま せん | Microsoft Project内のプロ ジェクト情報は変更されま せん | Microsoft Project内のプロ ジェクト情報は変更されま せん |
| 共有計画情報 | HP Project Management作 業計画計画情報は、 Microsoft Projectを更新する のに使用されます | Microsoft Project計画情報 は、HP Project Management作業計画を更 新するのに使用されます | Microsoft Project計画情報 は、HP Project Management作業計画を更 新するのに使用されます |
| 共有実績情報 | HP Project Management作 業計画実績情報は、 Microsoft Projectを更新する のに使用されます。関係者 の実績は同期されません | HP Project Management作 業計画実績情報は、 Microsoft Projectを更新する のに使用されます。関係者 の実績は同期されません | Microsoft Project実績情報 は、HP Project Management作業計画を更 新するのに使用されます |

表 10-2. 情報タイプと同期モード別情報の同期の仕組み

図 10-1. 情報の同期の仕組み



アプリケーション間のフィールドのマッピング

次のフィールドはHP Project Management と Microsoft Project間で、情報タイプ ごと(計画情報と実績情報)にまとめられてマップされます。特に記載のない 限り、すべてのフィールドがタスクレベルフィールドです。フィールドのマッ ピングに関するその他の検討事項については、「フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響」、「情報の同期の仕組み」(248ページ)、および「HP Project Management で許可される条件付き編集」(322ページ)を参照してください。

| HP Project Management フィールド | Microsoft Project フィールド | 補足情報 |
|-----------------------------------|----------------------------|---|
| 計画情報 | | |
| マイルストーン | マイルストーン | Microsoft Project からのマイルストーンは、HP Project Managementでは手動で100%完了に設定する必要があり ます。HP Project Management からのマイルストーンは 更新の必要がありません。詳細については、「主要マイル ストーン」(249ページ)を参照してください。 |
| 先行タスク | 先行タスク | 詳細については、「タスク間の先行タスクリレーション シップ」(249ページ)、「外部タスク(または別プロジェク ト)のある先行タスクリレーションシップ」(250ページ)、 「リクエストのある先行タスク(ブロック側)リレーショ ンシップ」(250ページ)、「リクエストのある完了してい ない終了-終了先行タスクリレーションシップ」(250ペー ジ)を参照してください。 |
| 優先度 | 優先度 | 詳細については、「優先度」(251ページ)を参照してくだ さい。 |
| リソース | リソース | 詳細については、「リソース」(251 ページ) を参照してく ださい。 |
| スケジュールされた期間 | 期間 | Microsoft Projectは、開始日、終了日、期間が有効になる ように期間を再計算します。ただし、タスクが期間固定 のタスクである場合、開始日と終了日のみが再計算され ます。詳細については、「タスクのスケジュールされた期 間」(253ページ)を参照してください。 |
| スケジュールされた工数 | 作業時間 | スケジュールされた工数(日数で測定)は、Microsoft Projectのカレンダーオプションである1日の稼働時間を 使用して、作業時間 (時間で測定) に変換されます。 |
| スケジュールされた工数 (リソースレベル) | 作業時間 (リソースレベル) | リソースが複数人アサインされているタスクの場合、各 リソースにアサインされたスケジュールされた工数/作業 時間は同期されます。 |
| スケジュールされた 開始日 | 開始日 | 詳細については、「スケジュールされた開始日と終了日」 (253ページ)、「リソースの平準化:分割タスク」(254ペー ジ)、「リソースの平準化:遅延タスク」(255ページ)、 「Microsoft Projectの作業時間の配分型」(255ページ)を参 照してください。 |

表 10-3. HP Project ManagementおよびMicrosoft Project間でマップされるフィールド(2/3ページ)

| HP Project Management フィールド | Microsoft Project フィールド | 補足情報 | | |
|-----------------------------------|----------------------------|---|--|--|
| スケジュールされた 終了日 | 終了日 | 詳細については、「スケジュールされた開始日と終了日」 (253ページ)、「リソースの平準化:分割タスク」(254ペー ジ)、「リソースの平準化:遅延タスク」(255ページ)、 「Microsoft Projectの作業時間の配分型」(255ページ)を参 照してください。 | | |
| スケジュールの制限/ 制限日 | 制約のタイプ/制約の 指定日 | 「スケジュールの制限」(255ページ) および「スケジュー ル制限とスケジュールされていない HP Project Management プロジェクト」(256ページ) を参照してくだ さい。 | | |
| タスク名 | タスク名 | 詳細については、「キャンセル済みまたは保留中 (回避済 み) タスクのタスク名」 (256 ページ) および「名前のない タスク」(257 ページ) を参照してください。 | | |
| | | | | |
| 達成率 (%) | 達成率 | 詳細については、「達成率と作業時間の達成率」(257 ページ)、「既存の Microsoft Project 作業計画から HP Project Management 作業計画を初期設定するときの達成率」 (257 ページ)、「キャンセル済みまたは保留中(回避済み) タスクの完了率」(258 ページ)を参照してください。 | | |
| アクティビティ | カスタム | 詳細については、「HP Project Management アクティビ ティの同期」(289ページ) を参照してください。 | | |
| 実際の期間 | 実際の期間 | 詳細については、「タスクの実際の期間」(258ページ) および「タスク/タスクグループの実際の期間」(259ペー ジ)を参照してください。 | | |
| 実績工数 | 実績作業時間 | PPM Centerで何らかのタイプの工数がトラックされる場合、Microsoft Projectで達成率と実績作業時間の間のリンクは無効になります。詳細については、「実際の工数/実際の作業時間とリソース単位」(259ページ)および「実際の工数とHP Time Managementの統合」(260ページ)を参照してください。 | | |
| 実際の開始日 | 実際の開始日 | この日付が指定されている場合、Microsoft Projectは、開始日のデフォルト値をこの日付にします。詳細については、「実際の開始日と終了日」(261ページ)および「タスクグループの実際の開始日」(261ページ)を参照してください。 | | |

| HP Project Management フィールド | Microsoft Project フィールド | 補足情報 |
|-----------------------------------|----------------------------|--|
| 実績終了日 | 実績終了日 | この日付が指定されている場合、Microsoft Projectは、終 了日のデフォルト値をこの日付にします。詳細について は、「実際の開始日と終了日」(261ページ)を参照してく ださい。 |
| 予想終了日 | 終了日 | 詳細については、「予想終了日」(262 ページ) を参照して ください。 |
| 見積もり残存工数 | 残存作業時間 | |
| タスクの説明とメモ | メモ (タスク用) | 詳細については、「メモの同期」(285ページ)を参照して ください。 |
| ユーザ定義 | カスタム | 詳細については、「Microsoftフィールドマッピング」(281 ページ) を参照してください。 |

フィールドに対するMicrosoft Projectルールの影響

Microsoft Projectは、計画フィールドと実績フィールド内のフィールド値を計 算する方法を決定する、内部ルールを保持しています。これらのルールは、 Microsoft Project と HP Project Management 間の同期処理に影響を与えます。1つ のアプリケーションで機能する計算が、もう一方のアプリケーションに必ず しも持ち越されるとは限らないためです。

たとえば、HP Project Management では、スケジュール情報とは完全に独立し た実績情報を保持できます。Microsoft Project では、このようなことは行えま せん。1つの実績フィールドを更新すると、その他の計画と実績フィールドが 自動的に更新されることがあります。

計画と実績フィールド向けの、最も一般的な Microsoft Project ルールを以下に リストで示します。

計画フィールド

- 開始日+期間=**終了日**
- **工数**=期間×(リソース数×単位)

実績フィールド

開始日=実績開始日(既知の場合)

- 終了日=実績終了日(既知の場合)
- 期間=実績期間+残存期間
- **達成率**=実績期間/期間
- 残存期間は、タスクが達成率100%のときに0になります
- **工数**=実績工数+残存工数
- 作業時間の達成率=実績工数 / 工数

HP Project Management 情報が Microsoft Project に渡されると、Microsoft Project は常にMicrosoft Projectの標準ルールを適用します。これにより、各アプリケーション内のデータが厳密には一致しなくなる状況が発生します。

プロジェクトマネージャ向け解決策

同期中に整合性のある動作を得るため、PPM Center のプロジェクトマネージャは次の作業の実行してください。

- 変更されたフィールドに注意します。統合を行うと、同期の結果として変更されたフィールドがカスタムのMicrosoft Project テーブルとして表示されます(同期処理を介して直接的に変更されたものとMicrosoft Projectの自動計算の結果として間接的に変更されたものを含みます)。
- 「MicrosoftへのPPM Center 情報の転送」(279ページ)の説明に従い、適切な 実績統合オプションを選択して、計画管理において重要なフィールドを同 期します。

統合では、有効ではないHP Project Managementのデフォルト値は無視されます。

カスタムMicrosoft Projectフィルタとテーブル

アプリケーション間でプロジェクト情報を同期すると、統合により提供され る次のMicrosoft Project項目から選択できるようになります。

- PPM: 変更された実績フィルタ ([ビュー] タブの [フィルタ] ドロップダウン メニューを選択)
- PPM: 変更された実績により影響を受ける日付フィルタ

 PPM: 変更された実績データ表示テーブル ([ビュー] タブの [テーブル] ドロッ プダウンメニューを選択)

これらの項目から、次の項目を迅速に表示できます。

- 実績の同期の結果、スケジュールされた日が変更されたフィールド。これらのフィールド値は、デフォルトで赤色で表示されます。
- 同期されたフィールドを基にMicrosoft Projectによる自動計算の結果、変更 されたフィールド。これらのフィールド値は、デフォルトで青色で表示さ れます。これは、実績の変更の連鎖的な影響を特定するのに有効です。

情報の同期の仕組み

Microsoft Project と HP Project Management を同期すると、HP Project Management からの情報でMicrosoft Project 内の情報を更新します。更新される情報は、同期モードによって異なります。HP Project Management 制御モードの場合、 Microsoft Project 内の計画情報と実績情報の両方が HP Project Management からの情報によって更新されます。共有制御モードの場合、Microsoft Project 内の 実績情報のみが HP Project Management からの情報によって更新されます。

HP Project Management と Microsoft Project を同期すると、Microsoft Project からの情報でHP Project Management内の情報を更新します。更新される情報は、同期モードによって異なります。Microsoft Project制御モードでは、HP Project Management内の計画情報と実績情報の両方がMicrosoft Projectからの情報で更新されます。共有制御モードでは、HP Project Management内の実績情報のみがMicrosoft Project からの情報で更新されます。

HP Project ManagementのフィールドはMicrosoft Projectのフィールドに正確に はマップされず、その逆も成り立ちます。次のセクションでは、情報タイプ(計画または実績)別に、同期中にマップされるフィールドに関する追加の検討 事項を説明します。 HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project 内の計画情報が HP Project Management からの情報で更新されます。Microsoft Project 制御モードと 共有制御モードでは、HP Project Management 内の計画情報が Microsoft Project からの情報で更新されます。

主要マイルストーン

HP Project Management では、主要マイルストーンを作成できます。Microsoft Projectにはこの機能はありません。

HP Project Management制御モードでは、主要マイルストーンはMicrosoft Project で標準マイルストーンとして同期されます。

タスク間の先行タスクリレーションシップ

タスク間のすべての先行タスクリレーションシップが同期されます。HP Project Management と Microsoft Project はいずれも、タスク間の終了-開始、開始-終了、 開始-開始、終了-終了先行タスクリレーションシップをサポートします。

Microsoft Project 先行タスクリレーションシップには、ラグタイムやリードタ イム (通常の先行タスクリレーションシップからの正または負のオフセット) を含められます。Microsoft Project は、それに合わせて後続タスクの開始日と 終了日を調節します。HP Project Management は、ラグタイムとリードタイム のオフセットをサポートします。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、調節された開始日と終了 日が HP Project Management のスケジュールされた開始日とスケジュールされ た終了日に同期されます。

HP Project Management 制御モードでは、スケジュールされた開始日とスケ ジュールされた終了日はHP Project Management から Microsoft Project に同期さ れますが、Microsoft Project により調節されることがあります。



Microsoft Projectでのルートタスクグループはタスク0ですが、HP Project Management内のプロジェクトはタスク1とみなされます。2つのアプリケーションでは、タスクが異なる番号から開始することから、Microsoft Project でのタスク番号はHP Project Management でのタスク番号と比べて1小さくなります。タスクの番号付けは1つ小さくなりますが、タスク間の先行タスクリレーションシップは変化しません。

外部タスク (または別プロジェクト) のある先行タスクリレーションシップ

HP Project Management は、外部タスクへの依存関係がある先行タスクリレー ションシップ (別プロジェクトからのタスクなど)をサポートします。これは、 Microsoft Project ではサポートされません。

HP Project Management 制御モードでは、外部タスクへの依存関係があるタス クは同期されますが、外部タスクへの依存関係は同期されません (Microsoft Project は依存関係を無視します)。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、HP Project Management の プロジェクト間に依存関係が追加されている場合、これらの依存関係は同期 中に失われます。

同期モードをHP Project Management制御モードからMicrosoft Project制御モードまたは共有制御モードに変更すると、外部タスクへの依存関係が失われます。依存関係のあるタスクはMicrosoft Projectによって認識されますが、依存関係は認識されません。

リクエストのある先行タスク (ブロック側) リレーションシップ

Microsoft Projectは、リクエストに依存関係を追加することはできません。HP Project Management-制御モードと共有制御モードでは、HP Project Management のリクエストの先行タスクは同期されますが、Microsoft Project では無視され ます。

リクエストのある完了していない終了-終了先行タスクリレーションシップ

HP Project Management タスクに、オープンの HP Demand Management リクエス トと終了 - 終了先行タスクリレーションシップがある場合、タスクは100% 達 成になることはあっても、完全には完了しません。このオープンリクエスト の参照タスクは、HP Project Management では、リクエストが完了するまで完了 (保留中のリクエスト)ステータスを取ります。Microsoft Project は、リクエスト のある終了 - 終了先行タスクリレーションシップをサポートしません。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、この状態のタスクを同期すると、Microsoft Project はタスクの達成率を100% とレポートします。 HP Project Management では、リクエストの終了-終了先行タスクリレーション シップは同期されますが、Microsoft Project により無視されます。Microsoft Project はリクエストに依存関係を追加できないためです。

優先度

HP Project Managementの[優先度]フィールドが1,000より大きな値に設定され ている場合にMicrosoft Projectに作業計画情報を送信すると、優先度は1,000に 設定されます。HP Project ManagementもMicrosoft Projectもタスクの優先度を 1,000より大きくすることはできません。

リソース

プロジェクト計画では、リソースの概念は複数の定義を持つことがあります。 リソースはチームメンバであったり、メインフレームコンピュータの時間、工 事用の資材であったりします。HP Project Managementでのリソースとは、タ スクを実行できる HP Project Managementユーザのことです。リソースの選択 は、プロジェクトに関連付けられているスタッフィングプロファイル、プロ ジェクトマネージャが管理するリソースプール、または任意のリソースプー ル (RM_OVERRIDE_ASSIGNMENT_CONTROLSパラメータがTRUEに設定されてい る場合)から行います。Microsoft Projectでは、人的、および数量単価型リソー スの両方についてトラックとコスト計算が行われます。HP Project Management では人的リソースのみがサポートされます。

プロジェクトには、アサインされていないリソースも含めることができます。 Microsoft Project では、アサインされていないリソースはリソース中心のプロ ジェクト表示に表示されますが、機能的な重要性は低くなります。一方、HP Project Management では、アサインされていないリソースはタスクのアサイン がない HP Project Management ユーザとして、スタッフィングプロファイルに 表示されます。

HP Project Management制御モードでは、リソースマッピングはMicrosoft Project 統合ポリシー設定によって決定されます。詳細については、「Microsoft への PPM Center 情報の転送」(279ページ)を参照してください。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project のすべてのアサインされた人的リソースが自動的にマップされ、HP Project Management のユーザが定義されます。自動リソースマッピングは、以下の基準に従います (順番は優先順)。

- Microsoft Project リソース名とHP Project Management ユーザ名間の一致。
- Microsoft Project リソース名と HP Project Management ユーザの連結した名 と姓間の一致。
- Microsoft Project リソース名と HP Project Management ユーザの連結した姓 と名間の一致。



優先順位によりマッピングが決定し、一致が見つかった時点でリソースのマッピング処理は停止します。たとえば、リソース名がHP Project Managementユーザのユーザ名と一致する場合、その特定リソースのマッピング処理は停止します(名/姓または姓/名での比較は行われません)。マッピング処理は次のリソース名を続行します。

一般的に、次の事項を考慮に入れておく必要があります。

- PPM Centerは、一致しないリソースのユーザを自動的には作成しません。 プロジェクトマネージャは一致しないリソースのリストを作成し、システム管理者と協力して該当ユーザを作成する必要があります。
- HP Project Management では、マッピングは、アサインされたリソースがす ベてスタッフィングプロファイルに含まれることを保証しません。スタッ フィングプロファイルを維持する必要がある場合、この作業は手動で行う 必要があります。
- HP Project Management に数量単価型リソースは転送されません。
- Microsoft Project では、リソース名にコンマを使用できません。
- 自動リソースマッピングは常に100%成功するとは限りません。Microsoft Projectでの統合により、アプリケーション間でリソースを手動でマップしたり、無関係であったり、誤ってマップされたリソースを意図的にマップ 解除できます。この手動による調整は同期処理の一環として行うことができ、PPM Centerメニューから実行できます(詳細については、「アプリケーション間でのリソースの手動マップ(共有制御モードおよびMicrosoft Project制御モード)」(317ページ)および「アプリケーション間のエンター プライズリソースの手動マッピング」(319ページ)」を参照してください)。

リソース: サマリタスクのオーナ

PPM Center でサマリタスクのオーナと呼ばれるリソースは、作業計画の該当 セクションを監視するようにサマリタスクで指定されているユーザのこと です。

Microsoft Project にはサマリタスクのオーナという特別のフィールドはありま せんが、その概念は存在します。つまり、Microsoft Project ではサマリタスク のオーナとして割り当てられる Microsoft Project リソースをサマリタスクの オーナと考えることができます。
したがって、リソースが同期されると、PPM Centerのサマリタスクオーナが Microsoft Projectのリソースにマッピングされたり、Microsoft Projectのリソー スがPPM Centerのサマリタスクオーナにマッピングされることがあります。

タスクのスケジュールされた期間

HP Project Management と Microsoft Project では、スケジュールされた期間の計算 方法が異なります。いずれの計算も、スケジュールされた開始日とスケジュー ルされた終了日を基にします (Microsoft Project では、タスクに期間固定が設定 されている場合、開始日と終了日は再計算されます)。各計算はリソースカレ ンダー、および作業スケジュールでの1日の稼働時間の定義による影響を受け ることもあります。

HP Project Management と Microsoft Project はリソースカレンダーを同期しない ため、タスクのスケジュールされた期間に不一致が生じる場合があります。詳 細については、「カレンダー」(263ページ)を参照してください。

HP Project Managementは、10時間/日の作業スケジュールを使用します。 Microsoft Project計画の多くは、8時間/日の作業スケジュールを使用して作成 されています。通常、HP Project Managementは、Microsoft Project タスクは就 業日の終業時刻の2時間前に終了するとみなします(Microsoft Project インタ フェースには、開始時刻と終了時刻は表示されませんが、タスクに1日未満の 期間を設定できるようにするため、この情報はトラックされます)。Microsoft ProjectのタスクはHP Project Managementでは0.2日短く表示されます。

HP Project Management でプロジェクトを再スケジュールするとき、0.2日(2時間)の差が影響することがあります。HP Project Managementのスケジュールア ルゴリズムは、タスクの終了時刻直前の明らかに使用されない2時間も含め、 空き時間すべてを使用して計画を短縮しようと試みます。この動作を防ぐた め、プロジェクトマネージャはHP Project Managementを使用して再スケジュー ルするプロジェクト計画の割り当て分で、期間が整数になるように設定する 必要があります。

スケジュールされた開始日と終了日

HP Project Management では、タスクはスケジュールされた開始日と終了日よ りも早かったり遅い実際の開始日と終了日を持つことができます。Microsoft Project では、タスクのスケジュールされた開始日と終了日がスケジュールさ れた日付(開始日/終了日)よりも早かったり遅い場合は、スケジュールされた 日付は自動的に上書きされます。たとえば、タスクが5月1日に開始するよう にスケジュールされていて、実際には5月2日に開始したとレポートされた場 合、Microsoft Project は自動的にタスクのスケジュールされた開始日を5月2日 に変更します。 HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project の実際の日付とスケ ジュールされた日付の両方が更新されます。同期後、Microsoft Project はルー ルに従ってスケジュールされた日付を調節します。この調節後、Microsoft Project のスケジュールされた日付は HP Project Management のスケジュールさ れた日付とは一致しなくなる場合があります。

共有制御モードの場合、Microsoft Projectで実際の日付が更新され、HP Project Management でスケジュールされた日付が更新されます。同期後、Microsoft Project はルールに従ってスケジュールされた日付を調節します。この調節後、 Microsoft Project のスケジュールされた日付は HP Project Management のスケ ジュールされた日付とは一致しなくなる場合があります。

Microsoft Project 制御モードでは、HP Project Management の実際の日付とスケ ジュールされた日付の両方が更新されます。HP Project Management は自動的 に日付を調節することはないため、HP Project Management のスケジュールさ れた日付と Microsoft Project のスケジュールされた日付とは一致します。

リソースの平準化:分割タスク

分割タスクとは、リソースが割り当て超過しているために、複数回開始して 停止するようにスケジュールされた(複数の開始日と終了日がある) Microsoft Project内のタスクでの作業のことです。HP Project Management は単一の開始日 と終了日のあるタスクをトラックします。

Microsoft Projectのリソースの平準化機能での設定を基にして、(リソース単位 を調節する代わりに)タスクを自動的に分割できます。このため、HP Project Management制御モードでは、Microsoft Projectで同期中に分割タスクが自動的 に生成されることがあります。

HP Project Management 制御モードでは、分割タスクが生成されると、スケジュールされた開始日は最も早いMicrosoft Projectの分割開始日に同期されます。同様に、スケジュールされた終了日は、最も遅いMicrosoft Projectの分割 終了日に同期されます。スケジュールの期間は、これらの日付を基にして再 計算されます。

Microsoft Project制御モードと共有制御モードでは、最も早い分割開始日はHP Project Managementのスケジュールされた開始日に同期されます。また、最も 遅い終了日はHP Project Managementのスケジュールされた終了日に同期され ます。HP Project Managementのスケジュールされた期間はMicrosoft Projectの 期間に同期されます。 リソースの平準化: 遅延タスク

遅延タスクとは、リソースが割り当て超過していてタスクを本来の開始日に 開始できないため、遅れて開始するようにスケジュールされた Microsoft Project 内のタスクでの作業のことです。HP Project Management はタスクのスケ ジュールされた開始日と実際の開始日をトラックします。

Microsoft Project のリソースの平準化機能での設定を基にして、タスクを自動 的に遅延できます。このため、HP Project Management制御モードでは、Microsoft Project で同期中に遅延タスクが自動的に生成されることがあります。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、遅延タスクが生成 されると、スケジュールされた開始日は Microsoft Project の遅延開始日に同期 されます。同様に、スケジュールされた終了日は、Microsoft Project の遅延終 了日に同期されます。

Microsoft Project 制御モードでは、遅延開始日はHP Project Management のスケ ジュールされた開始日に同期され、遅延終了日はHP Project Management のス ケジュールされた終了日に同期されます。

Microsoft Projectの作業時間の配分型

Microsoft Projectの作業時間の配分型は、リソースの作業スケジュールを制御 します。HP Project Managementは同様の機能を備えていません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、作業時間の配分型のある スケジュールの開始日と終了日は、単純にHP Project Managementのスケジュー ルされた開始日とスケジュールされた終了日に同期されます。

また、プロジェクトマネージャは、個別の非ユーザ設定アサインがあるいく つかのサブタスクにタスクを分割することにより、作業時間の配分型のない 同様のプロジェクト計画を作成することもできます。これは、プロジェクト を把握しやすくし、リソースに説明しやすくなります。

スケジュールの制限

HP Project Management と Microsoft Project のいずれもが、制限タイプと制限日 によりスケジュールの制限を定義します。一部の制限タイプ (できる限り早く など)は、制限日を必要としません。 HP Project Management- 制御モードと共有制御モードでは、すべてのHP Project Managementのスケジュール制限が Microsoft Project に同期されます。

Microsoft Project 制御モードでは、すべての Microsoft Project のスケジュール制限が HP Project Management に同期されます。

スケジュール制限とスケジュールされていないHP Project Managementプロジェクト

HP Project Managementは、プロジェクトマネージャがプロジェクトのすべて または一部をスケジュールすると、スケジュール制限を選択的に評価します。 プロジェクトマネージャは、制限を満たすようにプロジェクト計画の定義を 調節するのではなく、定義されたスケジュール制限をプロジェクトの日付が 満たさないままにしておくことができます。ただし、Microsoft Project(自動計 算モード時)は、スケジュール制限を満たすようにタスクを自動的にずらし ます。

同期モードが HP Project Management制御の場合にかぎり、同期中にMicrosoft Project は手動計算モードになります。手動計算モードでは、Microsoft Project はプロジェクトの日付をタスクリレーションシップのスケジュールルールに 強制的に合わせることはしません。

Microsoft Projectの計算モードを変更するには、[ツール]>[オプション]をク リックして、[計算方法]タブを選択します。

キャンセル済みまたは保留中(回避済み)タスクのタスク名

Microsoft Project はステータス付きでタスクを格納しますが、Microsoft Project にはHP Project Management ほど多くの個別のステータスはありません。たと えば、Microsoft Project では、すべての開始前のタスクは共通のステータスを 共有し、タスクがキャンセルされたか回避済みであるかを認識するためのタ スクステータスはありません。また、Microsoft Project は保留中の先行タスク であるタスク、準備が完了しているタスク、達成率がレポートされていない 進行中のタスクを区別しません。

HP Project Management 制御モードと共有制御モードでは、キャンセル済みま たは回避済みのHP Project Management タスクが同期されると、タスクのステー タスを示すために、Microsoftのタスク名の先頭にキャンセル済みまたは回避済み が付記されます。 Microsoft Project でのキャンセル済みタスクと回避済みタスクの達成率の計算 方法の詳細については、「キャンセル済みまたは保留中(回避済み)タスクの 完了率」(258ページ)を参照してください。

名前のないタスク

Microsoft Project では名前のないタスクが使用できますが、HP Project Management では使用できません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project の名前のないタスクに MS Blank Task #1 などのデフォルト名がアサインされ ます。プロジェクトマネージャはこれらの名前を確認して更新する必要があ ります。同期後、名前のないタスクは [情報を表示] ダイアログの [警告] タブ に表示されます (Microsoft Project から [情報を表示] をクリック)。

実績情報

HP Project Management制御モードと共有制御モードの両方で、Microsoft Project の実績情報がHP Project Management からの情報で更新されます。Microsoft Project制御モードでは、HP Project Management内の計画情報がMicrosoft Project からの情報で更新されます。

達成率と作業時間の達成率

Microsoft Project では、作業がトラックされない場合、デフォルトで作業時間 の達成率が達成率になります(いずれも同じ値になります)。作業がトラック される場合(タスクに作業時間の配分型がある場合など)、達成率と作業時間 の達成率は別々に計算されます。詳細については、「フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響」(246ページ)を参照してください。

既存のMicrosoft Project作業計画からHP Project Management作業計画を初期設定するときの 達成率

既存のMicrosoft Project作業計画をHP Project Managementに変換したり、既存のMicrosoft Project作業計画を基にして新しいHP Project Management作業計画を作成する場合(つまり、HP Project Management制御、または共有制御の作業計画を作成するために、実績のある既存のMicrosoft Project作業計画を使用する場合)、HP Project Managementと Microsoft Projectでは達成率の値が異なる場合があります。

サマリタスクレベルで、同期中に HP Project Management はタスクの期間や達 成率などのロールアップ情報を再計算します。期間は基本カレンダーとリ ソースカレンダーを基に計算されます。これらのアプリケーションが2つのア プリケーション間で異なる場合、期間も異なるため、異なる達成率の値が得 られます。

タスクレベルでは、Microsoft Projectで作業をトラックされていない場合、HP Project Managementは達成率をMicrosoft Projectの作業時間の達成率に同期しま す。Microsoft Projectで作業をトラックする場合、HP Project Management は達 成率をMicrosoft Projectの達成率に同期します(「達成率と作業時間の達成率」 を参照してください)。

リソースレベルでは、HP Project Management は達成率を Microsoft Project の作業時間の達成率に同期します。

キャンセル済みまたは保留中(回避済み)タスクの完了率

Microsoft Project はステータス付きでタスクを格納しますが、Microsoft Project にはHP Project Management ほど多くの別個のステータスはありません。たと えば、Microsoft Project では、すべての開始前のタスクは共通のステータスを 共有し、タスクがキャンセルされたか回避されたかを識別するためのタスク ステータスはありません。また、Microsoft Project では保留中の先行タスクで あるタスク、準備が完了しているタスク、達成率がレポートされていない進 行中のタスクを区別しません。

HP Project Management-制御モードと共有制御モードでは、回避されたタスク は達成率100%として同期されます。実績がレポートされている場合、この情 報も同期されます。回避済みステータスは、工数が消費されたものの、作業 が打ち切られたことを示します。

HP Project Management-制御モードと共有制御モードでは、キャンセルされた タスクは達成率100%、期間0として同期されます。Microsoft Projectは、ガン トチャートビューからこれらのタスクを自動的に省略します。

タスクの実際の期間

HP Project Management と Microsoft Project のいずれもが、実際の開始日と実際 の終了日を基にしてタスクの実際の期間を計算します。しかし、HP Project Management と Microsoft Project はリソースカレンダーを同期しないため、タス クの実際の期間に不一致が生じる場合があります。詳細については、「カレン ダー」(263ページ)を参照してください。

タスク/タスクグループの実際の期間

HP Project Management と Microsoft Project では、進行中のサマリタスクやタス クグループの実際の期間に関する機能が異なります。HP Project Management は実際の開始日と実際の終了日のロールアップ値から実際の期間を計算しま す。Microsoft Project は、仮の値として実際の期間を表示します。このため、 一部のMicrosoft Project タスクグループの実際の期間は、HP Project Management のサマリグループの実際の期間とは同期されません。

HP Project Management制御モードでは、プロジェクトが最初にオープンしてい る場合、そのプロジェクトのステータスは計画中になります。プロジェクトの ステータスが計画中の場合、ロールアップ値は計算されません。プロジェクト のステータスがアクティブに変更されて保存されると、ロールアップ値が計算 されます。プロジェクトのステータスがアクティブに変更されて保存されると、 HP Project ManagementはMicrosoft Projectと同じ実際の期間の値を取ります。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、HP Project Managementは、 (サマリタスクが完了するまでに追加されたり削除されるタスクを考慮するため)サマリタスク全体が完了するのを待ってからロールアップ値を計算します。Microsoft Project でタスクグループが完了すると、HP Project Management はMicrosoft Project と同じ実際の期間の値を取ります。

実際の工数/実際の作業時間とリソース単位

HP Project Management では、タスクのリソースには、そのタスクに対する異なる時間の工数をアサインできます。タスクの合計工数は、各リソースのスケジュールされた工数値の合計です。たとえば、Fred があるタスクの12時間の作業にアサインされ、Barbara が同じタスクの8時間の作業にアサインされた場合は、合計のタスク工数は(12+8=)20時間になります。

Microsoft Project はリソース単位を使用して実際の作業時間を計算します。先 ほどと同じ例を考えます。Microsoft Project でFredとBarbaraが二人ともフルタ イムリソースである場合、それぞれ、そのタスクについてリソース単位60と 40がアサインされます (タスクの期間によって異なります)。しかし、Microsoft Project でBarbara が半分の時間のリソースである場合、そのタスクのBarbaraの リソース単位は2倍 (80) になります。これは、同じ作業時間量でもキャパシ ティに対するパーセントは増えることを表します。 HP Project Management制御モードと共有制御モードでは、同期中、HP Project Managementタスクにアサインされた各リソースの工数は、Microsoft Projectによりアサインの適切なリソース単位に自動的に変換されます。関連リソースが Microsoft Project でフルタイムリソースであれば、各タスクに対するリソースのリソース単位は対応する HP Project Management タスクでリソースにアサインされる工数値に比例します。

Microsoft Project制御モードでは、同期中、各タスクのリソース単位はMicrosoft Project により HP Project Management タスクにアサインされたリソースの工数 の時間数に自動的に変換されます。

実際の工数とHP Time Managementの統合

HP Time Management では、リソースはサマリタスクの実際の工数を入力でき、 アサインされていないタスクの実際の工数を入力できます。

タスクにアサインされていないリソースがHP Time Managementに入力した実際の工数は、Microsoft Projectには同期されません。Microsoft Projectは工数の ロールアップを再計算します。これらの値はPPM Centerでの値と一致します。

HP Time Management でサマリタスクレベルで工数を収集すると、達成率が変化してもリーフタスクレベルでの実際の工数は0を維持します。リーフタスクレベルでの見積もり残存工数は、タスクが完了するまで最大値を維持します。 このデータが Microsoft Project に転送されると、タスクが完了するまで達成率は0になります。

HP Project Management制御モードと共有制御モードでは、HP Time Management から作業計画に実際の工数をロールアップするときに、実際の工数が変更さ れていない場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されていない場 合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されません。実際の工数が変更さ れている場合 (タイムシートを使用して新しい時間が記録されている場合)、 作業計画の対応する実際の工数は更新されます。

HP Project Managementに Microsoft Project 作業計画が送信されると、計画情報 と実績の両方が送信されます。PPM Center から実際の時間サマリレポートを 作成すると、レポート内の実績とHP Project Management 作業計画内に表示さ れる実績(実績ビュー)とは異なります。

実際の開始日と終了日

実際の開始日と終了日を同期すると、Microsoft Projectの開始日と終了日に影響する場合があります。詳細については、「スケジュールされた開始日と終了日」(253ページ)を参照してください。

タスクグループの実際の開始日

HP Project Management では、タスクの実際の開始日と終了日がスケジュール された日付と異なっている場合でもその日付を残すことができます。一方、 Microsoft Project では、実際の開始日と終了日がスケジュールされた日付と異 なる場合は、スケジュールされた日付が自動的に上書きされます。たとえば、 あるタスクが5月1日に開始するようにスケジュールされていて、実際には5 月2日に開始したとレポートされた場合、Microsoft Projectでは自動的にタスク のスケジュールされた開始日が5月2日に変更されます。

HP Project Management 制御モードでは、Microsoft Project のタスクグループの 開始日を、そのタスクグループの一部のタスクよりも遅くすることができま す。Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、タスクグループの開 始日は、そのタスクグループのタスクの最も早い開始日に一致します。

HP Project Management制御モードでは、同期中にMicrosoft Projectが手動計算 モードになります。手動計算モードでは、Microsoft Projectはプロジェクトの 日付をタスクリレーションシップのスケジュールルールに強制的に合わせる ことはしません (Microsoft Projectはタスクグループに日付を自動的にロール アップしません)。このため、サマリタスクのHP Project Managementのスケ ジュールされた開始日が (一部のタスクが早めに開始したために)一部のタス クの実際の開始日より後である場合、Microsoft Projectはタスクのスケジュー ルされた開始日を更新しますが、タスクグループの開始日は更新しません。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、同期中、Microsoft Project は自動計算モードを維持します。Microsoft Project は、タスクとタスクグループのスケジュールされた開始日を自動的に更新します。

予想終了日

HP Project Management には予想終了日がありますが、Microsoft Project には対応するフィールドがありません。HP Project Management の予想終了日は、 Microsoft Projectの終了日と同期されます。Microsoft Projectでは、実際の日付と予想の日付が明らかになると、それを反映するように開始日と終了日が自動的に更新されます。ベースライン機能を使用して、差異レポート用に元の終了日をキャプチャできます。

HP Project Management 制御モードでは、予想終了日を同期すると Microsoft Project に制限が作成されます。Microsoft Project で終了日として特定の値が入力されていると、Microsoft Project は、タスクがその日に終了するように制限されているものと判断します。Microsoft Project タスクの終了日が HP Project Management の予想終了日に同期されると、Microsoft Project はこの日付の「指定日以後に終了」制限を暗黙的に作成します。

Microsoft Project 制御モードと共有制御モードでは、HP Project Management の 予測終了日はMicrosoft Projectの終了日と同期されます。

その他の同期に関する検討事項

タスクのカットアンドペースト

Microsoft Project でのタスクのカットアンドペーストは、タスクを削除して同 じ属性の新規タスクを追加することと同じです。タスクは同じように見えま すが、同期処理は、ペーストされたタスクがカットされたタスクと同一であ ることを認識しません。

タスクの編集(カット、ペースト、削除など)の効果を確認するには、Microsoft Projectの[**固有ID**]を表示してください。タスクを編集した後に固有IDが変化しない場合、同期処理はタスクを同じタスクとして認識しています。タスクを編集した後に固有IDが変化した場合、同期処理はタスクを同じタスクとして認識していません。

Microsoft Projectファイルの保存

Microsoft Project ファイルをHP Project Management に同期すると、Microsoft Project ファイルにいくつかの細かな変更が行われます。Microsoft Project ファ イルをHP Project Management プロジェクトに変換する場合 (HP Project Management 制御モード)、これらの変更を保存する必要はありません。 Microsoft Project ファイルをHP Project Management に同期する場合 (Microsoft Project制御モードまたは共有制御モード)、これらの変更を保存する必要があ ります。変更を保存しないと、それ以降の同期で Microsoft Project ファイルは HP Project Management で認識されなくなります。

ベースライン日

ベースライン情報は同期されません。プロジェクトベースラインは、プロジェ クトマネージャが選択したソフトウェアでキャプチャされ維持されます。

空白行

同期中、Microsoft Projectファイルからの空白行はすべて削除されます。空白 行が削除されても、通知や警告は表示されたり記録されません。

カレンダー

HP Project Management 制御モードのとき、または HP Project Management 作業 計画を使用して Microsoft Project の作業計画を作成するときは常に、Microsoft Projectにプロジェクトの地域カレンダーがエクスポートされます。カレンダー の1日当たりの時間数と1週間当たりの作業日数はエクスポートされますが、 カレンダーの例外はエクスポートされません。

2つのアプリケーション間でリソースカレンダーは同期されません。期間と工 数の両方が開始/終了日とリソースカレンダーの両方の関数であるため、HP Project ManagementとMicrosoft Projectの期間値が一致しない場合があるためで す(たとえば、タスクが5日間におよぶ場合を考えます。その5日間に、2日の 非就業日があるようにHP Project Management リソースカレンダーが構成され ているとします。Microsoft Project では、この情報はリソースカレンダーでは 構成されません。このため、HP Project Managementでは実際の期間が3日間、 Microsoft Projectでは実際の期間が5日となります)。このような場合、Microsoft Project のタスクは固定期間として作成されるため、合計の工数はHP Project Management データと一致します。リソースカレンダーを両方のアプリケー ションで維持する必要はありません。

コストのロールアップとヘルス計算

Microsoft Project から HP Project Management に情報を送信するとき、同期処理 ができるだけ効率的になるように、コストとヘルス計算のロールアップは延 期されます。

マクロ、VB Script、その他の拡張機能

マクロ、VB Script、およびその他の拡張機能が同期の影響を受けないように する必要があります。ただし、同期中、一部の拡張機能の無効化が必要とな る場合があります (Microsoft Project COMインタフェースを使用して行う変更 がこれらの拡張機能をトリガすることがあるため)。

参照情報

Microsoft Project は参照をサポートしないため、HP Project Management の参照 は Microsoft Project には同期されません。

共有リソースプール

Microsoft Projectの作業計画は共有リソースプールを使用してスケジュールして、HP Project Managementと同期できます。

同期中に共有リソースプールが開いていない場合、同期は一時停止すること があります。共有リソースプールを開くように案内する Microsoft Project のダ イアログが表示されます。同期を続行するには、Microsoft Project ダイアログ で操作します。

単位

単位は、リソースの負荷率とも呼ばれます。Microsoft Project では、各リソース は異なる負荷率 (0 ~ 100%)を使用してタスクにアサインできます。たとえ ば、同じリソースを2つの異なるタスクにアサインし、それぞれを50%のリ ソース負荷率とすることができます。

HP Project Managementはアサイン単位をトラックしないことから、HP Project Managementからインポートするリソースの負荷率は認識されません。

条件付き編集サマリテーブル

表 10-4には、HP Project Managementにおける、3つの同期モードそれぞれの許可された条件付き編集と禁止された条件付き編集がまとめられます。 Microsoft Project によって制御される情報を変更する可能性がある HP Project Management内のあらゆる機能(キーボードのショートカットを含む)が無効に なります。詳細については、「HP Project Managementで許可される条件付き編 集」(322ページ)を参照してください。

| HP Project Managementの フィールド | HP Project Management 制御 | Microsoft Project制御 | 共有制御 モード | | |
|---------------------------------|--------------------------------|------------------------|-------------|--|--|
| | | | | | |
| [タスクの追加/削除] アイコン | 0 | × | × | | |
| [タスクのインデント/アウトデント] アイコン | 0 | × | × | | |
| [タスクを上に移動/下に移動] アイコン | 0 | × | × | | |
| [プロジェクトのスケジュール]アイ コン | 0 | × | × | | |
| [タスクの詳細] ページ | | | | | |
| 計画フィールド | 0 | × | × | | |
| 実績フィールド | 0 | × | 0 | | |
| 構造フィールド | 0 | × | × | | |
| その他の非共有フィールド | 0 | 0 | 0 | | |
| [ステータス] フィールド | 0 | × | 0 | | |
| ロールアップ | | | | | |
| スケジュールフィールド | 0 | × | × | | |
| 実績フィールド | 0 | × | 0 | | |
| [マイタスク] ポートレット | | | | | |
| 実績フィールド | 0 | × | 0 | | |

表 10-4. HP Project Management で許可される条件付き編集

適切な同期モードの選択

プロジェクトマネージャによるPlug-in for PPMの使用法はさまざまです。各プロジェクトマネージャは、各プロジェクトに対して3つの同期モードから1つを選択できます。プロジェクトマネージャは、自分が所有するプロジェクトに対して、1つ、2つ、または3つすべての同期モードを使用できます。

通常、HPはHP Project Management制御モードの使用をお勧めします。このモー ドでは、プロジェクトの計画と実績のトラックにHP Project Managementを使 用します。

Microsoft Project でプロジェクトを計画する場合、Microsoft Project 制御モード または共有制御モードをお勧めします。

Microsoft Projectを使用しながら、HP Time Managementで実績をトラックする 場合、共有制御モードをお勧めします。

組織は、単一同期モードの使用方法を標準化することでメリットが得られる ことがあります。たとえば、すべてのプロジェクトを同じ方法でMicrosoft Projectと同期すれば、外部の利害関係者はPPM Dashboardに表示されるプロ ジェクト情報のタイムラインに関して、同様の予測を得られます。

次の例では、Plug-in for PPMのさまざまな状況下での使用方法を示します。よ り高度なシナリオの詳細については、「HP Project Management の方針」(271 ページ)を参照してください。

既存のMicrosoft Project計画を基にした新規HP Project Management プロジェクトの 作成

新規プロジェクトを計画するプロジェクトマネージャは、HP Project Management を使用して新規計画を作成する際、ひな型として既存の Microsoft Project 計画 を使用できます。

計画はHP Project Managementで行う予定であることから、プロジェクトマネージャはHP Project Management で既存のMicrosoft Project 計画を開いて、HP Project Management制御モードを選択する必要があります。

プロジェクトマネージャがMicrosoft Project ビューでHP Project Management プロジェクトを表示する場合、変更した HP Project Management 計画を Microsoft Project に同期できます。

HP Project Management での既存 Microsoft Project 計画の表示

利害関係者と参加者が HP Project Management に慣れていない場合、アクティ ブなMicrosoft Project プロジェクトから HP Project Management プロジェクトへ の移行は段階的に進めてください。Microsoft Project で計画と実績のトラック を行い、PPM Dashboard でプロジェクトを表示します。

プロジェクトマネージャはHP Project Management で既存の Microsoft Project 計 画を開いて、Microsoft Project 制御モードを選択する必要があります。

最初の同期中にエラーが発生すると、ダイアログにこれらのエラーが表示されます。同期の完全な情報トレースを有効にするには、「同期ログの有効化」 (300ページ)を参照してください。

既存 Microsoft Project 計画の HP Project Management プロジェクトへの変換

利害関係者と参加者がHP Project Management に慣れている場合、プロジェクトマネージャは実績のトラックのみ、または計画と実績のトラックの両方を HP Project Managementに移行できます。

利害関係者と参加者が HP Project Management で実績のトラックのみを行う場合は、プロジェクトマネージャは HP Project Management で既存の Microsoft Project 計画を開いて、共有制御モードを選択する必要があります。

利害関係者と参加者が HP Project Management で計画と実績のトラックの両方 を行う場合は、プロジェクトマネージャは HP Project Management で既存の Microsoft Project 計画を開いて、HP Project Management 制御モードを選択する 必要があります。

HP Project Management と統合された Microsoft Project 作業計画階層の更新

Microsoft Project 作業計画がHP Project Management と統合されている場合、 Microsoft Project は共有制御モードで作業計画を制御します。ただし、Microsoft Project では許可される作業計画階層の変更が、HP Project Management では許可 されない場合もあります。 実績のあるリーフタスクを Microsoft Project のサマリタスクに変換する場合、 共有制御モードではHP Project Management 作業計画との統合は失敗します。実 績のあるリーフタスクをサマリタスクに変換する処理はHP Project Management では許可されません。それは、無効なデータがHP Time Management に発生す る可能性があるためです。

作業計画階層を変更しようとして統合エラーが発生する場合は、最新の編集 を再適用するための起点としてバックアップコピーを使用してください。 バックアップの詳細については、「Microsoft Project ファイルのバックアップ」 (299ページ)を参照してください。

HP Project Management 公開による Microsoft Project の補強

HP Project Management で既存の Microsoft Project 計画を表示するのと同じよう に、プロジェクトマネージャは利害関係者と参加者に HP Project Management 内のプロジェクト情報を公開することにより、Microsoft Project 計画を補うこ とができます。この状況では、プロジェクトマネージャは Microsoft Project か ら HP Project Management に移行することは望んでいません。ただし、HP Project Managementの公開機能 (PPM Dashboardからプロジェクトの概要とタスクのア サインを表示するなどの機能) を活用しようとしています。

利害関係者と参加者がMicrosoft Project で計画と実績のトラックを行う場合 は、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project管理モードで既存のMicrosoft Project計画を開く必要があります。

プロジェクトマネージャがMicrosoft Projectで参加者の実績を入力する場合(プロジェクトマネージャが口頭での伝聞や電子メールで実績を収集する場合など)、プロジェクトマネージャはMicrosoft Project制御モードで既存のMicrosoft Project計画を開く必要があります。

この状況では、プロジェクトマネージャはHP Project Managementのプロジェクト情報に関する利害関係者の予測を設定する必要があります。HP Project Managementにより制御されるプロジェクトとは異なり、HP Project Management で表されるプロジェクトのステータス情報が常に最新であるとは限りません。たとえば、プロジェクトマネージャが週次ベースで実績を収集してMicrosoft Projectに入力する場合、HP Project Managementに表示されるプロジェクト情報は最大で1週間遅くなることがあります。プロジェクトマネージャは、利害関係者にこの事実を伝える必要があります。

HP Project Managementで実績を収集することによる Microsoft Projectの補強

プロジェクトマネージャが、HP Project Management を使用して利害関係者に 最新情報を提供し、参加者から実績を直接収集しながら、高度な Microsoft Project 機能 (共有リソースプールでのリソースの平準化など)を使用する場 合、プロジェクトマネージャは共有制御モードでプロジェクトを開く必要が あります。

参加者が HP Project Management に不慣れな場合、プロジェクトマネージャは 実績の収集をできるだけ簡単にする必要があります。プロジェクトマネージャ は、HP Project Management を通じて収集するいくつかの実績フィールドのみ を有効にする必要があります。たとえば、参加者に [準備完了]、[進行中]、[完 了]から選択することで、自分のタスクのステータスを更新するように求める ことができます。開始日や終了日が頻繁に前後する場合、プロジェクトマネー ジャは実際の開始日と終了日のフィールドを有効にすることにより、参加者 が実際に作業が発生したタイミングを直接連絡できるようにします。これら が一般的なイベントではない場合、プロジェクトマネージャはMicrosoft Projectの開始日と終了日を変更することでこれらの例外を自分でトラックし、 参加者が誤った日付を入力することを防ぐことができます。

プロジェクトマネージャが、作業した時間や期間、達成率、残存作業時間な どの観点からタスクを検討することに慣れていても、参加者のほとんどはこ のような概念に不慣れです。プロジェクトマネージャは、これらの概念を参 加者に詳しく、迅速に説明できるように十分に準備する必要があります。

参加者がHP Project Managementの概念に慣れれば、プロジェクトマネージャ はより実状に近い実績の集合を収集できるようになります。実際の作業時間 などの実績の多くは、業績を把握して飛躍的な改善を遂げるための不可欠な 要素です。

Microsoft Project は広範な実績フィールドを備えています。これらのフィール ドは、自動的なデータ整合ルールによって厳しく相互に関連付けられていま す。プロジェクトマネージャの多くは、これらの自動データ整合ルールのす べてを把握しているわけではなく、一部のフィールドにのみ入力して、自分 にとって重要となる情報をトラックすることを身につけています。HP Project Managementを介して実績をトラックするとき、これらは、プロジェクトマネー ジャが PPM Dashboard で有効にする必要があるフィールドです。

Microsoft Projectの検索結果の改善

Microsoft Project で、プロジェクトの検索結果の使い勝手がよくなり、自分が プロジェクトマネージャであるプロジェクトのみが返されるようになりまし た。したがって、検索結果で返されるすべてのプロジェクトにアクセスでき ます。つまり、そのようなプロジェクトはPPM Center から開き、PPM Center に送信できます。

Microsoft Project でプロジェクトを検索するには、次のアクセス許可が必要です。

- Project Management: プロジェクトの編集
 - Project Management: 作業計画の同期

同期モードの変更

HPは、データの損失につながる恐れがあるため、プロジェクトの同期モード を変更しないことを強くお勧めします。プロジェクトを作成する前に、プロ ジェクトの同期モードについて注意深く検討してください。

同期モードを変更するとき、以下のようにしてデータが失われることがあり ます。

- 能動損失は、以前のモードで同期されたデータが新しいモードで同期されない場合に発生します。このデータは失われるか、上書きされます。能動損失を最も受けやすいのはトラック情報です。
- 受動損失は、同期モードの変更直後に同期が行われない場合に発生します。この場合、最後の同期までに入力されたデータが、新しいモードでの同期中に上書きされたり破棄されます。

同期モードを変更するには、プロジェクトレベル設定の統合モードセクションを更新します。

詳細については、「同期モードとプロジェクトカレンダーの変更」(278ページ) を参照してください。

SQL Server データベースに格納された Microsoft Project 情報の同期

プロジェクトが SQL Server データベースなどの ODBC ソースに格納されてい る場合、プロジェクトを HP Project Management に同期するには、次の手順を 実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [名前を付けて保存] を選択して、ローカルシステムにプロジェクトを保存 します。
- 3. 保存した Microsoft Project ファイルを HP Project Management に同期します。



プロジェクトをHP Project Managementに同期するには、プロジェクトはファイル形式である 必要があります。バイナリMPPファイルフォーマットがお薦めです。

HP Project Management の方針

以下のシナリオで、統合によりもたらされるさまざまなプロジェクト管理方 針を、プロジェクトマネージャがどのように利用できるのかを示します。そ の他のシナリオについては、「適切な同期モードの選択」(266ページ)を参照し てください。

Microsoft Projectを介したHP Project Management 作業計画の公開

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマ ネージャは、統合を使用してプロジェクトを公開できます。公開とは、 Microsoft Project ファイルを外部の閲覧者 (プロジェクトマネージメントオ フィスグループなど) に配布することを意味します。公開はまた、Microsoft Project ファイルを HP Project Management と同期し、配布のために Microsoft Project レポートを実行することも意味します。プロジェクトは定期的(週次、 四半期次)、または定義されたマイルストーン(設計の完了時点など)で公開で きます。

Microsoft Project を介して HP Project Management 作業計画を公開するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project で空のファイルを開きます。

- Microsoft Project でHP Project Management 作業計画を開きます(詳細については、「Microsoft Project から HP Project Management 作業計画を開く」(307ページ)」を参照してください)。
- 3. プロジェクトを保存してレポートを実行します。

最初のエクスポートの後、HP Project Management 制御モードでHP Project Management作業計画をMicrosoft Projectファイルと同期することを選択できます。この操作により、Microsoft Projectファイルが効率的に再生成されます。

この操作は、以前に同期した HP Project Management 作業計画から、失った Microsoft Project ファイルを復元する場合にも使用できます。

HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開

Microsoft Project を使用してプロジェクトを管理しているプロジェクトマネージャは、HP Project Management のプロジェクトを公開できます。HP Project Management で作業計画テンプレートから作業計画を作成し、Microsoft Project でそのファイルを開いて編集することもできます。これにより、PMOが施行する標準規格を利用できます。公開とはHP Project Management リポジトリにプロジェクトデータを読み込むことであり、次のようなメリットをもたらします。

- プロジェクトのステータスが PPM Dashboard に表示されます。HP Project Management はプロジェクトのポリシー設定を基にして、例外とヘルスス テータス (赤色/黄色/緑色)を計算します。
- プロジェクトの参加者と外部の閲覧者は、マイタスクポートレットや検索 ページなどのインタフェースで、プロジェクトを表示できます。参加者は HP Project Management からプロジェクトのステータスを更新することは できませんが、プロジェクト情報の全体像を確認するための効率的な方法 です。
- HP Project Management ユーザは、別のPPM Center エンティティ(リクエストとパッケージなど)から同期されたプロジェクト内のタスクに、参照を 作成できます。これらの参照は、特定タスクのステータスを監視するのに 使用できます。

HP Project Management を介して Microsoft Project ファイルを公開するには、次の手順を実行します。

1. HP Project Management で、作業計画のないプロジェクトを作成します。

- 2. プロジェクトの統合モードがMicrosoft Project制御であることを確認します。
- Microsoft Project ファイルをHP Project Management に送信します(詳細については、「HP Project ManagementへのMicrosoft Project ファイル作業計画の送信」(309ページ)」を参照してください)。

プロジェクトマネージャは、定期的にプロジェクトをHP Project Managementに 公開することがあります。これは、Microsoft Projectで [HP PPM Center] > [関連 付けられた作業計画の更新] を選択することで実行できます。Microsoft Project ファイル内の情報を基にHP Project Management 内の情報が更新され、HP Project Managementに固有の情報は保持されます。

両方のアプリケーションを使用したさまざまなプロジェクトデータの トラック

Microsoft Project を使用してプロジェクトを計画して管理するプロジェクトマ ネージャは、HP Project Management を使用して参加者から実績を収集できま す。「HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開」で説明 したメリットに加え、この統合では、実績情報の収集と入力作業の一部がプ ロジェクトマネージャから参加者に移行します。プロジェクトマネージャは 定期的にプロジェクトを同期することで、HP Project Management に再度計画 した作業計画を公開するか、Microsoft Project に新しい実績の更新を収集する 必要があります。

HP Project Managementを使用して Microsoft Project からの実績をトラックする には、次の手順を実行します。

- 1. 作業計画を作成します。
 - 先にMicrosoft Project で作業計画を作成してから、HP Project Management に送信して作業計画の統合を確立できます。作業計画の編集は、すべ てMicrosoft Project で行う必要があります。
 - 先にHP Project Management で作業計画テンプレートを使用して作業計 画を作成してから、Microsoft Project でそのファイルを開いて編集する こともできます。これにより、作業計画の管理にMicrosoft Projectを使 用する場合でも、標準規格を施行することができます。
- 2. Microsoft Project で、[HP PPM Center] > [関連作業計画の更新] を選択します。

[関連作業計画の更新]ダイアログボックスが開きます。

3. [Microsoft ProjectからPPMに作業計画情報を送信] または [PPMからの実績値 をMicrosoft Projectで取得します。] を選択して、[OK] をクリックします。

詳細については、「HP Project Management と Microsoft Projectの同期モードの設定」(276ページ)を参照してください。

統合のためのプロジェクトレベルの設定

HP Project Management には、プロジェクトポリシーによって決定する数多く のプロジェクトのための設定が存在します。プロジェクトポリシーは、特定 のプロジェクトを作成するのに使用されるプロジェクトタイプから継承され ます。プロジェクトタイプとポリシーの詳細については、第3章「プロジェ クトタイプの設定」(33ページ)を参照してください。Microsoft Project統合に 関連する設定は、Microsoft Project統合ポリシーによって設定されます。サー ビスポートフォリオに関連する設定は、リクエストタイプポリシーによって設 定されます。

図 10-2. Microsoft Project統合ポリシー

| Microsoft Project 統合 |
|---|
| プロジェクト マネージャがこれらの設定をオーバーライドできるようにする 💿 📋 いいえ |
| Microsoft Projectとの統合の設定は以下のとおりです。このブロジェクト タイブを使用しているブロジェクトは、これらのデフォルト設定を継承します。 |
| 統合モード |
| ブロジェクト作業用の統合モード |
| ● PPMはすべての共有作業計画情報を制御する |
| C Microsoft Project はすべての共有作業計画情報を制御する |
| ○ コントロールは共有される |
| - 作業内部計構和は、Microsoft Project によって制御される - 実践トラッキング情報は、PPM によって制御される |
| Microsoft Project への PPM 情報の転送 |
| PPM がすべての共有作業計画情報をコントロールしている、または実徳をトラッキングしている統合では、リソースは自動的に Microsoft Project で作成されます。 |
| リソース マッピングの基準: |
| |
| C PPM 氏名: 名、スペース、姓 |
| C PPM 氏名:姓、スペース、名 |
| PPM を使用して実績をトラッキングしている場合は、トラッキングした情報を Microsoft Projectに転送できます。 |
| 転送実績情報: |
| ⊙ 達成率 (%) |
| ○ 達成平 (%)と実際の日付 |
| |
| PPM システム情報のための Microsoft Project の格納場所 |
| 経合中は、PMMはシステム情報をとラッキングするために Nucrosoft Project の力スタム, フィールド内の情報を保存する必要があります。 Microsoft Project の秩存の力スタム, エクステンションがない、場合は、デフォルトの格納場所を使用することをお勧めします。また、作業計画 を統合した省はこの経定を変更しないようにすることを強くお勧めします。 |
| PPM タスク情報には、1 つの Microsoft Project タスク カスタム フィールドが必要です: |
| Number20 💌 |
| DDM リテーフ株指には すつの Microsoft Project リテーフ カフタム フィールドガ水車です・ |
| Number 20 💌 |
| PPM アサイン情報には、1 つの Microsoft Project アサイン カスタム フィールドが必要です: |
| Number20 💌 |
| コントロールを共有し、変更された実績を PPM から取得する統合中は、PPM は追加の Microsoft Project カスタム フィールドを使用します。 |
| 2つの日付フィールドに、開始日と終了日のスナップショットが保持されます: Start10Finish10 💌 |
| フラグ フィールド 1は、変更された実績を持つタスクを示します: |
| *18220 ■ 変更された実績を特つタスクの色を強調表示します: |
| 赤 💌 |
| フラグ フィールド 2は、変更された実績によって影響を付ける日付を持つタスクを示します: |
| Flag19 💌 |
| 変更された実績によって影響を付ける日付を持つタスクの色を強調表示します。 |
| |
| Microsoft Project フィールド マッピング |
| 必要に応じて、以下の Microsoft Project テキスト カスタム フィールドにマッピングするように PPM ユーザ データ フィールドを設定できま |
| |
| 現在イッビングしている XML Jアイル: 新知っっていたていっていった オオ・ |
| マイールドタイブ PPM ユーザ データ フィールド PPM フィールド ラベル Microsoft Project カスタム データ フィールド |
| Microsoft Project メモの同期 |
| □ メモの同期を有効にする |
| |
| メモクロ期方向 |
| PPM //vS_Nicrosoft Project |
| Microsoft Project βνS PPM |
| Microsoft Project フィールド マッピング |
| 🗌 アクティビティの同期を有効にする |
| 次の Microsoft Projectカスタム フィールドにマップされる PPM アクティビティ情報: |
| Text1 |
| |



プロジェクトタイプレベルで**Microsoft Project統合**ポリシーを変更しても、その変更はその タイプのプロジェクトに伝播しません。 プロジェクト設定を表示したり、変更したりするには、次のいずれかの手順 を実行します。

- HP Project Management の [プロジェクトの概要] ページから、[設定] をク リックします。
- Microsoft Projectから、[HP PPM Center] > [PPMにリンク] > [設定: Microsoft Project統合] を選択します。このオプションメニューは、統合されたプロジェクトにのみ利用できます。

統合モード

この設定は、HP Project Management と Microsoft Project 間の同期の際に、プロ ジェクト情報を制御するアプリケーションを決定します。

- PPM がすべての共有作業計画情報を制御する場合 (HP Project Management 制御モードの場合)、プロジェクトの情報を同期すると Microsoft Project 内 で行われた任意の変更が自動的に破棄されます (「Microsoft Project を介し たHP Project Management 作業計画の公開」(271ページ)を参照)。
- Microsoft Project がすべての共有作業計画情報を制御する場合 (Microsoft Project 制御モードの場合)、HP Project Management 内の作業計画は編集不可になります(「HP Project Management を介した Microsoft Project ファイルの公開」(272ページ)を参照)。
- 制御が共有されている場合(共有制御モードの場合)、作業計画情報は Microsoft Projectによって決定され、実績データはHP Project Managementに よって収集されます(「両方のアプリケーションを使用したさまざまなプ ロジェクトデータのトラック」(273ページ)を参照)。



プロジェクトの実行中にモードを切り替えることは可能ですが、HP Project Management制御 への切り替え以外は推奨されません。

HP Project ManagementとMicrosoft Projectの同期モードの設定

ー方のアプリケーションで作成して他方のアプリケーションで開いたプロ ジェクトの制御は、その後、HP Project Management により定義される3つの モードの1つを使用して Microsoft Project & HP Project Management 間で共有で きます。これらの制御モードは HP Project Management 側の、プロジェクト設 定のMicrosoft Project統合ポリシーで設定します。設定の詳細については、「統合のためのプロジェクトレベルの設定」(274ページ)を参照してください。

- Project Management制御: Microsoft Project で [HP PPM Center] > [関連作業計 画の更新] を選択すると、Microsoft Project内の計画情報がHP Project Managementからの作業計画によって更新されます。
- Microsoft Project制御: Microsoft Project で [HP PPM Center] > [関連作業計画の 更新] を選択すると、HP Project Management内の計画情報がMicrosoft Project からの作業計画によって完全に更新されます。HP Project Management で変 更を行った場合、その変更は保持されます(詳細については、「HP Project Management で許可される条件付き編集」(322ページ)」を参照してください)。PPM Center にマップできないリソースがMicrosoft Project 作業計画に 含まれる場合、これらのリソースをマップする指示が表示されます。詳細 については、「リソース」(251ページ)を参照してください。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、デフォルトで.mppファイルに.bak拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。

先にHP Project Management で作業計画テンプレートを使用して作業計画 を作成した場合、テンプレートで必須としてマークされたタスクは Microsoft Projectでは削除できません。

- 共有制御: Microsoft Project で [HP PPM Center] > [関連作業計画の更新] を選 択すると、次のオプションから選択できます。
 - o Microsoft Project から HP Project Managementに更新されたスケジュール 情報を送信する。このオプションを選択すると、Microsoft Project内の データを基にして、HP Project Management内の関連作業計画内に作業 計画スケジュール情報が更新されます。HP Project Managementで変更 を行った場合、その変更は保持されます(詳細については、「HP Project Managementで許可される条件付き編集」(322ページ)」を参照してく ださい)。作業計画情報の更新の詳細については、「Microsoft Projectから HP Project Managementへの作業計画(計画)情報の送信(共有制御 モード)」を参照してください。PPM Centerにマップできないリソース がMicrosoft Project 作業計画に含まれる場合、これらのリソースをマッ プする指示が表示されます。詳細については、「リソース」(251ページ) を参照してください。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、 デフォルトで.mppファイルに.bak 拡張子が付けられ、元のファイル と同じディレクトリに自動的に保存されます。

先にHP Project Management で作業計画テンプレートを使用して作業計 画を作成した場合、テンプレートで必須としてマークされたタスクは Microsoft Projectでは削除できません。HP Project Management内で記録 された実績があるタスクは、Microsoft Projectファイルから削除できま せん。タスクを削除する場合、先に実績を削除する必要があります。

HP Project Management から実績を取得(「統合のためのプロジェクトレベルの設定」(274ページ)に記載した設定を基に取得されます)。このオプションを選択すると、統合は確認用と追加のアプリケーション用にHP Project Management から実績を取得する方法の詳細については、「HP Project Management から実績の取得(共有制御モード)」(312ページ)を参照してください。

同期モードとプロジェクトカレンダーの変更

HP Project Management と Microsoft Project は、各自のプロジェクトに別々のカ レンダーシステムを使用します。同期モードが HP Project Management 制御の 場合、HP Project Management カレンダーが使用されます。同期モードが Microsoft Project制御または共有制御の場合、Microsoft Project カレンダーが使 用されます。

プロジェクトの同期モードをMicrosoft Project 制御または共有制御から HP Project Management制御に変更すると、HP Project Management カレンダーが使 用されます。ただし、プロジェクトの同期モードをHP Project Management制御 から Microsoft Project 制御または共有制御に変更しても、HP Project Management カレンダーが使用されます。Microsoft Project カレンダーシステムを使用する 場合は、Microsoft Project カレンダーシステムに手動で変更する必要があります。

MicrosoftへのPPM Center情報の転送

HP Project Managementから Microsoft Project に情報を転送するとき、Microsoft Project 統合が Microsoft Project 内でリソースを適切に作成できるようにするため、リソースマッピングの基準設定を使用して HP Project Management でリソースを特定する方法を指定する必要があります。

Microsoft Project でプロジェクトの実績をトラックする場合、[転送実績情報] 設定を選択して必要なデータの転送を有効にします。この設定は、共有制御モードの場合、および HP Project Management 作業計画を使用して Microsoft Project 内に新規ファイルを作成する場合に使用されます。選択したオプションに応じて、達成率はタスクレベルまたはリソースレベルのいずれかに適用できます。両方には適用できません。

転送実績情報設定のオプションは、次のように機能します。

 [達成率]: このオプションを使用すると、タスクレベルの達成率がMicrosoft Project に渡される唯一の実績情報になります。Microsoft Project は、各リ ソースの実際の工数と実際の日付を自動的に計算します。Microsoft Project のスケジュール情報は変更されません。

多くのプロジェクトマネージャが Microsoft Project で達成率を使用して計 画を管理します。ただし、HP Project Management内の一部の情報はMicrosoft Projectでは表示できません。たとえば、HP Project Management でタスクが 4日遅れで開始しても、その情報は Microsoft Project では表示されません。 この問題に対応するには、HP Project Management での例外によるプロジェ クトの管理を試みてください。

計画の全体的な進捗が共有すべき最も重要な情報である場合、このオプ ションを選択します。

- [達成率(%)と実際の日付]: このオプションを使用すると、Microsoft Project に渡される実績情報は次のようになります。タスクレベルではすべての値 が渡され、Microsoft Projectは内部ルールを使用してアサインにデータを適 用します。工数と日付を含むリソースアサインデータはHP Project Management内のデータと一致しない場合があります。
 - [実際の開始日]: タスクに実際の開始日を適用すると、Microsoft Project でタスクのスケジュールされた開始日が削除され、Microsoft Projectの 残りのスケジュールに連鎖的な影響を与える場合があります。

- [実際の終了日(存在する場合)]: タスクに実際の終了日を適用すると、 Microsoft Project はタスクのスケジュールされた終了日と期間を再計算 します。これにより、リソースの工数が再計算され、計画全体に連鎖 的なスケジュールの変更が発生することもあります。
- 「予想終了日(トラックしている場合)]: HP Project Management で [予想 終了日] フィールドがトラックされていて [実際の終了日] の値が存在し ない場合、予想終了日はタスクの予定された終了日として Microsoft Project に渡されます。これにより、残りの計画のタスクの期間、工数、 およびスケジュールに影響を与える場合があります。
- [達成率]: タスクレベルの達成率を適用すると、Microsoft Project はリ ソースレベルの工数を暗黙的に使用します。

リソースがタスクの開始日や終了日から外れて実績を記録した場合、また は実際の日付は正確であるもののプロジェクトマネージャがスケジュー ルを調節する場合にこのオプションを選択します。

 [実際の工数]: このオプションを使用すると、Microsoft Project に渡される 実績情報は、リソースレベルの実際の工数と見積もり残存工数になりま す。Microsoft Project は、タスクの達成率および実際の開始日とスケジュー ルされた終了日を推定します。タスクにかかる工数が、想定よりも多いま たは少ない工数を要することを示す場合があるため、Microsoft Project での タスクのセットアップによっては、計画全体に連鎖的な影響(スケジュー ル、スケジュールされた期間、および終了日の調節など)を与える場合が あります。

このオプションを使用するときは、常にHP Project Managementで実際の工 数をトラックする必要があります。オプションで、見積もり残存工数をト ラックすることもできます。

見積もり残存工数はトラックされていない場合でも常に同期されます。この値はHP Project Managementによりバックグラウンドで計算され、タスクが想定よりも多いまたは少ない工数を要することを示します。

Microsoft Projectは達成率を計算します。リソース間で工数が均一ではない 場合、または工数が配分型ではない場合、Microsoft Project でのタスクレベ ルの完了率はHP Project Managementの値とは異なる場合があります。両ア プリケーションが異なる計算方法を使用するためです。

プロジェクトマネージャが計画を管理するのに工数のメトリクスに重点 を置く場合に、このオプションを選択します。

PPM Centerシステム情報のためのMicrosoftストレージの場所

統合では、アプリケーション間で適切に情報を転送するため、タスクとリソースの両方にカスタムのMicrosoft Projectフィールドが必要になります。このカテゴリでの最初の3つの設定では、使用するフィールドを指定できます。

作業計画を統合した後にカスタム Microsoft Project フィールドを変更すると、元のカスタム Microsoft Project フィールドにあったデータは削除されます。

共有制御モードでプロジェクトを同期する場合、このカテゴリでさらにいく つかのMicrosoft Project フィールドを指定する必要があります。これらの フィールドは、以下の情報を維持します。

- 同期の完了後、Microsoft Project により自動的に変更されるデータのスナップショット
- 同期によって変更されるフィールド、および同期されるフィールドを基に してMicrosoft Projectにより変更されるフィールドのフラグ

このプロジェクトレベルの設定により、同期された実績のフィールド、および同期を基に Microsoft Project により自動的に変更されたフィールドを分かりやすくするため、カスタム Microsoft Project テーブル表示のフィールドの値の色を変更することもできます。このカスタムテーブル表示の使用 方法の詳細については、「カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル」 (247ページ)を参照してください。

Microsoft フィールドマッピング

この設定では、HP Project Management ユーザデータと Microsoft Project カスタ ムフィールドをマップします。マッピングは、HP Project and Portfolio Management Center の外部でプロジェクトマネージャにより維持され編集され る XML ファイルで定義されます。

現時点では、タスクに関連するユーザデータとカスタムフィールドのみがサ ポートされます。

Microsoftフィールドマッピングを有効にするには、次の手順を実行します。

1. HP Project Management ユーザデータを構成します。

ユーザデータを構成するには、『HP Project Management Configuration Guide』の章「Configuring Task User Dataを参照してください。[検証] フィールドにテキストフィールド ([テキストフィールド - 200文字] など)を選択します。



タスクのための Microsoft カスタムテキストフィールドは最大で 255 文字をサポートしま す。HP Project Management ユーザデータは最大で 200 文字をサポートします。これらの フィールドを同期するとき、データが切り詰められる場合があります。

マッピングファイルのアップロード後に PPM Workbench のユーザデータ を変更する場合、テーブルに変更が反映されるようにするため、ユーザ データを保存してプロジェクト設定を更新する必要があります。

- 2. XML マッピングファイルを作成します。詳細については、以下の「XML マッピングファイルの作成」を参照してください。
- 3. XMLマッピングファイルをアップロードします。詳細については、「XML マッピングファイルのアップロード」(283ページ)を参照してください。

XMLマッピングファイルの作成

XMLマッピングファイルは、HP Project Managementユーザデータと Microsoft Project カスタムフィールドのマッピングを定義します。これらのファイルを 更新する予定の場合、マッピングファイルのコピーを保存します(マッピング ファイルをアップロード後に更新する場合、テーブルに変更が反映されるよ うにするため、マッピングファイルを再度読み込んでプロジェクト設定を保 存する必要があります)。

サンプルXMLマッピングファイル (SampleMap.xml) には、マッピングファ イルを作成するのに必要となる構成が含まれます。このファイルはPlug-in for PPMに含まれています。

XMLマッピングファイルの例

```
<MSPCustomFieldsMapping>
<Map>
<PPMField>1</PPMField>
<MSPField>5</MSPField>
</Map>
</MSPCustomFieldsMapping>
```



PPMFieldとMSPField要素には、整数のみが許可されます。

最大で20までのHP Project Managementタスクユーザデータフィールドを構成できます。

PPMField要素はHP Project Managementユーザデータを参照し、MSPField要素はMicrosoft Projectカスタムフィールドを参照します。この例では、ファイルはUSER_DATA1をタスクレベルのText5にマップします。

XMLマッピングファイルのアップロード

マッピング定義を含むXMLファイルをアップロードするには、次の手順を実行します。

1. [参照] をクリックします。

- 2. マッピングに使用するXMLファイルを選択します。
- 3. [保存]をクリックします。マッピングがテーブルに結果が表示されます。

| 列名 | 説明 |
|------------------------------------|--|
| フィールドタイプ | マップするカスタムフィールドとデータタイプ。 現時点 では、タスクに関連するテキストフィールドのみがサ ポートされます。 |
| PPMユーザデータ フィールド | Microsoft カスタムフィールドのマップ先となるユーザ データフィールド。 |
| PPM Prompt (PPM プロンプト) | ユーザデータ向けに構成されたフィールドプロンプト またはプロンプト名 (PPM Workbench 内)。プロンプト 名にHTMLコードとして解釈可能な文字が含まれる場 合、その名前はテーブルに期待どおりには表示されない 場合があります。 ユーザデータが構成されていない場合、[未定義]と表 示されます。 ユーザデータが有効ではない場合、[無効]と表示され ます。 |
| Microsoft Project カスタ ムデータフィールド | PPM ユーザデータのマップ先となる Microsoft カスタム フィールド。 |

マッピングファイルのユーザデータを変更する場合、テーブルに変更が反映 されるようにするため、ファイルを再度読み込んでプロジェクト設定を更新 する必要があります。PPM Workbenchのユーザデータを変更する場合、テー ブルに変更が反映されるようにするため、ユーザデータを保存してプロジェ クト設定を更新する必要があります。

同期モード

同期モードにより、ユーザデータフィールドの制御方法が決定します。

- 作業計画がHP Project Management制御であれば、ユーザデータフィールド はHP Project Managementにより制御されます。
- 作業計画がMicrosoft Project制御であれば、ユーザデータフィールドは Microsoft Projectにより制御されます。
- 制御が共有の場合、ユーザデータフィールドはMicrosoft Projectにより制御 されます。



HP Project Managementユーザデータフィールドが無効の場合にデータを再同期すると、この ユーザフィールドのデータは (マッピングファイル内に定義されていても) 更新されません。

Microsoftフィールドマッピングの無効化

HP Project ManagementユーザデータとMicrosoft Projectカスタムデータをマップ しなくなった場合、空のXMLマッピングファイルをアップロードしてMicrosoft フィールドマッピングを無効にします。空のXMLマッピングファイルには以 下のエントリが含まれます。

<MSPCustomFieldsMapping/>

Plug-in for PPM と一緒にインストールされているデフォルトの SampleMap.xmlファイルをアップロードすることもできます。 SampleMap.xmlファイルを変更した場合、上記の方法に従って空のXML ファイルを作成してアップロードする必要があります。

タスクの作成モード



この項は、Microsoft Project 2010のみに適用されます。

Microsoft Project 2010 では、2 つのモード (自動スケジュールまたは手動スケ ジュール) でタスクを作成できます。タスクを Microsoft Project 2010 と PPM Center で正しく統合するには、Microsoft Project 2010 タスクは必ず自動スケ ジュールモードで作成することが必要です。

タスクが自動スケジュールモードで作成されていると、Microsoft Project に よってタスクの日付および期間フィールドのデータが検証されるため、すべ てのタスクをPPM Centerと正しく統合できます。 タスクが手動スケジュールモードで作成されていると、タスクの日付および 期間フィールドのデータが Microsoft Project で検証されないため、PPM Center はそのデータを無効とみなし、データの統合は行われません。すべてのタス クデータを正しく統合するには、タスクを自動スケジュールモードに変更す る必要があります。

タスクのモードを変更するには、[タスクモード]フィールドを更新します。

既存のプロジェクトに追加する新規タスクのデフォルトのタスク作成モード を設定するには、作業計画ウィンドウの下部にある[新しいタスク]メニューを クリックし、[自動スケジュール]を選択します。

新規プロジェクトのデフォルトのタスク作成モードを設定するには、[ファイ ル] タブに移動し、[オプション] を選択します。[スケジュール] を選択してか ら、[作成する新しいタスク] フィールドを [自動スケジュール] に設定します。

メモの同期

HP Project Management メモについて

メモとは [タスクの詳細] ページに入力する自由形式のテキストのことで、1 作業計画あたり 32 Kまでの情報を含むことができます。一度保存したメモは 変更できません。保存されたエントリは、タイムスタンプが付与されます。 ユーザは複数のメモを送信できます。書式のあるテキスト、OLE オブジェク ト、ビットアップ (Microsoft Project メモで使用可能) は、HP Project Management メモでは使用できません。

HP Project Management制御で同期されるメモについて

HP Project Management が統合のメモを制御する場合、タスクの説明とすべて のメモが、同期されるメモのサイズの限界まで1つの同期メモにまとめられま す(詳細については、「Microsoft Project 統合オプションの構成:メモの同期」」 を参照してください)。説明とメモは日付の昇順に並べられ(最新のメモが同 期されたメモの先頭)、タイムスタンプとメモを作成したユーザが各メモ内に 表示されます。

Microsoft Project統合オプションの構成:メモの同期

デフォルトで、PPM Center と Microsoft Project の同期されたメモのサイズは 1,500バイトが上限です。この上限は同期されたメモにのみ適用されます。つま り、PPM Center または Microsoft Project で 1,500 バイトよりも大きいメモを作成 して格納できますが、2アプリケーション間で同期される情報は制限されます。

Microsoft Project では、同期されたメモのサイズは構成できません。つまり、 Microsoft ProjectからPPM Centerに送信された同期されたメモのサイズは1,500 より大きくすることはできず、変更できません。

PPM Centerでは、同期されたメモのサイズは構成できます。つまり、PPM Center からMicrosoft Projectに送信された同期されたメモのサイズはserver.conf内のMSP_NOTES_SIZE_LIMITパラメータによって決定されます。

PPM Center で同期されたメモのサイズを構成するには、server.conf内の MSP_NOTES_SIZE_LIMITパラメータを編集します。デフォルトで同期された メモのサイズは1,500バイトです。server.confファイルの編集方法の詳細に ついては、『Installation and Administration Guide』を参照してください。

Microsoft Project統合オプションの有効化: メモの同期

ノードを使用してタスクデータや実績の詳細をトラックするかどうかを決定 する必要があります。決定後、プロジェクトポリシーとして設定する必要が あります。このため、メモの同期はプロジェクトタイプレベルで有効にする 必要があります。同じプロジェクトタイプのプロジェクトでのメモの同期は、 常に同じ方向 (PPM Center から Microsoft Project、または Microsoft Project から PPM Center) である必要があります。

PPM Centerからメモの同期を有効にするには、次の手順を実行します。

1. プロジェクトタイプを作成するか、既存のプロジェクトタイプを開きます。

プロジェクトタイプを作成するには、次の手順を実行します。

a. [作成]>[管理]>[プロジェクトタイプ]を選択します。

既存のプロジェクトタイプを開くには、次の手順を実行します。

- b. [検索]>[管理]>[プロジェクトタイプ] を選択します。
- c. プロジェクトタイプをクリックします。
- 2. [Microsoft Project統合] をクリックします。

- 3. [Microsoft Project フィールドマッピング] セクションで、[メモの同期を有効 にする] を選択します。
- 4. メモの同期方向を選択します。

作業計画情報の制御が共有である場合、この選択はメモに格納されるデータのタイプを示します。たとえば、作業計画情報の制御が共有である場合に [PPMから Microsoft Project] を選択すると、メモは実績の詳細とみなされます。 [Microsoft Project から PPM] を選択すると、メモはタスクデータとみなされます。

5. [作成] または [完了] をクリックします。

HP Project ManagementとMicrosoft Projectメモの同期モード

プロジェクトの同期モードは、PPM Centerと Microsoft Project 間で同期すると きに、プロジェクト情報を制御する側のアプリケーション (PPM Center または Microsoft Project) を決定します。

HP Project Management がすべての共有作業計画情報を制御する場合、メモは PPM Centerで編集可能です。メモはMicrosoft Projectでも編集可能ですが、同 期時に Microsoft Project のメモに行われた更新はすべて上書きされます。PPM Center プロジェクト情報を Microsoft Project に転送するとき、タスクの説明、 ユーザ、タイムスタンプが記載された各メモは、Microsoft Project のメモフィー ルドにまとめられます。



HP Project Management がすべての共有作業計画情報を制御する場合、メモの同期が無効で あっても、タスクの説明はPPM Centerから Microsoft Projectのメモフィールドに常にコピーさ れます。

Microsoft Project がすべての共有作業計画情報を制御する場合、メモは Microsoft Project でのみ編集可能です。Microsoft Project 作業計画情報をPPM Center プロジェクトに転送すると、Microsoft Project のメモフィールドは、単 ーのPPM Center メモフィールドにインポートされます。書式のあるテキスト、 OLE オブジェクト、ビットアップ (Microsoft Project メモで使用可能) は、HP Project Management メモでは使用できません。

制御が共有の場合、メモを制御し編集するアプリケーションは、プロジェクトの Microsoft Project 統合プロジェクト設定により決定します。「Microsoft Project統合オプションの有効化:メモの同期」の手順4を参照してください。

Microsoft ProjectからHP Project Managementに作業計画情報を送信するときのメモの 同期について

メモの同期が有効であり、共有制御モードでMicrosoft Project から HP Project Management に作業計画情報を送信する場合、メモの同期は次のように動作します。

| 選択した オプション | 同期方向 | 結果 | |
|--|------------------------|---|--|
| Microsoft Projectか ら PPM に作業計画 情報を送信 | Microsoft ProjectからPPM | Microsoft ProjectのメモがPPM Centerで同期されます。 | |
| | PPMからMicrosoft Project | Microsoft Projectのメモは同期されません。 | |
| PPM からの実績値 を Microsoft Project で取得 | Microsoft ProjectからPPM | PPM Centerのメモは同期されません。 | |
| | PPMからMicrosoft Project | PPM CenterのメモがMicrosoft Projectで同期されます。 | |

表 10-5. Microsoft Project から HP Project Management へのメモの同期の動作
同期モードを変更するときのメモの同期について

プロジェクトの同期モードをHP Project Management制御から Microsoft Project 制御に変更する場合、プロジェクトを同期すると HP Project Management にあ らかじめ入力されていたメモは削除されます。HP Project Management にあら かじめ入力されていたメモを保持するには、同期モードを変更する前に、 Microsoft Project にプロジェクトを同期します。

HP Project Management アクティビティの同期

アクティビティは、プロジェクト作業計画のタスクに関連付けることができ る単なる設定エンティティです。タスクは、タスクの実施に関連するアクティ ビティのタイプによって特徴付けることができます。たとえば、あるタスク は設計アクティビティと分類することができ、また別のタスクはテストアク ティビティと分類できます。

アクティビティは簡単な分類に使用できるものの、アクティビティは通常 Statement of Position (SOP) 98-1遵守のため、資本化可能なコストを識別するの に使用されます。たとえば、プロジェクトが資本化をサポートしている場合、 資本化済みとしてマークされたアクティビティは関連するタスクのコストを 資本として分類します。プロジェクトやタスクは、資本化されたアクティビ ティと関連付けられている場合、資本化済みとして識別されます。

HP Project Managementは、タスクと使用するように構成可能な、一般的なSOP 98-1カテゴリを反映する事前定義されたアクティビティのセットを備えています。

SOP 98-1 トラックを有効にしない場合でも、アクティビティは分類用ツール としてタスクに関連付けることができ、関連付けられたコストは運用コスト とみなされます。つまり、SOP 98-1 機能が有効ではない場合でもアクティビ ティを使用できるものの、アクティビティは資本化済みとしてマークするこ とはできず、任意のアクティビティと関連付けられたプロジェクトやタスク は資本化データをトラックしません。

アクティビティはリクエストとパッケージと関連付けることもできます (しかし資本化はでき ません)。ただし、タスクに関連付けられたアクティビティのみ HP Project Management と Microsoft Project間でマップして同期できます。

アクティビティの構成方法とアクティビティの動作の詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。

Microsoft Project統合オプションの有効化: アクティビティの同期とマッピング

HP Project Management のアクティビティのマップ先とマップ元は、Microsoft Projectのカスタムフィールド [Text1] です (デフォルトでText1が構成されています)。

アクティビティマッピングを有効にするには、PPM Center で次の手順を実行 します。

- 1. プロジェクトを開きます
- 2. [プロジェクトの概要]ページの[設定]をクリックします。
- 3. [Microsoft Project統合] をクリックします。
- 4. [Microsoft Project フィールドマッピング] セクションで、[アクティビティの 同期を有効にする] を選択します。
- 5. HP Project Management アクティビティにマップする Microsoft Project カス タムフィールドを選択します。デフォルトで、Text1 が選択されています。

デフォルトで、ドロップダウンリストからカスタムフィールド「Text1」から「Text29」を 選択できます。これは、デフォルトでMicrosoft ProjectカスタムフィールドText30 がプロ ジェクトリンク情報を格納するのに使用されるためです(詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください)。プロジェクトリンクを格納する のに使用するカスタムフィールドは、アクティビティをマップするのには使用できません。 管理者が別のカスタムフィールドを使用するようにプロジェクトリンクを構成した場合、 ドロップダウンリストにそのフィールドは表示されません。

6. [完了] をクリックします。

HP Project Managementと Microsoft Project アクティビティの同期モード

プロジェクトの同期モードは、PPM Centerと Microsoft Project 間で同期すると きに、プロジェクト情報を制御するアプリケーション (PPM Center または Microsoft Project) を決定します。

HP Project Managementがすべての共有作業計画情報を制御する場合、アクティ ビティはPPM Centerで編集可能です。PPM Centerプロジェクト情報をMicrosoft Projectに転送するとき、PPM Centerの[アクティビティ]フィールドはMicrosoft Projectのカスタムフィールド [Text1] にエクスポートされます (デフォルト)。

Microsoft Project がすべての共有作業計画情報を制御する場合、アクティビ ティはMicrosoft Projectでのみ編集可能です。Microsoft Project 作業計画情報を PPM Center プロジェクトに転送すると、Microsoft Project のカスタムフィール ド [Text1] (デフォルト) は、PPM Centerの [アクティビティ] フィールドにイ ンポートされます。

制御が共有の場合、アクティビティはMicrosoft Projectによってのみ制御され、 Microsoft Project でのみ編集可能です。Microsoft Project 作業計画情報をPPM Center プロジェクトに転送すると、Microsoft Project のカスタムフィールド [Text1] (デフォルト)は、PPM Centerの[アクティビティ]フィールドにイン ポートされます。

Microsoft Projectでのアクティビティ同期の動作

アクティビティを同期するとき、Plug-in for PPM で Microsoft Project 内にアク ティビティ列を生成するか、"アクティビティ"ラベルを使用して Microsoft Project 内にアクティビティ列を定義し、PPM Center プロジェクト設定で構成 した同じカスタムフィールドにマップする必要があります。

アクティビティ列が正しく定義されていない場合 (Microsoft Project 列のラベルが"アクティビティ"ではないか、カスタムフィールドがPPM Centerプロジェクト設定で構成された同じカスタムフィールドではない場合)、次の現象が発生します。

| | HP Project Management制御 | Microsoft Project制御または 共有制御 |
|--|---|---|
| Microsoft Projectの列ラ ベルが正しくなく、カス タムフィールドが正しい 場合 | Microsoft Project から PPM Center 作 業計画を最初に開くと、Microsoft Project 内に「アクティビティ」とい うラベルの列が作成されます。「アク ティビティ」列の名前が変更されて も、PPM Center のアクティビティは Microsoft Project の同じ (名前が変更 された)列に同期されます。 | Microsoft Projectのラベルが不適切な アクティビティはPPM Centerのアク ティビティに同期されます。警告メッ セージが記録されます。 |
| Microsoft Projectの列ラ ベルが正しく、カスタム フィールドが正しくない 場合 | Microsoft Project から PPM Center 作 業計画を最初に開くと、Microsoft Project 内に「アクティビティ」とい う ラ ベ ル の 列 が 作 成 さ れ ま す。 Microsoft Project に (PPM Center プロ ジェクト設定で構成されたものとは 異なる)別のカスタムフィールドに マップされる、ラベルが「アクティビ ティ」の別の列が追加されると、同期 中、その列は無視されます。 | Microsoft Project のラベルが「アク ティビティ」の列はPPM Centerで同 期されません。その代わり、正しいカ スタムフィールドにマップされる、ラ ベル名が「アクティビティ」となる列 が作成されます。ラベルが「アクティ ビティ」となる最初の列名を変更する 警告メッセージが記録されます。 |

表 10-6. ラベルが不適切なアクティビティ列の動作



最初の同期後、Microsoft Project で列のラベルやマップされるカスタムフィールドを変更しないでください。

アクティビティの継承の動作

タスクとサマリタスクは、上位プロジェクトからアクティビティ設定を継承 できます。このため、プロジェクト内のタスクとサマリタスクごとにアクティ ビティを手動で設定する必要はありません。

アクティビティの継承は特定のルールに従います (『HP Financial Management ユーザーガイド』も参照)。

- プロジェクトでアクティビティが設定されている場合、同じアクティビ ティはその下位すべてに継承されます。これらの下位は、あらゆる上位の アクティビティ設定を継承し続けます。下位のうちの1つが別のアクティ ビティ設定を持つ別の上位に移動すると、その下位は新しい上位のアク ティビティ設定を取得します。
- 上位とは異なるアクティビティ設定のある下位が検出されると、アクティ ビティ設定の継承は停止し、その下位のアクティビティ設定が保持されま す。この下位のアクティビティ設定は、下位がインデント、アウトデント された場合、別の上位の下にカットアンドペーストされた場合でも保持さ れます。
- 異なるアクティビティ設定のある下位で、その下位のアクティビティ設定 を上位のアクティビティ設定に手動で設定すると、その下位のアクティビ ティ設定は保持されなくなり、その時点での上位のアクティビティ設定に なります。
- 下位のアクティビティを空の値に手動で設定すると、アクティビティは空のままになりますが、空ではないアクティビティ設定のある上位にその下位を移動すると、アクティビティは空ではなくなります。
- サマリタスクの上位がアクティビティ設定を変更すると、そのサマリタス クとすべての下位に新しいアクティビティが適用されます。ただし、サマ リタスクのアクティビティ設定がその上位とは異なる場合は例外で、その 場合、サマリタスクと下位は変更されません。

アクティビティの継承の動作に関する追加ルール:

- HP Project Management 制御モードでは、アクティビティを同期するときに PPM Center で下位のアクティビティが空であれば、そのアクティビティは Microsoft Project で空になります。
- Microsoft Project 制御モードでは、アクティビティを同期するときに Microsoft Project で下位のアクティビティが空であれば、PPM Center でその下位のア クティビティは上位のアクティビティを継承します。

サービスポートフォリオ管理のサポート

PPM Centerでは、サービスポートフォリオを使用して、ビジネスサービスと 人件費関連のIT プロジェクトイニシアチブとリクエストをトラック、分類、 および分析します。HP Project Management 作業計画のタスクに [サービス] フィールドを追加できます。このフィールドは必須フィールドである場合が あります。Microsoft Project にはサービス関連フィールドはありません。

PPM CenterにMicrosoft Project 作業計画を同期したり、PPM Centerから作業計 画を開くときの [サービス] フィールドの同期は、同期モードとそのフィール ドのプロジェクト設定によって異なります。

HP Project Management制御

Microsoft Project にサービス関連のフィールドが存在しないことから、 Microsoft Projectに新規PPM Centerプロジェクト作業計画をエクスポートした り更新を同期するとき、Microsoft Project に [サービス] フィールドとその値は インポートされません。

HP Project Management 制御モードで既存プロジェクトのサービスを変更する と、サービスは保存されますが Microsoft Project 作業計画には同期されません。 Microsoft Project 制御モードに切り替え、Microsoft Project 作業計画の実績を更 新してから PPM Center プロジェクトの作業計画に実績情報の更新を同期して 戻すと、既存作業計画タスクのサービスは同じ値を保持し、新規作業計画タ スクは上位サービスを継承します。 [サービス] フィールドの同期の動作は表 10-7で説明されています。[サービス] フィールドが必要な場合または必要ではない場合、デフォルトサービスが定 義されている場合や定義されていない場合、およびサービスが上位タスクに アサインされている場合やアサインされていない場合に、何が発生するのか を定義します。同期中、サービスが新規作業計画サブタスクにアサインする とき、上位タスクにアサインされたサービスがデフォルトのサービスより優 先します。ルートタスクは上位サービスを持ちません。

表 10-7. Microsoft Project制御および共有制御プロジェクトのサービス同期の動作 (1/2ページ)

| | サービスが必要ではない | サービスが必要 |
|--|--|---|
| デフォルト サービスが ない | | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 |
| 上位タスク にアサイン されたがない ビスートタス クの可能性 あり) | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドは空になります。 | 新規作業計画タスクの場合、同期は 失敗します。[サービス] フィールド が必須であり、このプロジェクトで 設定されていないことを示すエラー メッセージが開きます。PPM Center プロジェクト内でデフォルトサービ スを設定してから Microsoft Project 作業計画を再度送信してください。 |
| デフォルト サービスが ない | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 |
| 上位タスク にアサイン されたサー ビス | 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドは上位サービスを継 承します。 | 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドは上位サービスを継 承します。 |

表 10-7. Microsoft Project制御および共有制御プロジェクトのサービス同期の動作 (2/2ページ)

| | サービスが必要ではない | サービスが必要 |
|--|---|---|
| デフォルト サービスが 指定されて いる | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドはデフォルトサービ スを継承します。 | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドはデフォルトサービ スを継承します。 |
| 上位タスク にアサイン されたサー ビスがない (ルートタス クの可能性 あり) | | |
| デフォルト サービスが 指定されて いる | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 | PPM Center プロジェクト内の既存 作業計画タスクの場合、[サービス] フィールドは同じ値を維持します。 |
| 上位タスク にアサイン されたサー ビス | 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドは上位サービスを継 承します。 | 新規作業計画タスクの場合、[サービ ス] フィールドは上位サービスを継 承します。 |

サービス継承の動作の詳細については、『HP Project Management Configuration Guide』を参照してください。

コストと工数ポリシーおよびHP Time Management

HP Time Managementを使用して実績をトラックしている場合、コストと工数ポリシーで実績をトラックするレベル (タスクやプロジェクト)を選択できます。

実績をプロジェクトレベルでトラックすると、これらの実績はMicrosoft Project には送信されません。Microsoft Project はタスクレベルでのみ実績をトラック するためです。Microsoft Project では、プロジェクトレベルの実績はタスクレ ベルの実績から自動的に計算されるか、ロールアップされます。

HP Time Managementを使用して実績をトラックする場合、実績をトラックするレベルを変更できます。タスクレベルで実績を入力してプロジェクトレベルで時間をトラックするようにプロジェクトを変更すると、プロジェクトに対して時間をトラックするタイムシートからプロジェクトの実績すべてを削除するまで、タスクレベルにまでレベルを戻すことはできなくなります。

Plug-in for PPMのユーザプリファレンス

このセクションに含まれるタスクはオプションです。

Microsoft Project で Plug-in for PPM のユーザプリファレンスを設定して、 Microsoft Project、PPM Center、Microsoft Project Server間のインタラクション を構成できます。[PPM Plugin Preferences] ページでは、言語、プロンプト、強 調表示、ファイルのバックアップ、ログファイル、PPM Server、カスタムHTTP ヘッダ、プロキシサーバ、および使用するカレンダーの設定を変更できます。

[PPM Plugin Preferences] ページにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Projectで、[HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。

Microsoft Projectオプション

Microsoft Project オプションを使用して、Microsoft Project と Plug-in for PPM間 のインタラクションを構成します。これらのオプションを使用して言語を設 定し、保存のプロンプト、強調表示、バックアップ、ログファイルの有効、無 効を切り替えます。

Plug-in for PPMの言語の設定

PPM Center と Microsoft Project の両方が複数言語のサポートを提供します。 Plug-in for PPM も複数言語をサポートします。Plug-in for PPM の言語を設定す ることにより、Microsoft Project 内のHP PPM Center メニューの静的インタ フェース要素の標準翻訳が決定します。デフォルトで、Plug-in for PPMで使用 する言語が Microsoft Project 用に構成された言語になります。

言語設定を変更してプリファレンスを保存したときは、変更を有効にするためにMicrosoft Projectを再起動する必要があります。

以下のフィールドを使用して Plug-in for PPMの言語を設定できます。

表 10-8. 言語設定

| フィールド | 説明 |
|------------------------------|---|
| Microsoft Project言語を 使用する | デフォルトで選択されます。Microsoft Projectで構成されている言語を使用するには、このチェックボックスを選択します。 |
| | このチェックボックスを選択した状態でMicrosoft Projectの言語を 変更した場合、Microsoft Projectを再起動するとPlug-in for PPMの 言語はMicrosoft Projectの言語に自動的に変更されます。 |
| | Microsoft Project で構成した言語が PPM Center でサポートされな い場合、Plug-in for PPM は読み込みません。Plug-in for PPM が読 み込むには、少なくともMspTextResources_ <xx></xx> . properties が存在する必要があります。詳細については、 『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。 |
| 言語 | Plug-in for PPMで使用する言語を選択します。[Microsoft Project 言語を使用する] チェックボックスが選択されている場 合、このフィールドで言語は選択できません。言語を選択した場 合、この選択はMicrosoft Project言語を変更しても、その変更に影 響されません。 |
| | デフォルトで、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタ リア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国 語、スペイン語、トルコ語が利用できる言語の選択肢です。追加 言語の選択肢は、PPM Serverにインストールされている言語パッ ク、またはプロパティファイルが翻訳されデプロイされているか どうかによって決定します (詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください)。 |

Plug-in for PPM言語設定は、HP PPM Centerメニューとダイアログにのみ反映されます。PPM Center と Microsoft Project での言語設定が各アプリケーションでのメニュー、ダイアログ、およびデータの表示方法を決定します。

保存プロンプトの無効化

Microsoft Project制御または共有制御のHP Project Management 作業計画に関連 付けられた Microsoft Project ファイルを保存すると、HP Project Management に 作業計画を送信するように案内されます。これにより、HP Project Management に変更を送信するオプションが提供されます。 Microsoft Project 作業計画の変更を保存してから HP Project Management に送信 しない場合、プロンプトを無効にできます。デフォルトで、プロンプトは有 効です。

保存プロンプトを無効にするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- [Microsoft Project] タブで、[Microsoft Project ファイルの保存時に、PPM Centerの関連するプロジェクトを更新するプロンプトを表示する] チェック ボックスをオフにします。
- 4. [保存]をクリックします。

HP Project Management により制御される作業計画の強調表示の有効化

HP Project Management 制御の作業計画のMicrosoft Project テーブル表示で、 Microsoft Project によって自動的に変更されるスケジュールされた日付の色を Plug-in for PPM で変更できます。有効にすると、デフォルトの色は青色になり ますが、HP Project Management プロジェクトレベル設定で別の色に変更でき ます(「PPM Center システム情報のための Microsoft ストレージの場所」(281 ページ)を参照してください)。

強調表示を有効にするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- 3. [Microsoft Project] タブで、[PPM制御モードでスケジュールのスリップを強調 表示する] チェックボックスを選択します。
- 4. [保存]をクリックします。

プロジェクトが大きい場合、このオプションを有効にすると同期のパフォーマンスが損なわれる可能性があります。

オンデマンドでのPlug-in for PPMの読み込み

デフォルトでは Microsoft Project を起動すると、Plug-in for PPM が自動的に読み込まれます。ただし、Plug-in for PPM の読み込みには時間がかかる場合があります。この待ち時間が長すぎる場合、Plug-in for PPM が必要となったときに読み込むようにプリファレンスを設定できます。

オンデマンドでPlug-in for PPMを読み込むには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- [Microsoft Project] タブで、[起動時に PPM Center プラグインを読み込む] チェックボックスを選択解除します。
- 4. [完了] をクリックします。

Microsoft Project ファイルのバックアップ

デフォルトで、Microsoft Projectから HP Project Management に作業計画情報が 正しく送信されるたびに、開いている.mppファイルが保存され、.mppファイ ルのコピーがバックアップファイルに保存されます。バックアップファイル には.mppファイルと同じ名前が付けられますが、拡張子は.bakです。デフォ ルトで、バックアップファイルの保存先ディレクトリは、元の.mppファイル の格納先と同じディレクトリです。



.mppファイルとユーザ設定で指すPPM Server URLが異なる場合は、どちらか を選択するよう求める警告メッセージが表示されます。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エ ラーが発生する場合、最新の編集を再適用するための起点としてバックアッ プコピーを使用できます。詳細については、「必要なタスク、実績のあるタス ク/リソースの削除」(335ページ)を参照してください。

[PPM Plugin Preferences (PPM プラグインプリファレンス)] ページから、自動 バックアップの有効、無効の切り替え、およびバックアップディレクトリの 設定を行えます。



Microsoft Project Serverベースのプロジェクトでは自動バックアップは行われません。

バックアップの有効、無効を切り替え、バックアップディレクトリを設定するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- 3. [Microsoft Project] タブで [PPM Center と同期した後に Microsoft Project ファ イルをバックアップする] チェックボックスを選択して、自動バックアップ を有効にします。自動バックアップを無効にするには、チェックボックス をチェック解除します。
- オプションとして [プロジェクトファイルのバックアップの保存先] フィール ドにバックアップディレクトリを設定できます。デフォルトで、バック アップファイルの保存先ディレクトリは、元の.mppファイルの格納先と 同じディレクトリです。
- 5. [完了] をクリックします。

同期ログの有効化

デフォルトで、HP Project Management と Microsoft Project 間の同期情報の記録 は無効です(これはパフォーマンスの最適化にも適しています)。同期をトレー スする情報を有効にすることができます。これにより、[エラー]、[警告]、[情 報] ウィンドウの[**情報**] タブで、詳細な同期ログが利用できるようになります。

同期に関する完全な情報トレースを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- [Microsoft Project] タブで、[ログ記録を有効にする] チェックボックスを選択 解除します。
- 4. オプションとして、ログファイルの保存先ディレクトリを入力します。

ユーザにPlug-in for PPM ログファイルに書き込むアクセス許可がない場合、ログは無効に なります。

5. [完了] をクリックします。

PPM Centerオプション

PPM Centerオプションを使用して、Microsoft ProjectとPPM Center間のインタ ラクションを構成します。これらのオプションを使用して、PPM Server接続 の変更、カスタムHTTPヘッダの設定、およびプロキシ設定の構成を行います。

PPM Server 接続の変更

デフォルトで、Microsoft Projectの接続先 PPM Serverは、Plug-in for PPM のインストール元 PPM Serverになります。表示される PPM Server URLは、Microsoft Projectがファイルを同期するときの同期先 PPM Center インスタンスです。

PPM Server URL 設定を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [ユーザプリファレンス] を選択します。
- 3. [PPM Center] タブで、別のPPM Server と同期するには、[PPM Server URL] フィールドに別のURLを入力します。
- オプションとして [ユーザ名を保存] チェックボックスを選択したり、選択 解除します。選択すると、Plug-in for PPMは同じユーザ名を使用して PPM Server にログインします。選択解除すると、[ログイン] ダイアログの [ユー ザ名] フィールドは空になります。
- 5. [完了] をクリックします。

カスタムHTTPヘッダの設定

PPM Server で認証にカスタムHTTPヘッダが必要な場合、Plug-in for PPM が使用するヘッダを構成できます。このカスタムヘッダはPPM Center に送信されるすべてのリクエストに含まれます。

以下のフィールドを使用してPlug-in for PPM用のカスタムHTTPへッダを構成 します。

| フィールド | 説明 |
|------------------------|--|
| カスタムHTTP認証ヘッダを 送信する | PPM Serverに接続するときに、カスタムHTTPヘッダを含め られるようにする場合、このチェックボックスを選択します。 |
| ヘッダ名 | カスタムHTTP ヘッダの名前を入力します。ヘッダ名には、 英数字とスペースとコロン (:) を除いた特殊文字を含める必 要があります。無効な文字が入力されると、フィールドから フォーカスが外れるときに、ヘッダ名から無効な文字が自動 的に削除されます。 |
| Windows ドメインを含める | Windows Server ドメイン名とユーザ名を含めるには、この チェックボックスを選択します。 |

表 10-9. カスタムHTTP ヘッダの設定

カスタムHTTP ヘッダは、ヘッダ名、Windows Server ドメイン名 (選択された 場合)、およびユーザ名の順に構成されます。

たとえば、システムが次のように構成されている場合を考えます。

ユーザ名: smithj Windows Server ドメイン: ASIAPACIFIC ヘッダ名: PPM Authentication

[カスタムHTTP 認証ヘッダを送信する] チェックボックスを選択した時に、 [Windowsドメインを含める] チェックボックスが選択されていない場合、使用 されるカスタムヘッダは次のようになります。 PPM Authentication:smithj

[Windows ドメインを含める] チェックボックスが選択されている場合、使用されるカスタムヘッダは次のようになります。 PPM Authentication:ASIAPACIFIC\smithj

Plug-in for PPMのプロキシサーバの構成

Plug-in for PPMとPPM ServerはHTTPを使用してデータを交換します。この接続がプロキシサーバを使用する場合、プロキシ設定を構成する必要があります。デフォルトではプロキシサーバは使用されません。

以下のフィールドを使用してPlug-in for PPMのプロキシサーバを設定できます。

| フィールド | 説明 |
|-----------------------------|---|
| 直接接続 | デフォルトで選択されます。Plug-in for PPMとPPM Server間の接 続にプロキシサーバが必要ない場合に、このオプションを選択し ます。 |
| Internet Explorer プロキシ設定 | Internet Explorer で構成されているのと同じプロキシサーバを使用 する場合、このオプションを選択します。 |
| カスタムプロキシ | プロキシサーバを指定する場合、このオプションを選択します。 |
| プロキシサーバ | プロキシサーバのIPアドレスまたは名前を入力します。 |
| ポート | プロキシサーバに接続するのに使用するポート番号を入力します。 |
| プロキシ認証 | プロキシサーバが認証を必要とする場合、プロキシサーバに接続す るのに使用する資格情報 (ユーザ名、パスワード、およびドメイン) を選択したり入力します。 |
| Windows資格情 報を使用する | プロキシサーバに接続するのに、Windowsが入力する資格情報を 使用する場合、このチェックボックスを選択します。 |
| ユーザ名 | プロキシサーバに接続するのに使用するユーザ名を入力します。 [Windows 資格情報を使用する] チェックボックスを選択した 場合、ユーザ名を入力する必要はありません。 |
| パスワード | プロキシサーバに接続するのに使用するパスワードを入力します。 [Windows 資格情報を使用する] チェックボックスを選択した 場合、パスワードを入力する必要はありません。 |
| ドメイン | オプションです。プロキシサーバに接続するのに使用するWindows Serverドメイン名を入力します。[Windows 資格情報を使用す る] チェックボックスを選択した場合、ドメインを入力する必要は ありません。 |

表 10-10. プロキシ設定

Microsoft Project Serverオプション

Microsoft Project Server オプションを使用して、Microsoft Project Server、 Microsoft Project と Plug-in for PPM 間のインタラクションを構成します。 Microsoft Project Server からのプロジェクトカレンダーを使用するように設定 する場合に、このオプションを使用します。

Plug-in for PPM用 Microsoft Project Serverの設定

Microsoft Project ファイルが Microsoft Project Server 上に格納される場合、 Microsoft Project ファイルで使用されるカレンダーも Microsoft Project Server 上 に格納されます。Microsoft Project Server 上の既存のプロジェクトカレンダー のいずれかを使用するように Plug-in for PPMを構成できます。カレンダーを構 成しない場合 (チェックボックスを選択しないか、カレンダー名を入力しない 場合)、Microsoft Project で構成されている言語を基に、デフォルトのカレン ダーが使用されます。

Plug-in for PPM に Microsoft Project Server 上の特定プロジェクトカレンダーを 使用する必要がある場合、Plug-in for PPM 用の Microsoft Project Server カレン ダーを設定します。HP Project Management 制御モードの場合、Microsoft Project Server上のカレンダーを使用するように Plug-in for PPM を構成する必要があり ます。統合中、タスク情報を同期するのに、Plug-in for PPM はカレンダーを使 用します。

Plug-in for PPMが使用する Microsoft Project Server カレンダーを構成するのに、 以下のフィールドが使用されます。

| フィールド | 説明 |
|--|---|
| Microsoft Projectサーバ用にカ スタムのカレンダー名を使用 する | Microsoft Project Server からの既存プロジェクトカレン ダーを使用する場合に、このチェックボックスを選択し ます。 |
| カレンダー名 | Microsoft Project Server 上の既存プロジェクトカレンダー の名前を入力します。名前を入力しないと、Microsoft Projectの言語を基に、デフォルトカレンダーが使用されま す。たとえば英語の場合、デフォルトカレンダーは PPM Calendar です。ドイツ語の場合、デフォルトカレンダー は PPM Kalendar です。 |

表 10-11. Microsoft Project Server カレンダーオプション



カレンダー名が存在しない場合、次にプロジェクトを同期するときに同期が失敗します。

作業計画の作成と管理

同期モードを選択して構成し、プロジェクトの管理方針を決定すると、作業 計画の作成と管理を開始する準備が整ったことになります。

- 既存のHP Project Management 作業計画から Microsoft Project に新規作業計 画を作成できます(「HP Project Management を使用して Microsoft Project で 作業計画を開く」と「Microsoft Project から HP Project Management 作業計画 を開く」(307ページ)を参照してください)。
- 既存の Microsoft Project 作業計画から HP Project Management 内に新規作業計画を作成できます(「HP Project Managementへの Microsoft Project ファイル作業計画の送信」(309ページ)を参照してください)。
- HP Project Management プロジェクトに関連付けられた同期モードにより、 作業計画の管理方法が決定します。
 - HP Project Management 制御モードでは、関連付けられた HP Project Management 作業計画から Microsoft Project 作業計画を更新できます (「HP Project Management からの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management制御モード)」(312ページ)を参照してください)。
 - ・ 共有制御モードでは、関連付けれたHP Project Management 作業計画から実績を取得し(「HP Project Management からの実績の取得(共有制御モード)」(312ページ)を参照してください)、関連付けられたHP Project Management 作業計画に作業計画情報を送信できます(「Microsoft ProjectからHP Project Management への作業計画(計画)情報の送信(共有制御モード)」(314ページ)を参照してください)。
 - Microsoft Project 制御モードでは、Microsoft Project 作業計画から関連付けられた HP Project Management 作業計画を更新できます(「HP Project Managementへの関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project 制御 モード)」(315ページ)を参照してください)。

- 共有制御モードと Microsoft Project 制御モードでは、Microsoft Project からHP Project Management に手動でリソースをマップできます(「アプリケーション間でのリソースの手動マップ(共有制御モードおよび Microsoft Project制御モード)」(317ページ)を参照してください)。
- HP Project Management では、プロジェクトに選択した同期の制御モードに応じて、一部の編集機能が無効になる場合があります(「HP Project Management で許可される条件付き編集」(322ページ)を参照してください)。
- Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けを削除、復元、および 更新できます(「Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの削 除」(324ページ)、「Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの 復元」(325ページ)、および「Microsoft Project と HP Project Managementの 関連付けのリフレッシュ」(326ページ)を参照してください)。
- Microsoft Project Serverベースのプロジェクトを操作している場合、HP Project Managementの動作は若干異なります(「Microsoft Project Serverを使 用するプロジェクトの操作」(327ページ)を参照してください)。
- 同期で問題が発生する場合、「トラブルシューティング」(331ページ)を参照してください。

HP Project Managementを使用してMicrosoft Projectで作業計画を開く

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマネージャは、Microsoft Project でHP Project Management 作業計画のメニューを使用して、現在のHP Project Management 作業計画を開けます。



HP Project Managementを使用してMicrosoft Projectの作業計画を開くのにActiveXは必要なくなりました。

HP Project Managementを使用して Microsoft Project で HP Project Management 作 業計画を開くには、次の手順を実行します。

1. HP Project Management で作業計画を開きます。

 作業計画から [アクション] > [Microsoft Project内で作業計画を開く] をク リックします。

[Opening PPM_Project.mpp (PPM_Project.mpp を開く)] ダイアログが表示されます。

- 3. [Open with Microsoft Office Project (default) (Microsoft Office Projectで開く (デフォルト))] を選択します。
- 4. [**OK**] をクリックします。
- 5. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力 して [**OK**] をクリックします。

Microsoft Project で作業計画が開きます。



Plug-in for PPM が作業計画を開く必要があるため、一時的な Microsoft Project ファイル (PPM_Project.mpp) が作成されます。このファイルを保存しないでください。また、 このファイルを使用して Microsoft Projectで作業計画を手動で再度開かないでください。一 時ファイルが HP Project Management から開かない場合、Microsoft Project は最新、また は正しい作業計画を開いていない可能性があります。作業計画が Microsoft Project で開く と、一時ファイルは削除されます。

Microsoft ProjectからHP Project Management 作業計画を開く

HP Project Management を使用してプロジェクトを管理するプロジェクトマ ネージャは、Microsoft Project でMicrosoft Project からHP Project Management 作 業計画を開けます。マネージャは、Microsoft Project ファイルを外部の閲覧者 (プロジェクトマネージメントオフィスグループなど)に配布できます。また、 マネージャはMicrosoft Project ファイルをHP Project Management と定期的に同 期し、配布のためにMicrosoft Project レポートを実行することもできます。

HP Project Management 作業計画と Microsoft Project 側対応物との同期の詳細に ついては、「HP Project Management と Microsoft Projectの同期モードの設定」(276 ページ)を参照してください。

Microsoft Project で HP Project Management 作業計画を開くには、次の手順を実行します。

- Microsoft Projectの [アドイン] タブ領域で、[HP PPM Center] > [PPM 作業計 画を開く] を選択します。
- 2. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力 して [**OK**] をクリックします。

3. 開く作業計画を検索してから選択します。

アクティブな作業計画のあるプロジェクトからのみ選択できます。さらに システムは、ユーザが選択した作業計画がすでにMicrosoft Projectと同期さ れているかどうかを示します。

4. [選択]をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。

[HP PPM Center] > [エラー、警告、および情報の表示] を選択して、Microsoft Project で作業計画を開くときに発生した情報メッセージ、エラー、警告を 表示します。

HP Project Management 内でのプロジェクトのタスク構造とタスク名および Microsoft Project でのプロジェクトは同一です。タスク間には一対一のリレー ションシップがあり、いずれのプロジェクトでも同じ順番でタスクが表示さ れます。タスクは固定期間としてマークされます。これにより、リソースの アサインと工数が一致します。実績のないタスクのスケジュールされた開始 日と終了日は、HP Project Management と Microsoft Project で等しくなります。

Microsoft Project では開始日と終了日、Microsoft Project のリソースカレンダー を基に期間が計算されます。タスクの期間とロールアップ期間は2アプリケー ション間で若干異なる場合があります。

期間の差違は次の理由により生じることもあります。

- カレンダーの例外と祝日(同期されていない場合)
- Microsoft Projectが自動計算モードにあるときのタスク制限(たとえば、タスク2がタスク1終了時に開始する場合にタスク1の期間が変更されると、タスク2の開始日も変更されます)。

Microsoft Projectのプロジェクトカレンダーに適用される地域のカレンダー設定には、次の項目があります。

- 1日あたりの時間数
- 1週間当たりの営業日数

変更を迅速に確認するためのカスタムフィルタとテーブルが利用できます。 詳細については、「カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル」(247ペー ジ)を参照してください。

HP Project ManagementへのMicrosoft Project ファイル作業計画の送信

HP Project Management に Microsoft Project 作業計画を送信すると ([HP PPM Center] > [PPMに作業計画を送信] メニュー選択を使用)、Microsoft Project 作業計画と HP Project Management プロジェクト間に関連付けが作成されます。 Microsoft Project作業計画は1つのHP Project Management プロジェクトとのみ関 連付けられます。

Plug-in for PPMは、Microsoft Project 作業計画から空のHP Project Management 作業計画に計画情報と実績の両方を送信します。このメニュー選択を使用して、 既存のHP Project Management 作業計画にある計画情報と実績を更新すること はできません。

Microsoft Projectからファイルを送信する前に、HP Project Managementで作業計画のないプロジェクトの作成が必要となる場合があります。

3つの同期モードのどのモードで構成されている HP Project Management プロ ジェクトにも、Microsoft Project 作業計画を送信できます。プロジェクト管理 の方針から、Microsoft Project 作業計画を空の HP Project Management 作業計画 に送信するタイミングと理由を判断できます。

たとえば、HP Project Management制御モードでは、既存のMicrosoft Project作 業計画を基に新規HP Project Management プロジェクトを作成する場合や、既 存のMicrosoft Project 作業計画をHP Project Management プロジェクトに変換す る場合に、HP Project Management にMicrosoft Project 作業計画を送信できます。

共有制御モードでは、HP Project Management で実績を収集するものの、既存 のMicrosoft Project 作業計画を使用したり、Microsoft Project の計画ツールを使 用する場合には、HP Project Management に Microsoft Project 作業計画を送信し ます。

Microsoft Project 制御モードでは、HP Project Management を使用してプロジェクトを公開して PPM Dashboard でプロジェクトを表示するために、HP Project Management に Microsoft Project 作業計画を送信します。

HP Project ManagementプロジェクトにMicrosoft Project作業計画を送信すると、 Microsoft Project内の現在の.mppファイルを基にしてHP Project Management内 で新規作業計画が作成されます。Microsoft Project Serverを使用するプロジェ クトは若干異なった動作をします。「Microsoft Project Serverを使用するプロジェ ジェクトの操作」(327ページ)を参照してください。 HP Project ManagementにMicrosoft Project 作業計画を送信するには、次の手順を実行します。

- Microsoft Projectの [アドイン] タブ領域で、[HP PPM Center] > [PPMに作業 計画を送信] を選択します。
- 2. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力 して [**OK**] をクリックします。
- 3. [プロジェクトの選択]ダイアログで [検索]をクリックします。
- 4. Microsoft Project 作業計画の送信先プロジェクトを選択します。

作業計画のないプロジェクトのうち、ユーザがプロジェクトマネージャで あるプロジェクトのみ選択できます。このようなプロジェクトが存在しな い場合、HP Project Management で作成する必要があります。

- 5. [選択]をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
- 統合により、Microsoft Project制御または共有制御のHP Project Management プロジェクト用に、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に 実行されます。HP Project Management でMicrosoft Project内のリソースを自 動的にマップできない場合、[リソースのマップ]ダイアログが表示され ます。

初回の同期時またはMicrosoft Projectに新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。詳細については、「リソース」(251ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、[**完了**]をクリック します。

後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップされていな いリソースのマッピングの指定を行えます。[リソースのマップ]ダイアロ グの詳細については、「アプリケーション間でのリソースの手動マップ(共 有制御モードおよびMicrosoft Project制御モード)」(317ページ)を参照して ください。

 HP Project Management プロジェクトがHP Project Management制御または共 有制御の場合、[実績値の送信]ダイアログが表示されます。[実績を含める] (HP Project Managementに実績を送信)、または [実績を無視する] (HP Project Managementに実績を送信しない)のいずれかを選択する必要があります。 選択したら、[OK] をクリックします。 8. [統合は完了しました]ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました]ダイアログから、Microsoft Project 作業計画とHP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[情報を表示]をクリックして、作業計画をHP Project Managementに 送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示する こともできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細について は、「同期ログの有効化」(300ページ)を参照してください。

[完了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、デフォルトで.mppファイルに.bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。詳細については、「Microsoft Project ファイルのバックアップ」(299ページ)を参照してください。

同期中、HP Project ManagementはHP Project Management ベースとリソースカ レンダーを基に各タスクの期間を再計算しますが、開始日と終了日は維持さ れます。

HP Project Management プロジェクトは、まず [計画中] ステータスがアサイン されます。プロジェクトマネージャが日付が正しいことを確認した後は、プ ロジェクトを [**アクティブ**] ステータスに移行する必要があります。

HP Project Management 作業計画がHP Time Management と同期し、同期モードがHP Project Management制御モードと共有制御モードであれば、HP Time Managementから作業計画に実際の工数をロールアップするときに、実際の工数が変更されていない場合(タイムシートを使 用して新しい時間が記録されていない場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されませ ん。実際の工数が変更されている場合(タイムシートを使用して新しい時間が記録されている 場合)、作業計画の対応する実際の工数は更新されます。このため、作業計画からHP Time Managementに実際の工数をロールアップするとき、HP Time Managementの実際の工数が更 新されていれば、Microsoft Project 作業計画由来の実績は上書きされます。HP Time Managementの実際の更新が更新されていない場合、Microsoft Project作業計画由来の実績は保 持されます。

HP Project Managementからの関連付けられた作業計画の更新 (HP Project Management制御モード)

HP Project Managementが作業計画を制御する場合、関連付けられたHP Project Management作業計画からMicrosoft Projectファイルを更新できます。Microsoft Projectファイルに直接行われた変更は、この更新中に上書きされます。

Plug-in for PPMがMicrosoft Projectテーブル表示で、Microsoft Projectによって 自動的に変更されたスケジュール日を強調表示できるようにすることができ ます(「HP Project Managementにより制御される作業計画の強調表示の有効化」 (298ページ)を参照してください)。有効である場合の強調表示の色は青色です。

HP Project Managementの関連付けられた作業計画からMicrosoft Projectファイルを更新するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。

2. [HP PPM Center] > [PPM プロジェクトから作業計画を更新] を選択します。

HP Project Managementからの実績の取得 (共有制御モード)

HP Project Management と Microsoft Project が計画の制御を共有する場合、関連 付けられた HP Project Management 作業計画から取得した実績で Microsoft Project ファイルを更新できます。統合により、新しい実績で更新される Microsoft Project 作業計画内のタスクが表示され、変更が予期したものではな い場合には更新をキャンセルすることができます。

Microsoft Project は、実績フィールド内のフィールド値を計算する方法を決定 する、内部ルールを保持しています。これにより、各アプリケーション内の データが厳密には一致しなくなる状況が発生します。実績情報の転送を管理 するには、そのプロジェクトのMicrosoft Project統合ポリシーを使用してくだ さい。詳細については、「Microsoft への PPM Center 情報の転送」(279ページ) を参照してください。 共有制御を使用する計画で、HP Project Managementからの実績でMicrosoft Project 作業計画を更新するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [Retrieve Actuals from PPM] を選択します。

統合により、Microsoft Project統合ポリシーの転送実績情報設定で指定され た実績が取得されます。

[PPM 実績値を取得中]ダイアログボックスが開き、変更されたタスクと変更の性質が表示されます。変更が予期したものとは異なる場合、[キャンセル]をクリックして更新をキャンセルできます。

[続行]をクリックして、変更を確定します。

4. [統合は完了しました]ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました]ダイアログから、Microsoft Project 作業計画とHP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[情報を表示] をクリックして、作業計画をHP Project Managementに 送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示する こともできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細について は、「同期ログの有効化」(300ページ)を参照してください。

[**完了**]をクリックして、ダイアログを閉じます。

Microsoft Project 作業計画は HP Project Management からの新しい実績で更新され、実績が変更されたタスク (変更された実績)と Microsoft Project の内部フィールドルールの結果としてスケジュール情報が変更されたタスク (影響を受けた実績)を特定する新しいテーブルが Microsoft Project で開きます。詳細については、「フィールドに対する Microsoft Project ルールの影響」(246ページ)を参照してください。

デフォルトでは、変更された実績があるタスクは赤色で表示され、影響を 受けた実績があるタスク (Microsoft Projectにより実行される自動計算の結 果としての変更)は青色で表示されます。これらの色は、プロジェクト設定 のMicrosoft Project統合ポリシーで設定します。設定の詳細については、「統 合のためのプロジェクトレベルの設定」(274ページ)を参照してください。 カスタムフィルタと統合により提供されるデータテーブル表示を使用して、Microsoft Projectで変更された実績を表示することもできます。詳細については、「カスタム Microsoft Project フィルタとテーブル」(247ページ)を参照してください。

Microsoft Project で通常のガントチャート表示に戻すには、[表示]>[テーブ ル]>[エントリ]を選択します。

Microsoft ProjectからHP Project Managementへの作業計画 (計画) 情報の送 信 (共有制御モード)

> HP Project Management と Microsoft Project が作業計画の制御を共有する場合、 関連付けられた HP Project Management 作業計画を Microsoft Project ファイルか らの計画情報 (作業内訳情報、スケジュール、およびアサインなど)で更新で きます。

> Microsoft Project から HP Project Management に作業計画情報を送信するには、 次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- [HP PPM Center] > [Update PPM Project with Work Plan Information (作業計 画情報でPPM プロジェクトを更新)] を選択します。
- 3. 統合により、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に実行されます。HP Project Management でMicrosoft Project内のリソースを自動的に マップできない場合、[リソースのマップ]ダイアログが表示されます。
- 初回の同期時または Microsoft Project に新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。詳細については、「リソース」(251ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、[**完了**] をクリック します。後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップさ れていないリソースのマッピングの指定を行えます。[リソースのマップ] ダイアログの詳細については、「アプリケーション間でのリソースの手動 マップ (共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード)」(317ページ) を参照してください。 4. [統合は完了しました]ダイアログが表示され、統合が完了します。

[統合は完了しました]ダイアログから、Microsoft Project 作業計画とHP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[情報を表示]をクリックして、作業計画をHP Project Managementに 送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示する こともできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細について は、「同期ログの有効化」(300ページ)を参照してください。

[完了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、デフォルトで.mppファイルに.bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。詳細については、「Microsoft Projectファイルのバックアップ」(299ページ)を参照してください。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エラーが発生する場合、「必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除」 (335ページ)を参照してください。

HP Project Managementへの関連付けられた作業計画の更新 (Microsoft Project制御モード)

Microsoft Project が作業計画を制御する場合、Microsoft Project ファイルから関連付けられたHP Project Management 作業計画を更新できます。

Microsoft Project ファイルから HP Project Management の関連付けられた作業計 画を更新するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- [HP PPM Center] > [Update PPM Project from Work Plan (PPM プロジェクト から作業計画を更新)] を選択します。
- 統合により、アプリケーション間のリソースマッピングが自動的に実行されます。HP Project Management でMicrosoft Project内のリソースを自動的にマップできない場合、[リソースのマップ]ダイアログが表示されます。



初回の同期時またはMicrosoft Projectに新規リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。詳細については、「リソース」(251ページ)を参照してください。

マップされていないリソースのマッピングを指定して、[完了]をクリック します。後で、自動マッピングの確認、自動マッピングの変更、マップさ れていないリソースのマッピングの指定を行えます。[リソースのマップ] ダイアログの詳細については、「アプリケーション間でのリソースの手動 マップ(共有制御モードおよび Microsoft Project 制御モード)」を参照して ください。

4. [統合は完了しました]ダイアログが表示され、統合が完了します。

Microsoft Projectのリソースまたはタスクが削除され、そのリソースやタスクにHP Project Managementで構成された実績がある場合、またはそのタスクがHP Project Management で必要な場合、統合は失敗します。詳細については、「必要なタスク、実績のあるタスク/ リソースの削除」(335ページ)を参照してください。

[統合は完了しました]ダイアログから、Microsoft Project 作業計画とHP Project Management プロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[**情報を表示**] をクリックして、作業計画をHP Project Managementに 送信するときに発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示する こともできます。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細について は、「同期ログの有効化」(300ページ)を参照してください。

[完了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信するたびに、デフォルトで.mppファイルに.bak 拡張子が付けられ、元のファイルと同じディレクトリに自動的に保存されます。詳細については、「Microsoft Projectファイルのバックアップ」(299ページ)を参照してください。

アプリケーション間でのリソースの手動マップ (共有制御モードおよび Microsoft Project制御モード)

共有制御モードとMicrosoft Project制御モードでは、同期中、Microsoft Project リソースはPPM Centerリソースに自動的にマップされます。初回の同期時ま たは(同期中に)Microsoft Projectに新規リソースを追加すると、自動リソース マッピングが行われます。リソースを手動でマップすることもできます。自 動リソースマッピングの詳細については、「リソース」(251ページ)を参照して ください。リソースを手動でマップする方法の詳細については、「手動でリ ソースをマップする方法」を参照してください。

リソースをマップしたりマップを解除するときには、以下の点を考慮します。

- プロジェクト参加者のリストには、リソース、プロジェクトマネージャ、
 利害関係者、およびサマリタスクオーナが含まれています。
- リストされるHP Project Management リソースは、現在のユーザが管理する リソースプール内のリソース、またはプロジェクトのスタッフィングプロ ファイル内のリソースであるユーザです。
- 一部のMicrosoft Project リソースは HP Project Management リソースに自動 的にはマップされないことがあります。マップされないリソースには、次 の2つのタイプがあります。最初のタイプは、Plug-in for PPM により自動 的にマップすることができず、各 PPM Center リソース列に疑問符が表示さ れるリソースです。2番目のタイプは、意図的にマップしないように設定 され、各 PPM Center リソース列が空フィールドとなるリソースです。
- 一部のリソースを意図的にマップしないようにすることができます。この 場合、これらのリソースに関連付けられた工数はHP Project Managementの タスクで未アサイン工数として表示されます。
- 単一のHP Project Management リソースを複数の Microsoft Project リソース にマップできます。ただし、これらの Microsoft Project リソースは、同じタ スクにアサインできません。

手動でリソースをマップする方法

Microsoft Project から HP Project Management にリソースを手動でマップするには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [リソースのマッピングの表示] を選択します。

[リソースのマップ] ダイアログが開きます。テーブルで、各行はMicrosoft Project リソースに関連付けられます。これらのリソースは1つまたは複数 のPPM Center リソースにマップしたり、マップ解除できます。マップされ ないリソースには、各PPM Center リソース列に疑問符が表示されたり、各 PPM Center リソース列が空フィールドになります。

- 3. Microsoft Project リソースをマップしたりマップ解除できます。
 - Microsoft Project リソースをマップするには、次の手順を実行します。
 - a. テーブルから Microsoft Project リソースを選択して、[**マップ**] をクリッ クします。

[プロジェクトの参加者] ダイアログボックスが開きます。テーブルに は、プロジェクトの参加者として定義される PPM Center リソースがリ ストされます。

- b. テーブルからリソースをマップしたり、追加のPPM Center リソースを 検索できます。
 - テーブルからリソースをマップするには、次の手順を実行します。
 - i. テーブルからリソースを選択します。
 - ii. [選択]をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
 - o 追加のPPM Center リソースを選択するには、次の手順を実行します。
 - i. [検索] をクリックします

[リソースの検索]ダイアログが開きます。

- ii. 該当するフィールドに検索基準を指定します。
- iii. [検索] をクリックします。

[リソースの検索]ダイアログが再度読み込まれ、検索結果が表示 されます。 iv. マップする1つのリソースを選択して [選択] をクリックします。

- c. [リソースのマップ]ダイアログでマッピングを確認します。
- Microsoft Project リソースをマップ解除するには、次の手順を実行します。
- a. テーブルから Microsoft Project リソースを選択して、[マップ解除] をク リックします。
- b. [リソースのマップ]ダイアログでマッピングを確認します。
- 4. [**完了**] をクリックします。
- 5. マップされないリソース (Plug-in for PPM で自動的にマップできず、意図 的にマップしないように設定されていないリソース) が存在する場合、警 告メッセージが表示されます。
 - マップされないリソースを保存するには、[続行]をクリックします。
 - マップされないリソースをマップするには、[前へ]をクリックします ([リソースのマップ]ダイアログに戻ります)。

アプリケーション間のエンタープライズリソースの手動マッピング

Microsoft Project エンタープライズプロジェクトとの同期中、Microsoft Project リソース (エンタープライズとローカルの両方) はPPM Center リソースに自動 的にマップされます。初回の同期時または (同期中に) Microsoft Project に新規 リソースを追加すると、自動リソースマッピングが行われます。リソースを 手動でマップすることもできます。自動リソースマッピングの詳細について は、「リソース」 (251ページ)を参照してください。リソースを手動でマップす る方法の詳細については、「手動でリソースをマップする方法」(318ページ)を 参照してください。

エンタープライズリソースをマップしたりマップを解除するときには、以下 の点を考慮します。

- プロジェクト参加者のリストには、リソース、プロジェクトマネージャ、
 利害関係者、およびサマリタスクオーナが含まれています。
- リストされるHP Project Management リソースは、現在のユーザが管理する リソースプール内のリソース、プロジェクトのスタッフィングプロファイ ル内のリソース、または任意のリソースプールのリソース (RM_OVERRIDE_ASSIGNMENT_CONTROLSパラメータがTRUE.に設定されて いる場合)であるユーザです。

- 一部のMicrosoft Project リソースはHP Project Management リソースに自動 的にはマップされないことがあります。マップされないリソースには、次 の2つのタイプがあります。最初のタイプは、Plug-in for PPM により自動 的にマップすることができず、各PPM Center リソース列に疑問符が表示さ れるリソースです。2番目のタイプは、意図的にマップしないように設定 され、各PPM Center リソース列が空フィールドとなるリソースです。
- 一部のリソースを意図的にマップしないようにすることができます。この 場合、これらのリソースに関連付けられた工数はHP Project Managementの タスクで未アサイン工数として表示されます。
- 複数のMicrosoftローカルリソースに単一のHP Project Managementリソース をマップできます。ただし、これらのMicrosoft Projectリソースは、同じタ スクにアサインできません。
- Microsoft エンタープライズプロジェクト内の Microsoft ローカルリソース と Microsoft エンタープライズリソースの両方に HP Project Management リ ソースをマップできます。
- HP Project Management リソースは、単一の Microsoft エンタープライズリ ソースにのみマップできます。
- Microsoft Projectエンタープライズリソースをマップして編集するには、PPM Center でMSPS リソースマッピングの作成アクセス許可、およびMSPS リ ソースマッピングの編集アクセス許可が必要です。詳細については、「エ ンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可」(321ペー ジ)を参照してください。
- Microsoft エンタープライズリソースと PPM Center リソースの両方がエン タープライズ全体で共有されます。Microsoft ローカルリソースは共有され ません。Microsoft エンタープライズリソースを PPM Center リソースにマッ プすると、マッピングもエンタープライズ全体で共有され、複数のエン タープライズオブジェクトで共有することができます。エンタープライズ リソースを再マップすると、変更が複数のエンタープライズプロジェクト に影響する可能性があることに注意してください。

リソースを手動でマップする方法の詳細については、「手動でリソースをマップする方法」(318ページ)を参照してください。

エンタープライズリソースをマップするときの [リソースのマップ] ダイアログでの 相違点

Microsoftエンタープライズリソースをマップするときの、[リソースのマップ] ダイアログの相違を以下に挙げます。

- エンタープライズリソース(マップされたエンタープライズリソースとマップされないエンタープライズリソース)のアイコンは、ローカルリソースのアイコンとは異なり、アイコンの周囲に赤色の正方形が表示されます。
- テーブルに新しい列 [エンタープライズ] が表示され、リソースがエンター プライズリソースであるかどうかが表示されます(この列が表示されるに は、プロジェクトがエンタープライズプロジェクトであり、Microsoft Project がMicrosoft Projectサーバに接続している必要があります)。

エンタープライズリソースをマッピングするためのアクセス許可

Microsoft エンタープライズリソースへの HP Project Management リソースの マッピングをマップして編集するには、表 10-12にある適切なアクセス許可が 必要になります。

表 10-12. Microsoftエンタープライズリソースのマッピング用アクセス許可

| アクセス許可 | 説明 |
|-----------------------|---|
| MSPS リソースマッピング の作成 | ユーザは次の操作を実行できるようになります。 HP Project Management リソースと Microsoft Project エン タープライズリソース間の新規マッピングを作成します。 |
| | ユーザは次の操作を実行できるようになります。 |
| MSPS リソースマッピング の編集 | • HP Project Management リゾースと Microsoft Project エン タープライズリソース間のマッピングを編集します。 |
| | Microsoft ProjectエンタープライズリソースからHP Project Management リソースをマップ解除します。 |

MSPS リソースマッピングの作成/編集アクセス許可は、次のセキュリティグ ループに自動的に付与されます。

- PPMのすべてのアクセス許可
- PPMプロジェクトマネージャ

HP Project Management で許可される条件付き編集

プロジェクトに選択した同期モードに応じて、プロジェクトの構造とタスク 情報はHP Project ManagementまたはMicrosoft Projectのいずれかによって制御 されます。プロジェクトに選択した同期の制御モードに応じて、HP Project Managementの一部の編集機能は無効になります。Microsoft Projectにより制御 される情報はHP Project Managementでは編集できません。

各同期モードにおける条件付き編集の制限に関するサマリを「条件付き編集 サマリテーブル」(265ページ)にリストします。

HP Project Management制御プロジェクトの編集

HP Project Management がプロジェクトを制御する場合、ユーザは HP Project Management ですべての情報を編集できます。これには、タスク構造の変更、 新規サブプロジェクトとタスクの追加と削除、およびタスクスケジュールと 実績フィールドの編集が含まれます。

Microsoft Project制御プロジェクトの編集

Microsoft Project がすべてのプロジェクト計画とトラックアクティビティを制 御する場合、HP Project Managementの対応する編集機能は無効になります。HP Project Managementとは異なり、Microsoft Projectと共有されないデータは編集 できます。これには、タスクアクティビティ、ロール、スキル値、説明、ユー ザデータ、通知、メモ、およびタスク参照が含まれます。

特定の作業計画テンプレートを強制するプロジェクトのタイプを操作すると きには、先にHP Project Management で指定された作業計画テンプレートから 作業計画を作成できます。次にMicrosoft Project で作業計画を開けます。

HP Project Managementでは、プロジェクトとタスク構造を変更できるすべての機能が無効になります。これには、次のコンポーネントが含まれます。

- [タスクの追加]アイコン
- [削除]アイコン

- [タスクのインデント/アウトデント] アイコン
- [タスクを上に移動/下に移動] アイコン

スケジュールにより日付と期間が変更されることがあるため、[プロジェクトの スケジュール] アイコンは無効になります。PPM Center プロジェクトのステー タスはこの同期モードでは変更できません。このため、[ステータスの変更] も無効になります。これらのアイコンのキーボードショートカットも無効に なります。

標準HP Project Managementインタフェースでは、マイタスクポートレットと[タ スクの詳細]ページでタスクの実績を入力することはできません。マイタスク ポートレットと[タスクの詳細]ページは、制御モードにかかわらず、アサイ ンされたユーザに現在の完了していないタスクを戻します。これにより、プ ロジェクトの参加者は状況を把握できます。Microsoft Project で収集される実 績は[作業計画の表示]ページで表示されます。

PPM Workbench、標準Webページ、またはその他の任意の方法のアクション でトリガされるかにかかわらず、HP Project Managementからのロールアップ 計算は無効になります。このため、HP Project Managementでのロールアップ 値は、HP Project Managementでの計算から通常は異なる値が得られる場合で あっても、Microsoft Projectと一致します。

共有制御モードでの編集

共有制御モードは、フィールドを無効にするときにその他2つのモードよりも 複雑になります。このモードでは、計画フィールドを変更しないまま実績 フィールドを変更できます。

[タスクの詳細] ページの [**リソース**] タブから、実績フィールドのみが編集可 能です。計画フィールドは無効です。[**スケジュール**] 表示では、サブプロジェ クト/タスクテーブルの計画フィールドも編集不可能です。

Microsoft Project 制御モードと同様、プロジェクトとタスク構造を変更できる すべての機能が無効になります。これには、次のコンポーネントが含まれます。

- [タスクの追加] アイコン
- [削除]アイコン

- [タスクのインデント/アウトデント] アイコン
- [タスクを上に移動/下に移動] アイコン

ー部のロールアップ操作が無効になります。実績フィールドのロールアップ は行われますが、スケジュールフィールドはロールアップされません。 Microsoft Projectからインポートされた値は保持されます。

共有制御モードで使用できる機能は、タスクの更新アクセス許可のみ付与さ れたユーザが使用できる機能と類似します。

Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの削除

Microsoft Project ファイルは、1つのHP Project Management プロジェクトとのみ 関連付けられます。Microsoft Project ファイルとHP Project Management プロジェ クト間の関連付けはいつでも削除できます。



Microsoft Project ファイルから HP Project Management プロジェクトにリンクする必要がなく なった場合のみ、関連付けを削除する必要があります。リンクを削除すると、ファイルの再関 連付けが不可能になる場合があります。

関連付けを削除するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [プロジェクトの詳細] を選択します。

[HP Project and Portfolio Management Center Integration の詳細] ダイアログ ボックスが開きます。

3. [関連付けの削除] をクリックします。

関連付けを削除すると、ボタンのラベルが[**関連付けの復元**]になります。 このボタンを使用することで、同じHP Project Management 作業計画の関連 付けを復元できます。

- 4. [削除]をクリックします。
- 5. [**OK**] をクリックします。
関連付けが削除されても、リソースのマッピングは保持されます。これにより、リソースを再 マップすることなく関連付けを復元できます。このため、プロジェクトを再リンクする場合、 リソースのマッピングは行われません(しかしリソースマッピングを手動で変更できます)。詳 細については、「手動でリソースをマップする方法」(318ページ)を参照してください。リンク が解除されたファイルからリソースマッピングを削除する場合、「リンクが解除されたファイル からのリソースマッピングの削除方法」(336ページ)を参照してください。

Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの復元

関連付けを削除した場合や意図せず削除してしまった場合に、Microsoft Project ファイルとHP Project Managementプロジェクト間の関連付けを復元できます。 Microsoft Project ファイルとHP Project Managementプロジェクト間に関連付け が存在しなかった場合、関連付けは復元できません。代わりに、HP Project ManagementプロジェクトにMicrosoft Projectファイルを送信します(「HP Project ManagementへのMicrosoft Projectファイル作業計画の送信」(309ページ)を参 照してください)。

関連付けを復元するには、次の手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- 2. [HP PPM Center] > [プロジェクトの詳細] を選択します。

[HP Project and Portfolio Management Center Integration の詳細] ダイアログ ボックスが開きます。ダイアログのフィールドは空になります。

3. [関連付けの復元] をクリックします。

関連付けされたHP Project Management 作業計画に関する情報が、ダイアロ グのフィールドに表示されます。

| フィールド名 | 説明 |
|--------|-------------------------------------|
| サーバ | PPM ServerのURL。 |
| ユーザ名 | PPM Serverにログオンするのに使用するユーザ名。 |
| 名前 | HP Project Management プロジェクトの名前。 |
| モード | HP Project Management プロジェクトの同期モード。 |

4. [**OK**] をクリックします。

Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けのリフレッシュ

Microsoft Project ファイルとHP Project Management プロジェクト間の関連付け をリフレッシュすると、作業計画内のタスクが調整され、作業計画が同期可 能になります。

Microsoft Project でHP Project Management 作業計画が開いていて、Microsoft Project で必要なタスクや実績のあるタスクを削除すると、作業計画を同期するときにエラーメッセージが表示されます。

必要なタスクを削除した場合、計画情報を同期できなくなります(共有制御モードと Microsoft Project 制御モード)。

実績のあるタスクを削除した場合、実績情報を同期できなくなります (HP Project Management制御モードと共有制御モード)。

作業計画を同期する前に、タスクを調整する必要があります。作業計画の関 連付けをリフレッシュすることで、タスクを調整できます。

Microsoft Project と HP Project Management 間の関連付けをリフレッシュするには、次の手順を実行します。

 Microsoft Projectの [アドイン] タブ領域で、[HP PPM Center] > [関連付けの リフレッシュ]を選択します。



- 2. 案内が表示されたら、HP Project Management ユーザ名とパスワードを入力 して [**OK**] をクリックします。
- 3. [プロジェクトの選択]ダイアログで [検索]をクリックします。
- 4. Microsoft Project 作業計画への関連付けのリフレッシュ先プロジェクトを選択します。

作業計画のあるプロジェクトのうち、ユーザがプロジェクトマネージャで あるプロジェクトのみ選択できます。このようなプロジェクトが存在しな い場合、HP Project Management で作成する必要があります。

- 5. [選択]をクリックするか、選択した項目をダブルクリックします。
- [タスクマッピングテーブルをリフレッシュ]ダイアログで、リフレッシュ する関連付けを確認します。タスクに一致するタスクやオプションが複数 存在する場合、最も適切なタスクやオプションを選択します。[続行]をク リックします。
- 7. [統合は完了しました]ダイアログが表示され、リフレッシュが完了します。

[統合は完了しました]ダイアログから、Microsoft Project 作業計画とHP Project Managementプロジェクト間の関連付けを削除できます。

また、[**情報を表示**]をクリックして、作業計画をリフレッシュするときに 発生した情報メッセージ、エラー、または警告を表示することもできま す。完全な情報トレースを有効にする方法の詳細については、「同期ログ の有効化」(300ページ)を参照してください。

[完了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

Microsoft Project Serverを使用するプロジェクトの操作

Microsoft Project Server ベースのプロジェクトを操作している場合、以下のようにHP Project Managementの動作は若干異なります。

- HP Project Management 制御モードの場合、Microsoft Project Server上のカレンダーを使用するように Plug-in for PPMを構成する必要があります。統合中、タスク情報を同期するのに、Plug-in for PPMはカレンダーを使用します。デフォルトで、使用されるカレンダーは PPM カレンダーになります(日本語の場合)。このカレンダーは、Plug-in for PPMのユーザプリファレンスから構成できます(「Plug-in for PPM用Microsoft Project Serverの設定」(304ページ)を参照してください)。カレンダーが構成されていないで、Microsoft Project Server にデフォルトカレンダーが存在しない場合、統合は失敗します。
- HP Project Managementにより制御される作業計画はHP Project Management からMicrosoft Projectで直接開くことはできません。
- Microsoft Project が実際の工数を与える場合、PPM Center はタスクの達成率 を計算します。実際の工数が与えられない場合、PPM Center は Microsoft Project 提供の達成率を使用します。

- Microsoft Project Serverベースのプロジェクトではバックアップファイル は作成されません。
- Microsoft Project Server用に作成された一時プロジェクトファイルをPPM Center と統合すると、一時Microsoft Project ファイルを閉じた後は、PPM Center からこのファイルを開くことはできなくなります。一時Microsoft Project ファイルはMicrosoft Project Serverで保存されず、存在しません。こ のため、PPM Center は統合先となる Microsoft Project ファイルを見つけら れません。

Microsoft Project に既存の PPM Center プロジェクトをインポートできます。 ただし、一時 Microsoft Project ファイルの一部であった Microsoft Project 固 有の情報 (追加列など) は失われます。Microsoft Projectに固有の情報はPPM Center との統合には含まれません。このため、一時 Microsoft Project ファイ ルとの最初の統合中、情報はPPM Center と統合されません。



Microsoft Project Server ベースのプロジェクトを作業計画と同期した後、Microsoft Project Server にプロジェクトをチェックインする必要もあります。

Microsoft Enterprise Project Managementを使用するプロジェクトの操作

Microsoft エンタープライズプロジェクトを操作するときには、以下の点を考慮します。

- HP Project Managementの動作は若干異なります。詳細については、「Microsoft Project Serverを使用するプロジェクトの操作」を参照してください。
- HP Project Management リソースにMicrosoftエンタープライズリソースをマッ プできます。詳細については、「アプリケーション間のエンタープライズ リソースの手動マッピング」(319ページ)を参照してください。
- 複数インスタンスのMicrosoft Project Serverと単一インスタンスのPPM Center を使用している場合、すべてのMicrosoft Project Serverインスタンス全体からMicrosoftエンタープライズリソースを一意に特定する必要があります。 詳細については、「複数 Microsoft Project Serverインスタンスの使用」を参照してください。
- 統合エンタープライズプロジェクトを開いている場合、Microsoft Project Serverへの接続の有無によって動作は異なります。この動作の説明については、表 10-13を参照してください。

 エンタープライズプロジェクトのローカルコピーを同期する場合 (Microsoft Project 2007のみ)、エンタープライズプロジェクトのローカルコピーに PPM Center プロジェクトを再リンクする必要があります。Microsoft Project Server に接続している場合、PPM Center リソースはMicrosoft エンタープラ イズとローカルのリソースにマップされます。接続していない場合、 Microsoft Project Server に接続するまでリソースマッピングは保留されます。

表 10-13. Microsoft Project Serverに接続しているときと接続していないときに、 統合エンタープライズプロジェクトを開く

| | Microsoft Project Serverに 接続している | Microsoft Project Serverに 接続していない |
|---|--|--|
| PPM Centerから統合 Microsoft エンタープライ ズプロジェクトを開く | 統合 Microsoft エンタープライズプロジェ クトが開きます。エンタープライズと ローカルのリソースマッピングは保持さ れます。 | 統合Microsoftエンタープライズプロ ジェクトは開けません。エンタープ ライズプロジェクトの新しいローカ ルコピーが作成される場合があり ます。 |
| Microsoft Projectから統合 PPM Center プロジェクト を開く | ユーザは次の操作を実行できます。 統合PPM Centerエンタープライズプロジェクトは開けません。エンタープライズとローカルのリソースマッピングは保持されます。 新しい Microsoft エンタープライズプロジェクトを作成できます。PPM Centerリソースがローカルリソースにマップされます。エンタープライズとローカルのリソース間に競合がある場合、ローカルリソースを置き換えるか名前を変更するように案内されます。 | 新しいローカルMicrosoftエンタープ ライズプロジェクトを作成できま す。PPM Center リソースがMicrosoft ローカルリソースにマップされます。 |

複数 Microsoft Project Server インスタンスの使用

複数インスタンスのMicrosoft Project Server と単一インスタンスのPPM Center を使用している場合、すべてのMicrosoft Project Server インスタンス全体から Microsoft エンタープライズリソースを一意に特定する必要があります。

Microsoft Project Server では、1インスタンス上のエンタープライズリソースに アサインされた ID を別インスタンス上の別のエンタープライズリソースにア サインできます。このため、複数の Microsoft Project Server インスタンス間で 同じ ID を使用できます。テキスト入力のエンタープライズカスタムフィール ド (フィールド ID ではない)を使用して、各エンタープライズリソースを一意 に特定する必要があります。



Microsoft Project Server 2003 と Microsoft Project Server 2007 は、異なるエンタープライズカ スタムフィールドをサポートします。Microsoft Project Server 2003では、既存のエンタープラ イズカスタムフィールド ([EnterpriseText1] など)のみを使用できます。Microsoft Project Server 2007では、新しいエンタープライズカスタムフィールドを作成できます。

PPM Server で、server.conf ファイルにパラメータMSPS_RESOURCE_ CUSTOM_FIELDを追加します。このパラメータは、エンタープライズリソース を一意に特定するのに使用する Microsoft Project Server エンタープライズカス タムフィールドの名前に設定する必要があります。server.conf ファイルの 編集方法の詳細については、『Installation and Administration Guide』を参照して ください。

Project Web Accessを使用するプロジェクトの操作

Project Web Access を使用してエンタープライズリソースをチェックアウトすると、Microsoft Project Server用一時プロジェクトファイルが生成されます。この一時プロジェクトファイルを PPM Center と統合できますが、この一時ファイルを閉じると、ファイルは Microsoft Project Server には保存されません。一時プロジェクトファイルを保存しても、Microsoft Project Server には保存されません。このため、一時プロジェクトファイルを閉じると、Microsoft Project Server から PPM Center上で統合プロジェクトファイルを開けなくなります。この一時ファイルは、Microsoft Project Server には存在しないプロジェクトファイルに関連付けられているためです。

トラブルシューティング

Microsoft Project は HP Project Management と重複しない、同期されない数多く の機能をサポートしています。Microsoft Project ファイルを HP Project Management にインポートしても、この情報は表示されません。Microsoft Project ファイルを HP Project Management に送信しても、Microsoft Project からこのデー タは削除されません。Microsoft Project で HP Project Management 作業計画を開 いても、このデータは作成されず、デフォルト値は入力されません。

その他のMicrosoft Project機能は、2アプリケーション間で同期されるスケジュー ルとトラック情報を扱います。これらの場合、インタフェースはMicrosoft Project データをHP Project Managementが表示できる情報に変換します。インタフェー スは、元の作業計画の意図を極力維持しようとします。

エラーと警告

同期中にエラーや警告が発生すると、[エラーと警告]ウィンドウがエラーや 警告を通知して、問題を解決するための推奨案を表示します。

- エラーとは、タスクが成功するのに解決する必要がある重大な問題のことです。エラーがあると統合処理が停止します。ここで、問題を修正して統合を再開できます。
- 警告は情報通知用です。警告を受信すると、警告に対応するか無視するか を選択できます。

Windows VistaやWindows 7へのVisual Studio Tools for Office (VSTO) のイン ストール

Windows Vista やWindows 7システムでは、システムにソフトウェアをインストールできる能力があっても、Plug-in for PPMインストーラを使用してVSTOをインストールするときに問題が発生する場合は、管理者としてPlug-in for PPMインストーラを起動することが必要な場合があります。次の手順を実行します。

1. [setup.exe] ファイルを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。

2. [OK] をクリックします。

3. 指示に従って、VSTO をインストールします。VSTO のみをインストール します (このとき、Plug-in for PPM はインストールしません)。

VSTOをインストールし、Plug-in for PPMインストーラを終了してから、Plug-in for PPMをインストールします(「インストール手順」(233ページ)を参照)。

HP PPM Centerメニューが表示されないときのPlug-in for PPMの再有効化 方法

PPM Centerが動作中に予期せず停止した場合 (PPM Centerが実行中のシステム で問題が発生した場合など)、HP PPM Center メニューを表示するため、 Microsoft Project から Plug-in for PPM を再度有効にすることが必要な場合があ ります。

Microsoft Project から Plug-in for PPM を再度有効にするには、次の手順を実行 します。

- 1. [**ヘルプ**]>[**バージョン情報**]をクリックします。
- 2. [使用できないアイテム] をクリックします。
- 3. Plug-in for PPM がリストされたら、リストから削除して有効にします。

無効なSSL証明書でのPPM Serverへの接続

PPM Server上のSSL証明書が無効である場合、PPM Serverに接続しようとする と警告メッセージが表示されます。[常に無視](この警告メッセージを常に無 視する)、[セッションのみ](この Microsoft Project セッションでのみ警告メッ セージを無視する)、または[キャンセル](PPM Serverに接続しない)から選択 できます。

[常に無視]を選択すると、PPM Serverへの接続を変更するまでメッセージは 常に無視されます。[常に無視]を選択した後に、警告メッセージを表示する 場合は、PPM Server接続を変更し、変更を保存してから、PPM Server接続を 元の接続に戻します。

システムへのシングルサインオンとMicrosoft Internet Explorer

システムのシングルサインオンのアクセスに問題がある場合、Plug-in for PPM プロキシ設定とMicrosoft Internet Explorerのプロキシ設定が同じであることを 確認します。

HP PPM Center メニュー

HP PPM Centerメニューには、最後にアクティブであった Microsoft Projectファ イルのメニュー選択が表示されます。たとえば、Microsoft Projectで2つのプロ ジェクトファイルを開いていて、1つは Microsoft Project により制御され、もう 1つは共有制御である場合に、Microsoft Project 制御のファイルを閉じると、HP PPM Centerメニューには(共有制御プロジェクトが唯一の開いていて表示さ れているプロジェクトであっても) Microsoft Project 制御プロジェクトのメ ニュー選択が表示されます。正しいメニュー選択を表示するには、共有制御 プロジェクトの任意の場所をクリックして、アクティブにする必要があります。

PPM CenterからMicrosoft Projectで作業計画を開く

Internet Explorer と Microsoft Project 2007 を使用して PPM Center から Microsoft Project で作業計画を開くと、Microsoft Project ファイルのロックファイルが生成されます。ただし、Microsoft Project ファイルを閉じても、ロックファイルはリセットされません。PPM Center から Microsoft Projectで (Internet Explorerを 再起動することなしに)同じ作業計画を開くと、「使用中のファイル」メッセージが表示され、Microsoft Project ファイルは読み取り専用でのみ開けます (ファイルが使用中ではなくなっても通知するように選択することもできます)。

PPM Centerから開いた Microsoft Project ファイルを閉じた後、次のいずれかの 操作を実行してロックファイルをリセットします。

ロックファイルを削除します

任意のInternet Explorer ウィンドウから、次のいずれかの操作を実行します。

- a. [ツール]>[インターネットオプション]を選択します。
- b. [全般] タブ領域の [インターネットー時ファイル] セクションで、[ファ イルの削除] をクリックします。

- c. [ファイルの削除]ダイアログで [検索]をクリックします。
- d. [インターネットオプション]ダイアログで [OK] をクリックします。
- Internet Explorer を再起動します
- Internet Explorer が実行中のシステムを再起動します

Microsoft Project での手動スケジュールモード

このオプションを選択しなかったにもかかわらず、Microsoft Projectファイル が手動スケジュールモードである場合、次のいずれかが原因である可能性が あります。

- HP Project Management との前回の同期が失敗した。同期中、HP Project Management制御モードまたは共有コントロールモードでは、スケジュール モードは手動に設定され、同期が完了すると自動に戻ります。同期が完了 しないと、スケジュールモードが手動のままになる可能性があります。
- 手動モードのプロジェクトを開いて Microsoft Project ファイルを作成した 結果、プロジェクトが手動モード設定をデフォルトとして継承した。

ロールアップ値がMicrosoft Projectで再計算されません

Microsoft Projectには、自動と手動の2つのスケジュールモードがあります。デフォルトで、プロジェクトは自動スケジュールモードであり、ロールアップ 値は自動的に再計算されます。なんらかの理由でプロジェクトが手動スケ ジュールモードになった場合(「Microsoft Project での手動スケジュールモー ド」を参照)、次のいずれかの操作を実行できます。

- プロジェクトを自動スケジュールモードに設定する。
- [F9] を選択して、ロールアップ値を再計算する。



作業計画がHP Project Management制御の場合、ロールアップ値を再計算する必要はありません。ロールアップ値を再計算すると、プロジェクトの日付が変更されます。

同期の失敗

同期は、次の理由により失敗したり、失敗したかのように見えることがあり ます。

- Microsoft Projectのヘルプのダイアログが開いて、対応が必要な場合。ダイアログが開いている場合、WindowsのタスクバーでMicrosoft Projectのボタンが点滅するはずです。[今後表示しない]チェックボックスを選択して、ダイアログを閉じて同期を続行します。
- Microsoft Projectのダイアログが開いて、対応が必要な場合。ダイアログが 開いている場合、WindowsのタスクバーでMicrosoft Projectのボタンが点滅 するはずです。Microsoft Projectダイアログに対応して、同期を続行します。



ダイアログで求められた場合でも、別のMicrosoft Projectファイルを開かないでください。

別のMicrosoft Projectファイルが開いている。同期を再開する前に、開いているMicrosoft ProjectファイルとMicrosoft Projectをすべて閉じます。

必要なタスク、実績のあるタスク/リソースの削除

Microsoft Project と HP Project Management 間で作業計画を共有する場合、 Microsoft Project で次のエンティティタイプのいずれかを削除すると、次回の 統合処理が停止するエラーが発生します (HP Project Managementで実績のある タスクやリソースは削除できません)。

- 作業計画が最初にHP Project Management で作業計画テンプレートから作成された場合の、作業計画テンプレートで必要としてマークされたタスク。
- 実績のあるタスクやリソース。

実績のある Microsoft Project 内のタスクやリソースを削除しようとして統合エラーが発生する場合、次の操作のいずれかを実行できます。

- 最新の編集を再適用するための起点としてバックアップコピーを使用する。バックアップの詳細については、「Microsoft Project ファイルのバック アップ」(299ページ)を参照してください。
- Microsoft Project で [HP PPM Center] > [関連付けのリフレッシュ] を選択して、タスクと依存関係を復元する。

Microsoft Projectの関連付けを使用する削除済みタスクの復元

Microsoft Project で [HP PPM Center] > [プロジェクトの詳細] を選択することによ り、作業計画をMicrosoft Project ファイルに手動で再リンクできます(「Microsoft Project と HP Project Managementの関連付けの復元」(325ページ)を参照)。再度 確立するリンクのプロジェクトを選択すると、統合はタスクごとに作業計画 を調査し、Microsoft Project 側対応物が不明瞭であったり存在しない作業計画 タスクのリストを表示します。各タスクについて、以下のオプションから選 択できます。

- Microsoft Project計画で一致するタスクを選択する
- Microsoft Project 計画で新規タスクを作成する
- なにもしない

HP Project Management タスクに関連付けられていない Microsoft Project 計画に あるすべてのタスクが無視されます。

リンクが解除されたファイルからのリソースマッピングの削除方法

PPM CenterプロジェクトとMicrosoft Projectファイル間の関連付けを削除して も、(ファイルの再関連付けを行う場合に備え)リソースマッピングは保持さ れます。

リンクが解除されたファイルからリソースマッピングを手動で削除できま す。リソースマッピングを手動で削除した後、ファイルを再リンクすると、自 動リソースマッピングが作成されます。

リンクが解除されたファイルからリソースマッピングを削除するには、次の 手順を実行します。

- 1. Microsoft Project でプロジェクトを開きます。
- マッピングに使用された PPM Center ID が含まれる列を見つけます。列の 名前は Microsoft Project 統合ポリシー内の [PPM リソース情報には、1つの Microsoft Project リソースカスタムフィールドが必要です] フィールドで設定 されます (デフォルトで列の名前は Number 20 です)。
- 3. この列からすべてのPPM Center IDを削除します。
- 4. プロジェクトを保存します。

第 11 章 HP Time Management との統合

HP Time Management統合の概要

本章では、HP Project ManagementをHP Time Managementと統合することより、 リソースがさらに細かな方法でプロジェクトの作業時間をレポートできるよ うにする方法を説明します。本章は、HP Time Managementをご購入いただき インストールがお済みのお客様のみを対象としております。

プロジェクト設定で、[**コストと工数**] ポリシー(主に [Time Management] セクション)を使用して、特定プロジェクトについて HP Time Management と HP Project Management を統合します。以下の項目を指定します:

- タイムシート上でプロジェクトのタスクを追跡する詳細レベル
- プロジェクトの時間を記録できるユーザ
- 特定のプロジェクト代表者が記録された時間を承認する必要の有無
- トラック対象工数フィールド
- タスク完了後に時間を記録可能かどうか

統合を構成する際には以下の点を検討します:

- HP Time Managementのライセンスが付与された任意のリソースは、統合されたプロジェクトの実績を入力するのに、プロジェクトの作業計画ではなく、タイムシート、またはマイタスクポートレットを使用する必要があります。
- トラックする実績を構成できます。プロジェクトの実績のトラックに HP Time Management が使用される統合プロジェクトの場合、実際の工数をト ラックするリソースが必要です。

- リソースがログをとる時間に対する、プロジェクトのレベル(プロジェクト、サマリタスクレベル1~6、またはタスク)を構成できます。たとえば、時間がサマリタスクレベル2で記録される場合、階層的にレベル2より下の任意のタスクにアサインされたリソースは、サマリタスクレベル2にあるタスクの時間のみをレポートします。
- 見積もり残存工数がトラック対象の場合、タスクレベルで時間を記録する 必要があります。
- 統合プロジェクトに対して時間を記録した後は、記録はどのサマリタスクレベルからもタスクレベルに変更できず、プロジェクトレベルからサマリタスクレベルに変更できなくなります。ただし、タスクレベルからサマリタスクレベルに、サマリタスクレベルからプロジェクトレベルに記録を変更することはできます。
- 統合プロジェクトに対して時間を記録した後は、統合を無効にできなくなります。
- リソースは、HP Project Management と HP Time Management の両方から同じ タスクに時間を寄与することはできません。このため、部分的に完了して いるタスクがあるプロジェクトの統合を検討している場合、まず実績が最 新であることを確認し、次に部分的に完了しているタスクそれぞれを完了 済みタスクと新規タスクとに切り分けます。
- HP Time Management アサインによって更新される一部の実績フィールドは、[タスクの詳細]ページで読み取り専用になります。アサインされたリソースが工数を入力した後は、そのアサインされたリソースのみが工数を削除できます。
- アサインされたリソースによって記録された時間は、タスクとサマリタス クの寄与のように表示されます。
- 統合プロジェクトのマネージャはHP Time Management ユーザにすべての 作業計画タスクをアサインする必要はありません。HP Project Management ユーザと未アサイン工数の実績は自動的にロールアップされます。

タイムシート更新サービス (TM-PM同期サービス) は、サービスが指定する間隔 (デフォルトで 3時間毎) で、タイムシートのタスクに入力された実際の工数の更新を、プロジェクト作業計画 の同じタスクに送信します。このような更新をサービスとして提供することにより、HP Time Managementのパフォーマンスが向上します。サービスの構成の詳細については、システム管 理のガイドとリファレンスを参照してください。 [Time Management] セクションのほか、[**コストと工数**] ポリシーには、[リソー ス負荷の設定] セクションと [Financial Management] セクションもあります。

[リソース負荷の設定] セクションの詳細については、「リソース負荷の設定」 (51ページ) を参照してください。

[Financial Management] セクションでは、自動コスト計算を使用するかどうか を指定できます。自動コスト計算を使用する場合には、リソースがタイムシー トを更新して保存すると、HP Time Management は工数データをHP Project Managementに自動的に転送し、HP Project Management はプロジェクトの実際 のコストを計算して更新します(その後、HP Project Management で実際のコス トを直接的に編集することはできなくなります)。作業計画からすべての値を ロールアップしない場合(財務サマリにコストデータを手動で入力する場合) にも、HP Time ManagementはHP Project Managementに工数データを転送しま す。しかし、HP Project Management は実際のコストを計算しません。詳細に ついては、「Financial Management」(53ページ)を参照してください。

[**プロジェクトフィールド**] ポリシーは、[予想終了日] とその他のフィールドを トラックするかどうかを決定します。

プロジェクトのTime Managementの有効化

[コストと工数] ポリシーは、指定されたプロジェクトタイプでHP Time Managementがアクティブであるかどうかを決定します。Time Managementが 有効なプロジェクトタイプを使用して作成されたプロジェクトは、実績を収 集するのにHP Time Managementを使用できます。HP Time Managementを使用 するための[コストと工数] ポリシーの構成の詳細については、「コストと工数」 (49ページ)を参照してください。

マイタスクポートレットの使用

マイタスクポートレットは、複数タスクの情報を表示します。表示するタス クの最大数は、ポートレットのタイトルと同様、ユーザが指定できます。マ イタスクポートレット内のほとんどのフィールドは、リソースによる更新が 可能です。

Time Management を有効にすると、マイタスクポートレットでHP Time Management を使用するプロジェクトのタイムシートを使用して時間を入力できます。サマリタスクも、統合プロジェクトのマイタスクポートレットに表示されます。

HP Time Management を使用するプロジェクトの作業中、マイタスクポート レットでは、各タスクの [実際の工数] フィールドに工数の内訳の計算済み ロールアップが表示されます。各タスクは、関連タスクのみにフィルタされ た [タイムシートの使用] フィールドに指定されているタイムシートに対応し ます。実際の工数の値をクリックすると、工数の内訳が開き、直接編集でき ます。工数の内訳には、マイタスクポートレットに示されるタスクのみが表 示されます。



工数の内訳に入力する値は、[**タイムシートの使用**] フィールドに指定されたタイムシートに 反映されます。別のタイムシートに値を入力する場合は、タスクやサマリタスクの工数の内訳 を編集する前に、目的のタイムシートを選択します。

マイタスクポートレットから、タイムシート上のプロジェクトの実績情報を 入力するには、次の手順を実行します。

1. マイタスクポートレットに移動します。

2. [タイムシートの使用] フィールドに正しいタイムシートが表示されている ことを確認します。

入力した期間のタイムシートがない場合、新しいタイムシートを作成できます。新しいタイムシートは[**保存**]をクリックすると作成されます。

"再作業中"および"承認待ち"ステータスのタイムシートは、マイタスク ポートレットから編集できません。"凍結"および"クローズ"ステータスの タイムシートは、利用可能なタイムシートのリストに表示されません。

入力する実績情報のタスクに対応する実際の工数の値をクリックします。
 [工数の内訳]ダイアログボックスが開きます。

4. 目的のタイムシート行の情報を入力します。

異なるアクティビティがあるタスクに対して、行を変えて時間を入力し ます。

- 5. [完了]をクリックします。
- 6. [保存]をクリックします。

マイタスクポートレットから[**タイムシートに移動**]をクリックすることで、い つでも影響を受けるタイムシートを開くことができます。

マイタスクポートレットに表示され、実績のあるタスクのデータは、[**タイムシートに移動**] をクリックするとタイムシートに自動的に保存されます。

工数の内訳に対して行った未保存の変更は、[タイムシートに移動]をクリックすると、すべて破棄されます。



F

Financial Management プロジェクトポリシーに対する有効化, 53

Μ

Microsoft Enterprise Project Management の操作, 328 Microsoft Excel Microsoft Internet Explorer のインターネッ トオプションの設定,197 作業計画のエクスポート,196 Microsoft Project, 246, 285, 289, 322 Microsoft Project での作業計画の維持, 273 Microsoft Project を介した Project Management の公開, 271 PPM 用プラグイン, 232 PPM 用プラグインのアップグレード,237 PPM 用プラグインのインストール,233 PPM 用プラグインの削除,239 Project Management から作業計画を開く, 306 Project Management 作業計画を開く, 307 Project Management での実績のトラック, 273 Project Management 統合の方針, 271 Project Management 統合の要件, 232 Project Management との統合, 32, 229 Project Management との統合の概要, 229

Project Management への作業計画情報の送 信,314 Project Management への作業計画の送信, 309 Project Management を介した公開, 272 アクセス許可.232 エンタープライズリソースの手動マッピ ング、319 関連付けの削除,324 計画と実績のルール,246 サマリタスクのオーナのマッピング,252 条件付き編集サマリ、265 大規模プロジェクトのインポート,145 同期のトラブルシューティング,331 同期モード,239 同期モードの設定,276 同期ログ、300 フィールドのマッピング、243 プロジェクトポリシー設定,274 プロジェクトマネージャ向け同期の解決 策,247 リソースの自動マッピング,251 リソースの手動マッピング,317 Microsoft Project Server ベースプロジェクトの 操作,327 Microsoft Project から Project Management $\sim \mathcal{O}$

情報の送信,314 Microsoft Project 統合,243,285,289

Microsoft Enterprise Project Management \mathcal{O} 操作,328 Microsoft Project Server ベースプロジェク トの操作,327 PPM Server URL の変更, 301 PPM 用プラグインのアップグレード,237 PPM 用プラグインのインストール,233 PPM 用プラグインの削除,239 PPM 用プラグインの要件,232 Project Management 機能の無効化, 265, 322, 323 Project Management の要件, 232 Project Management 保存プロンプトの無効 化,297 アクセス許可,232 エラーと警告.331 エンタープライズリソースの手動マッピ ング、319 カレンダーの構成,304 関連付けの削除,324 言語の構成.296 サマリタスクのオーナのマッピング,252 ファイルのバックアップ.299 フィールドのマッピング、281 フィールドマッピングの無効化,284 プラグイン,232 プロキシサーバの構成.303 プロジェクトポリシー設定,274 マッピングファイルのアップロード、283 マッピングファイルの作成。282 マッピングファイルの例 282 リソースの自動マッピング,251 リソースの手動マッピング.317 Microsoft Project 統合でのサマリタスクのオー ナのマッピング、252 Microsoft Project 統合ポリシー, 57, 70, 274 Microsoft Project $\land \vdash \lor \lor \lor$, 281 実際の工数オプション、280

達成率(%)と実際の日付オプション,279 達成率オプション,279 同期モード,276 統合モード,276 フィールドのマッピング,281 リソースの作成,279 リソースの特定,279 Microsoft Project の同期, 243, 246, 285, 289, 322 Microsoft Project からの作業計画情報の送 信,314 Microsoft Project 制御モード, 240, 276, 277, 284 Microsoft Project 制御モードでの編集, 322 Project Management からの作業計画の更新, 312, 315 Project Management からの実績の取得, 312 Project Management 機能の無効化, 265, 322, 323 Project Management 制御モード, 240, 276, 277, 284 Project Management 制御モードでの編集, 322 エラーと警告,331 エンタープライズリソースの手動マッピ ング、319 カスタム Microsoft Project テーブル, 247 カスタム Microsoft Project フィルタ, 247 カレンダーのトラブルシューティング, 263 共有制御モード, 241, 276, 277, 281, 284 共有制御モードでの編集,323 コストのロールアップのトラブルシュー ティング,264 作業計画の再リンク,336 削除済みタスクの復元,336 サマリタスクのオーナのマッピング,252 実績のあるタスクの削除,335 手動スケジュールモードのトラブル シューティング、334

実績の転送,279

条件付き編集サマリ、265 単位のトラブルシューティング、264 トラブルシューティング、331 必要なタスクの削除、335 負荷率のトラブルシューティング、264 プロジェクトマネージャ向け解決策、247 ヘルスのロールアップのトラブルシュー ティング、264 モード、239 モードの設定、276 リソースの自動マッピング、251 リソースの手動マッピング、317 ログ、300

Microsoft Project を介した公開, 271

Ρ

PDF 作業計画のエクスポート, 195, 215 タスクスケジュールのエクスポート,215 プロジェクトの概要ページのエクスポー ト, **181 PPM Server** PPM 用プラグインの言語の構成. 296 PPM 用プラグイン向け URL の変更, 301 PPM 用プラグイン向けプロキシサーバの 構成,303 PPM 用プラグイン Microsoft Project との統合, 232 PPM サーバの要件, 232 Project Management の要件, 232 Server URL の変更, 301 アクセス許可,232 アップグレード,237 インストール,233 カレンダーの構成.304 クライアントの要件,233 言語の構成、296 削除.239 プロキシサーバの構成.303

Project Management, 327, 328 Microsoft Project 関連付けの削除, 324 Microsoft Project 作業計画情報の送信,314 Microsoft Project 作業計画の送信, 309 Microsoft Project 作業計画を開く, 306 Microsoft Project でのリソースの作成, 279 Microsoft Project 同期モードの設定, 276 Microsoft Project 統合の方針, 271 Microsoft Project との条件付き編集, 322 Microsoft Project との統合, 32, 229 Microsoft Project の公開, 272 Microsoft Project の作業計画を開く, 307 Microsoft Project の同期のトラブルシュー ティング、331 Microsoft Project ポリシー設定, 274 Microsoft Project を介した作業計画の公開, 271 Time Management との統合, 21, 31, 337 Time Management との統合の有効化, 339 アクティビティ,21,31 概要,15 検証,20 検証の設定,24 コントロールプロセス.21 コントロールプロセスの設定,28 設定.19 タスクユーザデータ.32 地域、20、24 フィールドに対する Microsoft Project ルー ルの影響,246 プロジェクト詳細の設定,27 プロジェクトタイプ, 21, 30 プロジェクトプロセスの設定.28 リソース.19.22 リソース戦略.23 リソースプール. 19.23

Project Management での条件付き編集, 322

Time Management プロジェクトポリシーに対する有効化, 52 Time Management と Project Management との 統合, 339 一般的な検討事項, 337 概要, 337

マイタスクポートレット, 217, 340 有効化, 339

U

URL タスクに追加,141

あ

アーンドバリュービュー、108 アーンドバリュー分析 表示,174 アクセス 作業計画テンプレートへ、225 アクセス許可 Project Management 統合の要件, 232 アクティビティ,120 Microsoft Project 統合でのマッピング,289 Project Management 内, 21, 31 タスクに対するフィールドの有効化、38 アクティビティのマッピング.289 アサイン スキルをタスクに.128 リソースをタスクに,125 D - N. 128 アップグレード PPM 用プラグイン.237 アップロード Microsoft Project 統合マッピングファイル、 283

マッピングファイル,283

い

移動 作業計画階層内のアイテム,88 印刷 作業計画のガントチャート,194 ポートレット設定,65 印刷ビュー,110 インストール PPM 用プラグイン,233 インポート 作業計画,87 大規模プロジェクトを Microsoft Project に, 145

え

エクスポート 作業計画を Microsoft Excel に, 196 作業計画を PDF に, 215 タスクスケジュールを PDF に, 215 プロジェクトの概要ページを PDF に, 181 エラー Microsoft Project 統合, 331 スケジュール, 99 延期された計算 作業計画, 163

お

オーバライド プロジェクトに関するヘルス,172

か

開始日 タスクのデフォルト,45 階層 表示と修正,148 カスタムビュー,110 カレンダー PPM 用プラグイン向け構成,304 ガントチャート 作業計画用の印刷,194 表示,210 ガントビュー,109 管理 作業計画,143 作業計画テンプレート,224 プロジェクト,143 ベースライン,191 完了 作業計画,200

き

キーボードショートカット 作業計画,95 キャンセル 作業計画,201 許容範囲 スケジューリング時,46

<

クリア タスク警告,180 クリティカルパス 作業計画,117 設定,164 タスクのマーキング,166 表示,164,210

クリティカルパスとしてタスクをマーキング, 166

クリティカルパスのしきい値 作業計画に設定,45

け

藝告 Microsoft Project 統合, 331 スケジュール, 100, 189 タスクに対するクリア、180 表示,178 警告ルール 作業計画内.46 言語 PPM 用プラグイン向け構成. 296 検索 タスク,204 プロジェクト用,168 マイタスク、203 マイタスクポートレット,217 マイタスクポートレットを使ってタスク を、204 検証 Project Management での設定, 24

Project Management 内, 20

C

更新,148 Project Management から Microsoft Project 作業計画, 312, 315 Project Management 実績による Microsoft Project の更新, 312 タスク.203 タスクページ内の参照情報。218 タスクページ内のメモ 218 マイタスクポートレットを使ってタスク を.216 コスト 分析,192 コスト設定ビュー,106 コストデータ 表示 176 表示の有効化,69

コストとアーンドバリューヘルスポリシー、 56 [コストと工数]ポリシー,49 Financial Management の有効化, 53 Time Management の有効化, 52 実績工数、52 スケジュールされた工数,51 リソースの作業負荷.51 コストの分析 プロジェクト用,192 コストパフォーマンス指数.56 コピー,87 データを作業計画からテンプレートに. 227 コントロールプロセス Project Management での設定, 28 Project Management 内, 21

さ

サービス タスクに対するフィールドの有効化,38 財務サマリ、78 スケジュールの同期,189 財務ベネフィット スケジュールの相殺.189 作業計画, 79, 87, 148, 271, 314 Microsoft Excel ファイルへのエクスポート , 196 Microsoft Project から Project Management への送信.309 Microsoft Project 関連付けの削除, 324 Microsoft Project での維持, 273 Microsoft Project での更新, 312, 315 Microsoft Project で開く, 307 Microsoft Project へ の 再リンク, 336 PDF ファイルへのエクスポート, 195 PDF へのエクスポート.215

Project Management から Microsoft Project 計画を開く, 306 Project Management から Microsoft Project の更新, 312, 315 アーンドバリュービュー、108 依存関係の更新,160 印刷ビュー,110 インポート、87 延期された計算,163 階層の表示と修正,148 カスタムビュー,110 ガントチャートの印刷,194 ガントビュー, 103, 109 管理,143 完了,200 キーボードショートカット,95 既存作業計画からのテンプレートの作成. 225 キャンセル,201 クリティカルパス, 117, 164 クリティカルパスのしきい値,45 警告ルール,46 更新,148 コスト設定ビュー,106 コピー,87 再スケジュール,161 作業計画ページ,85 実績工数,52 実績による Microsoft Project の更新, 312 実績ビュー、105 手動で完了させた場合の未完了アイテム の動作,200 手動でキャンセルした場合の未完了アイ テムの動作,201 スケジュール.97 スケジュールされた開始日の変更,160 スケジュールされた期間の変更,160 スケジュールされた工数,51 スケジュールされた工数の変更,160 スケジュールされた終了日の変更,160

スケジュールの更新,160 スケジュールビュー,104 ステータス、149 ステータスの変更,150 ゼロからの作成.81 先行タスクの変更,161 タスクの設定,118 タスクの追加,85,122 タスクの編集,112 テンプレート, 39, 223 テンプレートからの作成,228 テンプレートにコピーされるデータ.227 テンプレートの管理.224 テンプレートの作成.224 テンプレートのセットアップ,223 テンプレートへのアクセス、225 テンプレートへのタスクの設定.225 テンプレートへのタスクの追加,224 同時編集,162 ビュー,103 表示, 103, 170, 210 表示オプション,112,114 フィールドの有効化,37 フィルタ,103,110 プロジェクトからの作成.82 プロジェクトフィールドポリシー,37 ベースラインデータの表示,192 ヘルスインジケータ,47 マイルストーンの表示,173 リスク、45 リソースアクティビティ,203 リソースの使用状況ページ,113 履歴のトラッキング.198 レベル.103 作業計画階層,88 アイテムの移動,88 アウトデント,89 インデント.89 複数アイテムの選択.90

作業計画ポリシー,39 作業負荷 トラッキングの設定.51 削除 Microsoft Project \succeq Project Management \mathcal{O} 関連付け、324 PPM 用プラグイン,239 Project Management 内の参照情報, 222 プロジェクト.201 作成 Microsoft Project 統合マッピングファイル、 282 Microsoft Project のリソース, 279 作業計画からテンプレートを、225 作業計画テンプレート,224 ゼロからの作業計画,81 テンプレートから作業計画を.228 プロジェクト.71.73 プロジェクトから作業計画.82 プロジェクトタイプ.36 ベースライン,189 マイルストーン, 95, 123 マッピングファイル.282 サマリ条件 プロジェクトに関する表示.171 サマリタスク 作業計画を手動で完了させた場合のス テータス、200 スケジュール.98 先行タスク関係,92 編集の有効化.69 サマリタスクのオーナ.76 Microsoft Project 統合でのマッピング, 252 参加者 プロジェクト,76 プロジェクトに対する設定,77 参照情報.120 Project Management での URL 追加, 220

Project Management での削除, 222 Project Management での追加, 219 Project Management での表示, 219, 221 Project Management でのファイルの追加, 219 Project Management での編集, 221 タスクに添付,135 タスクページでの更新,218 タスクへの添付ファイル,219 参照タブ 表示,213 L 実際の開始日 タスクに対するフィールドの有効化、38 実際の期間 タスクに対するフィールドの有効化,38

- 実際の工数オプション,280
- 実際の終了日 タスクに対するフィールドの有効化, 38 実績 Microsoft Project での更新, 312
 - Microsoft Project 用ルール, 246 Microsoft への転送, 279 複数のタスクでの編集, 155 マイタスクポートレットからの入力, 340
- 実績工数,52
 - タスクに対するフィールドの有効化,38
- 実績ビュー,105
- 修正
 - 作業計画階層,148
- 主要なマイルストーン タスクに対するフィールドの有効化,38
- 使用
 - 作業計画テンプレート,223

す

スキル タスクにアサイン,128 スケジューリングポリシー.44 開始日,45 許容範囲.46 作業計画内のクリティカルパスのしきい 值.45 作業計画内の警告ルール.46 リソースの依存関係, **45** スケジュール PDF へのエクスポート, 215 エラー,99 警告,100,189 警告ルール、46 財務ベネフィットに対する相殺,189 作業計画の更新.161 サマリタスク,98 制限,129 制限の設定,129 生成.97 同期、189 複数のタスクでの編集,158 ヘルスインジケータ,47 優先,188 スケジュール業績指数,56 スケジュールされた開始日 作業計画での変更,160 タスクに対するフィールドの有効化.37 スケジュールされた期間 作業計画での変更,160 タスクに対するフィールドの有効化,38

スケジュールされた工数,46,51,127 作業計画での変更,160 タスクに対するフィールドの有効化,38

スケジュールされた終了日 作業計画での変更,160 タスクに対するフィールドの有効化,37

スケジュールビュー,104 スケジュールのヘルスポリシー.47 ヘルスインジケータ.47 例外ルール.48 スコープ変更 表示,174 ロギング.186 スタッフィングプロファイル.78 スケジュールの同期,189 デフォルトのリソースプールの設定,59 表示,175 スタッフィングプロファイルアサインポリ シー,59 ステータス 作業計画,149 作業計画に対する変更,150 タスク.121 タスクに対する変更,142 複数のタスクに対する設定.159 プロジェクト,146

せ

生成 スケジュール、**97**

設定

Microsoft Excel へのエクスポート時の Microsoft Internet Explorer, 197
PPM 用プラグイン向けのカレンダー, 304
PPM 用プラグインの言語, 296
PPM 用プラグイン向けプロキシサーバ, 303
Project Management, 19
外部先行タスク, 94
クリティカルパス, 164
作業計画内のタスク, 118
作業負荷のトラッキング, 51
タスク, 119
タスクの先行タスク, 129

タスクを作業計画テンプレートに、225 内部先行タスク,93 複数のタスク,154 複数のタスクにステータスを,159 プロジェクト参加者,77 プロジェクトに対する変更,76 プロジェクトポリシー.36 セットアップ 作業計画テンプレート,223 先行タスク,90 タスク内の通知,133 プロジェクト,145 全工数.46 先行タスク 外部タスクの設定,94 関係,92 サマリタスク関係,92 セットアップ,90 タスク関係,92 タスクに設定,129 タスクに対する変更,161 内部タスクの設定,93 複数タスクへのリンク付け,159 リクエスト関係 92 リクエストの設定 94

そ

送信 Microsoft Project から Project Management への作業計画情報の送信, 314 Microsoft Project から Project Management への作業計画の送信, 309

た

タイムシート マイタスクポートレットからの実績の入 力,340 タイムシートでの時間の拒否,177 タイムシートでの時間の承認,177 タスク 作業計画テンプレートへの追加.224 PDF へのスケジュールのエクスポート, 215 Project Management での参照情報の追加, 219 URLの追加, 141, 220 アクティビティフィールドの有効化,38 開始日のデフォルト,45 クリティカルパスとしてマーキング,166 警告のクリア,180 検索,204 個人的検索,203 サービスフィールドの有効化,38 作業計画テンプレート内での設定,225 作業計画内での設定,118 作業計画内での編集,112 作業計画に追加,85,122 作業計画を手動で完了させた場合のス テータス、200 作業計画を手動でキャンセルした場合の ステータス、201 参照情報の削除,222 参照情報の添付.135 参照情報の表示.221 参照情報の編集.221 参照用添付ファイル、219 実際の開始日フィールドの有効化.38 実際の期間フィールドの有効化.38 実際の終了日フィールドの有効化.38 実績工数フィールドの有効化.38 主要なマイルストーンフィールドの有効 化、38 スケジュールされた開始日フィールドの 有効化,37 スケジュールされた期間フィールドの有 効化、38 スケジュールされた工数,51

スケジュールされた工数フィールドの有 効化、**38** スケジュールされた終了日フィールドの 有効化.37 ステータス,121 ステータスの変更,142 設定,119 外部先行タスク,94 スケジュールの制限,129 ステータスを複数に.159 通知.133 内部先行タスク,93 先行タスク関係.92 先行タスクとしての複数タスクのリンク 付け、159 先行タスクの設定,129 タスクに追加,139 達成率(%)フィールドの有効化,38 通知内,207 ドキュメントの追加,140 パッケージの追加,138 ファイルの追加,219 複数設定,154 複数のタスクでの実績の編集,155 複数のタスクでのスケジュールされた日 付の編集,158 複数のタスクでのリソースアサインの編 集,156 複数のタスクでのロールの編集,157 編集,124 マイタスクポートレット,204 マイタスクポートレットを使った更新、 216 見積もり残存工数フィールドの有効化、 38 メモの追加,132 予想終了日フィールドの有効化,38 リクエストの追加, 136, 137 リソースのアサイン,125 リリースの追加,140

履歴のトラッキング, 199 ロールフィールドの有効化, 38 タスク監査ポリシー, 64 タスクの検索ページ アクセス, 204 タスクページ メモと参照情報の更新, 218 タスクユーザデータ Project Management 内, 32 ダッシュボード プロジェクトの表示, 182 達成率(%) タスクに対するフィールドの有効化, 38 達成率(%)と実際の日付オプション, 279

ち

地域 Project Management 内, 20, 24

っ

追加 URL をタスクに, 141, 220 タスクを作業計画テンプレートに, 224 タスクを作業計画に, 85, 122 タスクをタスクに, 139 ドキュメントをタスクに, 140 パッケージをタスクに, 138 ファイルをタスクに, 219 プロジェクトマネージャをプロジェクト に, 77 メモをタスクに, 132 利害関係者をプロジェクトに, 77 リクエストをタスクに, 136, 137 リリースをタスクに, 140

通知,**120**

タスクでのセットアップ,133

タスクの検索,207

τ

データベース 統計情報の再取得,145 テーブル Microsoft Project 向けカスタマイズ,247 滴用 プロジェクトポリシー.34 添付 参照情報をタスクに,135 テンプレート 作業計画からの作成,225 作業計画にセットアップ,223 作業計画に対するアクセス、225 作業計画に対する管理,224 作業計画に対する作成,224 作業計画の作成.228 作業計画の変換でコピーされるデータ 227 作業計画へのタスクの設定,225 作業計画へのタスクの追加,224 作業計画用,223

٤

同期 スケジュール, 189 マッピングファイル, 284
ドキュメント タスクに追加, 140
トラッキング 作業計画履歴, 198 タスク履歴, 199 プロジェクトでのコストヘルス, 56 プロジェクト履歴, 198
トラブルシューティング Microsoft Project でのコストのロールアッ

プ計算の同期,264

Microsoft Project でのヘルスのロールアップ計算の同期,264
Microsoft Project 同期での手動スケジュールモード,334
Microsoft Project のカレンダーの同期,263
Microsoft Project の単位の同期,264
Microsoft Project の同期,331
Microsoft Project の同期で削除されるタスク,335,336
Microsoft Project の負荷率,264

Ø

ノートのマッピング,285

は

バックアップ Microsoft Project 情報, 299 パッケージ タスクに追加, 138

ひ

ビュー 作業計画,103 表示, 69 Project Management 内の参照情報, 221 アーンドバリュー分析,174 関連プロジェクトとプログラム,175 ガントチャート,210 クリティカルパス, 164, 210 警告,178 コストデータ,176 コストデータに対する有効化,69 作業計画, 103, 170, 210 作業計画階層,148 参照情報,213 参照タブ,213 スコープ変更,174 スタッフィングプロファイル.175

プロジェクト,182 プロジェクトに関するヘルス,171 プロジェクトのサマリ条件,171 プロジェクトの詳細タブ,211 プロジェクトの例外タブ,212 ポートレット設定,65 マイルストーン,173,211 問題,174 リスク,174 リソース情報,214 例外,178,179,212

開く

Microsoft Project の作業計画, 307 Project Management から Microsoft Project 作業計画, 306

ふ

フィールド Microsoft Project 統合でのマッピング, 243 フィールドに対するルールの影響.246 フィールドのマッピング,243 無効化,284 フィルタ Microsoft Project 向けカスタマイズ, 247 作業計画, 103, 110 プロキシサーバ PPM 用プラグイン向け構成, 303 プログラム 関連プロジェクトの表示,175 プロジェクト,77 Microsoft Enterprise Project Management \mathcal{O} 操作,328 Microsoft Project Server ベースプロジェク トの操作,327 概要ページ,74,167 管理,143 関連プログラムの表示,175 クリティカルパス,164

検索.168 コストのヘルス、56 作業計画の作成目的,82 削除,201 作成,71,73 サマリ条件の表示, 171 参加者.76 参加者の設定 77 参照情報の表示,213 スケジュールの同期,189 スケジュールの優先.188 スコープ変更のロギング.186 ステータス、146 設定の変更,76 セットアップ,145 日付制御、188 表示,182 表示の有効化, 69 プロジェクトマネージャの追加.77 ヘルスインジケータ,60 ヘルスのオーバライド,172 ヘルスの表示,171 問題のロギング,182 リスクのロギング,184 履歴のトラッキング,198 例外ルール.48 プロジェクトコントロールエンティティ,182 スコープ変更,186 問題、182 リスク,184 プロジェクトセキュリティポリシー. 69 プロジェクトタイプ.33 Project Management 内, 21, 30 作成,36 プロジェクトデータに対する有効化,69 プロジェクトの概要ページ,74,167,208 参照タブ、213 プロジェクトの詳細タブ.211

プロジェクトの例外タブ,212 プロジェクトの詳細 Project Management での設定, 27 プロジェクトの詳細タブ 表示,211 プロジェクトの例外タブ 表示.212 プロジェクトの概要のレイアウトポリシー, 65 プロジェクトフィールドポリシー、37 プロジェクトプロセス Project Management での設定, 28 プロジェクトヘルスポリシー,60 プロジェクトポリシー.34 Microsoft Project 統合, 57 Service Manager, 70 オーバライドステータス.35 コストとアーンドバリューヘルス,56 コストと工数,49 作業計画, 39 スケジューリング,44 スケジュールのヘルス.47 スタッフィングプロファイルアサイン **59** 設定.36 タスクの監査,64 **滴用**.34 非プロパゲート、35 プロジェクトセキュリティ,69 プロジェクトの概要のレイアウト、65 プロジェクトフィールド,37 プロジェクトヘルス.60 変更.35 問題ヘルス.62 リクエストタイプ,43 プロジェクトマネージャ.76 担当業務,143

ベースライン 管理,191 作業計画内のデータ表示, 192 作成,189 比較,192 ベースラインの比較,192 ヘルス プロジェクトに関するオーバライド,172 プロジェクトに関する表示.171 ヘルスインジケータ 作業計画,47 スケジュール,47 プロジェクト,60 問題,62 変更 PPM 用プラグイン向け PPM Server URL, 301 作業計画ステータス,150 作業計画内のスケジュールされた開始日、 160 作業計画内のスケジュールされた期間、 160 作業計画内のスケジュールされた工数, 160 作業計画内のスケジュールされた終了日、 160 タスクステータス,142 プロジェクト設定,76 プロジェクトポリシー,35 編集 Microsoft Project 制御モード, 322 Project Management 制御モード, 322 Project Management 内の参照情報, 221 共有制御モード,323 作業計画のタスク,112

作業計画を同時に,162

タスク、124

サマリタスクに対する有効化,69

複数のタスクにスケジュールされた日付, 158 複数のタスクに対する実績,155 複数のタスクに対するリソースアサイン, 156 複数のタスクに対するロール,157

ほ

ポートレット 印刷設定, 65 表示設定, 65 保存プロンプト Project Management での無効化, 297

ま

マイタスクポートレット Time Management \succeq Project Management \succeq の統合.340 Time Management との統合, 217 アクセス,204 検索,217 実績の入力、340 タスクの検索,204 タスクの更新,216 マイルストーン.95 作成, 95, 123 タスクに対するフィールドの有効化,38 表示. 173. 211 マッピング、252 Microsoft Project 統合でのアクティビティ, 289 Microsoft Project 統合でのフィールド, 243 Microsoft Project 統合でのメモ, 285 Microsoft Project 統合でのリソース自動 マッピング、251 Microsoft Project 統合でのリソースの手動 マッピング,317 Project Management データから Microsoft Project $7 - \mu F$, 281

エンタープライズリソース Microsoft Project 統合での手動マッピ ング,319 アクセス許可,321 マッピングファイル アップロード,283 作成,282 同期モード,284 例,282

み

見積もり残存工数 タスクに対するフィールドの有効化,38

む

無効化 Microsoft フィールドマッピング, 284 Project Management 保存プロンプト, 297

め

メモ Microsoft Project 統合でのマッピング, 285 タスクに追加, 132 タスクページでの更新, 218

ŧ

問題 表示,174 ヘルスインジケータ,62 ロギング,182 問題ヘルスポリシー,62

ゆ

有効化, **339** Microsoft Project 同期ログ, コストデータの表示, 作業計画内のフィールド, タスクのアクティビティフィールド,

タスクのサービスフィールド.38 タスクの実際の開始日フィールド,38 タスクの実際の期間フィールド、38 タスクの実際の終了日フィールド、38 タスクの実績工数フィールド、38 タスクの主要なマイルストーンフィール F. 38 タスクのスケジュールされた開始日 フィールド,37 タスクのスケジュールされた期間フィー ルド、38 タスクのスケジュールされた工数フィー ルド、38 タスクのスケジュールされた終了日 フィールド.37 タスクの達成率(%)フィールド.38 タスクの見積もり残存工数フィールド. 38 タスクの予想終了日フィールド,38 タスクのロールフィールド.38 プロジェクトデータの表示, 69 プロジェクトポリシーに対する Financial Management, 53 プロジェクトポリシーに対する Time Management, 52 優先

スケジュール,188

よ

要件 PPM 用プラグインの要件,232 予想終了日 タスクに対するフィールドの有効化,38

り

利害関係者,76 利害関係者の追加,77 リクエスト 先行タスク関係,92

先行タスクとしての設定,94 タスクに追加,136,137 リクエストタイプポリシー.43 リスク 表示,174 ロギング.184 リソース, 76, 203, 252 Microsoft Project での作成, 279 Microsoft Project 統合での自動マッピング、 251 Microsoft Project 統合での手動マッピング, 317 PDF へのタスクスケジュールのエクス ポート、215 Project Management での戦略, 23 Project Management 内, 19, 22 エンタープライズ Microsoft Project 統合での手動マッピ ング、319 アクセス許可.321 可用性.45 作業負荷トラッキングの設定.51 実績工数.52 情報の表示、214 タスクにアサイン、125 リソースアサイン 複数のタスクでの編集,156 リソースの使用状況ページ,113 リソースの表示ページ.214 リソースプール Project Management 内, 19, 23 スタッフィングプロファイルに対するデ フォルトの設定.59 リソースリクエスト 既定のリソースプール.59

リリース タスクに追加,**140** 履歴 作業計画に対するトラッキング,198 タスクに対するトラッキング,199 プロジェクトに対するトラッキング,198 リンク付け 先行タスクとしての複数のタスク,159

れ

| 例外 |
|-------------------|
| 表示, 178, 179, 212 |
| 例外ルール |
| プロジェクト用,48 |
| レベル |
| 作業計画, 103 |

ろ

ロール アサイン,128 タスクに対するフィールドの有効化,38 複数のタスクでの編集,157 ロギング

スコープ変更,186 問題,182 リスク,184

ログ

Microsoft Project の同期, 300